

平成30年度

歳入歳出決算にかかる  
主要な施策の成果説明書

宇 治 市

# 目 次

はじめに	1
平成 30 年度の決算概要	1
(1) 各会計決算額	2
(2) 普通会計決算状況	3
(3) 地方公共団体の財政の健全化に関する法律について	6
(4) 都市計画税の使途	8
(5) 全会計市債等現在高	8
(6) 地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる社会保障 4 経費 その他社会保障施策に要する経費	9
(7) 平成 30 年度 普通会計決算状況調書	10

## 部門別決算成果概要

1 危機管理室	12
2 市長公室	13
3 政策経営部	19
4 総務部	27
5 産業地域振興部	36
6 人権環境部	64
7 福祉こども部	77
8 健康長寿部	117
9 建設部	150
10 都市整備部	164
11 教育部	182
12 消防本部	219
13 その他	223
議会事務局	223
選挙管理委員会事務局	224
監査委員事務局	225
公平委員会事務局	225
固定資産評価審査委員会事務局	226
農業委員会事務局	226
14 用品調達基金運用状況表	227

# はじめに

本説明書（歳入歳出決算にかかる主要な施策の成果説明書）は、地方自治法第233条第3項の規定に基づき、市長が決算を議会の認定に付すにあたり、同条第5項の規定により施策の成果を説明するものである。各会計の決算規模並びに総務省地方財政状況調査基準に基づく普通会計（一般会計と墓地公園事業特別会計の合計額から各会計相互間の重複額等を控除したもの）の決算概要と、平成30年度の主要な施策の成果について部門毎に取りまとめたものである。

## 平成30年度の決算概要

平成30年度各会計歳入歳出決算の状況は、(1)各会計決算額のとおりとなっている。

また、平成30年度普通会計決算状況は、歳入の主な状況を分析すると、基幹歳入である地方税が、前年度から6億4,616万5千円(2.8%)の増額となった。国庫支出金は、臨時福祉給付金給付事業費補助金やウトロ地区住環境改善事業補助金などの影響により、前年度から14億630万2千円(△11.2%)の減額となった。

歳出を目的別に分析すると、前年度から、民生費は、臨時福祉給付金給付事業などの影響により、6億5,356万円(△2.3%)、土木費が(仮)お茶と宇治のまち歴史公園交流ゾーン整備事業の用地取得の進捗やウトロ地区住環境改善事業における公営住宅1期棟完成などの影響により、15億2,166万3千円(△18.8%)の減額となった。

また、歳出を性質別に分析すると、人件費は、前年度から1億1,099万6千円(1.0%)の増額、扶助費は、前年度から2億5,274万円(△1.3%)の減額、公債費は、元金償還の進捗などの影響により、前年度から3億880万5千円(△5.3%)の減額となり、義務的経費全体で、前年度から4億5,054万9千円(△1.2%)の減額となった。なお、(仮)お茶と宇治のまち歴史公園交流ゾーン整備事業の用地取得の進捗やウトロ地区住環境改善事業における公営住宅1期棟完成などの影響により、普通建設事業費は、前年度から12億9,486万9千円(△23.2%)の減額、災害復旧事業費は、前年度から1億2,972万8千円(△71.8%)の減額となった。

(1) 各会計決算額

(単位：千円)

会計名	年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引	繰越財源	実質収支	単年度収支
一般会計	平成30年度	62,676,330	62,204,572	471,758	186,471	285,287	100,121
	平成29年度	63,993,792	63,532,696	461,096	275,930	185,166	△ 52,271
	差引	△1,317,462	△1,328,124	10,662	△ 89,459	100,121	152,392
国民健康保険 事業特別会計	平成30年度	19,196,508	19,196,508	0	0	0	△ 798,788
	平成29年度	23,386,867	22,588,079	798,788	0	798,788	△ 32,328
	差引	△4,190,359	△3,391,571	△798,788	0	△798,788	△ 766,460
後期高齢者医療 事業特別会計	平成30年度	2,795,451	2,707,050	88,401	0	88,401	2,254
	平成29年度	2,617,094	2,530,947	86,147	0	86,147	75,326
	差引	178,357	176,103	2,254	0	2,254	△ 73,072
介護保険事業 特別会計	平成30年度	14,762,979	14,531,732	231,247	0	231,247	△ 222,533
	平成29年度	14,374,612	13,920,832	453,780	0	453,780	42,141
	差引	388,367	610,900	△ 222,533	0	△ 222,533	△ 264,674
墓地公園事業 特別会計	平成30年度	36,499	36,499	0	0	0	0
	平成29年度	33,979	33,979	0	0	0	0
	差引	2,520	2,520	0	0	0	0
水道事業会計 (収益的収支)	平成30年度	3,790,522	3,527,482	263,040			
	平成29年度	3,839,738	3,463,828	375,910			
	差引	△ 49,216	63,654	△ 112,870			
水道事業会計 (資本的収支)	平成30年度	1,110,511	1,703,530	△ 593,019			
	平成29年度	1,321,789	2,124,420	△ 802,631			
	差引	△ 211,278	△ 420,890	209,612			
公共下水道 事業会計 (収益的収支)	平成30年度	5,325,006	5,192,672	132,334			
	平成29年度	5,288,372	5,168,622	119,750			
	差引	36,634	24,050	12,584			
公共下水道 事業会計 (資本的収支)	平成30年度	3,798,757	5,386,021	△1,587,264			
	平成29年度	3,926,836	5,385,829	△1,458,993			
	差引	△ 128,079	192	△ 128,271			

## (2) 普通会計決算状況

総務省地方財政状況調査における普通会計の決算状況については、次のとおりである。

### ア 歳入決算状況

	30年度決算額 (千円)	構成比 (%)	29年度決算額 (千円)	構成比 (%)	増減額 (千円)	伸び率 (%)
地方税	24,109,647	38.8	23,463,482	36.8	646,165	2.8
うち個人市民税	9,942,336	16.0	9,856,008	15.5	86,328	0.9
うち法人市民税	1,797,129	2.9	1,196,311	1.9	600,818	50.2
うち固定資産税	9,502,706	15.3	9,527,673	15.0	△ 24,967	△0.3
地方譲与税	343,049	0.5	339,097	0.5	3,952	1.2
利子割交付金	46,737	0.1	50,440	0.1	△ 3,703	△7.3
配当割交付金	155,935	0.3	187,585	0.3	△ 31,650	△16.9
株式等譲渡所得割交付金	118,580	0.2	185,426	0.3	△ 66,846	△36.0
地方消費税交付金	3,079,252	5.0	3,023,829	4.7	55,423	1.8
ゴルフ場利用税交付金	30,382	0.1	33,156	0.1	△ 2,774	△8.4
自動車取得税交付金	154,695	0.2	139,242	0.2	15,453	11.1
地方特例交付金	135,100	0.2	121,679	0.2	13,421	11.0
地方交付税	7,113,989	11.5	7,084,531	11.1	29,458	0.4
普通交付税	6,784,731	11.0	6,743,373	10.6	41,358	0.6
特別交付税	329,258	0.5	341,158	0.5	△ 11,900	△3.5
交通安全対策特別交付金	23,872	0.1	26,054	0.1	△ 2,182	△8.4
分担金及び負担金	440,263	0.7	485,417	0.7	△ 45,154	△9.3
使用料	1,367,281	2.2	1,337,525	2.1	29,756	2.2
手数料	130,557	0.2	127,589	0.2	2,968	2.3
国庫支出金	11,163,352	18.0	12,569,654	19.7	△ 1,406,302	△11.2
国有提供施設等所在市町村 助成交付金	66,094	0.1	66,094	0.1	0	0.0
府支出金	4,805,627	7.7	5,068,414	7.9	△ 262,787	△5.2
財産収入	312,241	0.5	39,945	0.1	272,296	681.7
寄付金	114,460	0.2	248,591	0.4	△ 134,131	△54.0
繰入金	168,351	0.3	887,395	1.4	△ 719,044	△81.0
繰越金	461,096	0.7	368,286	0.6	92,810	25.2
諸収入	2,818,295	4.5	2,771,292	4.3	47,003	1.7
地方債	4,912,000	7.9	5,146,700	8.1	△ 234,700	△4.6
うち臨時財政対策債	2,657,400	4.3	2,360,800	3.7	296,600	12.6
歳入合計	62,070,855	100.0	63,771,423	100.0	△ 1,700,568	△2.7
うち一般財源等	39,335,205	63.4	38,898,493	61.0	436,712	1.1
うち経常一般財源等	33,771,223	54.4	33,097,813	51.9	673,410	2.0

## イ 歳出決算状況

### 目的別決算状況

	30年度決算額 (千円)	構成比 (%)	29年度決算額 (千円)	構成比 (%)	増減額 (千円)	伸び率 (%)
議会費	443,425	0.7	442,067	0.7	1,358	0.3
総務費	5,321,799	8.6	4,759,676	7.5	562,123	11.8
民生費	28,302,464	46.0	28,956,024	45.8	△ 653,560	△2.3
衛生費	4,267,832	6.9	4,506,227	7.1	△ 238,395	△5.3
労働費	47,772	0.1	49,833	0.1	△ 2,061	△4.1
農林水産業費	298,101	0.5	346,104	0.5	△ 48,003	△ 13.9
商工費	1,902,601	3.1	1,874,929	3.0	27,672	1.5
土木費	6,587,113	10.7	8,108,776	12.8	△ 1,521,663	△18.8
消防費	2,116,232	3.4	2,203,246	3.5	△ 87,014	△3.9
教育費	6,785,899	11.0	6,099,053	9.6	686,846	11.3
災害復旧費	50,998	0.1	180,726	0.3	△ 129,728	△71.8
公債費	5,474,861	8.9	5,783,666	9.1	△ 308,805	△5.3
歳出合計	61,599,097	100.0	63,310,327	100.0	△ 1,711,230	△2.7

### 性質別決算状況

	30年度決算額 (千円)	構成比 (%)	29年度決算額 (千円)	構成比 (%)	増減額 (千円)	伸び率 (%)
人件費	11,667,007	18.9	11,556,011	18.3	110,996	1.0%
物件費	6,139,492	10.0	5,836,717	9.2	302,775	5.2%
維持補修費	706,457	1.1	762,321	1.2	△ 55,864	△7.3%
扶助費	18,495,550	30.0	18,748,290	29.6	△ 252,740	△1.3%
補助費等	5,423,120	8.8	5,868,841	9.3	△ 445,721	△7.6%
公債費	5,474,861	8.9	5,783,666	9.1	△ 308,805	△5.3%
積立金	623,469	1.0	278,945	0.4	344,524	123.5%
投資及び出資金	622,807	1.0	636,291	1.0	△13,484	△2.1%
貸付金	2,430,537	4.0	2,411,613	3.8	18,924	0.8%
繰出金	5,670,391	9.2	5,657,629	9.0	12,762	0.2%
普通建設事業費	4,294,408	7.0	5,589,277	8.8	△ 1,294,869	△23.2%
災害復旧事業費	50,998	0.1	180,726	0.3	△ 129,728	△71.8%
歳出合計	61,599,097	100.0	63,310,327	100.0	△ 1,711,230	△2.7%
うち義務的経費	35,637,418	57.9	36,087,967	57.0	△ 450,549	△1.2%
経常的経費	51,399,694	83.4	51,410,771	81.2	△ 11,077	△0.1%

## ウ 財政構造

平成30年度普通会計決算における各種財政指標は次のとおりである。

- ・財政の豊かさを計る財政力指数（過去3カ年平均）は0.753（29年度0.757）
- ・財政の堅実度を見る実質収支比率は0.8%（29年度0.5%）
- ・財政の弾力性を判断する経常収支比率は95.8%（29年度98.9%）
- ・一般財源の財政上のゆとりを見る経常一般財源等比率は96.7%（29年度95.4%）

## エ 基金現在高

基金全体の平成30年度末現在高（普通会計）は、73億7,534万3千円で、前年度から4億8,597万9千円の増額となった。繰入については、公共施設等整備基金を3,332万6千円繰り入れた。一方、積立については、財政調整基金に4億5,264万6千円、減債基金に4,894万6千円、将来のまちづくりのために宅地開発等協力寄付金等を原資とする公共施設等整備基金に4,204万円を積み立てた。なお、定額運用基金である土地開発基金の現在高は14億4,411万9千円となった。

### 基金繰入の状況

(単位：千円)

基金名	基金繰入額	充当事業	充当額
公共施設等整備基金	33,326	J R六地蔵駅改築事業	276
		道路改良事業	13,426
		菟道志津川線道路改良事業	4,270
		J R新田駅前広場整備事業	3,290
		排水路改良事業	4,100
		公園バリアフリー整備事業	1,684
		黄檗公園再整備事業	6,280
国際交流基金	101	カムループス市交流促進事業	101
文化事業基金	1,577	文化センター文化事業補助金	1,577
ふるさと創生基金	1,528	源氏物語ミュージアム企画展示	1,528
地域福祉振興基金	9,156	一人暮らし高齢者等給配食サービス補助金	2,900
		地域福祉センター再整備事業	6,256
社会福祉事業基金	341	在宅要援護老人対策事業	341
母子福祉基金	54	ひとり親家庭児童中学校卒業祝品支給補助金	54
玉井高齢者福祉事業基金	85	在宅要援護老人対策事業	85
高齢者活動基金	410	高齢者活動事業	205
		公民館活動事業	205
スポーツ振興基金	5,735	スポーツ教室開催	665
		スポーツ大会開催	1,398
		スポーツ振興基金活用事業	3,672
中小企業振興基金	269	中小企業振興対策事業	269
大気質測定基金	6,450	自動車排出ガス監視測定局運営事業	6,450
交通安全事業基金	162	交通安全対策事業	162
火災予防等事業基金	160	火災予防等事業基金活用事業	160
ふるさと応援基金	84,000	源氏ろまん事業	1,000
		放ち鶴飼プロジェクト検討事業	1,000
		お茶の京都DMO協議会負担金	10,000
		「宇治学」推進事業	1,000
		文化的景観保護推進事業	1,000
源氏物語ミュージアムリニューアル事業	70,000		
図書館図書等整備基金	2,000	図書館資料提供事業	2,000

福祉未来基金	6,932	防犯カメラ設置事業補助金	1,145
		地域共生社会推進事業補助金	1,919
		手話奉仕員養成講座開設事業	84
		障害者コミュニケーションツール整備事業	207
		認知症早期相談支援ツール整備事業	65
		妊婦面談事業	3,512
合 計	152,286		

## オ 地方債現在高

平成30年度末における地方債の現在高は439億5,562万6千円となり、前年度から2億7,503万7千円の減少となった。発行額は、一般債が22億5,460万円、臨時財政対策債が26億5,740万円で、総額49億1,200万円となり、前年度から2億3,470万円の減額となった。

### (3) 地方公共団体の財政の健全化に関する法律について

平成19年6月に制定された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、平成19年度決算から、一般会計等の赤字額の標準財政規模に対する比率である「実質赤字比率」と、一般会計等だけでなく、水道事業や下水道事業など全会計を連結した実質赤字額（資金不足額）の標準財政規模に対する比率である「連結実質赤字比率」、さらに、一般会計等が負担する地方債の元利償還金やそれに準ずる元利償還金の標準財政規模に対する比率である「実質公債費比率」、一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率である「将来負担比率」の4つの健全化判断比率と、水道事業や下水道事業、簡易水道事業の公営企業の経営健全化を判断する指標として、公営企業ごとの資金不足額の事業の規模に対する比率である「資金不足比率」を算定している。

4つの健全化判断比率の数値が、早期健全化基準を超えた場合は、自主的な改善努力による財政健全化に取り組む「財政健全化団体」となり、さらに比率が悪化し、財政再生基準を超えた場合は、国などの関与により確実な財政再生を図る「財政再生団体」となる。

「財政健全化団体」は、議会の議決を経て「財政健全化計画」を定め、市民への公表と、総務大臣、知事への報告が必要となり、毎年度、その実施状況を議会に報告し、公表することが必要となる。

「財政再生団体」は、議会の議決を経て「財政再生計画」を定め、市民への公表を行わなければならない。また、災害復旧事業等を除いた起債が必要な場合は、「財政再生計画」を総務大臣に協議し、その同意を求める必要がある。「財政再生計画」に総務大臣の同意を得た「財政再生団体」は、収支不足額を振り替えるため、地方財政法第5条の特例として、総務大臣の許可を受けて、再生振替特例債を起すことができることとなった。

公営企業については、その資金不足比率が、経営健全化基準以上になった場合は、経営健全化計画を定める必要がある。

※ 標準財政規模：地方公共団体の一般財源の標準規模、標準的な財政規模

## ア 健全化判断比率

健全化判断比率	30年度 決算	29年度 決算	早期健全 化基準	財政再生 基準	説明
実質赤字比率	—	—	11.61%	20.00%	一般会計等が黒字か赤字を判断する指標（一般会計等の赤字の標準財政規模に対する比率）
連結実質赤字 比率	—	—	16.61%	30.00%	一般会計だけでなく、国民健康保険や下水道、水道事業などすべての特別会計を対象として、赤字を判断する指標（全会計の赤字の標準財政規模に対する比率）
実質公債費比率	1.6%	2.1%	25.0%	35.0%	市債の元利償還金等の一般会計等に対する負担を判断する指標（一般会計等が、負担しなければならない元利償還金等の標準財政規模に対する比率）
将来負担比率	—	—	350.0%		一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の一般会計等に対する負担を判断する指標（一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率）

※ 実質赤字比率と連結実質赤字比率は、黒字のため「—」で表示している。

※ 将来負担比率は、充当可能財源等が将来負担額を上回り、算定されなかったため「—」で表示している。

## イ 資金不足比率

特別会計の名称	30年度決算	29年度決算	経営健全化基準
水道事業会計	—	—	20.0%
公共下水道事業会計	—	—	20.0%

※ 資金不足比率は、各会計で不足額が生じていないため「—」で表示している。

#### (4) 都市計画税の用途

平成 30 年度に実施した都市計画税充当対象事業費 21 億 4,035 万 5 千円(下水道事業含む)に対して、都市計画税 16 億 6,581 万 2 千円を次のとおり充当した。

対 象 事 業		都市計画税充当額(千円)
街路事業	府営事業負担金	89
下水道事業	下水道事業	535,248
その他事業	黄檗公園再整備 他	6,373
公債費(下水道事業分含む)		1,124,102
合 計		1,665,812

#### (5) 全会計市債等現在高

	30 年度末 (千円)	29 年度末 (千円)	増減額 (千円)	伸び率 (%)
全会計市債等現在高	92,406,521	92,612,757	△206,236	△0.2
一般会計	44,583,263	44,892,690	△309,427	△0.7
墓地公園事業特別会計	12,499	18,793	△6,294	△33.5
水道事業会計	5,980,869	5,791,347	189,522	3.3
公共下水道事業会計	41,829,890	41,909,927	△80,037	△0.2

**(6) 地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費**

平成26年4月1日より消費税率が5%から8%へ引き上げられたことに伴い、地方消費税交付金の増収分については、その用途を明確化し、社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費に充てるものとされています。

平成30年度一般会計における社会保障施策経費への充当状況については、次のとおりです。

【歳入】地方消費税交付金（社会保障財源化分） 1,453,000千円

【歳出】社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費 19,927,514千円

＜社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費＞ (単位：千円)

事業名	事業費	財源内訳					
		特定財源			一般財源		
		国府支出金	市債	その他	地方消費税交付金 (社会保障財源化分)	その他	
社会福祉	生活保護事業	2,557,155	1,934,102	0	3,268	84,944	534,841
	児童福祉事業	8,660,039	4,629,281	0	659,257	462,079	2,909,422
	母子福祉事業	4,040	0	0	1,299	376	2,365
	高齢者福祉事業	370,461	7,328	0	27,098	46,055	289,980
	障害者福祉事業	207,763	38,793	0	463	23,095	145,412
	その他社会福祉事業	263,560	13,584	0	4,488	33,645	211,843
	小計	12,063,018	6,623,088	0	695,873	650,194	4,093,863
社会保険	国民健康保険事業	1,392,864	826,166	0	0	77,668	489,030
	後期高齢医療事業	2,290,561	299,868	0	0	272,833	1,717,860
	介護保険事業	1,908,651	0	0	0	261,590	1,647,061
	小計	5,592,076	1,126,034	0	0	612,091	3,853,951
保健衛生	母子保健事業	509,024	141,210	0	3,710	49,902	314,202
	高齢者医療事業	156,540	83,318	0	88	10,023	63,111
	障害者医療事業	1,018,016	631,213	0	5,562	52,251	328,990
	疾病予防対策事業	438,309	959	0	2,258	59,631	375,461
	健康増進対策事業	82,656	1,787	0	519	11,012	69,338
	その他保健事業	67,875	6,874	0	3,391	7,896	49,714
	小計	2,272,420	865,361	0	15,528	190,715	1,200,816
合計	19,927,514	8,614,483	0	711,401	1,453,000	9,148,630	

※ 地方消費税交付金（社会保障財源化分）は、各事業に要する一般財源の比率に応じて充当している。

(7) 平成30年度 普通会計決算状況調査

262048	宇治市			
市町村類型	IV - 3			
交付税種地	I - 5			
産業構造	区分	第1次	第2次	第3次
	27国調	574人	19,292人	55,354人
		0.8%	25.6%	73.6%
	22国調	496人	20,332人	55,538人
0.6%		26.6%	72.7%	

(単位:千円)

人口	国調	27年	184,678人	△2.6%	面積	67.54km <sup>2</sup>	
		22年	189,609人	0.0%			
		17年	189,591人	0.3%			
	住基	H31.1.1	187,138人	△0.4%	人口集中地区人口	27国調	180,546人
		H30.1.1	187,901人	△0.4%			
		H29.1.1	188,674人	△0.5%			
				世帯数	H31.1.1	83,731世帯	

区分		平成30年度	平成29年度	増減率	区分	平成30年度	平成29年度
歳入総額	A	62,070,855	63,771,423	△2.7%	財政力指数(単年/3力年)	0.746	0.753
歳出総額	B	61,599,097	63,310,327	△2.7%	歳出決算倍率	1.764	1.826
歳入歳出差引(A-B)	C	471,758	461,096	2.3%	実質収支比率	0.8 %	0.5 %
翌年度に繰り越すべき財源	D	186,471	275,930	△32.4%	経常一財等比率	96.7 %	95.4 %
実質収支(C-D)	E	285,287	185,166	54.1%	公債費負担比率	13.3 %	14.2 %
単年度収支	F	100,121	△ 52,271	291.5%	公債費比率(単年/3力年)	6.5%	7.5%
積立金	G	452,646	2,595	17343.0%	起債制限比率(単年/3力年)	5.5%	6.3%
繰上償還金	H	8,914	0	皆増	地方債残高比率	125.9 %	127.5 %
積立金取崩し額	I	0	670,000	皆減	実質債務残高比率	138.1 %	134.5 %
実質単年度収支(F+G+H-I)	J	561,681	△ 719,676	178.0%	経常収支比率	95.8 %	98.9 %
基準財政収入額		19,943,169	19,862,798	0.4%	経常収支比率(臨財・減税除)	103.4 %	106.0 %
基準財政需要額		26,727,900	26,593,344	0.5%	健全化判断比率	平成30年度	平成29年度
標準税収入額等		25,474,867	25,355,301	0.5%	実質赤字比率	-	-
標準財政規模		34,917,116	34,679,499	0.7%	連結実質赤字比率	-	-
地方債現在高		43,955,626	44,230,663	△0.6%	実質公債費比率(単年/3力年)	0.8%	1.6%
債務負担行為翌年度以降支出予定額		4,262,971	2,406,273	77.2%	将来負担比率	-	-

一般職の状況(H31.4.1)				特別職等の給料月額			収益事業収入:なし	
区分	平均年齢	職員数	平均給料月額	区分	1人あたり平均給料(報酬)	改定実施年月日	一部事務組合加入状況	
一般職員	39.67 歳	826 人	309,689 円	市長	967,500 円	H30.4.1より	城南衛生管理組合 淀川木津川水防事務組合 京都府自治会館管理組合 京都府住宅新築資金等貸付事業管理組合 京都府後期高齢者医療広域連合 京都地方税機構	
教育公務員	44.75 歳	32 人	338,713 円	副市長	823,400 円	〃		
消防関係職員	40.25 歳	209 人	326,147 円	教育長	730,050 円	〃		
技能労務職員	44.17 歳	189 人	331,893 円	議長	635,000 円	H15.12.1より		
臨時職員	-	-	-	副議長	585,000 円	〃		
合計	40.58 歳	1,256 人	316,508 円	議員	535,000 円	〃		
ラスパイレス指数(H30.4.1)			102.7					

地方債現在高			基金現在高		会計別決算状況(決算統計数値)			
政府資金(旧郵政公社)	機構(旧公庫)	市中銀行	財政調整	2,295,053	会計名	歳入総額	歳出総額	他会計繰入金
23,144,914	5,974,149	7,130,060	減債	1,732,882	国保特会	19,196,508	19,196,508	1,392,864
保険会社等	その他	合計	土地開発	1,444,119	後期高齢特会	2,795,451	2,707,050	535,897
0	7,706,503	43,955,626	退職手当	11,588	介護特会	14,762,979	14,531,732	2,031,657
減収補てん債		臨時財政対策債	その他	3,335,820				
発行額	0	発行額	2,657,400	合計	8,819,462			

(単位:千円・%)

歳入						歳出(性質別)						
区分	決算額	構成比	経常一財等	構成比		区分	決算額	構成比	充当一財等	経常一財等	経常収支比率	
地方税	24,109,647	38.8	22,443,835	66.4		人件費	11,667,007	18.9	10,597,753	10,395,820	28.5	
地方譲与税	343,049	0.5	343,049	1.0		うち職員給	8,334,496	13.5	7,549,365	7,493,570	20.6	
利子割交付金	46,737	0.1	46,737	0.1		扶助費	18,495,550	30.0	5,737,538	5,722,735	15.7	
配当割交付金	155,935	0.3	155,935	0.5		公債費	5,474,861	8.9	5,232,075	5,223,161	14.3	
株式等譲渡所得割交付金	118,580	0.2	118,580	0.4		元利償還金	5,457,612	8.9	5,214,826	5,205,912	14.2	
地方消費税交付金	3,079,252	5.0	3,079,252	9.1		一借利子	17,249	0.0	17,249	17,249	0.1	
ゴルフ場利用税交付金	30,382	0.1	30,382	0.1		(義務的経費計)	35,637,418	57.8	21,567,366	21,341,716	58.5	
特別地方消費税交付金	0	0.0	0	0.0		物件費	6,139,492	10.0	4,911,394	4,496,662	12.3	
自動車取得税交付金	154,695	0.2	154,695	0.5		維持補修費	706,457	1.1	676,354	676,354	1.9	
地方特例交付金	135,100	0.2	135,100	0.4		補助費等	5,423,120	8.8	4,980,574	3,805,399	10.5	
地方交付税	7,113,989	11.5	6,784,731	20.1		うち一組負担金	1,703,871	2.8	1,703,871	1,250,295	3.4	
普通交付税	6,784,731	11.0	6,784,731	20.1		積立金	623,469	1.0	540,621	-	-	
特別交付税	329,258	0.5	-	-		投・出・貸付金	3,053,344	5.0	515,844	100,011	0.3	
小計	35,287,366	56.9	33,292,296	98.6		繰入金	5,670,391	9.2	4,520,386	4,484,119	12.3	
交通安全対策特別交付金	23,872	0.1	23,872	0.1		前年度繰上充用金	0	0.0	0	歳入一財等総額		
分担金及び負担金	440,263	0.7	0	0.0		投資的経費	4,345,406	7.1	1,150,908	39,335,205		
使用料	1,367,281	2.2	353,776	1.0		うち人件費	60,601	0.1	38,251	経常一般財源等		
手数料	130,557	0.2	0	0.0		普通建設	4,294,408	7.0	1,148,423	33,771,223		
国庫支出金	11,163,352	18.0	-	-		補助	1,389,563	2.3	35,474	臨時一般財源等		
国有提供施設等交付金	66,094	0.1	66,094	0.2		単独	2,897,116	4.7	1,112,020	5,563,982		
府支出金	4,805,627	7.7	-	-		府営事業負担金	7,729	0.0	929	経常経費充当一財等		
財産収入	312,241	0.5	26,538	0.1		災害復旧	50,998	0.1	2,485	34,904,261		
寄付金	114,460	0.2	-	-		歳出合計	61,599,097	100.0	38,863,447			
繰入金	168,351	0.3	-	-		歳出(目的別)						
繰越金	461,096	0.7	-	-		区分	決算額 A	構成比	うち普通建設	Aの充当一財等		
諸収入	2,818,295	4.5	8,647	0.0		議会費	443,425	0.7	0	443,425		
地方債	4,912,000	7.9	-	-		総務費	5,321,799	8.6	513,051	4,637,278		
歳入合計	62,070,855	100.0	33,771,223	100.0		民生費	28,302,464	46.0	97,812	13,613,352		
市町村税の状況						衛生費	4,267,832	6.9	1,883	3,859,077		
						労働費	47,772	0.1	0	17,158		
法定普通税	区分	収入済額	構成比	前年比	基準税額/0.75	超過課税分	農林水産業費	298,101	0.5	19,614	220,256	
	市民税	個人均等割	296,842	1.2	0.3	297,361	-	商工費	1,902,601	3.1	55,154	409,995
		所得割	9,645,494	40.0	0.9	10,095,417	-	土木費	6,587,113	10.7	1,405,537	4,081,399
		法人均等割	384,329	1.6	1.3	338,723	63,433	消防費	2,116,232	3.4	35,445	2,094,028
		法人税割	1,412,800	5.9	73.0	667,253	279,827	教育費	6,785,899	11.0	2,165,912	4,252,919
	固定資産税	9,502,706	39.4	△ 0.3	9,237,565	-	災害復旧費	50,998	0.1	-	2,485	
	うち純固定資産税	9,393,595	39.0	△ 0.3	-	-	公債費	5,474,861	8.9	-	5,232,075	
	軽自動車税	303,770	1.3	△ 4.1	312,035	-	諸支出金	0	0.0	0	0	
	市町村たばこ税	897,894	3.7	△ 2.0	891,703	-	前年度繰上充用金	0	0.0	-	0	
	特別土地保有税	-	-	-	-	-	合計	61,599,097	100.0	4,294,408	38,863,447	
計	22,443,835	93.1	3.0	21,840,057	343,260	市税収入率						
目的税	都市計画税	1,665,812	6.9	△ 0.6	-	-	うち市民税	うち資産税		合計		
	計	1,665,812	6.9	△ 0.6	-	-	現年	99.07%	98.83%	98.96%		
合計	24,109,647	100.0	2.8	21,840,057	343,260	合計	97.32%	97.06%	97.21%			

# 部門別決算成果概要

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	危機管理室
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応	
小分類	01 安全・安心なまちづくり	

事務事業名	防災対策推進事業費	所管課	危機管理室						
		決算額	1,538千円						
事業内容	地域の防災力向上を図り、本市の防災対策を進めるため、市民参加の防災訓練を実施する。また、備蓄品等の計画的な更新整備を行うとともに、医療品等の点検、交換を行う。								
成果・実績	<p>日頃から地域の自主防災組織が中心となり、「自分たちのまちは自分たちで守る」を合言葉に、積極的に自主防災活動が展開されることを目的として、平成30年9月9日に防災訓練の実施を予定していたが、荒天予報により中止となった。自主防災リーダー養成講習を実施するとともに、自主防災リーダーのフォローアップ研修は計2回実施した。</p> <p>また、備蓄食糧としてカンパン、要配慮者生活用品として粉ミルク、紙おむつの購入を行った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%;">◎防災訓練開催費</td> <td style="text-align: right;">765千円</td> </tr> <tr> <td>◎自主防災リーダーフォローアップ研修会及び 自主防災リーダー養成講習会開催費</td> <td style="text-align: right;">12千円</td> </tr> <tr> <td>◎災害時用備蓄食糧及び要配慮者生活用品購入費</td> <td style="text-align: right;">688千円</td> </tr> </table> <div style="text-align: center;">  <p>自主防災リーダー養成講習</p> </div>			◎防災訓練開催費	765千円	◎自主防災リーダーフォローアップ研修会及び 自主防災リーダー養成講習会開催費	12千円	◎災害時用備蓄食糧及び要配慮者生活用品購入費	688千円
◎防災訓練開催費	765千円								
◎自主防災リーダーフォローアップ研修会及び 自主防災リーダー養成講習会開催費	12千円								
◎災害時用備蓄食糧及び要配慮者生活用品購入費	688千円								
事業評価	自主防災リーダーフォローアップ研修会及び自主防災リーダー養成講習会の実施等により、地域の防災力向上を図ることができた。今後も引き続き、災害発生時に重要となる関係機関との連携強化等を行うこと並びに自主防災リーダーの養成を行うことにより、さらなる地域の防災力の向上に努める必要がある。								

事務事業名	自主防災組織育成事業補助金	所管課	危機管理室						
		決算額	1,207千円						
事業内容	地域における自主的な防災訓練及び防災知識の啓発活動などを実施する町内会・自治会等に対して、防災訓練及び講演会などの取組に必要な事業費の2分の1（世帯数で上限を設定）を毎年助成する制度により、自主防災組織の育成を図る。								
成果・実績	<p>町内会・自治会等が実施する防災訓練等の経費に対し補助金を交付した。</p> <p>◎補助金交付実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">年度</th> <th style="width: 35%;">補助金交付額 (千円)</th> <th style="width: 50%;">交付団体数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30</td> <td>1,207</td> <td>32</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center;">  <p>町内会・自治会等の防災訓練</p> </div>			年度	補助金交付額 (千円)	交付団体数	30	1,207	32
年度	補助金交付額 (千円)	交付団体数							
30	1,207	32							
事業評価	自主的な防災訓練及び防災知識の啓発活動などを実施する町内会・自治会等に対して、補助金を交付することにより、地域防災力の向上を促進することができた。今後も引き続き、自主防災組織率の向上を図り、地域の継続的な自主防災活動及び避難行動要支援者の避難支援の促進に努める必要がある。								

# 平成30年度決算成果説明書

<b>総合計画の体系</b>		<b>所管部局</b>
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市長公室
中分類	01 住民自治の推進	
小分類	02 市民参画・協働の推進	

<b>事務事業名</b>	市民と市長の対話ミーティング事業費	<b>所管課</b>	秘書広報課
		<b>決算額</b>	40千円
<b>事業内容</b>	市民と市長の対話を通し市民参画・協働を推進するとともに地域力の向上を図ることにより、新しい宇治に向けたまちづくりを推進する。		
<b>成果・実績</b>	<p>それぞれの分野で活動する市民と活発な議論を行った。</p> <p>◎開催状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第19回 テーマ 手話言語条例をきっかけに 障害者のコミュニケーションを考える 日 時 8月7日（火）午後1時30分～3時 場 所 宇治市総合福祉会館</li> <li>・第20回 テーマ 魅力あるまち・宇治とは ～新成人が考える 住みたい、住み続けたいまち・宇治～ 日 時 9月14日（金）午前10時～11時30分 場 所 生涯学習センター</li> <li>・第21回 テーマ 「源氏物語のまち宇治」の魅力 ～源氏物語ミュージアム20周年を迎えて～ 日 時 11月22日（木）午後2時～3時30分 場 所 源氏物語ミュージアム</li> <li>・第22回 テーマ 商店・地域を盛り上げる商店会の活動について 日 時 平成31年3月17日（日）午前10時30分～11時10分 場 所 スーパーマツモト 宇治小倉店</li> </ul> <div style="text-align: right;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div>		
<b>事業評価</b>	市民と活発な議論を行うことにより、市民参画・協働の推進及び地域力向上を図ることができた。今後も様々な分野・年齢層の市民意見を市政に反映できるよう、取組のあり方を検討していく必要がある。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	市長公室
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	02 広報・広聴活動の充実	

事務事業名	コミュニティ放送広報活動費	所管課	秘書広報課
		決算額	24,202千円
事業内容	コミュニティ放送は市民に身近で手軽なメディアであり、その特質を十分活かして、地域の生活文化の発信基地として地域に密着した番組をきめ細かく提供する。また、災害時において、有効な情報伝達媒体として市民に発信することができる。		
成果・実績	エフエム宇治放送を活用し、市政情報を伝える番組を月曜日から金曜日まで毎日30分間流したほか、環境問題及び男女共同参画などの啓発スポット放送を流した。平成30年の大阪府北部地震及び、夏季に発生した大雨や台風接近時等には、災害時の情報伝達媒体としてその役割を果たした。		
事業評価	市内唯一のコミュニティ放送であるエフエム宇治放送を活用することにより、市民に広く市政情報の発信ができた。今後も引き続き放送内容の充実を図るとともに、より効果的な災害時の対応などを検討する必要がある。		

事務事業名	市政だより発行費	所管課	秘書広報課
		決算額	31,115千円
事業内容	市政に関することを市民に知らせるため、広報誌「宇治市政だより」を月2回（1日・15日）発行する。		
成果・実績	<p>誌面デザインの一部を外部委託するなどを通じて、市政情報の効果的な発信を図った。ポスティングにより、市内全戸へ配布している。</p> <p>◎年間発行部数 <span style="float: right;">1,957,800部</span></p> <p>平成30年9月1日発行の「源氏物語特集号」が、平成30年度京都広報賞（京都府広報協議会実施）において、広報誌の部門の最高位「京都府知事賞」を受賞した。</p> <div style="text-align: right;">  </div>		
事業評価	今後も引き続き、より読みやすく分かりやすい誌面構成に努めるとともに、効果的な市政情報の発信手法を検討する必要がある。		

# 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	市長公室
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	02 広報・広聴活動の充実	

事務事業名	広報活動費	所管課	秘書広報課
		決算額	1,531千円
事業内容	<p>広報活動の充実のために、報道機関に対する報道連絡、記者発表の開催、市ホームページの運用などを行う。また、市の施策をはじめ、文化、観光などに関する情報を、職員が制作する映像でわかりやすく放映する。</p>		
成果・実績	<p>宇治日刊記者クラブに対し、報道資料の提供及び市長定例会見をはじめとする記者発表を行った。 また、宇治市宣伝大使ちはや姫の利用範囲を営利活動にまで拡大するなど、広報活動の拡充に取り組んだ。 さらに、インターネット動画サイトを活用し市公式サイト「宇治市ちはや茶んねる」で、宇治市長とゲストが対談を行う「新春対談」を発信したほか、市の施策に関する動画を掲載し同様に発信した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   <div style="text-align: center;"> <p>女子サッカー選手 林 穂之香 セレッソ大阪堺レディース #10</p> <p>×</p> <p>宇治市長 山本 正</p> </div> </div>		
事業評価	<p>市ホームページ、報道機関を通じて積極的な情報提供を図ることにより、市内外の多くの人への広報に努めることができた。また、キャラクター及びSNSを活用したプロモーション活動の充実にも努めることができた。市政情報の発信において、より市民に理解されるよう効果的な手法を検討する必要がある。</p>		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	06 信頼される都市経営のまち	市長公室
<b>中分類</b>	02 国際化の推進と平和への貢献	
<b>小分類</b>	01 国際化・広域交流活動の推進	

事務事業名	国際交流促進事業費	所管課	秘書広報課
		決算額	5,024千円
事業内容	友好都市盟約の趣旨に則り、相互の友好交流を促進する。		
成果・実績	<p>咸陽市との小学生文通事業、ヌワラエリヤ市公式訪問団の来訪、カムループス市への中学生訪問団の派遣及びトンプソン・リバーズ大学への市民留学生の派遣などにより、友好都市との交流を深めた。</p> <p>◎咸陽市交流促進費 <span style="float: right;">70千円</span></p> <p>◎ヌワラエリヤ市交流促進費 <span style="float: right;">576千円</span></p> <p style="padding-left: 20px;">・ヌワラエリヤ市公式訪問団来訪 5人 <span style="float: right;">10月17日～10月18日</span></p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <p>◎カムループス市交流促進費 <span style="float: right;">4,377千円</span></p> <p style="padding-left: 20px;">・市中学生訪問団の派遣 <span style="float: right;">7月27日～8月2日</span></p> <p style="padding-left: 40px;">市内在住の中学生 <span style="float: right;">12人</span></p> <p style="padding-left: 40px;">引率者（市職員・中学校教諭） <span style="float: right;">2人</span></p> <p style="padding-left: 20px;">・トンプソン・リバーズ大学市民留学生の派遣 <span style="float: right;">2人</span></p>		
事業評価	公式訪問団の来訪及び市民留学生の派遣などにより、友好都市との市民間の国際交流を促進し、友好を深めることができた。今後は、より多くの分野での市民間交流の発展に向けて、交流及び情報発信の手法などを検討する必要がある。		

# 平成30年度決算成果説明書

<b>総合計画の体系</b>		<b>所管部局</b>
大分類	06 信頼される都市経営のまち	市長公室
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進	
小分類	04 効果的な組織機構の確立と職員の人材育成	

<b>事務事業名</b>	職員研修費	<b>所管課</b>	人事課
		<b>決算額</b>	5,222千円
<b>事業内容</b>	宇治市職員の研修に関する規程に基づき、職務の遂行に必要な知識、技能の向上を図るとともに、職員としての資質と教養を高めるため、職員研修を実施する。		
<b>成果・実績</b>	<p>人口減少社会を迎えた今、市民ニーズを的確に把握する中で、時代の変化を敏感に察知し、活力にあふれ持続的に発展する魅力ある宇治市を築いていくため、「宇治市職員人材育成基本方針」に基づく研修を実施し、職員の育成に努めた。</p> <p>◎主な研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職研修…所属長を対象に、管理職としての責任を自覚するとともに、行政を総合的に推進することを目指し意識改革を図った。</li> <li>・新任管理職・監督者研修…職場の労務管理、服務、また、監督者の役割を把握し、管理職・監督者としての資質の向上を図った。</li> <li>・階層別研修…初級・中級職員を対象に人権研修を行いまた、職場における立場及び役割の自覚を促し意識改革を図った。</li> </ul> <p>◎求められる職員像</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「創造する職員」             <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期的かつ多面的な視野で新しい宇治市を創造【Create】</li> </ul> </li> <li>(2) 「ニーズや変化をキャッチする職員」             <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民ニーズを的確に把握、時代の変化を敏感に察知【Catch】</li> </ul> </li> <li>(3) 「チャレンジする職員」             <ul style="list-style-type: none"> <li>・困難な状況や課題に対して前向きに挑戦【Challenge】</li> </ul> </li> <li>(4) 「コミュニケーション能力の高い職員」             <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民から信頼される誠実な対応、周囲との積極的な意思疎通【Communicate】</li> </ul> </li> <li>(5) 「市民と協働する職員」             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方々と連携し、市民参加・協働を促進【Collaborate】</li> </ul> </li> </ol> <p>◎基本研修 新規採用職員研修、初級職員研修、中級職員研修、管理職研修など</p> <p>◎特別研修 人権研修、安全運転研修、メンタルヘルス研修、おもてなし研修など</p> <p>◎派遣研修 京都府市町村振興協会、全国市町村国際文化研修所、自治大学校など</p>		
<b>事業評価</b>	各種研修の実施により、職務の遂行に必要な知識、技能の向上等を図った。今後も、階層別職員の実務能力及び管理監督者の管理能力の向上のため、きめ細かい研修等により、計画的・効果的な人材育成に取り組む必要がある。		



管理職研修



新規採用職員研修

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	市長公室
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進	
小分類	03 行政サービスの充実	

事務事業名	職員健康管理費	所管課	職員厚生課
		決算額	23,986千円
事業内容	職員の健康管理、疾病予防のための各種健康診断業務及びメンタルヘルス対策を講じるための相談業務などを行う。		
成果・実績	<p>定期健康診断等（文書報告含む）の受診率は99.8%であり、生活習慣改善教室及び産業医による個別指導等の事業を行い、職員の意識向上に努めた。</p> <p>メンタルヘルス対策については、「宇治市職員のメンタルヘルスケアプラン」の改正を行い、宇治市健康管理委員会を立ち上げる等、予防から再発防止までのメンタルヘルス対策の推進の強化を図った。</p> <p>「労働安全衛生法」の規定に基づき、月45時間以上の超過勤務者（延べ262人）に対し健康調査を行い、健康状態の把握に努めるとともに、特に月80時間超（延べ15人）及び月100時間超（延べ4人）の超過勤務者を含む85人に対して産業医による面接指導を行い、メンタルヘルス不調及び疾病の予防に努めた。</p> <p>◎職員健康管理医師報酬 <span style="float: right;">1,440千円</span>                      産業医、職員の健康診断の実施及び健康管理についての指導・助言                      長時間超過勤務者の面談、安全衛生管理業務、安全衛生委員会委員</p> <p>◎心の相談等医師謝礼（メンタルヘルス対策） <span style="float: right;">944千円</span>                      相談事業の実施、メンタルヘルス研修会、メンタルヘルス対策の推進</p> <p>◎職員（嘱託含む）各種健診手数料 <span style="float: right;">11,605千円</span>                      定期健康診断、B型肝炎血液検査、深夜業務健康診断など</p> <p>◎特殊健康診断等委託料 <span style="float: right;">9,516千円</span>                      二次健診、生活習慣改善教室・個別指導、頸腕・腰痛健康診断、                      VDT作業従事者健康診断、各種健診の有所見者事業、卒煙セミナー等禁煙指導など</p>		
事業評価	「労働安全衛生法」に基づき、事業者として実施する職員の定期健康診断をはじめ、各種健診等を実施し、健康状態の把握及び疾病防止とメンタルヘルス対策について正しい情報を提供することにより、職員の健康増進を図ることができた。今後も引き続き、職員の健康の保持・増進に努める。		

## 平成30年度決算成果説明書

<b>総合計画の体系</b>		<b>所管部局</b>
<b>大分類</b>	06 信頼される都市経営のまち	政策経営部
<b>中分類</b>	03 行政改革・適正な行政運営の推進	
<b>小分類</b>	02 行政改革の推進	

<b>事務事業名</b>	行政改革審議会運営費	<b>所管課</b>	行政経営課
		<b>決算額</b>	111千円
<b>事業内容</b>	社会経済情勢の変化に対応した簡素にして効率的な市政の推進及び行政改革の適切な進行管理を図るため、審議会を設置し行政改革大綱策定及び行政改革推進に必要な事項について調査及び審議、意見交換などを行う。		
<b>成果・実績</b>	宇治市行政改革審議会を1回開催し、市民公募を含めた各委員から意見を聞き、「宇治市第6次行政改革実施計画」(計画期間:平成25~29年度)の最終年度の単年度評価及び第6次行政改革の総括を実施した。		
<b>事業評価</b>	審議会を開催し、「宇治市第6次行政改革実施計画」の総括を実施することにより、市の行政改革の推進を図ることができた。今後も第7次行政改革実施計画の適切な進行管理により、行政改革の徹底に努める必要がある。		

<b>事務事業名</b>	ふるさと応援寄付金(歳入)	<b>所管課</b>	行政経営課																								
		<b>決算額</b>	70,080千円																								
<b>事業内容</b>	自治体に寄付をすると住民税等が控除となるふるさと納税制度について、本市では「ふるさと宇治のまちづくりの応援のお願い」の取組として、平成20年10月から実施している。																										
<b>成果・実績</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品目数</td> <td>-</td> <td>34</td> <td>109</td> <td>123</td> <td>138</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>26</td> <td>1,403</td> <td>2,607</td> <td>3,058</td> <td>3,410</td> </tr> <tr> <td>金額(千円)</td> <td>1,397</td> <td>37,842</td> <td>63,095</td> <td>77,948</td> <td>70,080</td> </tr> </tbody> </table> <p>※品目数は、各年度3月31日現在の数          ◎平成30年10月にお礼の特典を拡充した。</p> <div style="text-align: right;">  </div>			年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	品目数	-	34	109	123	138	件数	26	1,403	2,607	3,058	3,410	金額(千円)	1,397	37,842	63,095	77,948	70,080
年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度																						
品目数	-	34	109	123	138																						
件数	26	1,403	2,607	3,058	3,410																						
金額(千円)	1,397	37,842	63,095	77,948	70,080																						
<b>事業評価</b>	市内外の方からの寄付を市政運営に役立てることができた。引き続き本市のPRのためにも、制度のさらなる広報及び内容の充実を図る必要がある。																										

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	06 信頼される都市経営のまち	政策経営部
<b>中分類</b>	03 行政改革・適正な行政運営の推進	
<b>小分類</b>	05 まちの魅力を活用した地方創生の推進	

事務事業名	まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議運営費	所管課	行政経営課
		決算額	190千円
事業内容	平成27年度に策定した「宇治市人口ビジョン」及び「宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、人口減少への歯止め等を目指して、各種施策を実施するとともに、市民をはじめ産学官金労言を含めた宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議を開催し進捗管理を行う。		
成果・実績	「宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（計画期間：平成27～31年度）の平成29年度の実績を受け、宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議を1回開催した。市民をはじめ産学官金労言の各委員からの意見も踏まえながら重要業績評価指標（KPI）の目標値の見直しを行った。		
事業評価	宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議を開催し、幅広い階層で構成された各委員からの意見も踏まえながら重要業績評価指標（KPI）の目標値の見直しを行うことにより、人口対策の充実を図ることができた。今後も総合戦略の適切な進捗管理に努める必要がある。		

# 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実
小分類	01 市民参加機会の充実と情報公開の推進

所管部局
政策経営部

事務事業名	各種統計調査費	所管課	政策推進課
		決算額	8,509千円
事業内容	<p>「統計法」の規定に基づき、市が国の法定受託事務を行い、人口・経済・社会情勢等について実態を把握する。</p>		
成果・実績	法定受託事務として、下表の基幹統計に関する業務を実施した。		
	名称 (所管)	調査期日 (周期・方法)	調査対象・目的等
	学校基本調査 (文部科学省)	30年5月1日 (毎年・ 全数調査)	幼稚園、小・中学校、専修学校などの生徒、教員などの人数及び施設などを調査し、学校に関する基礎資料を得る。
	住宅・土地 統計調査 (総務省)	30年10月1日 (5年毎・ 標本調査)	住宅及び住宅以外で人が居住する建物や世帯に関する実態を調査し、住生活関連施策の基礎資料を得る。
	工業統計調査 (経済産業省)	30年6月1日 (毎年実施・ 経済センサス- 活動調査実施 年は中止・ 裾切り調査)	製造業を営む事業所を対象に、従業者数、出荷額等の調査を行い、工業に関する施策の基礎資料を得る。
	経済センサス 調査区管理 (総務省)	—	調査実施上の支障が生じないように、必要に応じ調査区を修正する。また追加された事業所情報等について、調査区の確認を行う。
	経済センサス -基礎調査 (総務省)	令和元年6月～ 2年3月 (5年毎・全数 調査)	令和元年6月～2年3月にかけて調査を行う経済センサス-基礎調査を実施するための準備作業を行った。
	国勢調査準備 (総務省)	令和2年10月1 日(5年毎・ 全数調査)	令和2年10月1日が調査期日となっている国勢調査を実施するための準備作業を行った。
	農林業 センサス (農林水産省)	令和2年2月1日 (5年毎・ 全数調査)	令和2年2月1日が調査期日となっている農林業センサスを実施するための準備作業を行った。
		<p>◎調査員確保対策事業(所管：総務省) 48千円 統計調査員の募集チラシを作成し、市内公共施設に配架を行い、登録調査員の確保を図った。</p>	
事業評価	調査員と連携し、各種統計調査を適正に実施したことにより、本市の人口・経済・社会情勢等の実態を把握し、各施策に活用することができた。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系	
<b>大分類</b>	06 信頼される都市経営のまち
<b>中分類</b>	03 行政改革・適正な行政運営の推進
<b>小分類</b>	02 行政改革の推進

所管部局
政策経営部

事務事業名	職員提案制度費	所管課	政策推進課
		決算額	59千円
<b>事業内容</b>	職員の研究意欲及び市政への参加意欲を高めるとともに、行政需要の多様化・高度化に対応した市政の推進と事務事業の効率化を図ることを目的に、政策立案及び事務改善に関する職員提案並びに事務事業の改善に効果を挙げている取組を募り、特に効果が期待できる提案及び実績が挙げられている事例を対象とし褒賞・表彰する。		
<b>成果・実績</b>	<p>◎応募件数      38 件   （うち政策提案19件、事務改善提案16件、実績提案3件）</p> <p>◎努力賞            5 件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇治観光町歩きアプリの共同開発</li> <li>・窓口における申請書の一括作成</li> <li>・市役所ロビー及び観光センター設置のお茶用紙コップに有料広告を掲載する</li> <li>・らいふる！ （来年もふるさと納税よろしく申し上げます！ふるさと納税の継続的支援に向けた方策）</li> <li>・ふるさと納税に宇治川マラソン大会出走権とネーミングライツを提供</li> </ul> <p>◎実績表彰          3 件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・窓口案内システム(市民課・国民健康保険課)の導入による窓口来庁者サービスの向上</li> <li>・5S活動推進提案</li> <li>・自治体向けクラウドファンディング</li> </ul>		
<b>事業評価</b>	職員提案を募り、優れた提案を表彰することにより、職員の積極的な政策立案と事務改善につなげることができた。今後は、政策研究費とともに再編し、さらなる提案内容の充実及び職員の意識向上に向けた制度とする。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	04 計画的・効率的な行政財政運営の確立

所管部局
政策経営部

<b>事務事業名</b>	有料広告評価委員会運営費	<b>所管課</b>	政策推進課																																																																	
		<b>決算額</b>	49千円																																																																	
<b>事業内容</b>	本市の公共媒体等に掲載する広告内容について、行政所管の媒体として掲載がふさわしいか、第三者の視点で意見をもらうため外部有識者等による宇治市有料広告評価委員会を設置し、専門的な見地で精査を行う。																																																																			
<b>成果・実績</b>	<p>宇治市有料広告評価委員会を開催し、市が発行する市政だよりに掲載する広告及び市ホームページにかかるバナー広告などの内容等について精査した。</p> <p>◎宇治市有料広告評価委員会      開催数      1回</p> <p>◎広告料収入実績（効果額）</p> <p style="text-align: right;">（千円）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">媒体名</th> <th style="width: 12.5%;">27年度</th> <th style="width: 12.5%;">28年度</th> <th style="width: 12.5%;">29年度</th> <th style="width: 12.5%;">30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホームページバナー</td> <td style="text-align: right;">1,250</td> <td style="text-align: right;">1,250</td> <td style="text-align: right;">5,915</td> <td style="text-align: right;">7,031</td> </tr> <tr> <td>市政だより</td> <td style="text-align: right;">2,600</td> <td style="text-align: right;">2,600</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民カレンダー</td> <td style="text-align: right;">216</td> <td style="text-align: right;">312</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td>車両（公用車・ごみ収集車・水道）</td> <td style="text-align: right;">1,347</td> <td style="text-align: right;">1,950</td> <td style="text-align: right;">1,980</td> <td style="text-align: right;">1,122</td> </tr> <tr> <td>トイレ壁面・公共施設マップ</td> <td style="text-align: right;">713</td> <td style="text-align: right;">778</td> <td style="text-align: right;">778</td> <td style="text-align: right;">778</td> </tr> <tr> <td>窓口用封筒</td> <td style="text-align: right;">300</td> <td style="text-align: right;">300</td> <td style="text-align: right;">300</td> <td style="text-align: right;">300</td> </tr> <tr> <td>源氏物語ミュージアム事業案内リーフレット</td> <td style="text-align: right;">140</td> <td style="text-align: right;">140</td> <td style="text-align: right;">140</td> <td style="text-align: right;">140</td> </tr> <tr> <td>宇治子育て情報誌</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: right;">5,000</td> <td style="text-align: right;">5,000</td> <td style="text-align: right;">5,000</td> </tr> <tr> <td>窓口案内システム</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: right;">7,043</td> <td style="text-align: right;">704</td> </tr> <tr> <td>婚姻届及び記載例等冊子</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: right;">120</td> </tr> <tr> <td>総合情報誌（くらしの便利帳）</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: right;">30,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: right;">6,566</td> <td style="text-align: right;">12,330</td> <td style="text-align: right;">21,156</td> <td style="text-align: right;">45,195</td> </tr> </tbody> </table>			媒体名	27年度	28年度	29年度	30年度	ホームページバナー	1,250	1,250	5,915	7,031	市政だより	2,600	2,600			市民カレンダー	216	312	/	/	車両（公用車・ごみ収集車・水道）	1,347	1,950	1,980	1,122	トイレ壁面・公共施設マップ	713	778	778	778	窓口用封筒	300	300	300	300	源氏物語ミュージアム事業案内リーフレット	140	140	140	140	宇治子育て情報誌	/	5,000	5,000	5,000	窓口案内システム	/	/	7,043	704	婚姻届及び記載例等冊子	/	/	/	120	総合情報誌（くらしの便利帳）	/	/	/	30,000	合計	6,566	12,330	21,156	45,195
媒体名	27年度	28年度	29年度	30年度																																																																
ホームページバナー	1,250	1,250	5,915	7,031																																																																
市政だより	2,600	2,600																																																																		
市民カレンダー	216	312	/	/																																																																
車両（公用車・ごみ収集車・水道）	1,347	1,950	1,980	1,122																																																																
トイレ壁面・公共施設マップ	713	778	778	778																																																																
窓口用封筒	300	300	300	300																																																																
源氏物語ミュージアム事業案内リーフレット	140	140	140	140																																																																
宇治子育て情報誌	/	5,000	5,000	5,000																																																																
窓口案内システム	/	/	7,043	704																																																																
婚姻届及び記載例等冊子	/	/	/	120																																																																
総合情報誌（くらしの便利帳）	/	/	/	30,000																																																																
合計	6,566	12,330	21,156	45,195																																																																
<b>事業評価</b>	宇治市有料広告評価委員会を開催し、広報誌等に掲載する広告の内容及び審査方法について意見を受けることにより、広告の審査事務の改善を図ることができた。引き続き委員会を開催し、公共媒体にふさわしい広告事業を推進していく必要がある。																																																																			

# 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系	
<b>大分類</b>	06 信頼される都市経営のまち
<b>中分類</b>	03 行政改革・適正な行政運営の推進
<b>小分類</b>	04 計画的・効率的な行財政運営の確立

所管部局
政策経営部

<b>事務事業名</b>	政策研究費	<b>所管課</b>	政策推進課																										
		<b>決算額</b>	883千円																										
<b>事業内容</b>	先進自治体の優れた制度を取り入れるとともに、本市の組織レベルの課題解決能力及び政策立案能力を高めるため、調査・研究等を行う。																												
<b>成果・実績</b>	<p>庁内で募集した研究課題の中から市民ニーズ等を踏まえて採択し、担当課において研究を行った。</p> <p>◎採択事業一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">担当課</th> <th>研究テーマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総務課</td> <td>空き家を利活用した市民活動の拠点整備についての検討</td> </tr> <tr> <td>文化自治振興課</td> <td>今後の調査広聴等の施策研究について</td> </tr> <tr> <td>ごみ減量推進課</td> <td>市民の不用品を「ウジオク！ウジカリ」で売却し環境教育に活用する研究について</td> </tr> <tr> <td>ごみ減量推進課</td> <td>家庭ごみの減量化等に関する調査研究</td> </tr> <tr> <td>障害福祉課</td> <td>障害者及び生活困窮者等の就労相談等について</td> </tr> <tr> <td>保健推進課</td> <td>宇治市保健師の保健活動の最適化についての研究</td> </tr> <tr> <td>建築指導課</td> <td>京都府住宅・建築物安全ストック形成等整備計画に基づくアクションプログラムの有効な実施手法について</td> </tr> <tr> <td>建築指導課</td> <td>建築確認審査業務効率の改善</td> </tr> <tr> <td>交通政策課</td> <td>(仮称)宇治市公共交通体系(公共交通網形成計画)策定に向けた現状分析</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎京都文教大学・短期大学との共同研究</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="width: 30%;">危機管理室</td> <td>災害時における備蓄食糧の活用について</td> </tr> <tr> <td>ごみ減量推進課</td> <td>ごみ減量化に向けた大学リユース市の研究について</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎京都府立大学との共同研究</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="width: 30%;">都市計画課</td> <td>近鉄小倉駅周辺地域における市民との協働型まちづくりのあり方検討</td> </tr> </tbody> </table>			担当課	研究テーマ	総務課	空き家を利活用した市民活動の拠点整備についての検討	文化自治振興課	今後の調査広聴等の施策研究について	ごみ減量推進課	市民の不用品を「ウジオク！ウジカリ」で売却し環境教育に活用する研究について	ごみ減量推進課	家庭ごみの減量化等に関する調査研究	障害福祉課	障害者及び生活困窮者等の就労相談等について	保健推進課	宇治市保健師の保健活動の最適化についての研究	建築指導課	京都府住宅・建築物安全ストック形成等整備計画に基づくアクションプログラムの有効な実施手法について	建築指導課	建築確認審査業務効率の改善	交通政策課	(仮称)宇治市公共交通体系(公共交通網形成計画)策定に向けた現状分析	危機管理室	災害時における備蓄食糧の活用について	ごみ減量推進課	ごみ減量化に向けた大学リユース市の研究について	都市計画課	近鉄小倉駅周辺地域における市民との協働型まちづくりのあり方検討
担当課	研究テーマ																												
総務課	空き家を利活用した市民活動の拠点整備についての検討																												
文化自治振興課	今後の調査広聴等の施策研究について																												
ごみ減量推進課	市民の不用品を「ウジオク！ウジカリ」で売却し環境教育に活用する研究について																												
ごみ減量推進課	家庭ごみの減量化等に関する調査研究																												
障害福祉課	障害者及び生活困窮者等の就労相談等について																												
保健推進課	宇治市保健師の保健活動の最適化についての研究																												
建築指導課	京都府住宅・建築物安全ストック形成等整備計画に基づくアクションプログラムの有効な実施手法について																												
建築指導課	建築確認審査業務効率の改善																												
交通政策課	(仮称)宇治市公共交通体系(公共交通網形成計画)策定に向けた現状分析																												
危機管理室	災害時における備蓄食糧の活用について																												
ごみ減量推進課	ごみ減量化に向けた大学リユース市の研究について																												
都市計画課	近鉄小倉駅周辺地域における市民との協働型まちづくりのあり方検討																												
<b>事業評価</b>	行政課題を発見し、解決に向けて取り組むことにより、職員の政策立案能力の向上に資することができた。また、連携協定を結んでいる大学と共同研究を行うことで、専門的な知識を活かし、充実した研究を行うことができた。今後も引き続き、制度改善の検討を行い、幅広い行政分野での積極的な研究活動を促進する必要がある。																												

# 平成30年度決算成果説明書

<b>総合計画の体系</b>		<b>所管部局</b>
大分類	06 信頼される都市経営のまち	政策経営部
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進	
小分類	06 持続的なまちの発展を目指した取組の推進	

<b>事務事業名</b>	魅力発信プラットフォーム運営等事業費	<b>所管課</b>	政策推進課
		<b>決算額</b>	117千円
<b>事業内容</b>	<p>少子高齢社会の進展及び地方分権の推進による自治体間競争の激化が予測される時代であっても、多くの人に選ばれ持続的に発展するまちとなるため、「宇治市魅力発信行動指針」に基づき、市民、事業者、関係団体との協働により、本市の様々な魅力について発信する仕組みづくりを構築するなど具体的な取組を実施する。</p> <p>◎高校生版プラットフォーム「めっ茶、好きやねん!!～宇治に届け～」 開催数 5回</p> <p>プラットフォーム会議での意見を踏まえ、特に高校生のエネルギーをまちづくりに活かすことを目的に高校生版プラットフォーム会議「めっ茶、好きやねん!!～宇治に届け～」を開催し、企画、運営のイベントを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年10月発行「宇治市くらしの便利帳」の表紙デザインについて意見交換し表紙の構成に反映</li> <li>「宇治魅力発見ツアー」として市内のスポットを巡り、天ヶ瀬ダム観光利用について意見交換（11月11日）</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>宇治市くらしの便利帳表紙</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>宇治魅力発見ツアー 左: 萬福寺 右: 天ヶ瀬ダム</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>福井県坂井市主催「全国シティセールスストラップデザインコンテスト」へ高校生意見に基づきデザインを作成し、応募（平成31年2月） →応募総数398点から受賞作品に選出（府内初）</li> </ul> <div style="text-align: center;">  <p>受賞デザイン</p> </div> <p>◎高校生グループ対抗宇治のPR動画コンテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最優秀賞・宇治に届け賞（高校生審査員賞）同時受賞 1作品</li> <li>敢闘賞 1作品</li> </ul> <p>◎宇治魅力発信大使の委嘱</p> <p>「めっ茶、好きやねん!!～宇治に届け～」で活動していた高校生に、卒業後も宇治の魅力を全国に発信してもらうため、新たに8名を宇治魅力発信大使として委嘱した。</p>		
<b>事業評価</b>	<p>本市の様々な魅力を発信するため、市内高校生との協働により、若い発想を活かした幅広い取組を実施することができた。今後も市の魅力発信に向けて、より効果的な取組を検討する必要がある。</p>		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	政策経営部
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進	
小分類	05 まちの魅力を活用した地方創生の推進	

<b>事務事業名</b>	地方創生推進交付金（歳入）	<b>所管課</b>	財務課														
		<b>決算額</b>	98,435千円														
<b>事業内容</b>	<p>京都府全域において地域の文化資源を活用した観光振興や、文化の国際発信力の向上を図り、京都市に訪れる国内外の観光客をさらに拡大するとともに、それらを京都府全域への周遊へつなげていくため、圏域内の観光・交流・集客等に関する事業を民間事業者の創意工夫を引き出しながら一元的・総合的に実施できる体制を整備する。</p>																
<b>成果・実績</b>	<p>◎地方創生推進交付金</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">対象事業</th> <th style="width: 40%;">充当事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>お茶の京都DMO負担金</td> <td style="text-align: right;">8,928千円</td> </tr> <tr> <td>宇治の魅力推進事業</td> <td style="text-align: right;">68,739千円</td> </tr> <tr> <td>宇治ブランド発信事業</td> <td style="text-align: right;">12,000千円</td> </tr> <tr> <td>宇治観光基盤整備事業</td> <td style="text-align: right;">5,296千円</td> </tr> <tr> <td>お茶の宇治魅力発信事業</td> <td style="text-align: right;">3,472千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">98,435千円</td> </tr> </tbody> </table>			対象事業	充当事業費	お茶の京都DMO負担金	8,928千円	宇治の魅力推進事業	68,739千円	宇治ブランド発信事業	12,000千円	宇治観光基盤整備事業	5,296千円	お茶の宇治魅力発信事業	3,472千円	合 計	98,435千円
対象事業	充当事業費																
お茶の京都DMO負担金	8,928千円																
宇治の魅力推進事業	68,739千円																
宇治ブランド発信事業	12,000千円																
宇治観光基盤整備事業	5,296千円																
お茶の宇治魅力発信事業	3,472千円																
合 計	98,435千円																
<b>事業評価</b>	<p>交付金を活用して、市の観光資源の整備及びまちの魅力の積極的な発信に努めることができた。今後も、国の動向を注視し、各種事業の状況の把握、効果等の分析に努め、実施事業を検討する必要がある。</p>																

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	総務部
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応	
小分類	01 安全・安心なまちづくり	

<b>事務事業名</b>	安全・安心まちづくり推進事業費	<b>所管課</b>	総務課
		<b>決算額</b>	887千円
<b>事業内容</b>	地域における犯罪の発生を未然に防止するため、「宇治市安全・安心まちづくり条例」に基づき、安全・安心なまちづくりの取組を展開する。		
<b>成果・実績</b>	<p>◎市民の防犯意識の啓発 30千円 年2回の「市民安全・安心推進旬間」では、7月に「街頭啓発」を、12月に宇治市教育委員会主催の「宇治市子どもの安全な生活を守るネットワーク会議」を開催した。また、10月に「防犯講演会」を実施した。</p> <p>◎安全・安心まちづくりへの支援 840千円 小学校区単位の防犯推進組織の活動を支援し、全22小学校区に補助金を交付した。</p>		
<b>事業評価</b>	防犯推進組織の活動支援等の取組により、安全・安心なまちづくりを推進できた。地域における自主的な防犯活動が一層推進されるように、「宇治市第3次防犯推進計画」に定める各種政策に着実に取り組む必要がある。		

<b>事務事業名</b>	防犯カメラ管理事業費	<b>所管課</b>	総務課
		<b>決算額</b>	349千円
<b>事業内容</b>	市民の安全で安心な暮らしの実現に向け、街頭における犯罪の防止と市民の体感治安の向上を目的として、防犯カメラの設置及び管理を行う。		
<b>成果・実績</b>	<p>市内の駅周辺を中心に21台の防犯カメラを設置しており、適正な管理を行った。また、防犯カメラ付き自動販売機1台を設置した。</p> <p>◎光熱費、修繕料等 349千円</p>		
<b>事業評価</b>	路上犯罪の発生密度が高く、不特定多数の市民等が通行する駅周辺への防犯カメラの設置により、市民の体感治安の向上を図ることができた。引き続き、民間活力を活用した効果的な取組を実施するとともに、地域の自主的な設置についても支援しながら、市民の体感治安向上に努める必要がある。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	01 環境に配慮した安全・安心のまち	総務部
<b>中分類</b>	02 安全・安心なまちづくりへの対応	
<b>小分類</b>	01 安全・安心なまちづくり	

事務事業名	防犯カメラ設置事業補助金	所管課	総務課
		決算額	1,145千円
<b>事業内容</b>	街頭での高齢者や子どもの見守り、犯罪発生を抑止及び体感治安の向上を図るため、福祉未来基金を活用し、自治会・町内会等を対象に防犯カメラの設置に係る費用のうち、補助対象経費の1/2（上限10万円/台）を補助する。		
<b>成果・実績</b>	7自治会・町内会等に対し、計12台の防犯カメラ設置に対する補助金を交付した。  ◎防犯カメラ設置事業補助金                      1,145千円		
<b>事業評価</b>	防犯推進組織の活動支援等の取組により、安全・安心なまちづくりを推進できた。地域における自主的な防犯活動が一層推進されるように、「宇治市第3次防犯推進計画」に定める各種政策に着実に取り組む必要がある。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	総務部
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	01 市民参加機会の充実と情報公開の推進	

事務事業名	情報公開審査会委員報酬 5人分	所管課	総務課
		決算額	228千円
事業内容	情報公開制度の適正かつ公正な運用を図るため、市長の附属機関として宇治市情報公開審査会（学識経験者5人）を設置し、審査を行う。		
成果・実績	公文書公開請求に係る審査請求が3件あった。審査請求に係る諮問事項を審議するため及び平成29年度の実施状況報告等のために1回、審査請求に係る諮問事項を審議するために2回、情報公開審査会を開催した。		
事業評価	審査会を開催し、審査請求等に関して多角的に審議することにより、情報公開制度の適正な運用を図ることができた。今後も引き続き円滑な審査会運営を通じて情報公開制度の充実に努める。		

事務事業名	個人情報保護審議会委員報酬 8人分	所管課	総務課
		決算額	79千円
事業内容	個人情報を保護し、適正かつ公正な運用を図るため、市長の附属機関として宇治市個人情報保護審議会（学識経験者5人、市民代表3人）を設置し、審議を行う。		
成果・実績	個人情報開示請求等に係る審査請求は0件であった。平成29年度の運用状況に係る報告並びに防犯カメラの設置状況及び個人情報の収集等の管理運営状況に係る報告のために1回個人情報保護審議会を開催した。		
事業評価	審議会を開催し、前年度の状況等を確認することにより、個人情報保護制度の適正な運用を図ることができた。今後も引き続き、円滑な審議会運営を通じて個人情報保護の強化に努める。		

# 平成30年度決算成果説明書

<b>総合計画の体系</b>		<b>所管部局</b>
<b>大分類</b>	06 信頼される都市経営のまち	総務部
<b>中分類</b>	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
<b>小分類</b>	01 市民参加機会の充実と情報公開の推進	

<b>事務事業名</b>	個人情報事務費	<b>所管課</b>	総務課
		<b>決算額</b>	81千円

<b>事業内容</b>	<p>「宇治市個人情報保護条例」は、行政の保有する個人情報に対するアクセス権及びコントロール権を具体的に保障し、個人の権利利益の保護を図るものである。情報公開制度とあわせ、制度の円滑な運用を行うことにより、より充実した豊かな市民生活を実現する。</p> <p>また、市政への積極的な市民参加と公正な市政を推進するため、「宇治市情報公開条例」に沿って、市が保有する公文書の閲覧または写しの交付を請求することができることにより、市民の知る権利を具体的に保障する。</p>
-------------	---

<b>成果・実績</b>	<p>個人情報の適正な取扱いを確保し、個人の権利利益の保護を図った。</p> <p>これまでの個人情報流出事案については、人事異動及び担当業務再編などに伴い、特に新年度当初の4月及び5月に発生する傾向がみられることから、年度当初に職員が個人情報保護についての正しい認識と、緊張感を持って個人情報の取扱いを行うよう徹底を図った。</p> <p>また、市が保有する情報を公開することにより、市政に対する市民の理解と信頼を深め、公正な市政を推進した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>◎個人情報開示請求 20件</p> <table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td colspan="2" style="text-align: center;">(件)</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">全部開示</td><td style="text-align: center;">5</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">部分開示</td><td style="text-align: center;">10</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">不開示 (うち不存在)</td><td style="text-align: center;">5 (5)</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">審査請求</td><td style="text-align: center;">0</td></tr> </table> </div> <div style="text-align: center;"> <p>◎公文書公開請求 223件</p> <table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td colspan="2" style="text-align: center;">(件)</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">全部公開</td><td style="text-align: center;">123</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">部分公開</td><td style="text-align: center;">75</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">非公開 (うち不存在)</td><td style="text-align: center;">18 (11)</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">取下げ</td><td style="text-align: center;">6</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">公開決定等延長※</td><td style="text-align: center;">1</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">審査請求</td><td style="text-align: center;">3</td></tr> </table> <p>※ 公開決定等延長としていた案件については、令和元年度に非公開（不存在）及び部分公開として処理</p> </div> </div> <p>◎市出資法人（宇治市土地開発公社等8法人）及び指定管理者に対する開示申出等 0件</p> <p>◎市出資法人（宇治市土地開発公社等8法人）及び指定管理者に対する公開申出 0件</p>	(件)		全部開示	5	部分開示	10	不開示 (うち不存在)	5 (5)	審査請求	0	(件)		全部公開	123	部分公開	75	非公開 (うち不存在)	18 (11)	取下げ	6	公開決定等延長※	1	審査請求	3
(件)																									
全部開示	5																								
部分開示	10																								
不開示 (うち不存在)	5 (5)																								
審査請求	0																								
(件)																									
全部公開	123																								
部分公開	75																								
非公開 (うち不存在)	18 (11)																								
取下げ	6																								
公開決定等延長※	1																								
審査請求	3																								

<b>事業評価</b>	<p>個人情報取扱事務登録簿の整備、個人情報開示事務など、個人情報の保護施策を実施するとともに、公文書公開請求に対しては公文書の閲覧等の事務を適正に行い、公正な市政を推進することができた。今後も制度の円滑な運用に努める必要がある。</p>
-------------	---

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	総務部
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	01 市民参加機会の充実と情報公開の推進	

<b>事務事業名</b>	文書管理事務費	<b>所管課</b>	総務課
		<b>決算額</b>	386千円
<b>事業内容</b>	<p>庁内ネットワークを活用した文書簿冊管理システムを構築し文書及び簿冊の管理を行う。</p> <p>個人情報保護及び資源の有効利用の観点から、庁内業務で使用した個人情報を含む廃棄文書をリサイクル施設で溶解し、紙への資源再生処理を行う。</p>		
<b>成果・実績</b>	<p>機密文書をリサイクル施設で溶解し、文書の復元が不可能な状態にしてから、紙への再生処理を行った。</p> <p>◎廃棄文書リサイクル委託料                      302千円</p> <p>◎廃棄文書量    55.99 t</p>		
<b>事業評価</b>	<p>公文書を適正に管理するとともに、個人情報を含む廃棄文書を適正に処理し、個人情報の保護及び環境資源の有効活用を推進することができた。公文書管理の適正化・効率化を図るため、今後も引き続き実施する。</p>		

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	総務部
中分類	02 国際化の推進と平和への貢献	
小分類	02 平和への貢献	

<b>事務事業名</b>	平和のつどい事業費	<b>所管課</b>	総務課
		<b>決算額</b>	4,029千円
<b>事業内容</b>	<p>本市は核兵器廃絶平和都市宣言の自治体として、世界の恒久平和に向け、宇治市平和都市推進協議会を母体としながら啓発等の事業を行っており、毎年8月を中心に平和事業を実施する。</p>		
<b>成果・実績</b>	<p>核兵器廃絶平和都市宣言の理念に基づき、宇治市平和都市推進協議会が実施する、小・中学生平和訪問団の沖縄への派遣を始め、市民平和祈念集会及び市人権啓発課・市教育委員会と共同開催した「平和☆ひゅうまん夏フェスタ」の開催、また、平成28年度から行っている戦争体験アーカイブの作成などの平和啓発事業に対して、補助金を交付した。</p> <p>◎平和都市推進協議会補助金                      4,029千円</p> <div style="text-align: right;">  <p>平和訪問の様子</p> </div>		
<b>事業評価</b>	<p>啓発等の平和事業を実施したことにより、平和への市民意識の醸成を図ることができた。今後も引き続き、さらなる事業効果の向上のため、事業内容の工夫・検討により、平和事業への参加者増加を図るとともに、あらゆる機会を通して平和への啓発を実施する。</p>		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	06 信頼される都市経営のまち	総務部
<b>中分類</b>	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
<b>小分類</b>	03 行政情報化の推進	

事務事業名	情報システム運営費（京都府共同開発分含む）	所管課	IT推進課														
		決算額	361,916千円														
<b>事業内容</b>	市民サービスの向上、迅速な事務処理及び適切な情報管理に資するため、住民基本台帳システムや各種税システムをはじめとするサーバ機を利用した様々なシステムを稼働させて情報処理を行う。また、パソコンの利用促進により、システム化になじまない少量・多種・非定形の業務領域でのOA化を進め、より効率的な行政運用を図る。																
<b>成果・実績</b>	<p>情報システムで使用する機器、ソフトウェアなどの維持管理及び安定運用のための機器更新、並びに制度改正に伴う情報システムの変更作業を行った。これらにより、情報システムの安定稼働を実現し、市民へのサービス提供の維持に努めた。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">◎保守・機器賃借等経費</td> <td style="text-align: right;">188,512 千円</td> </tr> <tr> <td>◎システム機器更新等経費</td> <td style="text-align: right;">20,131 千円</td> </tr> <tr> <td>◎社会保障・税番号制度関連経費</td> <td style="text-align: right;">2,175 千円</td> </tr> <tr> <td>◎制度改正に伴うシステム改修業務委託料</td> <td style="text-align: right;">27,315 千円</td> </tr> <tr> <td>◎改元に伴うシステム改修業務委託料</td> <td style="text-align: right;">9,719 千円</td> </tr> <tr> <td>◎電算処理にかかるパンチ業務委託料</td> <td style="text-align: right;">14,878 千円</td> </tr> <tr> <td>◎京都府・市町村共同開発システム運用等負担金</td> <td style="text-align: right;">29,026 千円</td> </tr> </table>			◎保守・機器賃借等経費	188,512 千円	◎システム機器更新等経費	20,131 千円	◎社会保障・税番号制度関連経費	2,175 千円	◎制度改正に伴うシステム改修業務委託料	27,315 千円	◎改元に伴うシステム改修業務委託料	9,719 千円	◎電算処理にかかるパンチ業務委託料	14,878 千円	◎京都府・市町村共同開発システム運用等負担金	29,026 千円
◎保守・機器賃借等経費	188,512 千円																
◎システム機器更新等経費	20,131 千円																
◎社会保障・税番号制度関連経費	2,175 千円																
◎制度改正に伴うシステム改修業務委託料	27,315 千円																
◎改元に伴うシステム改修業務委託料	9,719 千円																
◎電算処理にかかるパンチ業務委託料	14,878 千円																
◎京都府・市町村共同開発システム運用等負担金	29,026 千円																
<b>事業評価</b>	制度改正に対応したシステム改修等により、各事業担当課の業務を円滑に進め、市民サービスを効率的に提供するための環境整備ができた。今後も様々な市民サービスを安定的に提供するため、引き続きシステムの改修及び更新を適切に実施する。																

事務事業名	公共施設情報ネットワークシステム運営費	所管課	IT推進課						
		決算額	71,238千円						
<b>事業内容</b>	市民の利便性の向上と行財政運営の効率化を図るため、本市公共施設間での情報共有を可能にする公共施設情報ネットワークの安定的な運用を行う。								
<b>成果・実績</b>	<p>市役所及び各公共施設を繋ぐ公共施設情報ネットワークの安定的な運用を行った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">◎情報ネットワーク維持管理業務委託料</td> <td style="text-align: right;">27,475 千円</td> </tr> <tr> <td>◎光ファイバー使用料</td> <td style="text-align: right;">16,427 千円</td> </tr> <tr> <td>◎情報ネットワーク用機器使用料</td> <td style="text-align: right;">12,543 千円</td> </tr> </table>			◎情報ネットワーク維持管理業務委託料	27,475 千円	◎光ファイバー使用料	16,427 千円	◎情報ネットワーク用機器使用料	12,543 千円
◎情報ネットワーク維持管理業務委託料	27,475 千円								
◎光ファイバー使用料	16,427 千円								
◎情報ネットワーク用機器使用料	12,543 千円								
<b>事業評価</b>	公共施設情報ネットワークの安定的な運用を図ることにより、庁外施設を含めて円滑に業務を推進することができた。今後も、適切に維持管理しながら安定した運用に努める必要がある。								

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	総務部
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	03 行政情報化の推進	

事務事業名	情報システムセキュリティ強化費	所管課	IT推進課				
		決算額	30,522千円				
事業内容	本市が保有する情報資産を適正に管理するため、情報セキュリティ対策を講じる。						
成果・実績	<p>平成27年12月25日付け総務省通知に基づく自治体情報セキュリティ対策を講じたネットワーク上で社会保障・税番号連携が開始されたことを踏まえ、既存ネットワークを含めた情報ネットワーク全体での不正アクセスなど外部からの脅威への対策を行った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%;">◎マイナンバーネットワーク保守業務委託料</td> <td style="text-align: right;">8,899 千円</td> </tr> <tr> <td>◎個人認証システム保守業務委託料</td> <td style="text-align: right;">8,208 千円</td> </tr> </table>			◎マイナンバーネットワーク保守業務委託料	8,899 千円	◎個人認証システム保守業務委託料	8,208 千円
◎マイナンバーネットワーク保守業務委託料	8,899 千円						
◎個人認証システム保守業務委託料	8,208 千円						
事業評価	総務省通知に基づいてネットワークの構築を行うことにより、情報セキュリティの強化と個人情報の適正管理を図ることができた。今後も国・京都府の動向を注視しながら、情報セキュリティの強靱化に努める必要がある。						

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	総務部
中分類	01 環境保全対策の推進	
小分類	01 地球環境対策の推進	

事務事業名	庁舎温室効果ガス削減対策事業費	所管課	管財課
		決算額	45,673千円
事業内容	平成30年3月に策定された「地球温暖化対策実行計画（第5期計画）」に沿って、基準年度の平成25年度から目標年度令和5年度までに温室効果ガスを約15.8%削減することを目標とする。庁舎における排出量の削減を図るため、老朽化設備の改修等、省エネルギーの実現に向けた取組を行う。		
成果・実績	<p>エネルギー消費の節減を図るため、庁舎建設時より稼働している庁舎電算室の空調機器を更新した。</p> <p>◎庁舎電算室空調機器改修工事 <span style="float: right;">45,673千円</span></p> <p style="padding-left: 40px;">改修に伴うCO2削減量 15.3t-CO2（理論値）</p>		
事業評価	老朽化した庁舎電算室の空調機器を更新することにより、「宇治市地球温暖化対策実行計画」に定める温室効果ガス排出量の削減を推進できた。引き続き計画に基づき、事業効果を検証しながら取組を進める必要がある。		

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	総務部
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進	
小分類	03 行政サービスの充実	

事務事業名	市有林造林事業費	所管課	管財課
		決算額	624千円
事業内容	国土保全とともに森林の多面的機能及び植林の材質を高めるため、池尾仙郷山等の市有林において、「森林経営計画」に基づき保育施業（間伐、枝打ち）を行うとともに、間伐材の出材を実施する。		
成果・実績	<p>森林経営計画に基づく保育事業を重点的に施業することとし、宇治市森林組合に間伐1.31haの委託を実施した。</p> <p>◎市有林造林事業委託料（間伐） <span style="float: right;">386千円</span></p>		
事業評価	「森林経営計画」に基づき事業実施することにより、市有林の保全を図ることができた。保育施業による森林整備を促進するため、今後も引き続き宇治市森林組合と連携した除間伐等の森林施業に努める必要がある。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	06 信頼される都市経営のまち	総務部
<b>中分類</b>	03 行政改革・適正な行政運営の推進	
<b>小分類</b>	04 計画的・効率的な行財政運営の確立	

<b>事務事業名</b>	京都地方税機構負担金	<b>所管課</b>	市民税課・納税課				
		<b>決算額</b>	137,059千円				
<b>事業内容</b>	納税者の利便性向上及び業務の効率化を図るとともに、公平・公正な税業務を一層推進するため、京都府及び府内25市町村（京都市を除く）で組織する広域連合の京都地方税機構において、法人市民税と軽自動車税の課税事務の一部及び移管した滞納案件の整理を行う。						
<b>成果・実績</b>	<p>法人市民税と軽自動車税の課税事務の一部及び滞納市税の徴収業務を統合的に行うことにより、納税者の利便性向上及び業務の効率化を図るとともに、公平・公正な税業務を推進した。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">京都地方税機構への移管額</td> <td style="text-align: right;">1,559,878千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">移管額のうち収入額</td> <td style="text-align: right;">701,455千円</td> </tr> </table> <p>◎負担金（市民税課）                    9,201千円 ◎負担金（納税課）                    127,858千円</p>			京都地方税機構への移管額	1,559,878千円	移管額のうち収入額	701,455千円
京都地方税機構への移管額	1,559,878千円						
移管額のうち収入額	701,455千円						
<b>事業評価</b>	京都地方税機構と連携し、効率的に法人市民税、軽自動車税課税事務の一部及び滞納整理事務を行うことにより、公平・公正な税務行政を推進することができた。市税等の収納率のさらなる向上により、安定した財政基盤を確保するため、京都地方税機構と連携した徴収業務を今後も引き続き実施する。						

## 平成30年度決算成果説明書

<b>総合計画の体系</b>		<b>所管部局</b>
<b>大分類</b>	02 ゆたかな市民生活ができるまち	産業地域振興部
<b>中分類</b>	01 住民自治の推進	
<b>小分類</b>	01 地域コミュニティの育成	

<b>事務事業名</b>	地域社会貢献者表彰費	<b>所管課</b>	文化自治振興課												
		<b>決算額</b>	138千円												
<b>事業内容</b>	市制施行50周年を記念に創設した制度で、市民の主体的な活動を奨励するとともに、住民自治の精神に基づき、明るく住み良い心豊かな地域社会づくりを推進するため、自発的な善行及び優れた活動によって、地域社会に対し特に顕著な貢献を行った者を表彰する。														
<b>成果・実績</b>	<p>◎地域社会貢献者表彰式 平成31年3月1日 19回目となる平成30年度は、11件表彰した。</p> <p>◎受賞者名</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">・岩井 浩 氏</td> <td style="width: 50%;">・ 部 正永 氏</td> </tr> <tr> <td>・鎌田 マリ子 氏</td> <td>・宇治女性の会</td> </tr> <tr> <td>・川崎 昌晴 氏</td> <td>・東宇治女性の会</td> </tr> <tr> <td>・小坂 恵美子 氏</td> <td>・広野女性の会</td> </tr> <tr> <td>・今西 清 氏</td> <td>・榎島女性の会</td> </tr> <tr> <td>・野古 将美 氏</td> <td></td> </tr> </table>			・岩井 浩 氏	・ 部 正永 氏	・鎌田 マリ子 氏	・宇治女性の会	・川崎 昌晴 氏	・東宇治女性の会	・小坂 恵美子 氏	・広野女性の会	・今西 清 氏	・榎島女性の会	・野古 将美 氏	
・岩井 浩 氏	・ 部 正永 氏														
・鎌田 マリ子 氏	・宇治女性の会														
・川崎 昌晴 氏	・東宇治女性の会														
・小坂 恵美子 氏	・広野女性の会														
・今西 清 氏	・榎島女性の会														
・野古 将美 氏															
<b>事業評価</b>	自発的な善行及び優れた活動を表彰することにより、地域活動の活性化及び社会貢献に対する市民の意欲向上を図ることができた。														

<b>事務事業名</b>	ふれあいセンター運営費	<b>所管課</b>	文化自治振興課
		<b>決算額</b>	15,864千円
<b>事業内容</b>	菟道、伊勢田、平盛のふれあいセンターの管理、運営を行う。地域のコミュニティ形成の場として子どもから高齢者まで、地域住民の交流、趣味、娯楽、各種会合、講習会及びスポーツといった活動に利用されており、貸館業務を主とした運営を行う。		
<b>成果・実績</b>	市民が気軽に利用できる施設として、子どもから高齢者まで幅広い層に親しまれている。菟道・伊勢田・平盛の3館で、サークル活動及び各種会合などに年間延べ60,988人の利用があった。		
<b>事業評価</b>	ふれあいセンターの適切な管理運営により、地域住民のコミュニティ活動を促進することができた。3館ともに施設の老朽化及び耐震の課題があるため、令和2年度以降、菟道ふれあいセンターの一部を除きふれあいセンターとしては廃止する予定であり、利用状況などを踏まえ、貸館機能については、近隣の公共施設等への機能移転などの対応をする必要がある。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	02 ゆたかな市民生活ができるまち	産業地域振興部
<b>中分類</b>	01 住民自治の推進	
<b>小分類</b>	01 地域コミュニティの育成	

事務事業名	コミュニティセンター運営費	所管課	文化自治振興課												
		決算額	66,804千円												
<b>事業内容</b>	平成18年度から地域住民で組織する地区コミュニティ推進協議会を指定管理者とし、住民自治の振興とコミュニティ活動の拠点となるコミュニティセンターの管理運営を行う。市民相互の交流と地域活動の振興、市民文化の向上、福祉の増進に寄与するとともに、住民自治意識の高揚と地域活性化に貢献する。														
<b>成果・実績</b>	<p>西小倉・東宇治・南宇治・槇島の4つのコミュニティセンターで合わせて14,224件、延べ141,953人の利用があった。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">◎西小倉コミュニティセンター運営費</td> <td style="width: 45%;">15,605千円</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>◎東宇治コミュニティセンター運営費</td> <td>17,698千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎南宇治コミュニティセンター運営費</td> <td>17,480千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎槇島コミュニティセンター運営費</td> <td>16,021千円</td> <td></td> </tr> </table>			◎西小倉コミュニティセンター運営費	15,605千円		◎東宇治コミュニティセンター運営費	17,698千円		◎南宇治コミュニティセンター運営費	17,480千円		◎槇島コミュニティセンター運営費	16,021千円	
◎西小倉コミュニティセンター運営費	15,605千円														
◎東宇治コミュニティセンター運営費	17,698千円														
◎南宇治コミュニティセンター運営費	17,480千円														
◎槇島コミュニティセンター運営費	16,021千円														
<b>事業評価</b>	指定管理者によって、適切に管理運営できた。地域コミュニティの拠点施設として、今後も適切な施設の管理運営に努める必要がある。														

事務事業名	集会所維持管理費	所管課	文化自治振興課
		決算額	41,533千円
<b>事業内容</b>	住民相互の連帯と福祉・文化の向上を図るため、地域コミュニティづくりの拠点となる集会所の維持管理を行う。		
<b>成果・実績</b>	集会所131カ所について、適切な管理運営を行うとともに、必要に応じて改修・修繕を実施し環境整備を行った。		
<b>事業評価</b>	公立集会所の適切な管理運営により、地域住民の身近な活動の場としてコミュニティの活性化を図ることができた。なお、今後は地域コミュニティ再編計画に基づき、耐震補強や地域への無償譲渡を進めるが、施設の適正配置の観点から、稼働率の低い集会所については、廃止も視野に入れて検討する必要がある。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	産業地域振興部
中分類	01 住民自治の推進	
小分類	01 地域コミュニティの育成	

事務事業名	民間集会所支援補助金	所管課	文化自治振興課
		決算額	1,776千円
事業内容	自治会等が自主的に管理運営する民間集会所の新築または修繕などについて補助を行う。		
成果・実績	民間集会所の環境整備として、32件に補助金を交付した。		
	◎新築	0件	0千円
	◎建て替え又は改修	2件	215千円
	◎公共下水道接続	0件	0千円
	◎耐震改修	0件	0千円
	◎耐震診断	1件	360千円
	◎電気料金等	29件	1,201千円
事業評価	地域住民の身近な活動の場である民間集会所の改修等に補助することにより、地域コミュニティの活性化を図ることができた。今後は、公立集会所の地域への無償譲渡を進めていくことから、より一層、地域のニーズに沿った補助制度の運用を検討していく必要がある。		

事務事業名	地域コミュニティ活動支援事業費	所管課	文化自治振興課
		決算額	496千円
事業内容	地域コミュニティの活性化に向けて、地域コミュニティ活動の支援に取り組み、その役割及び重要性について意識の浸透を図る。地域コミュニティのあり方及び協働の進め方について検討を行う。		
成果・実績	地域のつながりについて、未来の視点からの考え方（フューチャー・デザイン）を知る機会としてシンポジウム1回を開催した。また、未来の視点から市民と共に考える機会として、ワークショップ4回を開催した。		
	◎『かんがえよう これからの 地域の未来。』シンポジウム		
	・日時 平成30年 10月8日(月・祝)		
	・テーマ 地域コミュニティの未来を考えるシンポジウム		
	講演：「フューチャー・デザイン」		
	パネルディスカッション：「フューチャー・デザインで考える地域の未来」		
	◎『かんがえよう これからの 地域の未来。』ワークショップ		
	・第1回 平成30年 10月28日(日) 現世代の視点で考える		
	・第2回 平成30年 11月23日(金・祝) 過去を知る		
	・第3回 平成30年 12月15日(土) 将来世代の視点で考える		
	・第4回 平成31年 1月26日(土) 将来世代の視点で考え、将来像を描く		
事業評価	シンポジウムやワークショップを行うことにより、市民に向けて地域コミュニティに対する意識啓発をすることができた。今後も引き続き地域コミュニティの役割や重要性について啓発を行い、地域コミュニティの活性化に向けて取り組む必要がある。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系	
<b>大分類</b>	02 ゆたかな市民生活ができるまち
<b>中分類</b>	02 市民文化の創造
<b>小分類</b>	01 市民文化の創造・発展

所管部局
産業地域振興部

<b>事務事業名</b>	文化祭開催費	<b>所管課</b>	文化自治振興課																	
		<b>決算額</b>	1,800千円																	
<b>事業内容</b>	市民文化芸術祭は、市民が日頃の文化活動の成果を発表し、あわせて相互交流を行うことにより、文化意識の高揚と文化活動の推進を図る。																			
<b>成果・実績</b>	<p>市民文化芸術祭では、展示、舞台披露、お茶席、フリーマーケットを開催した。また、市民文化芸術祭から独立した参加事業（いけばな・音楽・写真・絵画）を開催した。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">◎市民文化芸術祭</td> <td style="width: 10%;">開催日</td> <td style="width: 20%;">10月27日、28日</td> <td rowspan="4" style="width: 40%; text-align: center;">  </td> </tr> <tr> <td></td> <td>参加者数</td> <td>約950人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>来場者数</td> <td>約5,500人</td> </tr> <tr> <td>◎同参加事業</td> <td>参加者数</td> <td>約700人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>来場者数</td> <td>約2,100人</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">市民文化芸術祭</p>			◎市民文化芸術祭	開催日	10月27日、28日			参加者数	約950人		来場者数	約5,500人	◎同参加事業	参加者数	約700人		来場者数	約2,100人	
◎市民文化芸術祭	開催日	10月27日、28日																		
	参加者数	約950人																		
	来場者数	約5,500人																		
◎同参加事業	参加者数	約700人																		
	来場者数	約2,100人																		
<b>事業評価</b>	文化祭の開催により、市民相互の文化交流を促進し、文化活動の活性化を図ることができた。今後も、より文化意識を高めるため、市民の自主的な文化活動の振興を図る必要がある。																			

# 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	02 市民文化の創造
小分類	01 市民文化の創造・発展

所管部局
産業地域振興部

事務事業名	源氏ろまん事業費	所管課	文化自治振興課
		決算額	18,267千円
事業内容	ふるさと創生事業として創設した「紫式部文学賞」「紫式部市民文化賞」及び両賞の贈呈式をはじめとした「源氏ろまん」事業を実施し、文化の振興とともに「源氏物語のまち宇治」としての本市のイメージアップを図る。		
成果・実績	<p>◎第28回紫式部文学賞・紫式部市民文化賞 9月24日に文学賞受賞作品発表・贈呈式を実施した。11月18日午前には市民文化賞受賞作品発表・贈呈式を、同日午後には「大好きな源氏物語」と題して文学賞受賞者講演会を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紫式部文学賞（全国から61作品の推薦） 水原 紫苑 氏 「えびすとれー」</li> <li>・紫式部市民文化賞（52作品の応募・推薦） 長谷川 昭子 氏 「木曾坊道」 選考委員特別賞 中川 晃 氏 「学童疎開物語 「太郎は父のふるさとへ」」</li> </ul> <p>◎宇治十帖スタンプラリー 宇治十帖の古跡を巡る宇治十帖コースを設定し、スタンプラリーを開催した。 ・開催日数 4日(10月27日、28日、11月3日、4日) ・踏破者数 13,146人</p> <p>◎宇治田楽まつり 平安時代に栄えた田楽を、現代風にアレンジし、10月20日に府立宇治公園中の島で盛大に宇治田楽まつりとして開催した。 ・出演者数 約105人 ・観覧者数 約2,000人</p>		
事業評価	源氏物語をテーマとするイベントの開催により、市民の文化活動の活性化及び「源氏物語のまちづくり」の定着を図ることができた。今後もより効果的な手法を検討する中で、更なる「源氏物語のまちづくり」の推進に努める必要がある。		



紫式部文学賞  
受賞作品発表・贈呈式

# 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	02 市民文化の創造
小分類	01 市民文化の創造・発展

所管部局
産業地域振興部

事務事業名	合唱団活動費	所管課	文化自治振興課
		決算額	2,863千円
事業内容	合唱団活動を通して、自主的で情操豊かな児童・生徒を育成することを目的とし、昭和54年8月に、国際児童年を記念して結成した。毎週土曜日の定期練習及び定期演奏会の開催のほか、各種発表会・市の公式行事等に出演する。		
成果・実績	<p>団員は市内在住の小学2年生から中学3年生までの約65人で、毎週土曜日午後の練習、強化合宿、定期演奏会のほかに、市行事及びコンサート出演など、年間10回を超える演奏や活動を行った。</p> <p>今年度、創立40周年を迎え、新たな委嘱作品やミュージカルに取り組み、創立40周年記念定期演奏会を開催した。</p>		
事業評価	合唱団活動に取り組むことにより、小・中学生の文化意識及び協調性などを育てることができた。平成30年度には創立40周年を迎えたことから、今後もさらなる活性化に向けて、市内小・中学校の協力を得ながら団員確保に努めるとともに、持続可能な運営手法について検討する必要がある。		

事務事業名	市民交流ロビーコンサート開催費	所管課	文化自治振興課
		決算額	328千円
事業内容	昼休憩時間にミニコンサートを開催し、市庁舎を市民の気軽な音楽活動の発表の場にするにより、音楽文化の促進と市民相互の交流を図るとともに、市民にとって親しみやすい市役所にする。		
成果・実績	<p>昼休み中の午後0時15分～45分に市役所1階市民交流ロビーを会場として開催し、毎回多数の観客を迎えた。</p> <p>◎開催回数 17回 ◎延べ観覧者数 3,780人</p>		
事業評価	市民交流ロビーコンサートを開催することにより、市民の文化活動及び相互交流を促進することができた。観覧者が多くあることから、今後も市民交流の場を提供する中で、より効果的な手法について検討する必要がある。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	産業地域振興部	
中分類	02 市民文化の創造		
小分類	01 市民文化の創造・発展		

<b>事務事業名</b>	文化センター管理運営費	<b>所管課</b>	文化自治振興課
		<b>決算額</b>	138,512千円
<b>事業内容</b>	<p>(公財) 宇治市文化センターを指定管理者とし、文化会館の健全な管理・運営を行うとともに、企画立案した自主事業の実施及び優れた文化、芸術公演を公開して、市民文化の振興を図る。また、市内団体及びサークルなどが文化会館を使用する際に(公財)宇治市文化センターが行う使用料の助成(補助)に対して補助を行う。</p>		
<b>成果・実績</b>	<p>(公財) 宇治市文化センターの自主文化事業として、源氏物語宇治十帖朗読劇、ファミリーミュージカル、宇治シネマ劇場など、幅広い分野の事業に取り組み、延べ18,904人が鑑賞した。</p> <p>また、市民の文化芸術活動の普及及び振興を図るため、市内文化団体等を対象に(公財)宇治市文化センターが行う文化会館使用料の助成(20件)に対して、文化事業基金を活用し補助を行った。</p>		
			
	<p>ファミリーミュージカル 「トム・ソーヤー物語」</p>		
<b>事業評価</b>	<p>指定管理者によって、適切な管理運営ができた。市民の文化芸術活動の普及・振興を図り、優れた文化・芸術を発信するための拠点として、今後も引き続き適切な管理運営に努める一方で、会館利用率や自主事業における集客力の増加手法について検討する必要がある。</p>		

総合計画の体系		所管部局	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	産業地域振興部	
中分類	05 勤労者福祉・消費生活の向上		
小分類	02 消費生活の充実		

<b>事務事業名</b>	消費者支援事業費	<b>所管課</b>	文化自治振興課
		<b>決算額</b>	862千円
<b>事業内容</b>	<p>事業者と消費者との間の取り引きに関して生じた苦情を専門の消費生活相談員が助言、情報提供、あっせんなどを行うとともに、市民の消費生活の向上を図るための啓発を行う。</p>		
<b>成果・実績</b>	<p>消費生活センターに専門の消費生活相談員を3人配置し、1,155件の相談に応じた。また、複雑多岐にわたる案件に対処する必要から、消費生活相談員の一層のレベルアップを図るために、各種研修会等へ参加した。さらに、消費生活に関する出前講座や消費者月間ロビー展示を行い、市民啓発や消費者団体の育成を行った。</p>		
<b>事業評価</b>	<p>専門の消費生活相談員が適切な助言、あっせんなどを行うことにより、消費生活の改善・向上に寄与することができた。今後も広範な消費生活に関する苦情及び相談が想定されることから、消費生活に関する市民啓発を図りながら、相談員の一層の資質向上に努める必要がある。</p>		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実
小分類	02 広報・広聴活動の充実

所管部局
産業地域振興部

事務事業名	広聴事務費	所管課	文化自治振興課
		決算額	102千円
事業内容	市民の行政に対する苦情、要望及び困り事などについての相談機関として、関係各課及び他の行政機関に事案の解決を図るべく依頼要請を行うなどして市民の生活環境の向上を図る。		
成果・実績	<p>◎市民相談 市民相談・行政懇談会等の内容を関係部課に伝え、適切な措置を求め、市政に反映するよう努めた。あわせて、総務省主催の行政相談への協力を行った。 さらに、市役所、公民館、コミュニティセンターなどの公共施設28カ所に設置している「市民の声」投書箱により、より広い範囲から市政に対する意見、要望などを求めた。</p> <p>なお、市民相談では、近隣関係、相続、夫婦・親子、金銭貸借など市民の個々の悩みごと、心配ごとなど日常生活上での諸問題についても、専門的な相談機関を紹介するなどの対応を行い、市政への親しみと信頼感の向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民相談           1,395件   (市政相談923件、他の公共機関等41件、民事相談ほか431件)</li> <li>・行政懇談会        10回</li> <li>・行政相談           12回 (毎月第3木曜日)</li> </ul>		
事業評価	市民相談及び市政モニター事業により、市民ニーズを把握するとともに市民の要望を市政に反映することができた。今後も、より効率的に幅広く市民ニーズを把握できるよう、効果的な広聴手法を検討する必要がある。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	産業地域振興部
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進	
小分類	03 行政サービスの充実	

<b>事務事業名</b>	行政サービスコーナー運営費	<b>所管課</b>	市民課
		<b>決算額</b>	53,153千円
<b>事業内容</b>	小倉、木幡など市内6カ所の行政サービスコーナーにおいて、住民票の写し、戸籍全部事項証明書などの市民課の諸証明及び税関係の諸証明の発行業務等を行う。		
<b>成果・実績</b>	諸証明及び税関係証明書の取扱い、他課業務の申請書等の受付を行った。		
	◎市民課業務の年間取扱い件数（公用請求を除く）		
	名称	件数	
	小倉行政サービスコーナー	11,321	
	木幡行政サービスコーナー	13,438	
	南宇治行政サービスコーナー	8,200	
榎島行政サービスコーナー	7,237		
東宇治行政サービスコーナー	6,335		
開行政サービスコーナー	4,902		
<b>事業評価</b>	諸証明の発行業務を市内6カ所で実施することにより、地域住民の利便性向上に努めることができた。今後も市民ニーズを踏まえて、サービスの充実・改善に努める必要がある。		

<b>事務事業名</b>	受付証明等事務費	<b>所管課</b>	市民課
		<b>決算額</b>	20,502千円
<b>事業内容</b>	住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍全部事項証明書などの諸証明発行業務を行う。		
<b>成果・実績</b>	◎住民票等諸証明発行数（行政サービスコーナー取扱い分を含む）		
	（通）		
	印鑑登録証明書交付数	54,424	
	住民票の写し交付数	76,884	
	戸籍全部事項証明書等交付数	18,557	
	戸籍個人事項証明書等交付数	5,355	
	除かれた戸籍全部事項証明書等交付数	7,178	
	除かれた戸籍個人事項証明書等交付数	160	
	戸籍附票交付数	2,306	
	閲覧件数	12 ※	
	諸証明交付数	7,511	
	印鑑登録証交付数	5,862	
通知カード・個人番号カード再交付数	1,017		
※は件数			
<b>事業評価</b>	各種証明書の発行等の事務を適正に執行した。今後は市民ニーズを踏まえて、さらなるサービスの充実を検討する必要がある。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	産業地域振興部他
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応	
小分類	01 安全・安心なまちづくり	

<b>事務事業名</b>	大雨による災害復旧事業費	<b>所管課</b>	農林茶業課他	
		<b>決算額</b>	38,312千円	
<b>事業内容</b>	平成29年及び平成30年の大雨によって大きな被害が発生したため、被災箇所の復旧に取り組む。			
<b>成果・実績</b>	被災箇所の復旧のため、測量設計及び復旧工事を実施した。			
			(千円)	
	事業	課名	事業概要	事業費
	林業施設災害復旧事業費	農林茶業課	道路、河川などにおける災害復旧への対応に要した費用	8,228
	河川等災害復旧事業費	維持課		30,084
				
	屋し谷久世谷線			
<b>事業評価</b>	被災箇所の復旧事業に取り組むことにより、被災箇所を補強し、今後の自然災害に向けた防災を図ることができた。			

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	産業地域振興部
中分類	03 農林漁業・茶業の振興	
小分類	01 農業の振興	

事務事業名	新規就農者確保事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	13,378千円
事業内容	<p>農業者の高齢化が急速に進展する中、農業を持続させるためには新規就農者を確保する必要があるため、経営確立に資する資金の交付等により、就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。</p>		
成果・実績	<p>新規就農者9組11人（2組4人は夫婦型、7人は個人型）に対し、農業次世代人材投資資金（経営開始型）を交付した。</p>		
事業評価	<p>新規就農者に対し農業次世代人材投資資金を交付することにより、農業の持続と振興を図ることができた。農業者の高齢化に対応する取組が必要であるため、今後も国・京都府の動向を注視し、引き続き就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。</p>		

事務事業名	宇治のこだわり農業支援事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	780千円
事業内容	<p>国が行う経営所得安定対策等の目的を踏まえ、本市独自の地域特産物を振興するため、指定する転作奨励作物について助成を行う。</p>		
成果・実績	<p>本市独自の転作奨励作物の助成を実施することで、国が行う経営所得安定対策等の各事業を補完するとともに、地域特産物の生産を振興した。</p> <p>◎奨励作物                      ブロッコリー、みず菜、なす、ねぎ、キャベツ、ほうれんそう、とうがらし、花き、花壇苗、加工用米</p>		
事業評価	<p>本市の農業の実情に応じた助成を実施することにより、水田を活用した地域特産物の振興とともに、転作による米の生産調整の円滑化を図ることができた。今後も国の動向に注視し、地域特産物の振興に努める必要がある。</p>		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	02 ゆたかな市民生活ができるまち	産業地域振興部
<b>中分類</b>	03 農林漁業・茶業の振興	
<b>小分類</b>	01 農業の振興	

事務事業名	巨椋池地域排水対策協議会負担金	所管課	農林茶業課
		決算額	7,522千円
事業内容	巨椋池土地改良区管理水路への都市排水流入による維持管理費用の負担について、本市、京都市、久御山町及び巨椋池土地改良区で平成30年6月に設立した巨椋池地域排水対策協議会において、負担割合を定め共同で管理を行う。		
成果・実績	<p>巨椋池地域排水対策協議会への負担を通して、排水路の維持管理を行い、排水機能の保全を図った。</p> <p>◎巨椋池地域排水対策協議会管理水路 排水幹線、承水溝3号、主排4号、主排5号、主排8号</p>		
事業評価	関係団体と巨椋池地域排水対策協議会を組織し、共同で適正な維持管理を実施したことにより、管理水路流域の排水機能の保全を図ることができた。今後も維持管理のあり方について検討を行い、引き続き適切な管理に努める必要がある。		

事務事業名	巨椋池農地基盤整備事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	8,085千円
事業内容	国営総合農地防災事業で整備された巨椋池排水機場の機能を高めるための巨椋池農地基盤整備事業に要する費用を負担する。本市、京都市、久御山町、巨椋池土地改良区で推進協議会を組織し、事業の早期完成を目指す。		
成果・実績	<p>巨椋池排水機場に接続する排水関連施設の整備が、府営事業として実施され、防災機能の強化が進んだ。</p> <p>◎承水溝3号2カ所（護岸工 L=150m、3号橋）</p>		
事業評価	関係団体と巨椋池農地基盤整備推進協議会を組織し、共同で事業に取り組んだことにより、必要な農業用水の排水関連施設を整備することができた。今後は、排水関連施設の適切な管理に努める必要がある。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	産業地域振興部
中分類	03 農林漁業・茶業の振興	
小分類	01 農業の振興	

事務事業名	巨椋池排水機場管理協議会負担金	所管課	農林茶業課
		決算額	26,563千円
事業内容	国営総合農地防災事業で整備された巨椋池排水機場を管理するため、本市、京都市、久御山町で管理協議会を組織し、排水機場の管理を行う。		
成果・実績	巨椋池排水機場管理協議会への負担を通して、排水機場の適正な管理及び運転を行い、水害の防止に寄与した。		
事業評価	関係団体と巨椋池排水機場管理協議会を組織し、排水機場の維持管理及び施設整備を行ったことにより、施設の機能回復及び災害の未然防止を図ることができた。今後も関係団体と連携し、排水機場の適切な施設管理に努める必要がある。		

事務事業名	農地中間管理事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	1,304千円
事業内容	平成26年度から農地利用最適化を進める手法として、各都道府県に一つ農地中間管理機構が設立された。農業振興地域内の農地を借り受け、担い手に対して転貸を行う農地中間管理機構の委託を受け、農地集積・耕作放棄地解消を図る。また機構を通して農地集積に協力した農業者へ支援を行う。		
成果・実績	<p>農地の借受希望及び貸付希望の公募を支援し、マッチングを行った結果、約1.51haの農地を担い手へ集積し、耕作放棄地化の解消・防止とともに担い手の農業経営基盤を強化した。また、特例事業（売買支援事業）にも取り組み、約0.86haの農地を集積した。</p> <p>[農地中間管理事業（貸借）]</p> <p>◎マッチング 6件 ◎貸付面積 約1.51ha</p> <p>[特例事業（売買）]</p> <p>◎マッチング 5件 ◎売買面積 約0.86ha</p>		
事業評価	農地の借受希望者と貸出希望者のマッチングにより、農地集積及び耕作放棄地解消を図ることができた。今後も国・京都府の動向に注視し、引き続き当該機構を活用した農業者への支援に努める。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	産業地域振興部
中分類	03 農林漁業・茶業の振興	
小分類	01 農業の振興	

事務事業名	農業者等復旧支援事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	10,552千円
事業内容	平成30年の台風21号によって被害を受けた農業用施設の復旧支援に取り組む。		
成果・実績	台風21号によって被害を受けた農業用施設の復旧に係る費用の一部を補助した。 ◎野菜生産施設災害復旧事業   パイプハウス   7棟 ◎宇治茶生産施設災害復旧事業   寒冷紗等   19件 ◎農業者等復旧応援事業        農業用倉庫等   35件		
事業評価	被害を受けた農業用施設の復旧に係る費用の一部について補助を行うことにより、農業用施設の復旧を推進することができた。		

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	産業地域振興部
中分類	03 農林漁業・茶業の振興	
小分類	02 茶業の振興	

事務事業名	優良茶園振興事業補助金	所管課	農林茶業課															
		決算額	1,970千円															
事業内容	市内産宇治茶の名声を維持し、さらに高めるためには、優良茶園の整備が不可欠であり、茶園拡大・新植及び改植事業への支援を通じ、品質及び生産力の向上を図る。																	
成果・実績	茶園拡大及び改植事業に補助金を交付し、優良茶園の拡大を図った。 <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>事業実施件数</th> <th>面積(a)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>茶園拡大</td> <td>1</td> <td>13.0</td> </tr> <tr> <td>新植</td> <td>0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>改植</td> <td>6</td> <td>42.6</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7</td> <td>55.6</td> </tr> </tbody> </table>				事業実施件数	面積(a)	茶園拡大	1	13.0	新植	0	-	改植	6	42.6	合計	7	55.6
	事業実施件数	面積(a)																
茶園拡大	1	13.0																
新植	0	-																
改植	6	42.6																
合計	7	55.6																
事業評価	茶園拡大及び改植事業に対し助成することにより、宇治茶の生産振興を図ることができた。今後も、優良茶園の整備による質の高い宇治茶の生産に努める中で、より効果的・効率的な補助実施について検討する必要がある。																	

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	02 ゆたかな市民生活ができるまち	産業地域振興部
<b>中分類</b>	03 農林漁業・茶業の振興	
<b>小分類</b>	02 茶業の振興	

<b>事務事業名</b>	市内産宇治茶ブランド化推進事業費	<b>所管課</b>	農林茶業課
		<b>決算額</b>	947千円
<b>事業内容</b>	宇治茶のブランド価値の源泉である宇治市内の茶園及び茶業を継承するため、市内産宇治茶の高付加価値化のあり方を定めるとともに、宇治茶商工業協会と本市で共同開発したオリジナル茶「碾玉（てんぎょく）」について市内産宇治茶のブランド化を戦略的に推進するツールの一つとして有効に活用し、課題の解決を図る。		
<b>成果・実績</b>	平成28年10月に「碾玉」の発売を開始し、市内産宇治茶のブランド力強化のため、PRを実施した。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・9月 全国アニメサミットinおおがき 碾玉PR</li> <li>・2月 南河内いちごの楽園プロジェクト 碾玉PR</li> <li>・2月 宇治茶イベント電車 碾玉PR</li> <li>・3月 宇治茶・山城ごちそうフェスタ 碾玉PR</li> </ul>		
<b>事業評価</b>	「碾玉」の積極的な販売・PRを通して、宇治茶のブランド価値を高めることができた。本事業は平成30年度で終了したが、今後も宇治茶ブランドのさらなる強化に向け、生産農家の後継者育成や「宇治碾茶」の商標登録後の活用など、より効果的な手法について検討する必要がある。		

<b>事務事業名</b>	茶・茶園品評会出品奨励費	<b>所管課</b>	農林茶業課																																
		<b>決算額</b>	5,337千円																																
<b>事業内容</b>	市内産宇治茶の名声を維持し、さらに高めるためには、生産者の高い意欲と品評会での上位入賞、評価結果に基づく絶え間ない生産技術の改善と品質向上が不可欠であることから、品評会への出品を奨励するとともに、成績優秀者には報奨金等を交付する。																																		
<b>成果・実績</b>	全国茶品評会、関西茶品評会など各種品評会への出品を奨励し、出品奨励金及び入賞報奨金などを交付した。  <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>第72回全国茶品評会</th> <th>第71回関西茶品評会</th> <th>第51回宇治市茶品評会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出品数</td> <td>38</td> <td>36</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>優等数</td> <td style="border: none;">/</td> <td style="border: none;">/</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>1等賞</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>2等賞</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>3等賞</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>農林水産大臣賞</td> <td>受賞</td> <td>受賞</td> <td style="border: none;">/</td> </tr> <tr> <td>産地賞</td> <td>受賞</td> <td>受賞</td> <td style="border: none;">/</td> </tr> </tbody> </table>				第72回全国茶品評会	第71回関西茶品評会	第51回宇治市茶品評会	出品数	38	36	29	優等数	/	/	2	1等賞	4	2	3	2等賞	7	7	5	3等賞	11	12	1	農林水産大臣賞	受賞	受賞	/	産地賞	受賞	受賞	/
	第72回全国茶品評会	第71回関西茶品評会	第51回宇治市茶品評会																																
出品数	38	36	29																																
優等数	/	/	2																																
1等賞	4	2	3																																
2等賞	7	7	5																																
3等賞	11	12	1																																
農林水産大臣賞	受賞	受賞	/																																
産地賞	受賞	受賞	/																																
<b>事業評価</b>	品評会への出品を奨励することにより、生産者の生産意欲を高めるとともにブランド力の向上につなげることができた。今後も引き続き質の高い宇治茶が生産されるよう、より効果的な支援に努める必要がある。																																		

## 平成30年度決算成果説明書

<b>総合計画の体系</b>		<b>所管部局</b>
<b>大分類</b>	02 ゆたかな市民生活ができるまち	産業地域振興部
<b>中分類</b>	03 農林漁業・茶業の振興	
<b>小分類</b>	02 茶業の振興	

<b>事務事業名</b>	高品質茶推進事業補助金	<b>所管課</b>	農林茶業課	
		<b>決算額</b>	5,864千円	
<b>事業内容</b>	市内産宇治茶の名声を維持し、さらに高めるために、品質の改善及び生産性の向上につながる農家の幅広い対策を支援する。			
<b>成果・実績</b>	環境にやさしい茶づくり及び寒冷紗等による茶園管理の省力化などへの支援を行うとともに、本ず茶園及び手摘みによる高品質茶の生産には欠かせない市内産宇治茶の伝統の継承を図る農家の取組にも支援を行った。			
		事業実施件数	面積(a)	
	環境にやさしい茶生産対策	22	1,795.5	
	手摘み茶推進対策		/	
	凍霜害対策	1	18.0	
	伝統技術継承対策	17	309.7	
	生産省力化 対策	寒冷紗二重式	2	27.4
		寒冷紗一重式	0	-
		棚整備(永久棚)	1	10.0
		被覆張替え	3	25.0
点滴灌水		1	20.0	
	共同製茶工場の設置費用	1	/	
	合計	48	2,205.6	
<b>事業評価</b>	本ず茶園及び手摘みなどによる生産を支援することにより、より高品質な宇治茶の生産を促進できた。継続して宇治茶、とりわけ市内産茶の名声を維持するとともに、今後も質の高い宇治茶の生産を行うため、より効果的な支援に努める必要がある。			

<b>事務事業名</b>	宇治茶おもてなし推進事業費	<b>所管課</b>	農林茶業課
		<b>決算額</b>	790千円
<b>事業内容</b>	「宇治茶の普及とおもてなしの心の醸成に関する条例」に基づき、おもてなしの心を醸成するために必要な事業を実施する。		
<b>成果・実績</b>	各種イベントにて市内産宇治茶の普及啓発を図った。		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月27日・8月15日 宇治市役所1階市民交流ロビーにて、市内産玉露（水出し・新茶）を提供。</li> <li>・市主催の会議等の際に用意する飲み物について市内産玉露かりがねを使用（531袋）。</li> <li>・4月、6月、12月 市職員向けにお茶の淹れ方研修を実施。</li> </ul>		
<b>事業評価</b>	「宇治茶の普及とおもてなしの心の醸成に関する条例」に基づき各種事業を実施することにより、宇治茶の伝統及び茶業の情報発信を図ることができた。今後も引き続き、効果的・効率的な普及啓発に努める必要がある。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	産業地域振興部
中分類	03 農林漁業・茶業の振興	
小分類	03 林業・漁業の振興	

事務事業名	鳥獣捕獲飼養対策費	所管課	農林茶業課
		決算額	2,795千円
事業内容	鳥獣による農林業生産物への被害を防止するため、シカ及びイノシシの捕獲を進める。		
成果・実績	<p>東部山間地を中心に、宇治猟友会に委託して有害鳥獣を捕獲するとともに、猟期内の捕獲に対して奨励金を交付した。</p> <p>◎宇治猟友会への委託による捕獲頭数 <span style="float: right;">117頭</span>            （うち、鳥獣被害防止緊急捕獲等対策報償金対象捕獲頭数 <span style="float: right;">104頭</span>）</p> <p>◎猟期内のシカの捕獲頭数 <span style="float: right;">155頭</span>            （うち、「シカ捕獲報奨金」による補助対象捕獲頭数 <span style="float: right;">120頭</span>）</p>		
事業評価	有害鳥獣捕獲業務の委託及び捕獲奨励金を交付することなどにより、農林産物の被害の軽減を図ることができた。今後も国・京都府の動向に注視し、引き続き事業の効果を検証しながら、農作物被害の軽減等に努める必要がある。		

事務事業名	河川種苗放流事業補助金	所管課	農林茶業課
		決算額	1,194千円
事業内容	稚魚の放流による水産資源の増殖を通して、快適な水辺空間及び良好な漁場を地域住民及び観光客に提供し、魚の棲めるきれいな川づくりへの気運を高める。		
成果・実績	<p>宇治川・志津川・笠取川等で行われた、あゆ（5万1千尾）、ふな（5千尾）、あまご（1千尾）の稚魚放流に対して助成を行い、水産資源の増殖に努めた。</p> <p>なお、うなぎの種苗は入手困難のため放流中止、はえの種苗は入手困難のため、代替措置として産卵床の造成が行われた。コイヘルペスの蔓延防止のため、こいの放流は自粛となった。</p>		
事業評価	京都府制度に基づき、種苗放流事業へ助成することにより、水産資源の増殖及び河川の環境改善などを行うことができた。宇治川の快適な水辺空間の創出は観光にも寄与するため、今後もより効果的な支援に努める必要がある。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系	
<b>大分類</b>	02 ゆたかな市民生活ができるまち
<b>中分類</b>	03 農林漁業・茶業の振興
<b>小分類</b>	03 林業・漁業の振興

所管部局
産業地域振興部

事務事業名	豊かな森を育てる事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	2,804千円
<b>事業内容</b>	本市における森林の持つ多面的機能を守り育て、より豊かなものとして次世代に伝えていくため、森林の整備や保全、森林の循環利用、森林の多様な重要性について、市民理解の促進に取り組んでいく。		
<b>成果・実績</b>	森林の整備及び保全を進めるため、天ヶ瀬森林公園内の危険木等(347本)を伐倒したほか、私有林を対象とした補助事業として危険木伐倒(3カ所106本)及び森林施業路(1カ所200m)に係る費用の一部を補助した。		
<b>事業評価</b>	府民の目的税徴収による交付金を活用し、森林の整備及び保全などを行うことができた。今後も目的税の趣旨の中で、より効果的・効率的に森林整備及び保全などに取り組む必要がある。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	02 ゆたかな市民生活ができるまち	産業地域振興部
<b>中分類</b>	04 商工業・観光の振興	
<b>小分類</b>	04 観光の振興	

<b>事務事業名</b>	観光センター管理運営費	<b>所管課</b>	観光振興課									
		<b>決算額</b>	36,132千円									
<b>事業内容</b>	観光情報サービスの拠点として、市内の観光案内のほか観光パンフレットの配布を行っている。センターの管理運営については（公社）宇治市観光協会を指定管理者としている。											
<b>成果・実績</b>	◎入館者数 276,700 人 ◎観光案内件数 45,081 件  ◎貸館状況 <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">利用件数</th> <th style="text-align: center;">施設使用料（円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">展示会場</td> <td style="text-align: center;">127（うち有料件数17）</td> <td style="text-align: center;">96,250</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">和室</td> <td style="text-align: center;">14（うち有料件数5）</td> <td style="text-align: center;">18,750</td> </tr> </tbody> </table>				利用件数	施設使用料（円）	展示会場	127（うち有料件数17）	96,250	和室	14（うち有料件数5）	18,750
	利用件数	施設使用料（円）										
展示会場	127（うち有料件数17）	96,250										
和室	14（うち有料件数5）	18,750										
<b>事業評価</b>	指定管理者により、適切に管理運営ができた。宇治観光の拠点施設として、より効果的な施設の運営に努める必要がある。											

<b>事務事業名</b>	市営茶室管理運営費	<b>所管課</b>	観光振興課						
		<b>決算額</b>	14,236千円						
<b>事業内容</b>	宇治茶及び茶道の普及並びに観光の振興を図るために、市営茶室「対鳳庵」を設置している。宇治を訪れる観光客が本場の宇治茶を気軽に味わうことができるようになっており、茶室の管理運営については（公社）宇治市観光協会を指定管理者としている。								
<b>成果・実績</b>	◎入席者数 23,354 人 うち有料券数 21,938 人 うち招待券数 1,416 人  ◎利用状況 <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">件数</th> <th style="text-align: center;">専用使用料（円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1（うち有料件数1）</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">3,000</td> </tr> </tbody> </table>				件数	専用使用料（円）	1（うち有料件数1）	1	3,000
	件数	専用使用料（円）							
1（うち有料件数1）	1	3,000							
<b>事業評価</b>	指定管理者による、適切な管理運営を通じて、「対鳳庵」において多くの観光客等に宇治茶を提供し、宇治茶の普及及び観光の振興を図ることができた。今後も国内外に対して施設のPR強化に努めるとともに、より効果的・効率的な宇治茶の普及及び観光の振興を図る必要がある。								

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	産業地域振興部
中分類	04 商工業・観光の振興	
小分類	04 観光の振興	

事務事業名	観光振興計画推進事業費	所管課	観光振興課
		決算額	299千円
事業内容	近年の観光客のニーズ及び社会情勢の変化を的確に把握し、恵まれた観光資源に磨きをかけ、多くの人々が訪れる観光地を目指すため、令和4年度までを実施期間とする「宇治市観光振興計画」を推進する。		
成果・実績	平成25年4月に策定した「宇治市観光振興計画」の推進に向け、学識経験者、（公社）宇治市観光協会、宇治商工会議所、社寺、商店街、茶業関係者などで構成する宇治市観光振興計画推進委員会において宇治の観光活性化のための議論を行った。		
事業評価	「宇治市観光振興計画」を適正に進捗管理することにより、観光活性化のための具体的な取組につなげることができた。今後は国の観光振興施策等を注視する中で、「宇治市観光振興計画後期アクションプラン」に基づき、宇治の観光活性化のため効果的な取組を行う必要がある。		

事務事業名	宇治茶巡りガイドツアー事業費	所管課	観光振興課
		決算額	75千円
事業内容	観光客に宇治茶への興味を持ってもらい、より多くの宇治の魅力を感じてもらうために、宇治観光ボランティアガイドクラブの案内による宇治茶関連施設の無料ツアーを行う。		
成果・実績	<p>◎ツアー開催日数：68日（1日につき、午前の1回開催）</p> <p>◎ツアー参加者数：513人</p> <p>普通に宇治市内を巡るだけでは知ることのできない宇治茶のルーツを知ることができると好評であった。</p>		
事業評価	観光客に対し宇治茶に関する情報提供及び施設見学を行うことにより、宇治茶のブランド力の強化と宇治の魅力発信に努めることができた。今後も宇治の魅力を伝える取組として、より効果的な手法を検討する必要がある。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	02 ゆたかな市民生活ができるまち	産業地域振興部
<b>中分類</b>	04 商工業・観光の振興	
<b>小分類</b>	04 観光の振興	

<b>事務事業名</b>	観光インバウンド推進事業費	<b>所管課</b>	観光振興課
		<b>決算額</b>	7,020千円
<b>事業内容</b>	海外からの観光客誘客のために、様々なメディアによる海外向けの情報発信を行う。香港、台湾、タイへの効果的なPRを行うため、宇治の情報を情報誌に掲載する。		
<b>成果・実績</b>	◎地球の歩き方 ・発行月：7月 ・発行部数：150,000部  香港、台湾、タイをはじめとする海外の旅行代理店及び国内の観光案内所等で配布した。		
<b>事業評価</b>	海外に向けて宇治の情報発信を行うことにより、海外からの観光誘客を図ることができた。今後も外国人観光客のさらなる誘客のため、様々なメディアを利用し効果的な情報発信に努める必要がある。		

<b>事務事業名</b>	観光情報発信事業費	<b>所管課</b>	観光振興課
		<b>決算額</b>	5,795千円
<b>事業内容</b>	宇治市の観光資源の情報発信として、各地での観光プロモーションの実施、パンフレット等の発行、広報物への観光情報の掲載を行う。また、新たな観光資源であるアニメーションを活用し他団体との連携業務を行う。		
<b>成果・実績</b>	◎日本語版パンフレット「京都・宇治」増刷 ◎宇治市×京阪電車 響け！ユーフォニアムコラボレーションフェスタ 宇治市×京阪電車 クリスマスコンサート“輝け！吹奏楽部”広報物作成 ◎宇治茶コラボイベント事業の実施 ◎京都市認定通訳ガイドの育成		
<b>事業評価</b>	宇治の観光情報発信への様々な取組を行うことにより、宇治の認知度及び宇治への訪問意欲の向上に努めることができた。今後も、本市の観光資源の情報をより効果的に国内外に発信するため、情報発信力を極める必要がある。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	産業地域振興部
中分類	04 商工業・観光の振興	
小分類	04 観光の振興	

事務事業名	観光関連補助事業費	所管課	観光振興課
		決算額	11,675千円
事業内容	宇治の観光振興に係るイベント及び放ち鶉飼プロジェクトの検討等に対して（公社）宇治市観光協会等へ助成を行うとともに宇治市観光案内所の管理運営を行う。		
成果・実績	◎委託及び補助金の内訳		
	宇治市観光案内所管理運営委託	4,888千円	
	観光活性化事業補助金（観光宣伝事業）	1,433千円	
	観光活性化事業補助金（鶉飼事業）	1,000千円	
	観光活性化事業補助金（観光ボランティアガイド運営事業）	375千円	
	観光活性化事業補助金（県祭り安全対策事業）	479千円	
	放ち鶉飼プロジェクト検討事業補助金	3,500千円	
事業評価	観光振興に係る諸事業への補助及び観光案内所の運営を通じ、宇治観光のイメージアップを図ることができた。今後も引き続き（公社）宇治市観光協会との協働により、さらなる観光振興に努めるとともに、各種観光事業に対するより効果的な補助の手法について検討し、宇治らしさを極める必要がある。		

事務事業名	観光案内サイン整備事業費	所管課	観光振興課
		決算額	10,475千円
事業内容	平成28年4月に策定した「宇治市観光案内サイン整備ガイドライン」に基づき、計画的に観光案内サインの整備を行う。		
成果・実績	（平成30年度サイン整備実施分）		
	◎宇治神社前 <div style="margin-left: 40px;">リノベーション・・・1基 撤去・・・4基</div>		
	◎観光センター周辺 <div style="margin-left: 40px;">リノベーション・・・5基 撤去・・・5基</div>		
事業評価	観光動向調査において課題の一つとなっている、観光案内サイン整備に取り組むことにより、観光客に対するおもてなし力の向上に努めた。今後も多様な観光客により長く滞在してもらい、リピーターとして訪問してもらうため、観光客に対するおもてなし力を極める必要がある。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	02 ゆたかな市民生活ができるまち	産業地域振興部
<b>中分類</b>	04 商工業・観光の振興	
<b>小分類</b>	01 戦略的な産業活性化の推進	

<b>事務事業名</b>	中小企業創業支援事業費	<b>所管課</b>	産業振興課
		<b>決算額</b>	4,643千円
<b>事業内容</b>	創業初期の経営安定化及び地域経済の活性化等を目的として、新たに創業する者や第二創業を行う者に対して、その創業等に要する経費の一部を助成する。		
<b>成果・実績</b>	<p>新たに創業する者に対して、その創業等に要する経費の一部を補助した。</p> <p>◎交付件数                7 件</p> <p>◎交付金額                4,643 千円</p>		
<b>事業評価</b>	「宇治チャレンジスクエア」との連携により、新たに創業する者の創業初期の経営安定化や地域経済の活性化に寄与する創業を支援することができた。事業効果の検証をしつつ、今後もより効果的な支援となるよう努める必要がある。		

<b>事務事業名</b>	産業戦略策定費	<b>所管課</b>	産業振興課
		<b>決算額</b>	8,552千円
<b>事業内容</b>	市外からの需要や人の流れを呼び込み市内の経済循環を促進することにより、市内経済を活性化させることを目的として、宇治市の産業振興についての方針を示し具体的な取組を進める「宇治市産業戦略」を策定する。		
<b>成果・実績</b>	アンケート・ヒアリングの実施による市内企業の実状の把握、産業連関表の活用による市内経済活動の客観的データの把握、年4回実施した宇治市産業戦略策定会議で有識者の意見を聴取することにより、概ね10年先までを見据えた令和元年度～令和3年度までの3年間を計画期間とする「宇治市産業戦略」を策定した。		
<b>事業評価</b>	本市のこれからの産業の方向性や、その実現に向けた取組等を示す「宇治市産業戦略」を策定した。今後はこの戦略に基づき、各種施策に取り組む中でまちの活性化に繋げる必要がある。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	02 ゆたかな市民生活ができるまち	産業地域振興部
<b>中分類</b>	04 商工業・観光の振興	
<b>小分類</b>	02 商業の振興	

<b>事務事業名</b>	産業会館管理運営費	<b>所管課</b>	産業振興課																								
		<b>決算額</b>	12,006千円																								
<b>事業内容</b>	宇治市産業会館は、商工業の振興の中核施設として、各種情報交換の場、会議・研修の場、地場製品の展示・紹介の場など、幅広く利用されている。地域経済を担う商工業者等が有効に活用することにより、産業の振興と発展につながっている。会館の管理運営については宇治商工会議所を指定管理者としている。																										
<b>成果・実績</b>	◎施設利用状況 <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 80%;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">件数</th> <th style="text-align: center;">人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産業情報コーナー</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>多目的ホール</td> <td style="text-align: center;">133</td> <td style="text-align: center;">13,136</td> </tr> <tr> <td>会議室</td> <td style="text-align: center;">111</td> <td style="text-align: center;">2,626</td> </tr> <tr> <td>第一研修室</td> <td style="text-align: center;">159</td> <td style="text-align: center;">3,273</td> </tr> <tr> <td>第二研修室</td> <td style="text-align: center;">291</td> <td style="text-align: center;">5,366</td> </tr> <tr> <td>茶室</td> <td style="text-align: center;">202</td> <td style="text-align: center;">2,246</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">902</td> <td style="text-align: center;">26,647</td> </tr> </tbody> </table>				件数	人数	産業情報コーナー	6	-	多目的ホール	133	13,136	会議室	111	2,626	第一研修室	159	3,273	第二研修室	291	5,366	茶室	202	2,246	合計	902	26,647
	件数	人数																									
産業情報コーナー	6	-																									
多目的ホール	133	13,136																									
会議室	111	2,626																									
第一研修室	159	3,273																									
第二研修室	291	5,366																									
茶室	202	2,246																									
合計	902	26,647																									
<b>事業評価</b>	指定管理者により適切に管理運営ができた。民間企業の研修、商工会議所の活動などに幅広く利用されており、今後もさらなる商工業の振興に向けて、施設の有効活用を図る必要がある。																										

<b>事務事業名</b>	宇治市中小企業低利融資事業費	<b>所管課</b>	産業振興課															
		<b>決算額</b>	1,519,375千円															
<b>事業内容</b>	市内の中小企業者に対して、事業資金を低利・無担保で融資し、その経営の安定を図る。市内に引き続き1年以上住所を有し、市税に滞納がなく京都信用保証協会の保証対象業種であることを条件に融資する。なお、原則として法人代表者以外の連帯保証人は不要としている。また、当該融資利用者に対し、支払った保証料及び利子の一部に相当する額を補給する。																	
<b>成果・実績</b>	◎宇治市中小企業低利融資 <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 80%;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">件数</th> <th style="text-align: center;">金額（千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保証料補給</td> <td style="text-align: center;">405</td> <td style="text-align: center;">38,274</td> </tr> <tr> <td>利子補給</td> <td style="text-align: center;">1,084</td> <td style="text-align: center;">90,815</td> </tr> <tr> <td>損失補償</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">2,286</td> </tr> <tr> <td>預託金</td> <td style="text-align: center;">5金融機関</td> <td style="text-align: center;">1,388,000</td> </tr> </tbody> </table> 融資実行は407件、融資金額は4,657,010千円				件数	金額（千円）	保証料補給	405	38,274	利子補給	1,084	90,815	損失補償	5	2,286	預託金	5金融機関	1,388,000
	件数	金額（千円）																
保証料補給	405	38,274																
利子補給	1,084	90,815																
損失補償	5	2,286																
預託金	5金融機関	1,388,000																
<b>事業評価</b>	市内の中小企業者に対し、事業資金の低利融資や保証料・利子の補給等の補助を行うことにより、中小企業経営の安定化に努めることができた。今後も健全な事業資金供給を行うため、効果的な融資及び補給などの支援に努める。																	

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系			所管部局											
<b>大分類</b>	02 ゆたかな市民生活ができるまち		産業地域振興部											
<b>中分類</b>	04 商工業・観光の振興													
<b>小分類</b>	02 商業の振興													
<b>事務事業名</b>	中小企業振興対策事業費		<b>所管課</b>	産業振興課										
			<b>決算額</b>	4,924千円										
<b>事業内容</b>	商店街・小売市場が行う商店街施設（アーケード・街路灯・防犯カメラ等）を設置する事業及び商工業団体の行う活性化対策事業、情報化対策事業に対して補助し、商店街等の振興を図る。													
<b>成果・実績</b>	<p>商店街等が実施する活性化・情報化対策事業等に対して、11件9団体に対し補助を行い、中小企業の振興に努めた。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>金額（千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活性化対策事業</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">2,862</td> </tr> <tr> <td>情報化対策事業</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">1,884</td> </tr> </tbody> </table> <p>その他自治体向けクラウドファンディングに要した経費 178千円</p>						件数	金額（千円）	活性化対策事業	7	2,862	情報化対策事業	4	1,884
	件数	金額（千円）												
活性化対策事業	7	2,862												
情報化対策事業	4	1,884												
<b>事業評価</b>	商店街等が行う活性化対策事業等に補助することにより、商店街等の振興に努めることができ、また、クラウドファンディングを活用した事業も実施できた。今後も、各商店街等における「商店街活性化計画」の策定を推進し、自立・自主性を高めるとともに、商店街等の活性化に繋がるためのより効果的な支援に努める必要がある。													

総合計画の体系			所管部局	
<b>大分類</b>	02 ゆたかな市民生活ができるまち		産業地域振興部	
<b>中分類</b>	04 商工業・観光の振興			
<b>小分類</b>	03 工業の振興			

<b>事務事業名</b>	企業立地促進助成事業費		<b>所管課</b>	産業振興課	
			<b>決算額</b>	44,561千円	
<b>事業内容</b>	「宇治市企業立地促進条例」に基づき、地域経済の活性化と産業振興の促進を図るため、市内に事業場等の設置、拡張を図る企業に助成金を交付する。				
<b>成果・実績</b>	<p>市内に工場、事業所などを新設または増設した企業に対して操業支援助成金等を交付した。</p> <p>◎交付社数 4社</p>				
<b>事業評価</b>	市内において工場等を新設または増設した企業に対して操業支援助成金等を交付することにより、市内への企業の立地を促進し、地域経済の活性化を図った。本事業は企業の市内立地への動機づけの一つであり、今後は、市内での企業の定着に向けて効果的な助成に努める必要がある。				

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	02 ゆたかな市民生活ができるまち	産業地域振興部
<b>中分類</b>	04 商工業・観光の振興	
<b>小分類</b>	03 工業の振興	

事務事業名	ベンチャー企業育成支援事業費	所管課	産業振興課
		決算額	14,731千円
事業内容	インキュベーションマネージャーを配置し、VIF（宇治ベンチャー企業育成工場）入居企業及び市内のベンチャー企業の育成支援のための諸施策を実施する。		
成果・実績	京都リサーチパーク（株）に業務委託してコーディネーターを配置し、ベンチャー企業育成工場の入居企業に対して経営・販路拡大等の伴走型支援を行った。また、セミナーの実施、及び年間100社の目標を立て市内企業を訪問し、市をはじめ、国・府の補助制度等を紹介するなど、市内既存企業にも支援を行った。		
事業評価	ベンチャー企業育成工場入居企業だけではなく、市内全体の企業へも支援を拡大することで、市内経済の活性化につながっている。市内経済活性化のため、今後も引き続き効果的な支援に努める必要がある。		

事務事業名	展示会出展支援助成事業費	所管課	産業振興課
		決算額	1,669千円
事業内容	市内の中小企業者（製造業及び情報系産業など）が開発・製作した製品を公的機関等の開催する展示会に出展することにより、当該製品に関心がある企業との会合を契機として、見積書の提出、新規取引へとマーケティング拡大に向けて取り組む。本市が出展経費の一部を助成することにより、産業振興を図る。		
成果・実績	<p>企業の新規取引の促進を図るため、開発・製作した製品を公的機関等の開催する展示会に出展した市内の中小企業に対し、その経費の一部を助成した。</p> <p>◎助成社数     5社</p>		
事業評価	助成を受けた企業からの評価も高く、市内企業の活性化に有効な施策である。企業の新規取引を開拓による市内企業の活性化を図るため、今後もより効果的な助成に努める必要がある。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	04 商工業・観光の振興
小分類	03 工業の振興

所管部局
産業地域振興部

事務事業名	産業振興センター運営費	所管課	産業振興課
		決算額	6,619千円
事業内容	産業に関する情報の収集・提供及び企業の育成・支援を行うため設置された産業振興センターの管理・運営を行う。		
成果・実績	同一敷地内にあるベンチャー企業育成工場のサポートを行うとともに、産業振興を推進する中核施設として、産業振興センターの円滑な管理・運営に努めた。		
事業評価	ベンチャー企業の育成、市内企業への支援など、産業振興の中核施設として円滑な運営に努めている。今後もベンチャー育成工場入居者や市内企業への支援を引き続き行い、貸館業務を含めたセンターの利活用を図る。		

事務事業名	中小企業人材確保支援事業費	所管課	産業振興課
		決算額	1,956千円
事業内容	宇治市内中小企業（製造業）の多くが抱える課題である人材確保を支援するため、宇治市の主催により、市内企業が出展する合同企業説明会・面接会を実施し、求職者とのマッチング機会の提供を行う。		
成果・実績	平成31年3月7日にメルパルク京都（京都市下京区）において、「宇治市ものづくり企業合同企業説明会・面接会」を開催し、宇治市内企業17社が出展、37名の来場者があった。		
事業評価	全国的に企業の人材確保が困難な状況の中、合同企業説明会に参加した企業の中には、実際に採用につながった企業もあり、一定の成果が上がっている。今後も企業等のニーズを把握する中で、引き続き効果的な支援に努める必要がある。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	02 ゆたかな市民生活ができるまち	産業地域振興部
<b>中分類</b>	05 勤労者福祉・消費生活の向上	
<b>小分類</b>	01 勤労者福祉の向上	

事務事業名	城南地域職業訓練協会運営補助金	所管課	産業振興課
		決算額	2,456千円
事業内容	技能労働者の養成と在職労働者の職業能力の向上を図るため、職業訓練法人城南地域職業訓練協会が実施する職業訓練事業に対して補助する。		
成果・実績	<p>求職者及び在職者に対し、パソコン・ビジネス英会話・医療事務・簿記講座等を開催した。</p> <p>◎講座数                    41 講座 ◎受講人数                201 人</p>		
事業評価	職業訓練事業に補助し、求職者及び在職者の職業能力開発向上等を図ることができた。利用者ニーズの把握・分析に努め、さらなる効果発現に向けて検討する必要がある。		

事務事業名	技能功労者表彰費	所管課	産業振興課										
		決算額	193千円										
事業内容	永く同一の職業に従事し優れた技能を持つ方の功労を称えることによって、技能水準の一層の向上と技能尊重の気運を高めることを目的に実施する。												
成果・実績	<p>◎技能功労者            4人 (内訳)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">職種</th> <th style="width: 50%;">表彰人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>造園工職</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>製茶工職</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>調理職</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>大工職</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table>			職種	表彰人数	造園工職	1	製茶工職	1	調理職	1	大工職	1
職種	表彰人数												
造園工職	1												
製茶工職	1												
調理職	1												
大工職	1												
事業評価	技能功労者を表彰することにより、技能水準の一層の向上及び技能尊重の気運の高揚を図ることができた。技能継承等の状況を把握する中で、今後も引き続き実施する。												

# 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	人権環境部
中分類	06 人権尊重社会の実現	
小分類	01 人権教育・啓発の推進	

事務事業名	人権啓発事業費	所管課	人権啓発課
		決算額	3,783千円

**事業内容** 人権尊重理念を普及し、様々な人権問題の解決に対する市民の理解を深めるため、「宇治市第2次人権教育・啓発推進計画」に基づき、各種の広報・啓発事業に取り組んでいる。

成果・実績	◎人権強調月間（8月）の取組		
	事業名	実施場所	成果等
	平和・ひゅうまん夏フェスタ	文化センター	1,800人参加
	人権啓発スポットCM放送	エフエム宇治放送	1日3回放送
	人権啓発懸垂幕掲示	市役所庁舎	—
	人権啓発パネル展示	市役所市民ギャラリー	—
	街頭啓発	アルプラザ宇治東店	啓発物品配布
	◎人権週間（12/4～12/10）の取組		
	事業名	実施場所	成果等
	ひゅうまんフェスタ	生涯学習センター周辺一帯	1,000人参加
人権啓発スポットCM放送	エフエム宇治放送	1日3回放送	
人権啓発懸垂幕掲示	市役所庁舎	—	
人権啓発パネル展示	市役所市民ギャラリー	—	
街頭啓発	コーナンJR宇治駅北店	啓発物品配布	
◎その他の取組			
事業名	実施時期	実施場所	成果等
情報紙「jinken」配布	8月・1月	—	各号8万部
楽しく学ぶ人権講座	2月～3月	生涯学習センター他	319人参加
人権の花運動	10月～3月	市内小学校	3校で実施
人権啓発物品配布	年間	各種催し	5,200個配布
啓発教材（DVD等）貸出	年間	—	年37本貸出
市政だよりによる広報・啓発	年間	—	—
人権啓発懸垂幕掲示	5月	市役所庁舎	—
◎山城地区広域連携事業			
山城人権ネットワーク推進協議会（ひゅうまんねっとやましろ）を通じて、広域連携・市民連携の啓発活動に取り組んだ。			
			
人権擁護委員の取組への活動支援（人権の花運動）			

**事業評価** 各種の広報・啓発事業を実施することにより、人権尊重理念を普及し、様々な人権問題の解決に対する市民の理解を深めることができた。今後も、ニーズの把握・分析に努めるとともに、さらに啓発効果を高めるため、市民自らが実践できるような取組を検討する必要がある。

# 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	人権環境部
中分類	06 人権尊重社会の実現	
小分類	01 人権教育・啓発の推進	

事務事業名	コミュニティワークうじ館・こはた館運営事業費	所管課	人権啓発課
		決算額	15,194千円
事業内容	福祉の向上と人権啓発のための市民活動・市民交流促進に向けた、地域福祉の推進を図るための事業及び各種人権啓発交流事業に取り組んでいる。		
成果・実績	<p>◎コミュニティワークうじ館・こはた館地域福祉活動推進事業費 <span style="float: right;">10,380千円</span>                      地域福祉の推進を図るため、相談事業及び学習講座開催事業、隣保館デイサービス事業を実施した。</p> <p>◎コミュニティワークうじ館・こはた館啓発交流活動推進事業費 <span style="float: right;">4,814千円</span>                      「人権尊重理念の普及」及び「様々な人権問題の解決」に向け、交流講座の開催及び人権啓発イベント開催事業を実施した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>人権問題講演会（うじ館）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ふれあいコンサート（こはた館）</p> </div> </div>		
事業評価	各種人権啓発交流事業等に取り組むことにより、市民活動及び市民交流の促進を図ることができた。さらなる利用者増を含め、今後も人権教育・啓発のために効果的な取組を検討する必要がある。		

# 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	07 男女共同参画社会の形成
小分類	01 男女共同参画の推進

所管部局
人権環境部

事務事業名	男女共同参画施策推進費	所管課	男女共同参画課
		決算額	1,941千円

**事業内容** 男女の人権の確立と地域に根ざした男女共同参画社会を実現するため、「宇治市男女生き生きまちづくり条例」（平成16年10月制定）及び宇治市男女共同参画計画「UJIあさぎりプラン」に基づき、広報・啓発事業並びに学習機会の提供、市民活動支援を行う。

成果・実績	◎広報・啓発																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施時期</th> <th>実施場所</th> <th>成果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男女共同参画情報誌「リズム」発行</td> <td>5・9・11・2月</td> <td>—</td> <td>各2,000部</td> </tr> <tr> <td>市政だよりによる広報・啓発</td> <td>年間</td> <td>—</td> <td>年22件掲載</td> </tr> <tr> <td>男女共同参画週間UJIのつどい講演会</td> <td>6月24日</td> <td>男女共同参画支援センター</td> <td>110人参加</td> </tr> <tr> <td>UJIあさぎりフェスティバル</td> <td>12月1・2日</td> <td>延べ1,000人参加</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	実施時期	実施場所	成果	男女共同参画情報誌「リズム」発行	5・9・11・2月	—	各2,000部	市政だよりによる広報・啓発	年間	—	年22件掲載	男女共同参画週間UJIのつどい講演会	6月24日	男女共同参画支援センター	110人参加	UJIあさぎりフェスティバル	12月1・2日	延べ1,000人参加
	事業名	実施時期	実施場所	成果																
	男女共同参画情報誌「リズム」発行	5・9・11・2月	—	各2,000部																
	市政だよりによる広報・啓発	年間	—	年22件掲載																
	男女共同参画週間UJIのつどい講演会	6月24日	男女共同参画支援センター	110人参加																
	UJIあさぎりフェスティバル	12月1・2日	延べ1,000人参加																	
	◎学習機会の提供・市民活動支援																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施時期</th> <th>実施場所</th> <th>成果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各種セミナー（全7セミナー）</td> <td rowspan="4">年間</td> <td rowspan="4">男女共同参画支援センターほか</td> <td>延べ404人参加</td> </tr> <tr> <td>ここからチャレンジ相談（全24回うち2回出前相談）</td> <td>延べ95人参加</td> </tr> <tr> <td>市民企画事業奨励事業（3件）</td> <td rowspan="2">延べ361人参加</td> </tr> <tr> <td>市民企画サポート事業（2件）</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	実施時期	実施場所	成果	各種セミナー（全7セミナー）	年間	男女共同参画支援センターほか	延べ404人参加	ここからチャレンジ相談（全24回うち2回出前相談）	延べ95人参加	市民企画事業奨励事業（3件）	延べ361人参加	市民企画サポート事業（2件）						
	事業名	実施時期	実施場所	成果																
各種セミナー（全7セミナー）	年間	男女共同参画支援センターほか	延べ404人参加																	
ここからチャレンジ相談（全24回うち2回出前相談）			延べ95人参加																	
市民企画事業奨励事業（3件）			延べ361人参加																	
市民企画サポート事業（2件）																				
◎DV対策																				
宇治市DV対策ネットワーク会議を年3回開催し、DV被害に関する情報共有を図るとともに、事例の研究等を通じて、DV防止及び被害者の保護・支援に係る関係機関・団体の相互連携に努めた。																				
◎DV防止に向けた啓発																				
子どもへの虐待・女性に対する暴力の根絶を目指し、それぞれのシンボルマークである「オレンジリボン」と「パープルリボン」の啓発を一体化し、「オレンジリボン・パープルリボンキャンペーン」として、こども福祉課と共催で広報・啓発活動を実施した。																				
◎デートDV防止啓発しおりの作成																				
デートDV防止に向けた啓発のためしおりを作成し、成人式の資料に同封して新成人に配布した。（3,000部作成）																				
◎男女共同参画ハンドブック〈中学生編〉を作成																				
教育関係者や中学生の男女共同参画社会の形成に向けた理解を深めるため、市立中学校3年生全員と担当教員等に配布した。（2,000部作成）																				



**事業評価** 「宇治市男女生き生きまちづくり条例」及び宇治市男女共同参画計画「UJIあさぎりプラン」に基づき、各種事業を実施したことにより、男女の人権の確立と地域に根ざした男女共同参画社会の推進に努めることができた。今後も市民・事業者等と協働・連携し、より効果的な事業を検討する必要がある。

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	人権環境部
中分類	07 男女共同参画社会の形成	
小分類	01 男女共同参画の推進	

事務事業名	男女共同参画支援センター運営費	所管課	男女共同参画課																		
		決算額	12,076千円																		
事業内容	男女共同参画のための市民活動・市民交流の拠点施設として、市民利用の促進に努めるとともに、女性のための相談事業・男性のための相談事業及び女性問題アドバイザー派遣事業を行う。																				
成果・実績	◎センター年間利用者数 50,108人 ◎女性問題アドバイザー派遣実績 7件 行政4件、民間3件 ◎女性のための相談事業実績																				
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">相談区分</th> <th style="text-align: center;">件数 (うちDVIに関するもの)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">一般相談</td> <td style="text-align: center;">来館相談</td> <td style="text-align: center;">135 (37)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">電話相談</td> <td style="text-align: center;">51 (11)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">186 (48)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">専門相談</td> <td style="text-align: center;">フェミニスト・カウンセリング</td> <td style="text-align: center;">96</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">こころとからだの相談</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">法律相談</td> <td style="text-align: center;">28</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">127</td> </tr> </tbody> </table>			相談区分		件数 (うちDVIに関するもの)	一般相談	来館相談	135 (37)	電話相談	51 (11)	合計	186 (48)	専門相談	フェミニスト・カウンセリング	96	こころとからだの相談	3	法律相談	28	合計
相談区分		件数 (うちDVIに関するもの)																			
一般相談	来館相談	135 (37)																			
	電話相談	51 (11)																			
	合計	186 (48)																			
専門相談	フェミニスト・カウンセリング	96																			
	こころとからだの相談	3																			
	法律相談	28																			
	合計	127																			
事業評価	◎男性のための相談事業実績 26件  女性のための相談事業に加え男性のための相談事業も行っており、男女それぞれのセンター利用促進を図ることができた。今後も利用状況及びニーズの把握・分析に努め、利用者にとってより効果的な取組を検討する必要がある。																				

事務事業名	JR宇治駅前市民交流プラザ運営費	所管課	男女共同参画課
		決算額	15,184千円
事業内容	男女共同参画支援センター、地域子育て支援基幹センター、ファミリー・サポート・センター、観光案内所、民間保育園及び宇治駅前交番の複合施設であるJR宇治駅前市民交流プラザ（ゆめりあ うじ）の施設管理を行う。		
成果・実績	男女共同参画、子育て支援、観光など市民交流のための複合施設として多くの利用を図るため、機械設備総合管理業務、清掃業務、駐車場料金精算システム保守業務を委託し施設の適正管理に努めた。		
事業評価	施設を適切に管理運営することにより、男女問わず幅広い年代の市民及び観光客の利用に供することができた。今後もより効果的な市民交流の場として活用されるよう、周知に努める必要がある。		

## 平成30年度決算成果説明書

<b>総合計画の体系</b>		<b>所管部局</b>
<b>大分類</b>	01 環境に配慮した安全・安心のまち	人権環境部
<b>中分類</b>	01 環境保全対策の推進	
<b>小分類</b>	01 地球環境対策・省エネルギーの推進	

<b>事務事業名</b>	地球温暖化対策関連事業費	<b>所管課</b>	環境企画課
		<b>決算額</b>	153千円
<b>事業内容</b>	本市域から発生する温室効果ガスを令和5年度までに平成2年度比で25%以上削減するため、「宇治市第2次地球温暖化対策地域推進計画」等に基づき、市民・事業者に対して温室効果ガス排出量削減に対する効果的な取組の普及啓発を行うとともに、市自ら温室効果ガス排出量削減対策を推進する。		
<b>成果・実績</b>	<p>◎エコファミリー推進事業費 44千円 家庭の温室効果ガス排出量削減を目的に、SDGs（持続可能な開発目標）の周知・啓発のため、ポスター及び小学生向けの小冊子を作成した。</p> <p>◎地球温暖化対策推進事業費 109千円 宇治環境フェスタを開催し、地球温暖化対策等の普及啓発を図った。イベント参加者数は延べ2,981人であった。</p>		
<b>事業評価</b>	計画に基づき、各種市民・事業者に対する地球温暖化防止活動の普及啓発及び市自らの温室効果ガス排出量削減対策の推進などに取り組むことにより、温室効果ガスの排出抑制を図ることができた。今後も引き続き国及び京都府の動向を注視し、市民・事業者・行政の3者協働による省エネルギー対策の普及・啓発等に取り組む必要がある。		

<b>事務事業名</b>	家庭用雨水タンク設置事業費補助金	<b>所管課</b>	環境企画課				
		<b>決算額</b>	799千円				
<b>事業内容</b>	雨水利用を通じた環境意識及び防災意識の向上を図るため、雨水タンクを設置する者に対し購入費用の一部を補助する。						
<b>成果・実績</b>	<p>補助対象となる雨水タンク設置費に対して、費用の一部を補助した。 府補助1/4 市補助1/2 上限45,000円</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">補助件数</td> <td style="padding: 5px;">交付金額 (千円)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">26件</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">799</td> </tr> </table>			補助件数	交付金額 (千円)	26件	799
補助件数	交付金額 (千円)						
26件	799						
<b>事業評価</b>	雨水タンクの設置費用の一部を補助することにより、雨水タンクの設置を促進し雨水利用を通じた環境意識及び防災意識の向上を図ることができた。今後も京都府の動向等を注視し、より効果的な補助の手法について検討する必要がある。						

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	人権環境部
中分類	01 環境保全対策の推進	
小分類	01 地球環境対策・省エネルギーの推進	

<b>事務事業名</b>	家庭向け自立型再生可能エネルギー導入事業費補助金	<b>所管課</b>	環境企画課			
		<b>決算額</b>	10,560千円			
<b>事業内容</b>	家庭におけるエネルギー自立化を促進するため、住居に太陽光発電・蓄電設備を同時設置した者に対し設置費用の一部を補助する。					
<b>成果・実績</b>	補助対象となる太陽光発電・蓄電設備設置費に対して、設置費用の一部を補助した。 太陽光発電量1kWあたり1万円 上限4万円 蓄電容量1kWhあたり6万円 上限36万円					
	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <th style="width: 50%;">補助件数</th> <th style="width: 50%;">交付額 (千円)</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">28件</td> <td style="text-align: center;">10,560</td> </tr> </table>	補助件数	交付額 (千円)	28件	10,560	
補助件数	交付額 (千円)					
28件	10,560					
<b>事業評価</b>	家庭におけるエネルギー自立化を促進するため、設備の設置費用に対し補助を行うことにより、市内の温室効果ガス排出量の低減に努めた。今後も京都府の動向等を注視し、より効果的な補助の手法について検討する必要がある。					

<b>事務事業名</b>	地球温暖化対策推進パートナーシップ会議運営費	<b>所管課</b>	環境企画課														
		<b>決算額</b>	221千円														
<b>事業内容</b>	「宇治市第2次地球温暖化対策地域推進計画」を進めるため、市民・事業者・行政が協働して地球温暖化防止活動の全市的な普及啓発を行う「宇治市地球温暖化対策推進パートナーシップ会議（ecoット宇治）」を運営する。																
<b>成果・実績</b>	環境学習推進グループ、エコライフ推進グループ、みどりのまちづくり推進グループ、森林保全グループ、広報グループ、再生可能エネルギー推進グループの6グループで、市民に対し身近で楽しみながら実践できる地球温暖化防止活動の普及啓発を行った。																
	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">家庭の省エネ相談所</td> <td style="width: 33%;">15回開設</td> <td style="width: 33%;">宇治環境フェスタ出展</td> </tr> <tr> <td>緑のカーテン講習会</td> <td>6回講師派遣</td> <td>環境展出展</td> </tr> <tr> <td>エコットクッキング教室</td> <td>2回開催</td> <td>どんぐりプロジェクト実施</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>こども環境学習実施</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>宇治学への協力実施</td> </tr> </table>	家庭の省エネ相談所	15回開設	宇治環境フェスタ出展	緑のカーテン講習会	6回講師派遣	環境展出展	エコットクッキング教室	2回開催	どんぐりプロジェクト実施			こども環境学習実施			宇治学への協力実施	
家庭の省エネ相談所	15回開設	宇治環境フェスタ出展															
緑のカーテン講習会	6回講師派遣	環境展出展															
エコットクッキング教室	2回開催	どんぐりプロジェクト実施															
		こども環境学習実施															
		宇治学への協力実施															
<b>事業評価</b>	イベント参加者 総計4,400人以上 広報紙 年4回発行 総計4,000部 「宇治市地球温暖化対策推進パートナーシップ会議（ecoット宇治）」を市民・事業者・行政が協働して運営することにより、地球温暖化対策を推進することができた。今後も引き続き、市民に対する地球温暖化対策の普及啓発を強化するとともに、事業者の参加促進及び効果的・効率的な運営方法のあり方について検討する必要がある。																

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系	
<b>大分類</b>	01 環境に配慮した安全・安心のまち
<b>中分類</b>	01 環境保全対策の推進
<b>小分類</b>	01 地球環境対策・省エネルギーの推進

所管部局
人権環境部

事務事業名	緑のカーテン推進事業費	所管課	環境企画課
		決算額	401千円
<b>事業内容</b>	地球温暖化対策としての緑のカーテンを普及させるため、市自ら緑のカーテンを設置することで市民に啓発するとともに、市民・事業者向けに講習会及びコンテストなどを実施する。		
<b>成果・実績</b>	小学校（3校）、中学校（2校）、幼稚園（3園）、保育所（1カ所）、その他公共施設（10カ所）が、緑のカーテンに取り組んだ。緑のカーテンを設置した施設においては、冷房の使用頻度が減少するとともに、市民への啓発に寄与した。また、緑のカーテン講習会を6回実施し、278人の市民が参加した。コンテストには15件の応募があり、市長賞等5件を表彰した。		
<b>事業評価</b>	緑のカーテンの設置及び普及啓発活動を実施することにより、市域の温室効果ガス排出量の削減等地球温暖化対策を推進することができた。今後も地球環境対策に取り組む気運を醸成する中で、より効果的な事業実施に努める必要がある。		

事務事業名	ISO14001推進費	所管課	環境企画課
		決算額	98千円
<b>事業内容</b>	「宇治市第2次環境保全計画」の望ましい環境像である『宇治の豊かな「歴史・文化」と「自然」を守り育て、将来にわたって安心して暮らせる「ふるさと宇治」』の実現のため、宇治市独自の環境マネジメントシステムを策定し、市の事務事業における環境負荷低減を継続的に実施する。		
<b>成果・実績</b>	これまでに蓄積した経験とノウハウを活かし、宇治市環境アクション（UA）として独自の環境マネジメントシステムを平成30年4月1日に策定し、運用を開始した。		
<b>事業評価</b>	本市独自の環境マネジメントシステムである「宇治市環境アクション（UA）」を策定した。今後は、「宇治市環境アクション（UA）」に基づき、引き続き市の事務事業における環境負荷低減を継続的に実施する。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系	
<b>大分類</b>	01 環境に配慮した安全・安心のまち
<b>中分類</b>	01 環境保全対策の推進
<b>小分類</b>	02 地域における環境保全・環境美化の推進

所管部局
人権環境部

事務事業名	環境保全関連事業費	所管課	環境企画課
		決算額	9,140千円
<b>事業内容</b>	市内における生活環境の状況把握を行うため、大気、水質、騒音などの監視測定を実施する。また、京滋バイパスを走行する車両の排気ガスによる大気汚染の状況把握を行うため、自動車排出ガス測定局を設置するとともに大気汚染物質の常時監視を実施する。		
<b>成果・実績</b>	<p>市内において自動車排出ガス等の大気測定、市内河川・事業場の水質測定、道路・鉄道等の騒音測定を行い、監視結果はいずれも概ね良好であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎環境監視費 <span style="float: right;">1,953千円</span></li> <li>◎発生源監視費 <span style="float: right;">737千円</span></li> <li>◎自動車排出ガス監視測定局運営費 <span style="float: right;">6,450千円</span></li> </ul>		
<b>事業評価</b>	市内における大気、水質、騒音などの監視測定を適正に実施することにより、生活環境保全に努めることができた。測定結果を公表し周知するとともに、今後も引き続き安定的な環境及び発生源監視測定を行い、環境保全の推進に努める必要がある。		

事務事業名	狂犬病予防費	所管課	環境企画課
		決算額	2,037千円
<b>事業内容</b>	狂犬病の発生予防、まん延防止及び撲滅のため、狂犬病予防注射接種を推進するとともに、犬の登録及び鑑札の交付、狂犬病事業の予防注射済票の交付など事務を行う。		
<b>成果・実績</b>	<p>市内公共施設を中心に計24カ所で集合注射接種会場を設け、758頭に対し狂犬病予防注射を実施した。また、犬の登録業務では、新たに509頭の登録を行い、総登録数9,178頭となった。</p>		
<b>事業評価</b>	狂犬病予防注射の集合注射及び犬の登録事務などを適正に実施することにより、狂犬病の発生予防に寄与することができた。今後も公衆衛生のさらなる向上を図るため、引き続き効果的・効率的な啓発を行う必要がある。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	02 地域における環境保全・環境美化の推進

所管部局
人権環境部

事務事業名	環境衛生対策関連事業費	所管課	環境企画課
		決算額	819千円
事業内容	良好な生活環境を保全するため、「宇治市環境保全基本条例」「宇治市あき地の雑草等の除去に関する条例」などに基づき、各種の環境衛生対策を行う。		
成果・実績	◎そ族及び衛生害虫対策費 <span style="float: right;">670千円</span> ・トビケラ駆除薬剤散布 <span style="float: right;">年2回（宇治川兩岸）</span>		
	◎あき地雑草等除去費 <span style="float: right;">149千円</span> ・指導・助言件数 <span style="float: right;">71件（18,694㎡）</span> ・処理件数 <span style="float: right;">71件（18,694㎡）</span>		
事業評価	衛生害虫対策、あき地の適正管理に関する指導などを実施することにより、生活環境の保全を図ることができた。住宅周辺の生活環境を改善するため、今後も引き続き環境衛生対策に努める必要がある。		

事務事業名	斎場施設運営費	所管課	環境企画課							
		決算額	75,050千円							
事業内容	利用者の宗教的感情を意識した火葬・葬祭等の利便を供するため、厳粛な環境の整備に努めるとともに、公共の福祉に資する事業を行い、効率的で安全性が高く衛生的な施設運営を図る。									
成果・実績	（一財）宇治市霊園公社を指定管理者として指定し、円滑な斎場事業を実施した。									
	◎斎場利用実績 <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="padding: 2px;">火葬場</td> <td style="padding: 2px;">3,244 件</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">待合室</td> <td style="padding: 2px;">213 件</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">安置室</td> <td style="padding: 2px;">147 件</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">葬祭場</td> <td style="padding: 2px;">110 件</td> </tr> </tbody> </table>			火葬場	3,244 件	待合室	213 件	安置室	147 件	葬祭場
火葬場	3,244 件									
待合室	213 件									
安置室	147 件									
葬祭場	110 件									
事業評価	指定管理者により適切に管理運営ができた。市民ニーズの状況を把握・分析し、今後も適切な施設管理に努めるとともに、老朽化した火葬炉の整備等、施設の効果的・効率的な整備について検討する必要がある。									

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	人権環境部	
中分類	01 環境保全対策の推進		
小分類	02 地域における環境保全・環境美化の推進		

事務事業名	墓地公園管理費	所管課	環境企画課
		決算額	25,407千円
事業内容	市民福祉の向上に寄与するため、公園と一体となった墓地として宇治市墓地公園を設置し、墓地使用者の利便だけではなく墓地公園を利用する全ての人が癒えるくつろぎの場を提供する。 また、公営の墓地として公平性・持続性を踏まえた墓地運営を行い、使用者が永代にわたって安心して墓参できる墓園環境を保持する。		
成果・実績	(一財)宇治市霊園公社を指定管理者として指定し、円滑な墓地公園事業を実施した。また、墓所使用者を年1回募集し、新たに使用を許可した。これにより総使用区画数は、2,969区画となった。 墓地公園の今後の望ましいあり方についての提言を受けて、墳墓に対する多様化する市民ニーズ等を踏まえ、合葬墓その他の合葬施設の整備について検討した。		
事業評価	指定管理者によって適切に管理運営できた。市民ニーズの状況を把握・分析し、今後も適切な施設管理に努めるとともに、墓地公園内でのモニュメント型合葬墓の整備等、施設の効果的な運用を検討する必要がある。		

新規使用許可数	
2㎡	6件
3㎡	3件
4㎡	1件
合計	10件

総合計画の体系		所管部局	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	人権環境部	
中分類	01 環境保全対策の推進		
小分類	03 ごみ・し尿の適正処理の推進		

事務事業名	浄化槽設置整備事業費補助金	所管課	環境企画課																
		決算額	414千円																
事業内容	生活排水による河川の水質汚濁を防止するため、浄化槽設置費用の一部を助成することにより、浄化槽の設置を促進する。																		
成果・実績	下水道事業計画区域外等の地域において補助対象の住宅に、浄化槽設置費用の一部を補助した。																		
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>人槽</th> <th>設置数</th> <th>補助単価 (千円)</th> <th>交付金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>0</td> <td>332</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>1</td> <td>414</td> <td>414</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>0</td> <td>548</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>			人槽	設置数	補助単価 (千円)	交付金額 (千円)	5	0	332	0	7	1	414	414	10	0	548	0
人槽	設置数	補助単価 (千円)	交付金額 (千円)																
5	0	332	0																
7	1	414	414																
10	0	548	0																
事業評価	浄化槽設置費用の一部を補助することにより、浄化槽設置を促進し、河川・水路等の水質改善に寄与した。今後も国の動向を注視し、より効果的な補助の手法について検討する必要がある。																		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	人権環境部
中分類	01 環境保全対策の推進	
小分類	02 地域における環境保全・環境美化の推進	

<b>事務事業名</b>	不法投棄防止対策事業費	<b>所管課</b>	ごみ減量推進課
		<b>決算額</b>	1,967千円
<b>事業内容</b>	不法投棄の抑止及び不法投棄されたごみ等の回収のため、特に不法投棄が多い市内山間地について、地域住民にパトロールを委託する。		
<b>成果・実績</b>	◎不法投棄監視業務委託費 1,967千円 延べ 562人、305日		
<b>事業評価</b>	不法投棄されたごみ等を早期発見し回収することにより、不法投棄の連鎖的な発生を抑止することができた。今後も不法投棄の発生を抑止するため、効果的な手法について検討する必要がある。		

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	人権環境部
中分類	01 環境保全対策の推進	
小分類	03 ごみ・し尿の適正処理の推進	

<b>事務事業名</b>	廃家電運搬委託費	<b>所管課</b>	ごみ減量推進課	
		<b>決算額</b>	510千円	
<b>事業内容</b>	不法投棄された廃家電及びパソコンを「特定家庭用機器再商品化法施行令」及び「資源有効利用促進法」に定められた再資源化率が達成可能な再資源化施設に運搬し、同法に準じた適切な処理を図る。			
<b>成果・実績</b>	◎廃家電運搬処理委託費 507千円			
	不法投棄分処理台数 (台)			
	年度	28	29	30
	品目			
	テレビ	46	48	43
	冷蔵庫（冷凍庫含む）	19	18	32
	洗濯機・衣類乾燥機	6	12	17
	エアコン	2	1	2
	パソコン	1	2	7
	その他	1	2	11
	合計	75	83	112
<b>事業評価</b>	「特定家庭用機器再商品化法施行令」及び「資源有効利用促進法」に基づき、不法投棄された廃家電及びパソコンについて、適切に処理することができた。今後は、不法投棄の減少に向け、発生の抑止に向けた効果的な手法を検討する必要がある。			

# 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	人権環境部
中分類	01 環境保全対策の推進	
小分類	03 ごみ・し尿の適正処理の推進	

事務事業名	一般廃棄物収集運搬事業費	所管課	ごみ減量推進課
		決算額	326,349千円

事業内容	一般家庭から排出される可燃性・不燃性一般廃棄物の収集運搬業務及び資源ごみの収集運搬業務、また町内会等が側溝を清掃する際に必要な容器の貸出、回収業務を民間委託を活用しながら実施する。
------	--

成果・実績	◎可燃物等収集運搬委託費	193,872千円			
	◎不燃物収集運搬委託費	90,990千円			
	◎びん・ペットボトル収集運搬委託費	36,687千円			
	◎溝土収集運搬委託費	4,800千円			
	家庭系ごみ等収集実績				
		各年度の収集量 (t)	収集方法等		
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	可燃ごみ	24,169	23,666	23,277	直営 (一部委託)
	不燃ごみ	5,963	5,843	6,533	委託 (一部地域除く)
	プラマーク	1,789	1,674	1,631	直営
	缶	317	345	338	直営 (一部委託)
	びん	1,088	1,082	1,027	委託 (一部地域除く)
	ペットボトル	510	512	516	委託 (一部地域除く)
	紙パック	20	19	26	直営
	溝土	44	39	37	委託
家電リサイクル法 対象家電製品	99台	129台	172台	直営	
死獣	1,340頭	1,271頭	1,158頭	直営 (一部委託)	
小型家電	6	7	8	直営	
			ごみ出しが困難な高齢者世帯等に対して、ふれあい収集(戸別収集)を実施 ふれあい収集 総世帯数385世帯 (平成30年度末現在)		

事業評価	一般家庭から排出される廃棄物について、民間委託を活用しながら適切に収集することにより、快適な市民生活を支えることができた。今後も適切な収集に努める中で、ごみの減量化に向けた手法の検討が必要である。
------	--

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	01 環境に配慮した安全・安心のまち	人権環境部
<b>中分類</b>	01 環境保全対策の推進	
<b>小分類</b>	04 ごみの減量化の推進	

<b>事務事業名</b>	古紙回収事業費	<b>所管課</b>	ごみ減量推進課																			
		<b>決算額</b>	39,740千円																			
<b>事業内容</b>	本市と協定を締結した古紙類の集団回収に取り組む町内会・自治会等に対し、民間再生事業者に引き渡した古紙類の量に応じて報償金を交付する。																					
<b>成果・実績</b>	<p>引き渡した古紙類の量に応じて、1kgあたり5円の報償金を交付した。</p> <p>◎古紙回収報償金            39,410千円</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別 \ 年度</th> <th colspan="3">各年度の古紙類回収量 (t)</th> </tr> <tr> <th>28</th> <th>29</th> <th>30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>集団回収</td> <td>8,326</td> <td>8,124</td> <td>7,882</td> </tr> <tr> <td>直営回収</td> <td>231</td> <td>222</td> <td>224</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>8,557</td> <td>8,346</td> <td>8,106</td> </tr> </tbody> </table>			種別 \ 年度	各年度の古紙類回収量 (t)			28	29	30	集団回収	8,326	8,124	7,882	直営回収	231	222	224	合計	8,557	8,346	8,106
種別 \ 年度	各年度の古紙類回収量 (t)																					
	28	29	30																			
集団回収	8,326	8,124	7,882																			
直営回収	231	222	224																			
合計	8,557	8,346	8,106																			
<b>事業評価</b>	当該事業により、市民のリサイクルに対する意識を高め、ごみの減量化と資源のリサイクルを促進することができた。集団回収の状況を把握・分析に努める中で、より効果的な手法について検討する必要がある。																					

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
<b>中分類</b>	01 地域福祉の推進	
<b>小分類</b>	01 地域福祉活動の推進	

<b>事務事業名</b>	地域福祉推進事業費	<b>所管課</b>	地域福祉課
		<b>決算額</b>	323千円
<b>事業内容</b>	「宇治市地域福祉計画」に基づき、福祉のまちづくりを進めるため実施する各事業の進行管理を行う。		
<b>成果・実績</b>	平成22年度に策定した「第2期宇治市地域福祉計画」に掲げた事業の進行管理を行い、地域福祉の推進を図った。  ◎地域福祉推進委員会開催数 <span style="float: right;">2回</span>		
<b>事業評価</b>	「第2期宇治市地域福祉計画」の目標達成に向け、地域福祉推進委員会の議論を踏まえ、計画に位置付けられた各事業の進行管理、評価を行った。今後も地域福祉を推進するため、「宇治市地域福祉活動計画」との連携を図りつつ、「第3期宇治市地域福祉計画」の策定に向けた取組の検討を進める。		

<b>事務事業名</b>	宇治市社会福祉協議会活動助成金	<b>所管課</b>	地域福祉課
		<b>決算額</b>	71,068千円
<b>事業内容</b>	地域福祉推進の中核的役割を担っている（福）宇治市社会福祉協議会の独自事業及び人件費に対して財政的援助を行うことにより、地域福祉の充実強化を図る。		
<b>成果・実績</b>	（福）宇治市社会福祉協議会に対し、次に掲げる補助を行い、財政的援助と事業の充実を図った。 ◎宇治市社会福祉協議会事務所運営事業補助金 <span style="float: right;">58,695千円</span> ◎福祉活動専門員設置事業補助金 <span style="float: right;">2,535千円</span> ◎福祉サービス利用援助事業専門員設置事業補助金 <span style="float: right;">979千円</span> ◎ボランティアコーディネーター設置事業補助金 <span style="float: right;">1,959千円</span> ◎ふれあい福祉センター事業補助金 <span style="float: right;">3,600千円</span> ◎学区福祉委員会活動事業補助金 <span style="float: right;">3,150千円</span> ◎災害ボランティアセンター体制整備補助金 <span style="float: right;">150千円</span>		
<b>事業評価</b>	民間組織の自主性と法に基づく公共性を持つ社会福祉協議会の活動を支援し、地域住民が主体となった地域福祉の推進を図った。少子高齢化の進展に伴い、福祉ニーズが複雑・多様化する中で、今後も引き続き、連携・協働して地域福祉の推進に取り組んでいく。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	01 地域福祉の推進	
小分類	01 地域福祉活動の推進	

事務事業名	民生児童委員活動助成費	所管課	地域福祉課						
		決算額	38,879千円						
事業内容	<p>「民生委員法」・「児童福祉法」に定められた民生児童委員の職務を遂行するために必要な活動費を助成し、地域における福祉活動を推進するとともにその向上を図る。民生児童委員は、高齢者等世帯、ひとり親世帯、児童・子育て支援世帯、障害児・者世帯、生活困難者世帯などの福祉向上及び公的福祉施策への協力など、地域福祉の担い手として広範な社会福祉活動を担っている。</p>								
成果・実績	<p>民生児童委員に対して次に掲げる補助を行い、委員活動の一層の充実を図った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 70%;">◎民生児童委員活動費補助金</td> <td style="text-align: right;">36,403千円</td> </tr> <tr> <td>◎民生児童委員協議会会長活動費補助金</td> <td style="text-align: right;">360千円</td> </tr> <tr> <td>◎民生児童委員地域福祉活動促進費補助金</td> <td style="text-align: right;">2,116千円</td> </tr> </table>			◎民生児童委員活動費補助金	36,403千円	◎民生児童委員協議会会長活動費補助金	360千円	◎民生児童委員地域福祉活動促進費補助金	2,116千円
◎民生児童委員活動費補助金	36,403千円								
◎民生児童委員協議会会長活動費補助金	360千円								
◎民生児童委員地域福祉活動促進費補助金	2,116千円								
事業評価	<p>民生児童委員の活動を助成し、地域福祉の推進を図った。少子高齢化の進展により、老老介護や8050問題など、社会状況が変化していることに伴い、その活動は複雑・多様化している中で、民生児童委員の確保と、相談等に的確に対処するための研修活動及び委員相互の連携強化に努める。</p>								

事務事業名	総合福祉会館管理運営費	所管課	地域福祉課						
		決算額	32,609千円						
事業内容	<p>(福) 宇治市社会福祉協議会を指定管理者として、地域福祉推進の拠点施設である宇治市総合福祉会館（昭和58年1月開館）を管理・運営する。</p>								
成果・実績	<p>宇治市総合福祉会館を指定管理者によって管理・運営し、必要な修繕等を行った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 70%;">◎総合福祉会館指定管理料</td> <td style="text-align: right;">25,298千円</td> </tr> <tr> <td>◎総合福祉会館修繕費等</td> <td style="text-align: right;">1,695千円</td> </tr> <tr> <td>◎総合福祉会館設備設計委託料</td> <td style="text-align: right;">5,616千円</td> </tr> </table>			◎総合福祉会館指定管理料	25,298千円	◎総合福祉会館修繕費等	1,695千円	◎総合福祉会館設備設計委託料	5,616千円
◎総合福祉会館指定管理料	25,298千円								
◎総合福祉会館修繕費等	1,695千円								
◎総合福祉会館設備設計委託料	5,616千円								
事業評価	<p>指定管理者により適正に管理運営が執行された。施設の経年劣化や利用者ニーズの多様化に対応するため、引き続き指定管理者と連携して必要な改修等を実施するなど、本市の福祉拠点施設としての役割を果たせるよう、管理運営に努める。</p>								

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
<b>中分類</b>	01 地域福祉の推進	
<b>小分類</b>	01 地域福祉活動の推進	

<b>事務事業名</b>	地域共生社会推進事業補助金	<b>所管課</b>	地域福祉課
		<b>決算額</b>	1,919千円
<b>事業内容</b>	子どもの貧困、引きこもり、地域福祉の担い手確保等の今日的課題の解決並びに地域共生社会の実現を目指し、地域における主体的な取組を行う団体等の支援及び地域資源のネットワーク化を促進し、協働による地域福祉の推進を図る。		
<b>成果・実績</b>	<p>(福) 宇治市社会福祉協議会に対し、次に掲げる補助を行い、地域共生社会の推進を図った。</p> <p>◎地域共生社会推進事業補助金 <span style="float: right;">1,919千円</span></p> <p style="padding-left: 20px;">地域共生パイロット事業 <span style="float: right;">1,500千円</span></p> <p style="padding-left: 20px;">公募型地域福祉活動支援事業 <span style="float: right;">419千円</span></p>		
<b>事業評価</b>	子どもの貧困、引きこもり、地域福祉の担い手確保等の課題解決に向けて、主体的な取組を行う団体等の活動に対して支援を行うとともに、地域資源のネットワーク化に向けたパイロット事業を実施し、団体との協働による地域福祉の推進を図った。		

<b>事務事業名</b>	地域共生社会実現サポート事業補助金	<b>所管課</b>	地域福祉課
		<b>決算額</b>	1,867千円
<b>事業内容</b>	地域において社会福祉法人等が実施する社会貢献活動並びに福祉サービスの質の向上を促進し、共に生き、共に支え合う社会の実現を図るため、京都府が実施する「地域共生社会実現サポート事業」と協調して実施する。		
<b>成果・実績</b>	<p>社会福祉法人に対し補助を行い、小規模法人の処遇改善、災害時の対応力向上を図った。</p> <p>◎地域共生社会実現サポート事業補助金 <span style="float: right;">1,867千円</span></p> <p style="padding-left: 20px;">補助実績：10法人 20事業所</p>		
<b>事業評価</b>	京都府と連携し、社会福祉法人等が行う地域課題の解消に向けた取組等の支援を実施した。今後も地域共生社会の実現に向け、社会福祉法人等と連携し、地域福祉の推進を図る。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
<b>中分類</b>	06 低所得者福祉の充実	
<b>小分類</b>	01 低所得者福祉の充実	

<b>事務事業名</b>	くらしの資金貸付事業費	<b>所管課</b>	地域福祉課																																												
		<b>決算額</b>	2,980千円																																												
<b>事業内容</b>	生活保護（生活扶助）基準の1.8倍以下の収入世帯に対し、その経済的安定と生活意欲の向上を図るため、（福）宇治市社会福祉協議会へ事務委託し、生活維持に必要な資金を年2回（夏期、冬期）、貸付限度額10万円（夏期・冬期の合計）、償還期間最長20カ月返済で貸し付ける。																																														
<b>成果・実績</b>	<p>厳しい生活状況に置かれた市民に対して、本事業により生活の安定を図った。平成30年度は件数、金額ともに平成29年度並みとなった。</p> <p>◎くらしの資金貸付実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">平成27年度</th> <th colspan="2">平成28年度</th> <th colspan="2">平成29年度</th> <th colspan="2">平成30年度</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>貸付金額 (千円)</th> <th>件数</th> <th>貸付金額 (千円)</th> <th>件数</th> <th>貸付金額 (千円)</th> <th>件数</th> <th>貸付金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏期</td> <td>16</td> <td>1,560</td> <td>10</td> <td>1,000</td> <td>8</td> <td>750</td> <td>8</td> <td>730</td> </tr> <tr> <td>冬期</td> <td>19</td> <td>1,850</td> <td>16</td> <td>1,600</td> <td>14</td> <td>1,400</td> <td>14</td> <td>1,350</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>35</td> <td>3,410</td> <td>26</td> <td>2,600</td> <td>22</td> <td>2,150</td> <td>22</td> <td>2,080</td> </tr> </tbody> </table>				平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)	夏期	16	1,560	10	1,000	8	750	8	730	冬期	19	1,850	16	1,600	14	1,400	14	1,350	合計	35	3,410	26	2,600	22	2,150	22	2,080
	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度																																								
	件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)																																							
夏期	16	1,560	10	1,000	8	750	8	730																																							
冬期	19	1,850	16	1,600	14	1,400	14	1,350																																							
合計	35	3,410	26	2,600	22	2,150	22	2,080																																							
<b>事業評価</b>	資金貸付により、低所得者等の生活意欲の向上と自立助成に一定の効果を上げることができた。令和元年度から低所得者等を対象とした家計相談支援事業を開始することから、低所得者福祉の充実を図りつつ、情勢に応じた制度のあり方について検討する必要がある。																																														

## 平成30年度決算成果説明書

<b>総合計画の体系</b>		<b>所管部局</b>
<b>大分類</b>	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
<b>中分類</b>	06 低所得者福祉の充実	
<b>小分類</b>	01 低所得者福祉の充実	

<b>事務事業名</b>	住居確保給付金給付費	<b>所管課</b>	生活支援課								
		<b>決算額</b>	545千円								
<b>事業内容</b>	離職後2年以内及び65歳未満で、就労能力及び就労意欲のある者のうち、住宅を喪失している者または喪失するおそれのある者に対して、住居確保給付金を支給することにより、これらの者の住居費及び就労活動を支援する。										
<b>成果・実績</b>	◎支給状況等 <table style="width: 100%; margin-left: 20px;"> <tr> <td>・支給対象者数</td> <td style="text-align: right;">3人</td> </tr> <tr> <td>・支給額合計</td> <td style="text-align: right;">545千円</td> </tr> <tr> <td>・支給決定者数</td> <td style="text-align: right;">3人</td> </tr> <tr> <td>・不支給決定者数</td> <td style="text-align: right;">0人</td> </tr> </table> ◎就労状況 平成30年度に支給した3人中2人（66%）が常用就職できた。			・支給対象者数	3人	・支給額合計	545千円	・支給決定者数	3人	・不支給決定者数	0人
・支給対象者数	3人										
・支給額合計	545千円										
・支給決定者数	3人										
・不支給決定者数	0人										
<b>事業評価</b>	「生活困窮者自立支援法」に基づき、失業者に対する住居確保のセーフティネットとして適正に支援を実施した。受給者の就労につなげられるよう、ハローワーク及び京都府との連携により、取組をより一層推進していく必要がある。										

<b>事務事業名</b>	中国残留邦人生活支援事業費	<b>所管課</b>	生活支援課																							
		<b>決算額</b>	56,167千円																							
<b>事業内容</b>	「中国残留邦人等の円滑な帰国の促進並びに永住帰国した中国残留邦人等及び特定配偶者の自立の支援に関する法律」の一部が改正されたことにより、平成20年4月1日より国からの法定受託事務として支援給付事業を行うこととされたもの。支援給付の内容は今までの生活保護費に代わるものである。																									
<b>成果・実績</b>	中国残留邦人等帰国者に対し、支援給付費の支給及び日本語教室の開催などの支援を行った。 <table style="width: 100%; margin-left: 20px;"> <tr> <td>◎中国残留邦人等支援給付費</td> <td style="text-align: right;">52,487千円</td> <td style="text-align: right;">（対象：13世帯、17人）</td> </tr> <tr> <td>◎中国残留邦人等支援事務費</td> <td style="text-align: right;">1,612千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎中国残留邦人生活支援日本語教室等委託料</td> <td style="text-align: right;">2,068千円</td> <td></td> </tr> </table> ◎支援給付費決算額 <span style="float: right;">（千円）</span> <table border="1" style="width: 100%; margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">支援の種類</th> <th style="width: 12.5%;">生活</th> <th style="width: 12.5%;">住宅</th> <th style="width: 12.5%;">介護</th> <th style="width: 12.5%;">医療</th> <th style="width: 12.5%;">その他</th> <th style="width: 12.5%;">合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支援給付費</td> <td style="text-align: right;">13,236</td> <td style="text-align: right;">2,480</td> <td style="text-align: right;">1,068</td> <td style="text-align: right;">35,451</td> <td style="text-align: right;">252</td> <td style="text-align: right;">52,487</td> </tr> </tbody> </table>			◎中国残留邦人等支援給付費	52,487千円	（対象：13世帯、17人）	◎中国残留邦人等支援事務費	1,612千円		◎中国残留邦人生活支援日本語教室等委託料	2,068千円		支援の種類	生活	住宅	介護	医療	その他	合計	支援給付費	13,236	2,480	1,068	35,451	252	52,487
◎中国残留邦人等支援給付費	52,487千円	（対象：13世帯、17人）																								
◎中国残留邦人等支援事務費	1,612千円																									
◎中国残留邦人生活支援日本語教室等委託料	2,068千円																									
支援の種類	生活	住宅	介護	医療	その他	合計																				
支援給付費	13,236	2,480	1,068	35,451	252	52,487																				
<b>事業評価</b>	国制度に基づき、対象者の生活支援を実施した。今後も引き続き適正な事務執行に努める。																									

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
<b>中分類</b>	06 低所得者福祉の充実	
<b>小分類</b>	01 低所得者福祉の充実	

<b>事務事業名</b>	生活保護	<b>所管課</b>	生活支援課																								
		<b>決算額</b>	5,030,420千円																								
<b>事業内容</b>	「日本国憲法」第25条に基づき、生活困窮者に対し健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長することを目的とする。国が示す生活保護基準により扶助費を支給する。																										
<b>成果・実績</b>	<p>生活困窮者の困窮の程度に応じて必要な保護を行い、生活、住宅、教育、介護、医療、出産、生業及び葬祭など扶助を実施した。被保護世帯は平成30年度中の月平均で2,143世帯、被保護人員は3,066人であった。</p> <p>◎平成30年度生活保護扶助費決算額 (千円)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 80%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">扶助の種類</th> <th style="text-align: center;">扶助費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td style="text-align: center;">生活</td><td style="text-align: right;">1,586,024</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">住宅</td><td style="text-align: right;">790,618</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">教育</td><td style="text-align: right;">29,340</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">介護</td><td style="text-align: right;">99,838</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">医療</td><td style="text-align: right;">2,451,964</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">生業</td><td style="text-align: right;">23,936</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">葬祭</td><td style="text-align: right;">11,150</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">施設事務費</td><td style="text-align: right;">32,572</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">就労自立給付金</td><td style="text-align: right;">1,778</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">進学準備給付金</td><td style="text-align: right;">3,200</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">合計</td><td style="text-align: right;">5,030,420</td></tr> </tbody> </table>			扶助の種類	扶助費	生活	1,586,024	住宅	790,618	教育	29,340	介護	99,838	医療	2,451,964	生業	23,936	葬祭	11,150	施設事務費	32,572	就労自立給付金	1,778	進学準備給付金	3,200	合計	5,030,420
扶助の種類	扶助費																										
生活	1,586,024																										
住宅	790,618																										
教育	29,340																										
介護	99,838																										
医療	2,451,964																										
生業	23,936																										
葬祭	11,150																										
施設事務費	32,572																										
就労自立給付金	1,778																										
進学準備給付金	3,200																										
合計	5,030,420																										
<b>事業評価</b>	国制度に基づき適正に執行し、対象世帯の経済的な生活支援と自立助長を図った。今後も濫給・漏給の防止等、法令遵守を徹底した生活保護運営に努めるとともに、受給者の自立に向けた支援を実施する。																										

<b>事務事業名</b>	生活保護申請者つなぎ立替金貸付事業費	<b>所管課</b>	生活支援課
		<b>決算額</b>	1,225千円
<b>事業内容</b>	平成15年度に発足した制度であり、生活保護の申請から決定までの期間、生活困窮者のつなぎ資金として、3万円を限度として生活費の貸付を行う。		
<b>成果・実績</b>	<p>◎貸付件数 87件</p> <p>◎貸付額合計 1,225千円</p>		
<b>事業評価</b>	適正に貸付を実施し、対象者の生活安定を図った。申請者の状況に応じた一時的な支援として、関連施策との連携を図りながら、適正な実施手法を検討する。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
<b>中分類</b>	06 低所得者福祉の充実	
<b>小分類</b>	01 低所得者福祉の充実	

<b>事務事業名</b>	生活困窮世帯等の子どもの学習支援事業	<b>所管課</b>	生活支援課
		<b>決算額</b>	1,756千円
<b>事業内容</b>	生活困窮世帯等の子どもとその保護者に対して、個々の世帯の置かれている生活環境の状況を踏まえ学習支援、その他養育に関する相談支援等を行う。		
<b>成果・実績</b>	<p>◎支援状況等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業利用者    中学1年生    2人</li> <li>                         中学2年生    9人</li> <li>                         中学3年生    10人</li> <li>                         合計            21人（うち6人は年度途中で支援終了）</li> <li>・事業回数                                    100回</li> </ul> <p>◎進学状況</p> <p>平成30年度末時点で事業利用していた中学3年生6人中6人（100%）が進学した。</p>		
<b>事業評価</b>	学習支援を行うことにより、学習習慣の定着、家庭の教育力の醸成を進めることができた。一方で、交通手段がないなどの理由により参加できない生徒への対応等の課題を踏まえ、今後の事業実施のあり方を検討する必要がある。		



## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	05 障害者福祉の推進	
小分類	01 障害者福祉の充実	

事務事業名	障害者自立支援医療費	所管課	障害福祉課
		決算額	277,097千円
事業内容	身体障害者手帳の交付を受けた18歳以上の人に対し、身体の機能障害を除去または軽減する医療を指定の医療機関で受ける場合にその医療費の一部を支給する。		
成果・実績	◎自立支援医療費（更生医療）事業 身体の機能障害を除去または軽減し、日常生活及び職業生活に適応するように改善するため、医療費の一部を支給した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院 457 人</li> <li>・入院外 607 人</li> </ul> ◎自立支援医療特別対策事業 自立支援医療費（更生医療）の対象にならない、在宅酸素療法、ストマ周辺の感染防止等のための治療、及びぼうこう・直腸の機能障害の原因疾患の治療を受けている該当障害3級の手帳所持者に対し、医療費の一部を支給した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・支給人数延べ 20 人</li> </ul>		
事業評価	国・京都府制度に基づき、適正に執行し、身体の機能障害を除去または軽減させる治療を促進することができた。今後も安心して医療が受けられるよう引き続き実施する。		

事務事業名	特別障害者手当等給付費	所管課	障害福祉課
		決算額	141,293千円
事業内容	在宅の重度障害児・者の福祉の向上を図るため、特別障害者手当、障害児福祉手当、経過的福祉手当を支給する。		
成果・実績	在宅の重度障害児・者に対し手当を支給し、経済的負担の軽減を図った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>◎特別障害者手当延べ支給人数 3,897 人</li> <li>◎障害児福祉手当延べ支給人数 2,428 人</li> <li>◎経過的福祉手当延べ支給人数 53 人</li> </ul>		
事業評価	国制度に基づき、適正に執行し、在宅の重度障害児・者の経済的負担の軽減を図った。今後も適正な事業運営に努め、引き続き実施する。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
<b>中分類</b>	05 障害者福祉の推進	
<b>小分類</b>	01 障害者福祉の充実	

事務事業名	障害者介護給付費	所管課	障害福祉課
		決算額	2,372,579千円
事業内容	<p>「障害者総合支援法」に基づく障害福祉サービスの利用に対し、介護給付費等の給付を行う。障害福祉サービスの支給決定を受けた障害児・者が、都道府県の指定を受けた事業所と契約し、自立生活に必要な支援を受けることにより、障害児・者が基本的人権を共有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活または社会生活を営むことができるようにすることを目的とする。</p>		
成果・実績	<p>「障害者総合支援法」に基づく障害福祉サービスの利用に対し、介護給付費等の給付を行った。</p> <p>◎障害者介護給付利用延べ人数                      20,161 人</p>		
事業評価	<p>国制度に基づき、適正に執行し、個々の障害の状況に応じた給付により、障害児・者の福祉の推進を図った。今後も適正な事業運営に努め、引き続き実施する。</p>		

事務事業名	障害者訓練等給付費	所管課	障害福祉課
		決算額	1,060,878千円
事業内容	<p>「障害者総合支援法」に基づく障害福祉サービスの利用に対し、訓練等給付費等の給付を行う。障害福祉サービスの支給決定を受けた障害者が、都道府県の指定を受けた事業所と契約し、自立生活に必要な就労訓練等を行うことにより、障害者が基本的人権を共有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活または社会生活を営むことができるようにすることを目的とする。</p>		
成果・実績	<p>「障害者総合支援法」に基づく障害福祉サービスの利用に対し、訓練等給付費等の給付を行った。</p> <p>◎障害者訓練等給付利用延べ人数                      7,665 人</p>		
事業評価	<p>国制度に基づき、適正に執行し、個々の障害の状況に応じた給付により、障害者の福祉の推進を図った。今後も適正な事業運営に努め、引き続き実施する。</p>		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
<b>中分類</b>	05 障害者福祉の推進	
<b>小分類</b>	01 障害者福祉の充実	

事務事業名	障害者日常生活用具費	所管課	障害福祉課
		決算額	50,592千円
事業内容	在宅の重度障害児・者に対し、日常生活の便宜を図るため、介護・訓練支援用具、自立生活支援用具、在宅療養等支援用具、情報・意思疎通支援用具、排泄管理支援用具などの日常生活用具を給付または貸与する。		
成果・実績	在宅の重度障害児・者に対し、日常生活用具を給付・貸与した。  ◎給付件数 <span style="float: right;">4,410 件</span>		
事業評価	在宅の重度障害児・者に対し、日常生活用具を給付・貸与し、障害児・者が在宅で日常生活を送れるよう支援した。今後も適正な事業運営に努め、引き続き実施する。		

事務事業名	障害者補装具費	所管課	障害福祉課
		決算額	48,085千円
事業内容	障害児・者の失われた身体機能を補完・代替するために用いられる用具である補装具の購入または修理に要する費用の一部または全部を支給する。		
成果・実績	義肢・装具・車いす等の補装具の購入及び修理に要する費用を支給した。  ◎延べ支給件数 <span style="float: right;">495 件</span>		
事業評価	国制度に基づき適正に事務を執行し、障害児・者の福祉の推進を図ることができた。		





## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
<b>中分類</b>	05 障害者福祉の推進	
<b>小分類</b>	01 障害者福祉の充実	

事務事業名	福祉タクシー扶助費	所管課	障害福祉課
		決算額	34,256千円
事業内容	外出困難な重度心身障害者の日常生活の利便を図り、生活行動範囲の拡大及び社会参加の促進を図るため、タクシー料金の一部を助成する。		
成果・実績	1カ月あたり1,200円の福祉タクシー利用券を交付し、タクシー料金の一部助成を行った。  ◎交付件数 <span style="float: right;">3,519 件</span>		
事業評価	対象者に福祉タクシー利用券を交付し、外出困難な重度心身障害者の社会参加の促進を図った。重度心身障害者の社会参加に向けた事例研究を行い、実施手法等について検討する。		

事務事業名	各種自己負担助成金	所管課	障害福祉課
		決算額	2,406千円
事業内容	身体障害者手帳及び精神障害者保健福祉手帳を交付（新規、再交付）申請する際に要する医師の診断書料の全部または一部を助成することで、障害者の経済的負担を軽減する。		
成果・実績	手帳の交付申請等に要する診断書料の自己負担に対して助成を行った。  ◎診断書料の自己負担に対する延べ助成件数 ・身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付申請時 <span style="float: right;">1,203 件</span>		
事業評価	手帳の交付申請に要する診断書料を助成し、障害者の経済的な負担の軽減を図った。障害者の社会参加や負担軽減に向けた事例研究を行い、実施手法等について検討する。		





## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
<b>中分類</b>	05 障害者福祉の推進	
<b>小分類</b>	01 障害者福祉の充実	

事務事業名	障害者生活支援事業費	所管課	障害福祉課						
		決算額	3,192千円						
<b>事業内容</b>	障害者等に対し、日常生活上必要な訓練・指導等、本人活動支援などを行うことにより、生活の質的向上を図り、社会復帰を促進する。								
<b>成果・実績</b>	<p>宇治市視覚障害者協会に委託し、中途失明者を対象に点字講習会を行った。また、精神障害者を対象に、創作及びゲームなどのプログラムを通して、作業能力及び生活能力を高め、社会生活への適応を図ることができるように、うじ安心館等において精神障害者社会復帰集団指導事業を開催した。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 70%;">◎中途失明者点字講習会開催数</td> <td style="text-align: right;">48回</td> </tr> <tr> <td>◎精神障害者社会復帰集団指導事業開催数</td> <td style="text-align: right;">40回</td> </tr> <tr> <td>◎精神障害者社会復帰集団指導事業延べ参加者数</td> <td style="text-align: right;">279人</td> </tr> </table>			◎中途失明者点字講習会開催数	48回	◎精神障害者社会復帰集団指導事業開催数	40回	◎精神障害者社会復帰集団指導事業延べ参加者数	279人
◎中途失明者点字講習会開催数	48回								
◎精神障害者社会復帰集団指導事業開催数	40回								
◎精神障害者社会復帰集団指導事業延べ参加者数	279人								
<b>事業評価</b>	さまざまな生活支援事業を実施し、障害者の社会生活への適応を図った。社会的な交流の場としての役割を有する一方、社会復帰に向けた他事業へのつながりが課題となっており、より一層効果的な事業実施となるよう手法を検討する必要がある。								

事務事業名	地域活動支援センター等事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	13,959千円
<b>事業内容</b>	地域活動支援センターにおいて、創作的活動または生産活動の機会の提供、社会との交流の促進など、障害者が自立した日常生活及び社会生活を営むために必要な支援を行う。		
<b>成果・実績</b>	4カ所の地域活動支援センターに通う延べ598人の障害者に対し支援を行った。		
<b>事業評価</b>	地域活動支援センターにおける社会交流等の事業を実施し、障害者の自立した社会生活及び社会参加を促進した。利用状況等を的確に把握する中で、今後の実施手法を検討する。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	05 障害者福祉の推進	
小分類	01 障害者福祉の充実	

事務事業名	障害児通所給付費	所管課	障害福祉課
		決算額	555,915千円
事業内容	「児童福祉法」に基づき、障害児が利用する児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所に係る費用について給付を行うとともに、それに伴う相談支援等についても給付を行う。		
成果・実績	<p>「児童福祉法」に基づく障害児通所支援の利用に対し、障害児通所給付費の給付を行った。</p> <p>◎障害児通所給付利用延べ人数                      10,712 人</p>		
事業評価	国制度に基づき、適正に事務を執行し、障害児の福祉の推進を図った。今後も適正な事業運営に努め、引き続き実施する。		

事務事業名	障害者自立支援医療費(育成医療)	所管課	障害福祉課
		決算額	2,331千円
事業内容	「児童福祉法」第4条第2項に規定する障害児(障害に係る医療を行わないときは将来障害を残すと認められる疾患がある児童を含む。)で、その身体障害を除去、軽減する手術等の治療によって確実に効果が期待できる者に対して提供される、生活の能力を得るために必要な自立支援医療費の支給を行う。		
成果・実績	生活の能力を得るために必要な医療費の一部を35人に支給した。		
事業評価	国・京都府制度に基づき、適正に執行し、障害児の身体障害を除去及び軽減させる治療を促進することができた。的確かつ円滑な事務の遂行に努めるとともに、今後も安心して医療が受けられるよう引き続き実施する。		



## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	01 総合的な子育て支援の充実	

事務事業名	児童虐待防止対策事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	3,755千円
事業内容	<p>児童虐待の未然防止と早期発見のために、「児童福祉法」に基づき要保護児童対策地域協議会を設置している。要保護児童対策地域協議会代表者会議を年2回、要保護児童対策地域協議会調整会議を年6回開催している。</p>		
成果・実績	<p>代表者会議（年2回）では、関係機関等の代表者らの出席のもと、児童虐待の現状とケースの報告を行うとともに、関係機関等の連携を深めた。 調整会議（年6回）には、関係機関等の実務担当者が出席し、市と児童相談所の児童虐待ケースの情報を共有し、援助方針を話し合い、連携を深めた。 また、児童相談所と市関係課の実務者による、支援内容の検討会議を年4回実施し、関係機関との情報共有に努めた。</p> <p>◎代表者会議開催日                    8月20日、平成31年2月12日 ◎調整会議開催日                      奇数月の第3金曜日 ◎児童虐待ケースの延べ対応件数      714件</p>		
事業評価	<p>「児童福祉法」に基づき要保護児童対策地域協議会を設置し、児童虐待の未然防止と早期発見に努めた。対応件数の増加及びケースの深刻化に対応するため、より一層の関係機関との情報共有及び密接な連携に努める必要がある。</p>		

事務事業名	児童虐待防止対策緊急強化事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	6,798千円
事業内容	<p>児童虐待の未然防止と早期発見のために、こども家庭相談（児童虐待担当）の体制を強化し、児童相談所との連携強化及び相談ケースへの対応力の向上を図るとともに、啓発及び研修など様々な取組を実施し、児童虐待防止対策の緊急的な強化を図る。</p>		
成果・実績	<p>平成29年4月にこども家庭相談を本庁に移転、専門職員を継続して配置し、児童相談所及び関係機関との連携を強化するとともに、相談ケースへの対応力のさらなる強化を図った。また、要保護児童対策地域協議会の関係機関等を対象に、研修会を開催した。 広報・啓発活動としては、子どもへの虐待・女性に対する暴力の根絶を目指し、それぞれのシンボルマークである「オレンジリボン」と「パープルリボン」の啓発を一体化し、「オレンジリボン・パープルリボンキャンペーン」を、男女共同参画課と共催で実施した。</p> <p>◎非常勤職員配置                      専門職員を継続配置 ◎研修会開催日                          11月13日 ◎キャンペーン実施内容                街頭啓発・パネル展示・関連図書展示等</p>		
事業評価	<p>専門職員を配置し、児童相談所及び関係機関との連携を強化するとともに、研修会の開催及び広報・啓発活動などを通じ、児童虐待の緊急的な防止対策の強化を図った。相談件数の増加及びケースの深刻化に対応するため、実施内容等については引き続き検討する。</p>		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	01 総合的な子育て支援の充実	

事務事業名	子ども・子育て情報発信事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	1,397千円
事業内容	子育て世帯への情報発信の充実を図るため、宇治子育て情報誌やSNS等の多様な媒体による子育て支援事業等の広報を実施する。		
成果・実績	<p>宇治子育て情報誌については、平成28年度から有料広告事業を活用してフルカラー化を行うとともに紙面内容の充実を図った。また、子育て家庭に幅広く活用していただけるように、未就学児のいる全家庭に郵送による配布を行った。併せて、平成30年度版から電子書籍版を作成し、スマートフォンやパソコンなどでも閲覧できるようにした。</p> <p>また、さらなる情報発信の充実を目指して、スマートフォンを主な対象とした「LINE（ライン）」を活用した子育て情報の発信に取り組んだ。</p> <p>◎情報誌送付世帯数      6,459世帯</p> <p>◎LINE登録件数            3,252件（平成30年度末現在）</p>		
事業評価	宇治子育て情報誌を未就学児のいる全家庭に配布するとともに、LINEを活用した子育て情報を発信し、子育て世帯に幅広く周知した。今後も、利用状況及び子育て家庭のニーズなどを踏まえ、より効果的な情報発信に向けた検討を行う。		

事務事業名	地域子育てひろば支援事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	323千円
事業内容	家族規模の縮小等により地域コミュニティが希薄化する中で、孤立しがちな子育て家庭を支援するため、集会所等での地域住民による「子育てひろば」の運営を促進し、地域における子育て家庭と地域住民との子育て支援関係を作り上げる。		
成果・実績	<p>地域住民による「子育てひろば」の運営に係る補助金を交付した。</p> <p>◎実施場所                下村集会所                                  開集会所                                  平町集会所                                  伊勢田北集会所                                  明星集会所</p>		
事業評価	地域住民が開設する「子育てひろば」に運営費等の補助を実施し、交流及び情報交換など、子育て家庭の支援を行った。地域子育て支援拠点の整備状況を踏まえて、実施手法等を検討する。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	01 総合的な子育て支援の充実	

事務事業名	地域子育て支援拠点事業費	所管課	こども福祉課																																	
		決算額	57,886千円																																	
事業内容	<p>地域における子育ての交流等を促進する子育て支援拠点を設置し、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安等を緩和することにより、子どもの健やかな育ちを促進することを目的とする。</p> <p>地域子育て支援拠点では、子育て家庭の親とその子どもが気軽に集い、相互に交流を図る場を提供するとともに、子育てについての相談及び情報の提供、講習等の実施を行う。また地域子育て支援基幹センターでは、子育て支援の総合的なコーディネートを行い、子育て支援施策を総合的に推進する。</p>																																			
成果・実績	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 45%;">名称</th> <th style="width: 15%;">運営方法</th> <th style="width: 20%;">子育てひろば 延べ利用者数(人)</th> <th style="width: 20%;">相談件数 (件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 地域子育て支援基幹センター</td> <td rowspan="2">直営</td> <td>10,638</td> <td>485</td> </tr> <tr> <td>2. 西部地域子育て支援センター</td> <td>4,447</td> <td>128</td> </tr> <tr> <td>3. 南部地域子育て支援センター</td> <td rowspan="7">委託</td> <td>1,661</td> <td>79</td> </tr> <tr> <td>4. 東部地域子育て支援センター</td> <td>6,204</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>5. 北部地域子育て支援センター</td> <td>5,117</td> <td>87</td> </tr> <tr> <td>6. りぼん</td> <td>7,283</td> <td>331</td> </tr> <tr> <td>7. ぶんきょうにこにこルーム</td> <td>9,840</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td>8. ひあ にしおぐら</td> <td>2,028</td> <td>443</td> </tr> <tr> <td>9. toridori (とりどり)</td> <td>3,134</td> <td>92</td> </tr> </tbody> </table>			名称	運営方法	子育てひろば 延べ利用者数(人)	相談件数 (件)	1. 地域子育て支援基幹センター	直営	10,638	485	2. 西部地域子育て支援センター	4,447	128	3. 南部地域子育て支援センター	委託	1,661	79	4. 東部地域子育て支援センター	6,204	75	5. 北部地域子育て支援センター	5,117	87	6. りぼん	7,283	331	7. ぶんきょうにこにこルーム	9,840	74	8. ひあ にしおぐら	2,028	443	9. toridori (とりどり)	3,134	92
名称	運営方法	子育てひろば 延べ利用者数(人)	相談件数 (件)																																	
1. 地域子育て支援基幹センター	直営	10,638	485																																	
2. 西部地域子育て支援センター		4,447	128																																	
3. 南部地域子育て支援センター	委託	1,661	79																																	
4. 東部地域子育て支援センター		6,204	75																																	
5. 北部地域子育て支援センター		5,117	87																																	
6. りぼん		7,283	331																																	
7. ぶんきょうにこにこルーム		9,840	74																																	
8. ひあ にしおぐら		2,028	443																																	
9. toridori (とりどり)		3,134	92																																	
事業評価	<p>地域子育て支援基幹センター等において、地域における子育ての交流等を目的として各種事業を実施することにより、子育ての不安等の緩和を図り、子どもの健やかな育ちを促進することができた。市民ニーズの把握・分析に努め、引き続き今後の子育て支援施策の展開を検討する。</p>																																			

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
<b>中分類</b>	04 少子化社会への対応	
<b>小分類</b>	01 総合的な子育て支援の充実	

<b>事務事業名</b>	子育て支援総合コーディネーター事業費	<b>所管課</b>	こども福祉課
		<b>決算額</b>	6,033千円
<b>事業内容</b>	子育て家庭への支援の充実を図るため、「来庁者子育て支援コーナー」に子育て支援総合コーディネーター（専門相談員）と保育士を配置し、来庁者の子どもの一時預かり及び子育て支援全般に関する相談を実施する。		
<b>成果・実績</b>	<p>市役所1階市民交流ロビーにおいて、「来庁者子育て支援コーナー」を開設し、通年運営した。</p> <p>◎職員配置      保育士2人          子育て支援総合コーディネーター（専門相談員）1人（週2日）          ※こども家庭相談（児童虐待担当）にも週1日配置</p> <p>◎利用人数      預かり      1,824人          相談              1,508人</p> <div style="text-align: right;">  </div>		
<b>事業評価</b>	来庁者の子どもの一時預かり及び子ども・子育て支援新制度に基づいた利用者支援事業として子育て全般に関する相談を実施し、子育て家庭への支援の充実を図った。今後は利用状況の分析に努めながら、事業展開について検討する。		

<b>事務事業名</b>	子ども・子育て会議運営費	<b>所管課</b>	こども福祉課
		<b>決算額</b>	787千円
<b>事業内容</b>	「子ども・子育て支援法」に定める事務のほか、本市の子ども・子育て支援に関して必要な事項を調査・審議するため、宇治市子ども・子育て会議を設置し、運営する。		
<b>成果・実績</b>	<p>「子ども・子育て支援法」に基づく「宇治市子ども・子育て支援事業計画」の進捗状況の管理・評価等を行うとともに、「第2期宇治市子ども・子育て支援事業計画」等のためのニーズ調査にかかる意見を聴取するため、会議を開催した。</p> <p>◎子ども・子育て会議      委員数      23人（12月20日より25人）          開催日                      5月28日、9月6日、12月20日、          平成31年3月7日</p>		
<b>事業評価</b>	「子ども・子育て支援法」に基づき、「宇治市子ども・子育て会議」を開催し、計画の進捗状況の管理・評価等を行った。本市の子育て支援全般に対する意見を各種施策に反映できるように、引き続き実施する。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
<b>中分類</b>	04 少子化社会への対応	
<b>小分類</b>	01 総合的な子育て支援の充実	

<b>事務事業名</b>	ひとり親家庭自立支援給付事業費	<b>所管課</b>	こども福祉課
		<b>決算額</b>	12,634千円
<b>事業内容</b>	ひとり親家庭の親の自主的な能力開発と資格取得を支援し、自立の促進を図るため、養成機関等において資格の取得を目的とした講座を受講した場合に給付金を支給し、就職に有利で生活の安定に資する資格の取得を促進する。		
<b>成果・実績</b>	ひとり親家庭の親が養成機関等において資格の取得のため、講座を受講した場合に給付金を支給した。		
	◎高等職業訓練促進給付金支給件数	訓練促進給付金 修了支援給付金	13件 4件
	◎自立支援教育訓練給付金支給件数		5件
	◎高等学校卒業程度認定試験合格支援事業支給件数		0件
<b>事業評価</b>	高等職業訓練促進給付金等の支給により資格取得を支援し、ひとり親家庭の就業の促進と自立支援を図った。国の制度改正に対応して引き続き実施しながら、利用者拡大に向けて一層の周知と相談体制の充実を検討する。		

<b>事務事業名</b>	宇治市奨学資金貸与費	<b>所管課</b>	こども福祉課
		<b>決算額</b>	1,451千円
<b>事業内容</b>	勉学意欲がありながら経済的理由により修学が困難な大学、高校及び高等専門学校の在学者に奨学資金を貸与する。		
<b>成果・実績</b>	◎貸与人数	高校生 高等専門学校生 大学生	0人 0人 4人
	◎奨学資金貸与額	1,440千円	
<b>事業評価</b>	奨学資金の貸与により、勉学意欲はありながら経済的理由により修学が困難な大学の在学者を支援することができたが、国の奨学制度の充実などの影響により利用者が減少している。確実な償還に向けた周知徹底等の働きかけを実施するとともに、本市の奨学制度のあり方について検討する必要がある。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	01 総合的な子育て支援の充実	

事務事業名	児童扶養手当費	所管課	こども福祉課
		決算額	775,069千円
事業内容	離婚等の理由により父または母のいない（父または母が重度障害の状態である場合を含む）児童を養育する母または父などに対して手当を支給することにより、児童の福祉の増進を図る。		
成果・実績	<p>児童等の健やかな成長に資するため、児童扶養手当を支給した。</p> <p>◎受給資格世帯 1,708世帯            （うち 受給世帯 1,458世帯）</p> <p>◎支給対象児童数 2,260人</p> <p>◎児童扶養手当扶助費 774,469千円</p>		
事業評価	国制度に基づき、手当受給申請に対して適正に審査・支給を行い、ひとり親家庭の生活の安定と自立を促進し、児童福祉の増進を図った。国の制度改革に対応しつつ、今後も市民への制度の周知及び適切な支給事務の遂行に努める。		

事務事業名	児童手当費	所管課	こども福祉課
		決算額	2,849,288千円
事業内容	家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的に児童手当を支給する。		
成果・実績	<p>中学校修了前の児童を養育している人に児童1人につき月額10,000円もしくは15,000円（児童数、児童の年齢によって異なる）を支給した。ただし、所得制限限度額を超過している世帯には、特例給付として児童1人につき月額5,000円（一律）を支給した。</p> <p>◎受給世帯 12,602世帯</p> <p>◎支給対象児童数 20,824人</p> <p>◎児童手当扶助費 2,847,550千円</p>		
事業評価	国制度に基づき適正に支給を行い、子育て家庭における生活支援に努めた。今後も市民への制度の周知及び適切な支給事務の遂行に努める。		



## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
<b>中分類</b>	04 少子化社会への対応	
<b>小分類</b>	03 放課後児童育成の充実	

事務事業名	育成学級緊急安全対策事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	3,898千円
事業内容	安全・安心な育成学級運営のため、学校休業日である土曜日及び夏季休業日などに各学級に安全対策支援員等を配置し、児童の安全確保を図る。		
成果・実績	安全対策支援員等（1日4時間程度）を学校休業日に配置し、校内への不審者侵入を防ぐため、巡視及び来校者の確認などを行った。		
事業評価	安全対策支援員等の配置により、学校休業日における児童の安全確保を図り、安全・安心な学級運営に努めた。引き続き安全確保を図りつつ、今後の実施手法について検討する。		

事務事業名	放課後児童健全育成事業補助金	所管課	こども福祉課
		決算額	16,295千円
事業内容	育成学級の定員を超える児童を受け入れる民間事業者に補助を行い、総合的な放課後児童対策の充実を図る。		
成果・実績	<p>1人あたりの面積などの条例基準を満たし、放課後児童健全育成事業の届出をしている民間事業者に対し、補助を行った。</p> <p>◎補助対象民間事業者数            3法人 ◎補助対象児童数                    延べ3,259人</p>		
事業評価	民間事業者の放課後児童健全育成事業への補助を行い、待機児童の解消と放課後の児童の健全育成を図った。利用ニーズの把握に努め、今後の事業実施を検討する。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	02 保育サービスの充実	

事務事業名	公立保育所運営経費	所管課	保育支援課																																								
		決算額	1,417,346千円																																								
事業内容	子育て支援を進め、児童の健全な心身の発達を図るため、公立保育所7園における児童の安全と良好な保育環境を確保する。また、公立保育所3園においてブロック塀の撤去及び代替施設の設置を行った。																																										
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">◎公立保育所数</td> <td style="width: 20%;">7園</td> <td style="width: 30%;">延べ入所数</td> <td style="width: 20%;">11,086人</td> </tr> <tr> <td>・定員</td> <td>940人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎保育所運営費</td> <td colspan="3" style="text-align: right;">47,260千円</td> </tr> <tr> <td>◎保育所維持修繕費</td> <td colspan="3" style="text-align: right;">28,246千円</td> </tr> <tr> <td>◎非常勤職員設置費</td> <td colspan="3" style="text-align: right;">175,721千円</td> </tr> <tr> <td>◎保育所児童健康管理費</td> <td colspan="3" style="text-align: right;">6,305千円</td> </tr> <tr> <td>◎保育所給食費</td> <td colspan="3" style="text-align: right;">74,648千円</td> </tr> <tr> <td>◎パート保育士設置費</td> <td colspan="3" style="text-align: right;">115,858千円</td> </tr> <tr> <td>◎障害児特別保育費（賃金・旅費）</td> <td colspan="3" style="text-align: right;">45,843千円</td> </tr> <tr> <td>◎保育士等職員給</td> <td colspan="3" style="text-align: right;">923,465千円</td> </tr> </table>			◎公立保育所数	7園	延べ入所数	11,086人	・定員	940人			◎保育所運営費	47,260千円			◎保育所維持修繕費	28,246千円			◎非常勤職員設置費	175,721千円			◎保育所児童健康管理費	6,305千円			◎保育所給食費	74,648千円			◎パート保育士設置費	115,858千円			◎障害児特別保育費（賃金・旅費）	45,843千円			◎保育士等職員給	923,465千円		
◎公立保育所数	7園	延べ入所数	11,086人																																								
・定員	940人																																										
◎保育所運営費	47,260千円																																										
◎保育所維持修繕費	28,246千円																																										
◎非常勤職員設置費	175,721千円																																										
◎保育所児童健康管理費	6,305千円																																										
◎保育所給食費	74,648千円																																										
◎パート保育士設置費	115,858千円																																										
◎障害児特別保育費（賃金・旅費）	45,843千円																																										
◎保育士等職員給	923,465千円																																										
事業評価	公立保育所7園の運営に関する経費の適正な執行により、児童の安全と良好な保育環境などを確保し、子育て支援の推進及び児童の健全な心身の発達を図った。令和元年10月から幼児を対象に保育料が無償化されることにより、多様化するニーズ等の状況の把握・分析に加え、安全面等にも十分留意しながら、引き続き適正な運営に努める。																																										

事務事業名	保育所等緊急安全対策事業費	所管課	保育支援課												
		決算額	35,344千円												
事業内容	安全・安心な保育所等の運営のため、各公立保育所に保育所等安全運営支援員を配置するとともに、民間保育所（園）・民間認定こども園での保育所等安全運営支援員の配置やブロック塀の安全対策に対し補助を行う。														
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">◎公立保育所</td> <td style="width: 20%;">8,634千円</td> <td style="width: 30%;">保育所等安全運営支援員（有償ボランティア）の配置等を行った。</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>◎民間保育所（園）・民間認定こども園</td> <td>26,710千円</td> <td>保育所等安全運営支援員（有償ボランティア）の配置</td> <td style="text-align: right;">24,625千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>ブロック塀の撤去・代替施設の設置等の安全対策</td> <td style="text-align: right;">2,085千円</td> </tr> </table>			◎公立保育所	8,634千円	保育所等安全運営支援員（有償ボランティア）の配置等を行った。		◎民間保育所（園）・民間認定こども園	26,710千円	保育所等安全運営支援員（有償ボランティア）の配置	24,625千円			ブロック塀の撤去・代替施設の設置等の安全対策	2,085千円
◎公立保育所	8,634千円	保育所等安全運営支援員（有償ボランティア）の配置等を行った。													
◎民間保育所（園）・民間認定こども園	26,710千円	保育所等安全運営支援員（有償ボランティア）の配置	24,625千円												
		ブロック塀の撤去・代替施設の設置等の安全対策	2,085千円												
事業評価	保育所等安全運営支援員の配置及び保育所・認定こども園等における危険なブロック塀の撤去・代替施設の設置等の安全対策を実施し、安全・安心な保育所等の運営を図った。引き続き安全確保に努めるとともに、効果的な安全対策の実施手法について検討する。														

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
<b>中分類</b>	04 少子化社会への対応	
<b>小分類</b>	02 保育サービスの充実	

<b>事務事業名</b>	民間保育所等運営経費	<b>所管課</b>	保育支援課
		<b>決算額</b>	3,365,597千円
<b>事業内容</b>	子育て支援を進め、児童の健全な心身の発達を図るため、民間保育所（園）9園・民間認定こども園10園における児童の安全と良好な保育環境を確保する。		
<b>成果・実績</b>	◎民間保育所（園）・民間認定こども園数 19園 ・定員 2,990人 延べ入所数 36,517人  ◎民間保育所等運営費 2,830,704千円 ◎延長保育促進基盤整備事業費 28,627千円 ◎障害児特別保育費（負担金、補助及び交付金） 74,761千円 ◎民間保育所等運営補助金 431,505千円		
<b>事業評価</b>	民間保育所（園）・民間認定こども園19園の運営及び各種保育事業に対する補助を実施することにより、児童の安全と良好な保育環境の確保に努め、子育て支援を進め児童の健全な心身の発達を図った。今後も国の制度変更を見極めながら、各種保育ニーズに対応していく必要がある。		

<b>事務事業名</b>	病児・病後児保育費	<b>所管課</b>	保育支援課
		<b>決算額</b>	37,059千円
<b>事業内容</b>	保育中に微熱を出すなど体調不良となった児童に対し、保護者が迎えに来るまでの間、保育所（園）・認定こども園の専用スペースにおいて看護師等が緊急的な対応を行う。		
<b>成果・実績</b>	◎実施施設（民間保育所（園）3園・民間認定こども園7園） ・登りこども園 ・こひつじこども園 ・ひいらぎこども園 ・第2登りこども園 ・榎島ひいらぎ保育園 ・同胞こども園 ・みんなのき黄檗こども園 ・伊勢田保育園 ・みんなのき三室戸こども園 ・明星保育園		
<b>事業評価</b>	国制度に沿って病児保育事業を実施する民間保育所（園）・民間認定こども園に補助を実施し、子育て支援と保護者負担の軽減を図った。利用状況を把握し、今後も国制度を活用し、実施する。		

## 平成30年度決算成果説明書

<b>総合計画の体系</b>		<b>所管部局</b>
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	02 保育サービスの充実	

<b>事務事業名</b>	家庭的保育事業費	<b>所管課</b>	保育支援課
		<b>決算額</b>	88,997千円
<b>事業内容</b>	喫緊の課題である待機児童対策として、3歳未満の児童を対象に、「児童福祉法」に位置付けられた家庭的保育事業を実施する。また、開設にあたり、保育環境整備のための改修等に対して補助を行う。		
<b>成果・実績</b>	◎開設場所 ・木幡花揃 (福) あけぼの会 (登りこども園) 定員5人 ・神明石塚 (福) 心華会 (ひいらぎこども園) 定員5人 ・木幡赤塚 (福) あけぼの会 (登りこども園) 定員5人 ・開町 (福) 心華会 (ひいらぎこども園) 定員5人 ・木幡陣ノ内 (福) あけぼの会 (登りこども園) 定員5人 ・伊勢田町ウトロ (福) かおり福祉会 (伊勢田保育園) 定員5人		
<b>事業評価</b>	児童福祉法に位置付けられた家庭的保育事業を実施することにより、待機児童対策を図ることができた。子ども・子育て支援新制度の枠組みの中で、有効性について小規模保育事業との比較検討の必要がある。待機児童の状況を見ながら、今後も引き続き実施する。		

<b>事務事業名</b>	小規模保育事業費	<b>所管課</b>	保育支援課
		<b>決算額</b>	115,486千円
<b>事業内容</b>	喫緊の課題である待機児童対策として、3歳未満の児童を対象に、「児童福祉法」に位置付けられた小規模保育事業を実施する。また、開設にあたり、保育環境整備のための改修等に対して補助を行う。		
<b>成果・実績</b>	◎開設場所 ・六地蔵奈良町 (福) あけぼの会 (登りこども園、第2登りこども園) 定員15人 ・広野町西裏 (福) 同胞会 (同胞こども園) 定員18人 ・五ヶ庄梅林官有地 (福) 白菊福祉会 (いずみこども園) 定員15人 ・伊勢田町若林 (福) かおり福祉会 (伊勢田保育園) 定員15人 ・榎島町南落合 (福) 同胞会 (こひつじこども園) 定員15人 ・広野町西裏 (福) 同胞会 (同胞こども園) 定員9人		
<b>事業評価</b>	児童福祉法に位置付けられた小規模保育事業を実施することにより、待機児童対策を図ることができた。子ども・子育て支援新制度の枠組みの中で、有効性について家庭的保育事業との比較検討の必要がある。待機児童の状況を見ながら、今後も引き続き実施する。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
<b>中分類</b>	04 少子化社会への対応	
<b>小分類</b>	02 保育サービスの充実	

<b>事務事業名</b>	保育所府内産木材遊具等整備事業費	<b>所管課</b>	保育支援課
		<b>決算額</b>	3,474千円
<b>事業内容</b>	京都府内の森林資源の循環活用を図るための府交付金を活用して、市内の保育所に府内産木材を活用した遊具等の整備を行う。		
<b>成果・実績</b>	◎整備した遊具等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇治保育所：3連棚、2連棚</li> <li>・小倉双葉園保育所：すべり台、本棚、教卓</li> <li>・西小倉保育所：5連ロッカー、3連ロッカー、給食展示ケース、演台</li> <li>・大久保保育所：すべり台、演台、花台、流し台、ガス台、円形カウンター、リトルベンチ</li> <li>・善法保育所：5連ロッカー、キッチンセット</li> <li>・木幡保育所：3段平均台、おむつ交換台、幼児用いす、絵本スタンド、スタッキングベンチ</li> <li>・北木幡保育所：ボルダリング壁セット</li> </ul>		
<b>事業評価</b>	豊かな森を育てる府民税交付金を活用し、市内の公立保育所7園に府内産木材を活用した遊具等を整備した。		

# 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
福祉こども部

<b>事務事業名</b>	各種予防接種事業費	<b>所管課</b>	保健推進課																																
		<b>決算額</b>	310,462千円																																
<b>事業内容</b>	「予防接種法」に基づき、予防接種を実施することにより、発病及び感染を予防する。																																		
<b>成果・実績</b>	<p>「予防接種法」に基づく予防接種は、健やかセンターと協力医療機関等で実施し、法改正に対応して適切な疾病予防に努めた。また、各種乳幼児健診時、市政だより、ホームページなどで幅広く広報することにより、接種率の向上を図った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">予防接種名</th> <th style="width: 20%;">接種者数</th> <th style="width: 50%;">実施場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>BCG</td> <td style="text-align: center;">1,243</td> <td rowspan="13" style="text-align: center; vertical-align: middle;">協力医療機関等</td> </tr> <tr> <td>不活化ポリオ</td> <td style="text-align: center;">21</td> </tr> <tr> <td>4種混合</td> <td style="text-align: center;">5,072</td> </tr> <tr> <td>3種混合</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>2種混合</td> <td style="text-align: center;">1,119</td> </tr> <tr> <td>麻しん風しん混合</td> <td style="text-align: center;">2,715</td> </tr> <tr> <td>麻しん</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>風しん</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>日本脳炎</td> <td style="text-align: center;">7,048</td> </tr> <tr> <td>ヒブ</td> <td style="text-align: center;">4,944</td> </tr> <tr> <td>小児用肺炎球菌</td> <td style="text-align: center;">4,964</td> </tr> <tr> <td>水痘</td> <td style="text-align: center;">2,458</td> </tr> <tr> <td>B型肝炎</td> <td style="text-align: center;">3,650</td> </tr> <tr> <td>BCG</td> <td style="text-align: center;">13</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ヒブと小児用肺炎球菌は平成25年4月、水痘は平成26年10月、B型肝炎は平成28年10月から定期接種化</p>			予防接種名	接種者数	実施場所	BCG	1,243	協力医療機関等	不活化ポリオ	21	4種混合	5,072	3種混合	0	2種混合	1,119	麻しん風しん混合	2,715	麻しん	1	風しん	0	日本脳炎	7,048	ヒブ	4,944	小児用肺炎球菌	4,964	水痘	2,458	B型肝炎	3,650	BCG	13
予防接種名	接種者数	実施場所																																	
BCG	1,243	協力医療機関等																																	
不活化ポリオ	21																																		
4種混合	5,072																																		
3種混合	0																																		
2種混合	1,119																																		
麻しん風しん混合	2,715																																		
麻しん	1																																		
風しん	0																																		
日本脳炎	7,048																																		
ヒブ	4,944																																		
小児用肺炎球菌	4,964																																		
水痘	2,458																																		
B型肝炎	3,650																																		
BCG	13																																		
<b>事業評価</b>	「予防接種法」に基づき適正に感染症予防対策を実施し、市民の健康保持を図った。今後も、国の措置に対応し、適切な疾病予防の実施と市民への周知・啓発ができるよう、引き続き実施する。																																		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
<b>中分類</b>	02 健康づくりの推進	
<b>小分類</b>	02 保健・医療の推進	

事務事業名	妊婦健康診査費	所管課	保健推進課
		決算額	98,429千円
事業内容	<p>健やかな母体と胎児の保健管理の向上を図るため、受診券を交付し、妊婦の経済的負担の軽減及び妊娠・出産に支障を及ぼす疾病の早期発見・早期治療を推進する。</p>		
成果・実績	<p>妊娠・出産に支障を及ぼす疾病の早期発見・早期治療を推進するため、健診費用の助成を行った。</p> <p>◎母子健康手帳交付件数           1,157件 ◎助成金額                           97,351千円</p>		
事業評価	<p>妊娠早期に母子健康手帳の発行と合わせ、健診費用の助成を行うことにより、妊婦の健康管理の促進と経済的負担の軽減を図った。今後も引き続き実施し、健やかな母体と胎児の保健管理に努める。</p>		

事務事業名	不妊治療助成事業費	所管課	保健推進課
		決算額	7,769千円
事業内容	<p>不妊治療を受けている夫婦に対し、その治療費の一部を助成し、経済的負担の軽減を図る。</p>		
成果・実績	<p>不妊治療の保険診療分及び人工授精について、年間6万円（人工授精を含む場合は10万円）を限度に、治療に要した医療費の自己負担の2分の1を助成した。 不育治療は1回の妊娠につき10万円までを限度に治療等に要した医療費の自己負担額の2分の1を助成した。</p> <p>◎助成件数                   385件</p>		
事業評価	<p>不妊治療等経費を助成することにより、対象者の経済的負担の軽減と少子化対策の推進に努めた。今後も京都府との連携により、引き続き助成を行う。</p>		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	02 保健・医療の推進	

事務事業名	乳幼児健康診査費	所管課	保健推進課																						
		決算額	25,772千円																						
事業内容	内科（小児科）健診、身体計測、保健・栄養指導などを実施し、必要に応じて個別の発達相談及び栄養相談を行う。総合的な判断と指導により、乳幼児期の疾病及び問題の早期発見をし、健やかな成長・発達を図る。また、育児不安の解消、子育て支援をする。																								
成果・実績	乳幼児期の健康の保持・増進を図った。																								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>健診名</th> <th>受診数（人）</th> <th>受診率（％）</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3カ月児健診</td> <td>1,239</td> <td>98.3</td> <td rowspan="3">健やかセンター 月3～4回</td> </tr> <tr> <td>1歳8カ月児健診</td> <td>1,251</td> <td>98.3</td> </tr> <tr> <td>3歳児健診</td> <td>1,389</td> <td>97.5</td> </tr> <tr> <td>10カ月児健診</td> <td>1,211</td> <td>96.1</td> <td>（一社）宇治久世医師会委託</td> </tr> <tr> <td>10カ月児経過健診</td> <td>93</td> <td></td> <td>健やかセンター月1回</td> </tr> </tbody> </table>			健診名	受診数（人）	受診率（％）		3カ月児健診	1,239	98.3	健やかセンター 月3～4回	1歳8カ月児健診	1,251	98.3	3歳児健診	1,389	97.5	10カ月児健診	1,211	96.1	（一社）宇治久世医師会委託	10カ月児経過健診	93		健やかセンター月1回
健診名	受診数（人）	受診率（％）																							
3カ月児健診	1,239	98.3	健やかセンター 月3～4回																						
1歳8カ月児健診	1,251	98.3																							
3歳児健診	1,389	97.5																							
10カ月児健診	1,211	96.1	（一社）宇治久世医師会委託																						
10カ月児経過健診	93		健やかセンター月1回																						
事業評価	子どもの発達段階に合わせた健診を実施し、子どもの健康保持・増進、疾患の早期発見、親の育児支援などにつながることができた。令和元年度から3歳児健診において、「フォトスクリーナー（スポットビジョンスクリーナー）」を活用した精度の高い視覚検査を実施し、早期治療につながるよう、幼児の視覚異常の早期発見に努める。																								

事務事業名	離乳食教室開催費	所管課	保健推進課
		決算額	445千円
事業内容	親が初めての離乳食を調理体験することにより、安心して適切な離乳食作りを家庭で実践するとともに、母子・親子関係の形成を促し、育児不安を緩和する。また、子どもの健康を維持し、成長・発達を促すとともに、生活リズムを身に付け、食べる楽しさを体験させることで「食べる力」を育む。		
成果・実績	親が子どもの食生活についての知識を深め、自宅で安全に離乳食を実践できるよう促した。		
	◎開催回数                    12回 ◎参加者数                    266人		
事業評価	教室の開催により、子どもの健康づくりの促進を図った。発達年齢に応じた支援を行う必要があるため、子どもの食生活についての知識を効率的に周知するための手法について、検討する。		



## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
<b>中分類</b>	02 健康づくりの推進	
<b>小分類</b>	02 保健・医療の推進	

事務事業名	発達相談事務費	所管課	保健推進課
		決算額	6,898千円
事業内容	健診、乳幼児相談及び家庭訪問などを通して、発育・発達上に問題がある子ども（疑いも含む）、並びに子どもへの関わりに不安及び心配のある保護者に対し、発達相談（個別相談、診断）を実施し、今後の対応の方向性、家庭での具体的な関わりについての指導・援助を行う。		
成果・実績	保護者が子どもの育ちに見通しを持ちやすくなり、適切な親子関係を築くとともに、子どもの健やかな成長を図った。  ◎実人員                      706件 ◎延べ相談件数        1,029件		
事業評価	発達相談を実施し、子どもの健やかな成長への支援を図った。今後も適切な指導・援助が実施できるよう事業執行に努める。		

事務事業名	早期療育ネットワーク会議運営費	所管課	保健推進課
		決算額	156千円
事業内容	「宇治市早期療育ネットワーク会議」設置規程により、療育等の専門的な指導が必要な子どもの早期発見と早期に適切な指導が行われるように、関係機関のネットワーク化、療育システムの確立を図るための検討と研究を行う。		
成果・実績	心身に障害のある子ども及び発達上支援が必要と思われる子どもに対して、発達に応じた適切な療育指導を行うため、保健・福祉・教育・医療の関係者が集まって意見交換を行った。  ◎開催回数                      2回		
事業評価	療育に関わる関係機関とのネットワーク形成により、情報共有と業務連携を図った。引き続き的確な状況把握及び現状分析を踏まえ、京都府・関係機関との連携を図り、支援体制の構築を検討する必要がある。		



## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部 健康長寿部
<b>中分類</b>	02 健康づくりの推進	
<b>小分類</b>	02 保健・医療の推進	

事務事業名	風しん予防接種助成事業費	所管課	保健推進課
		決算額	1,228千円
事業内容	妊婦と生まれてくる子どもの健康を守るため、京都府の助成制度を活用し、風しん予防接種にかかる費用を助成する。		
成果・実績	風しん（R）ワクチン及び麻しん風しん混合（MR）ワクチンを全額自己負担にて接種した後に、1人1回を限度に費用の2/3程度を助成した。  ◎助成者数           205人 ◎助成額           1,228千円		
事業評価	京都府が実施する抗体検査等で抗体価が低いと診断された対象者の風しん予防接種にかかる費用の助成を行い、ワクチン接種を促進した。今後も国や京都府の制度に対応し実施する。		

事務事業名	未熟児養育医療費給付費	所管課	保健推進課・年金医療課
		決算額	14,059千円
事業内容	未熟児の養育に必要な医療の給付を行う。		
成果・実績	入院養育にかかる「医療費（医療保険各法の適用範囲内）の患者負担額」及び「食事療養費の患者負担額」について、その自己負担額（食事療養費については標準負担額）の一部を助成した。  ◎給付決定児数       52人 ◎給付延べ件数       117件 ◎給付延べ日数       1,941日		
事業評価	国制度に基づき、適正に医療給付を行った。今後も国の制度改正等に対応し、適切な支給事務の遂行に努める。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉子ども部 健康長寿部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	02 保健・医療の推進	

事務事業名	妊婦歯科健診費	所管課	保健推進課
		決算額	1,181千円
事業内容	妊娠中の口腔の健康状態を確保し、健康な妊娠及び安全な分娩と健康な子の出産を支援するため、歯科健診にかかる費用を助成することで、健診の受診を推進する。		
成果・実績	妊婦と胎児の健康を保ち、早産や低体重児出産のリスクを抑えるため、歯科健診にかかる費用の助成を行った。  ◎助成件数                    332件		
事業評価	妊婦の歯科健診にかかる費用助成により、受診を促進し、妊婦及び胎児の健康保持を支援した。助成件数は伸びているが、依然として受診率の低さが課題となっていることから、今後も引き続き制度の周知に努める必要がある。		

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉子ども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	01 総合的な子育て支援の充実	

事務事業名	乳児家庭全戸訪問事業費	所管課	保健推進課
		決算額	5,764千円
事業内容	生後4カ月になるまでの子どもがいる家庭を対象に訪問し、子育てに関する悩み及び不安を聞き、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、子ども及びその保護者の心身の状況並びに養育環境等の把握を行い、支援が必要な家庭に対し、適切なサービスの提供につなげる。		
成果・実績	親の育児不安の軽減と、子育て支援に関する必要な情報提供を行い、支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供に結び付ける。  ◎訪問件数                    478件		
事業評価	生後4カ月未満の子どもがいる家庭を訪問することで、子育ての孤立化を防ぐとともに、子育て支援に関する情報提供を行い、適切な支援の提供を図った。今後も、関係機関等との連携に努めつつ、訪問事業全体の効率的な実施手法について検討する必要がある。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	01 総合的な子育て支援の充実	

事務事業名	妊婦面談事業	所管課	保健推進課
		決算額	3,512千円
事業内容	子育て世代包括支援センターの設置に伴い、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ないサポートを行うにあたり、行政とのファーストタッチとして保健推進課の地区担当保健師を知り、安心して相談できる場を提供する。		
成果・実績	<p>母子健康手帳の交付時に、保健師による面談を行い、必要に応じて子育て支援サービスが利用しやすいように、支援プランを作成し、利用の手助けを行う。また、子育て用品（ネウボラセット）を配付することで、子どもとのふれあいの大切さを理解してもらうとともに、行政との今後の関わりへのきっかけづくりとする。</p> <p>◎面談件数            974件</p>		
事業評価	母子健康手帳交付時に、保健師による面談を行うことで安心して相談でき、妊娠から子育てまで切れ目のないサポートができるよう、関係性の構築を図った。ただし、妊婦面談後の関わりが課題となることから、引き続き、切れ目のない子育て支援を展開できるよう努める。		

事務事業名	妊娠・産後支援事業	所管課	保健推進課																																
		決算額	3,920千円																																
事業内容	子育て世代包括支援センターの設置に伴い、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ないサポートを行うにあたり、妊娠・出産・子育てに関する悩み等の相談支援を行い、不安や困りごと等の軽減、孤立感の解消を図る。																																		
成果・実績	<p>妊娠、出産、子育てに関する悩みを専門職が傾聴し、妊娠期から母親に寄り添った相談支援を行えるよう、これまでの乳幼児相談事業及びパパママスタート事業を再編し、「講座、指導」形式から、一部事業に「交流」形式を取り入れ、母親の孤立感の軽減・解消を図った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">◎ ハッピーマタニティクラス</td> <td style="width: 15%;">18 回開催</td> <td style="width: 15%;">参加人数</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">104 人</td> </tr> <tr> <td>◎ 産後ママのための育児相談会</td> <td>18 回開催</td> <td>参加人数</td> <td style="text-align: right;">157 人</td> </tr> <tr> <td>◎ お世話体験</td> <td>6 回開催</td> <td>参加人数</td> <td style="text-align: right;">145 人</td> </tr> <tr> <td>◎ クッキング</td> <td>12 回開催</td> <td>参加人数</td> <td style="text-align: right;">118 人</td> </tr> <tr> <td>◎ 沐浴</td> <td>12 回開催</td> <td>参加人数</td> <td style="text-align: right;">238 人</td> </tr> <tr> <td>◎ 妊婦訪問</td> <td></td> <td>訪問人数</td> <td style="text-align: right;">40 人</td> </tr> <tr> <td>◎ 乳幼児相談</td> <td>65 回開催</td> <td>参加人数</td> <td style="text-align: right;">2,167 人</td> </tr> <tr> <td>◎ ママのためのおはなし会</td> <td>10 回開催</td> <td>参加人数</td> <td style="text-align: right;">193 人</td> </tr> </table> <p>(参加人数には、妊産婦以外の配偶者やその他家族等を含む)</p>			◎ ハッピーマタニティクラス	18 回開催	参加人数	104 人	◎ 産後ママのための育児相談会	18 回開催	参加人数	157 人	◎ お世話体験	6 回開催	参加人数	145 人	◎ クッキング	12 回開催	参加人数	118 人	◎ 沐浴	12 回開催	参加人数	238 人	◎ 妊婦訪問		訪問人数	40 人	◎ 乳幼児相談	65 回開催	参加人数	2,167 人	◎ ママのためのおはなし会	10 回開催	参加人数	193 人
◎ ハッピーマタニティクラス	18 回開催	参加人数	104 人																																
◎ 産後ママのための育児相談会	18 回開催	参加人数	157 人																																
◎ お世話体験	6 回開催	参加人数	145 人																																
◎ クッキング	12 回開催	参加人数	118 人																																
◎ 沐浴	12 回開催	参加人数	238 人																																
◎ 妊婦訪問		訪問人数	40 人																																
◎ 乳幼児相談	65 回開催	参加人数	2,167 人																																
◎ ママのためのおはなし会	10 回開催	参加人数	193 人																																
事業評価	これまで実施してきた事業を再編し、講座・指導による形式から交流形式を取り入れることで、今まで以上に育児不安などの解消に向けた取組を推進した。今後もより効果的な事業実施となるよう、利用状況等の把握に努め、適切な事業実施に努める。																																		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
<b>中分類</b>	02 健康づくりの推進	
<b>小分類</b>	01 健康づくりの推進	

<b>事務事業名</b>	健康づくり・食育推進事業費	<b>所管課</b>	健康生きがい課
		<b>決算額</b>	315千円
<b>事業内容</b>	「健康づくり推進プラン」と「食育推進計画」を一体化した「宇治市健康づくり・食育推進計画」を策定し、「健康長寿日本一」の実現に向けて健康づくりと食育を一体的に推進する。		
<b>成果・実績</b>	<p>「宇治市健康づくり・食育推進計画」を策定し、「健康長寿日本一」の実現に向けて、市民の健康づくりと食育の推進に関して協議・検討を行った。</p> <p>◎協議会開催回数 2回</p>		
<b>事業評価</b>	「宇治市健康づくり・食育推進計画」に基づき、「健康長寿日本一」の実現に向け、健康づくりと食育を一体的に推進した。協議結果を各種施策に反映できるよう、引き続き取り組む。		

<b>事務事業名</b>	食育・減塩推進事業費	<b>所管課</b>	健康生きがい課
		<b>決算額</b>	1,700千円
<b>事業内容</b>	宇治市の健康課題である、腎不全・心疾患・循環器疾患等の代表的な原因である高血圧の予防のために、「宇治市、適塩はじめました。」というキャッチフレーズを掲げ、「適塩」の推進を図った。大学・企業・学校・病院等と協力して、「普及啓発」・「教育」・「社会環境の整備」の3つの切り口で普及を行った。		
<b>成果・実績</b>	<p>産（企業）・学（大学）・公（行政）で協力して、以下の取組を行い、「適塩」を啓発した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ キャッチフレーズ及びロゴマークの作成</li> <li>・ 宇治市HP内に特設ページの立ち上げ・更新</li> <li>・ 「適塩ものがたり」パンフレット及び「適塩のコツ」冊子の作成</li> <li>・ 市政だよりでの特集ページの掲載</li> <li>・ フォーラムの開催 <span style="float: right;">参加者：170人</span></li> <li>・ 各イベントでの啓発活動</li> <li>・ 塩ヘル活（参加者21人、全3回）等での適塩教育の実施</li> <li>・ 小学校での適塩事業の実施 <span style="float: right;">実施学校数：3校</span></li> <li>・ 市役所食堂での適塩食メニュー・塩分ひかえめ味噌汁等の販売 <span style="float: right;">など</span></li> </ul>		
<b>事業評価</b>	京都文教短期大学及び市内企業等と連携し、減塩レシピの開発及び減塩食の普及推進を図った。本事業は平成30年度限りの取組となるが、今後も「健康長寿日本一」の実現に向け、市民の健康意識・行動の向上のための手法について、引き続き検討する。		

## 平成30年度決算成果説明書

<b>総合計画の体系</b>		<b>所管部局</b>
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	01 健康づくりの推進	

<b>事務事業名</b>	食生活改善推進員地区組織活動費	<b>所管課</b>	健康生きがい課												
		<b>決算額</b>	415千円												
<b>事業内容</b>	市民の健康づくり及び生活習慣病予防のために食生活改善を進める宇治市食生活改善推進員協議会「若葉の会」の活動を支援する。														
<b>成果・実績</b>	<p>食生活改善推進員の地域での活動に対して支援を行い、行政研修会を実施した。</p> <p>◎ (65歳未満) 決算額：199千円</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">・「若葉の会」活動状況</td> <td style="width: 50%;">・「若葉の会」に対する行政研修会の実施</td> </tr> <tr> <td>支援活動回数 23回</td> <td>実施回数 2回</td> </tr> <tr> <td>参加者数 197人</td> <td>参加会員数 50人</td> </tr> </table> <p>◎ (65歳以上) 決算額：216千円</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">・「若葉の会」活動状況</td> <td style="width: 50%;">・「若葉の会」に対する行政研修会の実施</td> </tr> <tr> <td>支援活動回数 22回</td> <td>実施回数 2回</td> </tr> <tr> <td>参加者数 186人</td> <td>参加会員数 50人</td> </tr> </table>			・「若葉の会」活動状況	・「若葉の会」に対する行政研修会の実施	支援活動回数 23回	実施回数 2回	参加者数 197人	参加会員数 50人	・「若葉の会」活動状況	・「若葉の会」に対する行政研修会の実施	支援活動回数 22回	実施回数 2回	参加者数 186人	参加会員数 50人
・「若葉の会」活動状況	・「若葉の会」に対する行政研修会の実施														
支援活動回数 23回	実施回数 2回														
参加者数 197人	参加会員数 50人														
・「若葉の会」活動状況	・「若葉の会」に対する行政研修会の実施														
支援活動回数 22回	実施回数 2回														
参加者数 186人	参加会員数 50人														
<b>事業評価</b>	ボランティアの活動を支援し、地域での健康増進活動を推進した。会員の高齢化及び会員数の減少などの課題を踏まえ、支援内容を検討する必要がある。														

<b>事務事業名</b>	健康教育費	<b>所管課</b>	健康生きがい課								
		<b>決算額</b>	1,121千円								
<b>事業内容</b>	生活習慣病の予防及び健康増進、介護予防など健康に関する正しい知識の普及により、健康の保持増進を図る。市内各会場において、知識・経験を有する各専門職を講師とし、広く市民に対し各種健康教室等を行う。										
<b>成果・実績</b>	<p>各種健康教室等を各教室の目的に応じて専門職が実施した。生活習慣病の予防及び健康増進、介護予防など健康に関する正しい知識を普及するほか、家庭で継続しやすい内容の紹介に努めた。また、地域からの依頼及びイベントなどの機会を利用して広く市民へ普及することに努めた。</p> <p>◎ (65歳未満) 決算額：701千円</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">・実施回数</td> <td style="width: 50%;">93回</td> </tr> <tr> <td>・実施人数</td> <td>3,134人</td> </tr> </table> <p>◎ (65歳以上) 決算額：420千円</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">・実施回数</td> <td style="width: 50%;">39回</td> </tr> <tr> <td>・実施人数</td> <td>1,229人</td> </tr> </table>			・実施回数	93回	・実施人数	3,134人	・実施回数	39回	・実施人数	1,229人
・実施回数	93回										
・実施人数	3,134人										
・実施回数	39回										
・実施人数	1,229人										
<b>事業評価</b>	各種健康教室を開催し、健康に関する正しい知識の普及と健康の保持増進を図った。今後も市民ニーズの把握に努め、より多くの市民に広く知識を普及するための手法を検討する。										

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
<b>中分類</b>	02 健康づくりの推進	
<b>小分類</b>	01 健康づくりの推進	

事務事業名	健康相談費	所管課	健康生きがい課
		決算額	280千円
事業内容	市民の心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理に資することを目的とする。うじ安心館を拠点に、気軽に幅広く相談できるように実施する。		
成果・実績	<p>市民に対し、個別に健康相談を実施した。</p> <p>◎（65歳未満） 決算額：92千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数 82回</li> <li>・実施人数 339人</li> </ul> <p>◎（65歳以上） 決算額：188千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数 93回</li> <li>・実施人数 825人</li> </ul>		
事業評価	健康に関する市民の相談に個別対応し、健康管理の促進を図った。今後はより多くの市民の健康増進に向け、広報の見直し及び実施手法の改善に努める。		

事務事業名	在宅寝たきり者等訪問指導事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	316千円
事業内容	40歳以上65歳未満の在宅寝たきり者及びその家族など、支援が必要な者に対し、健康の保持増進及び在宅療養条件の整備のため、訪問による保健指導を行う。		
成果・実績	<p>居宅を訪問し、必要な相談・指導等を行った。</p> <p>◎実人数 7人</p> <p>◎訪問実施延べ回数 21回</p>		
事業評価	訪問による保健指導を行い、在宅寝たきり者の心身機能の維持改善及びその家族の在宅療養環境の整備を図った。利用者ニーズ及び対象者の状況を把握する中で、健康保持・増進に資する方策を検討する。		

## 平成30年度決算成果説明書

<b>総合計画の体系</b>		<b>所管部局</b>
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	02 保健・医療の推進	

<b>事務事業名</b>	各種がん検診等事業費	<b>所管課</b>	健康生きがい課
		<b>決算額</b>	89,666千円
<b>事業内容</b>	各種がん検診等を実施することにより、がんによる死亡率等を減少させることを目的とし、検診等を実施する。		
<b>成果・実績</b>	対象者に個別検診及び集団検診を実施した。		
	(人)		
	検診名	受診者数	要精検者数
	健康診査	161	-
	胃がん検診	1,638	150
	子宮頸がん検診	3,062	46
	乳がん検診	3,355	212
	肺がん検診	3,081	120
	大腸がん検診	8,478	738
	成人歯科健診	175	152
肝炎ウイルス検診	1,036	1	
結核検診	2,396	0	
前立腺がん検診	1,569	115	
<b>事業評価</b>	検診等を実施し、疾病等の早期発見・治療につなげるとともに、健康意識の醸成を図った。今後も市民ニーズを把握に努め、市民の意識啓発・周知活動等の効果的な事業実施手法を検討する。		

<b>事務事業名</b>	骨粗しょう症予防対策費	<b>所管課</b>	健康生きがい課
		<b>決算額</b>	387千円
<b>事業内容</b>	骨粗しょう症予防を目的に、骨密度測定及び骨の健康に関する学習をすることにより、現在の骨及び体の状態を把握するとともに、市民自らが生活習慣病予防及び健康づくりを実践する動機付けとなるように実施する。		
<b>成果・実績</b>	骨密度の測定後、生活・栄養の講習と運動実技の体験を行った。		
	◎ (65歳未満) 決算額：387千円 ・実施回数 3回 ・実施人数 90人		
<b>事業評価</b>	教室の実施により、市民の運動・食・生活習慣の改善等を図るための動機付けを行った。市民全体に向けた普及・動機づけが課題であり、引き続き効果的な実施方法について検討する。		





## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
<b>中分類</b>	02 健康づくりの推進	
<b>小分類</b>	02 保健・医療の推進	

<b>事務事業名</b>	障害者歯科治療事業費	<b>所管課</b>	健康生きがい課
		<b>決算額</b>	7,322千円
<b>事業内容</b>	市内に居住する身体障害者手帳、療育手帳及び特別児童扶養手当証書の交付を受けた者に、毎週水曜日（年末年始除く）に、歯科サービスセンター（うじ安心館内）で口腔衛生指導、処置、歯科治療並びに歯科相談を行う。		
<b>成果・実績</b>	歯科サービスセンターにおいて、京都府宇治久世歯科医師会及び（公社）京都府歯科衛生士会の協力を得て、歯科治療等を行った。  ◎診療日数                    51日 ◎受診者数                    352人		
<b>事業評価</b>	歯科サービスセンターにおける歯科治療等により、障害者の健康維持・増進を図った。利用者ニーズを把握し、より効果的な事業実施手法を検討する。		

<b>事務事業名</b>	休日急病診療所運営費	<b>所管課</b>	健康生きがい課									
		<b>決算額</b>	33,980千円									
<b>事業内容</b>	日曜、祝日、国民の休日及び年末年始において、急病で医療を望む市民に対し応急的な診療を、内科・小児科・歯科について行う。保健・消防センター（うじ安心館内）に開設している。											
<b>成果・実績</b>	（一社）宇治久世医師会・京都府宇治久世歯科医師会・宇治久世薬剤師会並びに（公社）京都府歯科衛生士会の協力を得て、休日に内科・小児科・歯科の応急診療を行った。  <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 35%;">受診者数(人)</th> <th style="width: 35%;">診療日数(日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科・小児科</td> <td style="text-align: center;">2,041</td> <td style="text-align: center;">72</td> </tr> <tr> <td>歯科</td> <td style="text-align: center;">501</td> <td style="text-align: center;">73</td> </tr> </tbody> </table>				受診者数(人)	診療日数(日)	内科・小児科	2,041	72	歯科	501	73
	受診者数(人)	診療日数(日)										
内科・小児科	2,041	72										
歯科	501	73										
<b>事業評価</b>	休日急病診療所において休日、年末年始における応急診療を行い、市民の健康保持に努めた。第一次救急医療機関として感染症の流行等、緊急的な事態にも対応できる体制を維持するとともに、利用状況に応じた診療体制の見直しの必要がある。											



## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	01 生きがいづくりの充実	

事務事業名	老人園芸ひろば管理費	所管課	健康生きがい課																		
		決算額	1,606千円																		
事業内容	高齢者の生きがい対策と地域コミュニティ活動の一つとして、高齢者の社会交流、心身の健康保持のために、趣味を活かして園芸を楽しみ、自然の恵沢と長寿の喜びを味わってもらうことにより、高齢者福祉の増進を図る。 また年2回、全利用者を対象に園芸教室を開催する。																				
成果・実績	7カ所519区画（木幡は休園中）を管理し、60歳以上の者に1世帯約10㎡を1区画として貸与した。 <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>園芸ひろば名称</th> <th>区画数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>芝ノ東</td><td style="text-align: center;">95</td></tr> <tr><td>大久保</td><td style="text-align: center;">88</td></tr> <tr><td>伊勢田第2</td><td style="text-align: center;">55</td></tr> <tr><td>羽戸山</td><td style="text-align: center;">55</td></tr> <tr><td>槇島</td><td style="text-align: center;">117</td></tr> <tr><td>伊勢田若林</td><td style="text-align: center;">49</td></tr> <tr><td>木幡</td><td style="text-align: center;">休園中</td></tr> <tr><td>小倉寺内</td><td style="text-align: center;">60</td></tr> </tbody> </table>			園芸ひろば名称	区画数	芝ノ東	95	大久保	88	伊勢田第2	55	羽戸山	55	槇島	117	伊勢田若林	49	木幡	休園中	小倉寺内	60
園芸ひろば名称	区画数																				
芝ノ東	95																				
大久保	88																				
伊勢田第2	55																				
羽戸山	55																				
槇島	117																				
伊勢田若林	49																				
木幡	休園中																				
小倉寺内	60																				
事業評価	市内7カ所の園芸ひろばの管理・運営を行い、高齢者の社会交流、心身の健康の増進に努めた。令和元年度より園芸教室等の内容を充実させ、より一層の高齢者福祉の増進を図る。																				

事務事業名	高齢者アカデミー運営費	所管課	健康生きがい課															
		決算額	4,908千円															
事業内容	京都文教大学・京都文教短期大学にて、65歳以上の市民を対象に、「高齢者アカデミー」を開校する。プログラムは2年制（1年＝秋期・春期）で、受講生は週1回の科目履修と月1回のアカデミーアワーを受講する。																	
成果・実績	高齢者アカデミーを開校し、高齢者の社会参加、生きがいづくりに寄与するとともに、地域社会に貢献する人材養成を行った。 <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">受講者数</th> <th>1期生</th> <th>2期生</th> <th>3期生</th> <th>4期生</th> <th>5期生</th> <th>6期生</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">22人</td> <td style="text-align: center;">21人</td> <td style="text-align: center;">14人</td> <td style="text-align: center;">23人</td> <td style="text-align: center;">37人</td> <td style="text-align: center;">13人</td> <td style="text-align: center;">130人</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 5px;">※入学者数</p>			受講者数	1期生	2期生	3期生	4期生	5期生	6期生	合計	22人	21人	14人	23人	37人	13人	130人
受講者数	1期生	2期生	3期生		4期生	5期生	6期生	合計										
	22人	21人	14人	23人	37人	13人	130人											
事業評価	高齢者の交流機会の創出と生きがいづくりの促進を図った。今後も京都文教大学・京都文教短期大学と連携し、卒業生の地域貢献の状況などを分析する中で、より効果的な運営手法等について検討する必要がある。																	

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
<b>中分類</b>	03 長寿社会への対応	
<b>小分類</b>	01 生きがいづくりの充実	

事務事業名	地域福祉センター管理運営費	所管課	健康生きがい課																										
		決算額	75,298千円																										
<b>事業内容</b>	<p>地域住民の福祉ニーズに応じた事業を総合的に行うとともに、地域住民の福祉の増進及び福祉意識の高揚を図り、地域の実情に応じた各種事業を実施する。また、高齢者が健康づくり及び生きがいづくりなど様々な活動に気軽に利用でき、集会所機能も持たせた多目的活用によって、世代間交流及び地域交流を促進する複合施設である地域福祉センターの管理・運営を行う。</p>																												
<b>成果・実績</b>	<p>市内6カ所の地域福祉センターを管理・運営した。木幡・開については直営で管理し、その他4カ所は管理者を指定し、管理運営した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="width: 60%;">◎榎島地域福祉センター管理運営費</td> <td style="text-align: right;">6,316千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・指定管理者：（福）山城福祉会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎木幡地域福祉センター管理運営費</td> <td style="text-align: right;">6,075千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・直営</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎開地域福祉センター管理運営費</td> <td style="text-align: right;">6,305千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・直営</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎西小倉地域福祉センター管理運営費</td> <td style="text-align: right;">16,803千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・指定管理者：（一財）宇治市福祉サービス公社</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎東宇治地域福祉センター管理運営費</td> <td style="text-align: right;">7,770千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・指定管理者：（一財）宇治市福祉サービス公社</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎広野地域福祉センター管理運営費</td> <td style="text-align: right;">7,031千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・指定管理者：（一財）宇治市福祉サービス公社</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎地域福祉センター再整備事業費</td> <td style="text-align: right;">24,998千円</td> </tr> </tbody> </table>			◎榎島地域福祉センター管理運営費	6,316千円	・指定管理者：（福）山城福祉会		◎木幡地域福祉センター管理運営費	6,075千円	・直営		◎開地域福祉センター管理運営費	6,305千円	・直営		◎西小倉地域福祉センター管理運営費	16,803千円	・指定管理者：（一財）宇治市福祉サービス公社		◎東宇治地域福祉センター管理運営費	7,770千円	・指定管理者：（一財）宇治市福祉サービス公社		◎広野地域福祉センター管理運営費	7,031千円	・指定管理者：（一財）宇治市福祉サービス公社		◎地域福祉センター再整備事業費	24,998千円
◎榎島地域福祉センター管理運営費	6,316千円																												
・指定管理者：（福）山城福祉会																													
◎木幡地域福祉センター管理運営費	6,075千円																												
・直営																													
◎開地域福祉センター管理運営費	6,305千円																												
・直営																													
◎西小倉地域福祉センター管理運営費	16,803千円																												
・指定管理者：（一財）宇治市福祉サービス公社																													
◎東宇治地域福祉センター管理運営費	7,770千円																												
・指定管理者：（一財）宇治市福祉サービス公社																													
◎広野地域福祉センター管理運営費	7,031千円																												
・指定管理者：（一財）宇治市福祉サービス公社																													
◎地域福祉センター再整備事業費	24,998千円																												
<b>事業評価</b>	<p>各センターの管理・運営を適正に実施し、地域住民の福祉ニーズに応じた事業を行うなど、高齢者福祉の向上を図った。地域福祉の拠点としての役割及び利用効果など、状況の把握・分析に努め、今後の施設の運用方法等について検討する。</p>																												

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
<b>中分類</b>	03 長寿社会への対応	
<b>小分類</b>	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	老人保護措置費等	所管課	健康生きがい課
		決算額	124,474千円
事業内容	環境上及び経済的な理由により居宅において養護を受けることが困難と認める65歳以上の高齢者等について、養護老人ホームへの入所措置を行う。		
成果・実績	対象者について養護老人ホームに入所措置を行った。  ◎措置延べ人数        731人 ◎措置人数                60人（平成30年度末現在）		
事業評価	「老人福祉法」に基づき養護老人ホームへの入所措置を適正に実施した。今後も引き続き高齢者福祉の推進に向け、適正な事務運営に努める。		

事務事業名	老人クラブ助成金	所管課	健康生きがい課
		決算額	5,478千円
事業内容	高齢者の心身の健康保持、社会参加を促進するため、老人クラブが自主的に行う教養講座、レクリエーション、社会奉仕、スポーツなどを年間を通じて恒常的かつ計画的な活動に向け助成・育成を行う。老人クラブ活動の充実と発展を図り、老後の生きがいを高め、その生活を健康で豊かなものとする。		
成果・実績	老人クラブの活動に対して助成し、育成に努めた。  ◎会員数                    2,703人（平成30年度末現在） ◎クラブ数                 60団体		
事業評価	宇治市連合喜老会への活動助成等を適正に執行し、高齢者の生きがい活動を促進した。老人クラブの状況や助成の効果等の分析に努め、今後の施策展開について検討する必要がある。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
<b>中分類</b>	03 長寿社会への対応	
<b>小分類</b>	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	在宅要援護老人対策費	所管課	健康生きがい課
		決算額	3,145千円
事業内容	<p>高齢化の進行により、寝たきり・一人暮らし高齢者、高齢者世帯の要援護者が増加しており、日常生活で手助けが必要な部分について、類型に応じたサービスを提供し、地域社会での日常生活を送れるように援助する。老人福祉電話の設置、訪問活動事業への助成などを行う。</p>		
成果・実績	<p>在宅で援護が必要である高齢者等に対して、各種事業を行った。</p> <p>◎一人暮らし高齢者等訪問活動事業 <span style="float: right;">1,765千円</span>          おおむね65歳以上の一人暮らし高齢者を対象に自宅への訪問等を月1回以上行い、一人暮らし高齢者の安否確認及び不安解消を行った。          ・対象者数 1,765人</p> <p>◎高齢者見舞品支給事業 <span style="float: right;">72千円</span>          要介護・要支援認定を受けていない満75歳以上の一人暮らしの高齢者等に民生児童委員を通して見舞品を支給した。          ・支給者数 636人</p> <p>◎福祉電話の設置費・基本通話料の助成 <span style="float: right;">1,269千円</span>          所得税非課税の65歳以上の一人暮らし及び高齢者世帯で電話のない高齢者に貸与、設置した福祉電話の設置費及び基本料金等を助成した。          ・年度末助成対象者数 49人</p> <p>◎家具等転倒防止金具等購入の助成 <span style="float: right;">39千円</span>          家具等転倒防止金具等を設置する高齢者(65歳以上の市民税非課税世帯)に、その金具等の費用を助成した          ・助成件数 10件</p>		
事業評価	<p>(福) 宇治市社会福祉協議会への補助及び民生児童委員との連携などにより、社会的支援が必要な高齢者の見守りを行うなど在宅生活を支援した。シルバーホン設置事業は、事業再編を行い、平成30年度から介護保険事業特別会計に移行した。今後も市民ニーズや社会情勢の把握・分析に努め、地域・他団体と連携しながら、支援内容の改善を図る。</p>		



## 平成30年度決算成果説明書

<b>総合計画の体系</b>		<b>所管部局</b>
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

<b>事務事業名</b>	介護予防安心住まい推進事業費	<b>所管課</b>	健康生きがい課
		<b>決算額</b>	682千円
<b>事業内容</b>	生活機能について回答する「安心住まいチェックリスト」による運動器の機能低下が見られ、かつ市民税非課税の世帯が、居住する住宅に介護保険給付対象工事をしたときに要した経費の一部を助成（認定工事の合計額3分の2（1世帯につき16万円限度））する。		
<b>成果・実績</b>	要介護状態等になるおそれの高い状態にあると認められる高齢者の居住する住宅等について改造費の助成を行った。 ◎助成件数                7件		
<b>事業評価</b>	介護保険給付対象工事となる住宅改造費を助成し、転倒事故の防止対策を図ることにより、介護予防の促進に努めた。今後も転倒等の事故を未然に防ぎ、運動機能が低下しても安心して在宅での生活を送り続けられるよう支援を行う。		

<b>事務事業名</b>	地域密着型サービス等整備費補助金	<b>所管課</b>	健康生きがい課
		<b>決算額</b>	44,146千円
<b>事業内容</b>	宇治市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に則した施設整備を計画的に進め、地域における適切な介護サービスの提供体制を促進するため、地域医療介護総合確保基金を利用し、京都府より交付金を受けて事業者へ補助を行う。		
<b>成果・実績</b>	<p>◎ 整備法人                                株式会社オールウェーズ          整備施設名称                            グループホームすみれ          施設場所                                宇治市神明石塚25番地13、25番地20、25番地21（北宇治圏域）          【地域密着型サービス等整備助成事業（面的整備事業）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認知症対応型共同生活介護        32,000 千円</li> <li>【施設開設準備経費等支援事業】</li> <li>・ 認知症対応型共同生活介護        7,200 千円</li> </ul> <p>◎ 整備法人                                株式会社ニチイ学館          整備施設名称                            ニチイケアセンター三室戸          施設場所                                宇治市菟道藪里37番地（東宇治南圏域）          【施設開設準備経費等支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認知症対応型共同生活介護        2,915 千円</li> <li>・ 小規模多機能型居宅介護        2,031 千円</li> </ul>		
<b>事業評価</b>	「宇治市高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画」に基づく施設整備に対する補助を実施し、介護サービスの提供体制の整備を計画的に促進した。今後も高齢者数の増加に伴う介護サービスの需要の増加に対応するため、計画的な整備に努める。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	認知症の人にやさしいまち・うじ推進事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	1,328千円
事業内容	平成27年3月に宣言した「認知症の人にやさしいまち・うじ」の実現のために、認知症を「自分のこと」と捉え、市民一人ひとりが認知症を正しく理解し、やさしいまちづくりを目指して自分のできる行動を起こしていく「宇治市認知症アクションアライアンス」通称“れもねいど”活動を広める。		
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎れもねいど新規加盟企業 14団体（累計56団体）</li> <li>◎れもねいだー（ボランティア）新規登録者数 17人（累計107人）</li> <li>◎認知症等により行方不明になる恐れのある高齢者等の情報を事前に登録し、事前登録者に対して「身元確認シール」を交付する 新規登録者数 47人</li> </ul>		
事業評価	「認知症の人にやさしいまち・うじ」の実現に向け、全国に先駆けて一般企業や団体との連携を通じた施策を実施したことにより、認知症の正しい理解の普及・啓発に努めることができた。今後も一般企業や市民との連携に努め、より一層の施策推進を図る。		

事務事業名	認知症総合センター整備強化事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	4,500千円
事業内容	包括的な医療・介護サービスを提供する「京都認知症総合センター」が運営を開始し、地域資源との連携体制を強化し、認知症に係る初期から看取り期までの課題に対応できる機能を持つモデルを完成させるとともに、京都認知症総合センターの初期支援プログラム等の他地域への普及を推進する。		
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎認知症医療・介護連携の枠組み構築のためのモデル事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・連携の充実・強化（推進協議会） 24回</li> <li>・介護施設等への専門医療支援体制の構築 25回</li> <li>・一般市民等への認知症の正しい理解の普及啓発 5回</li> </ul> </li> <li>◎本人の活動を重視する認知症カフェ推進事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期支援プログラムの開発 8種類 合計27回</li> <li>・認知症カフェ運営者・スタッフ研修 5回</li> </ul> </li> <li>◎『認知症の人の声を社会に！』推進事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の人や家族が自らの思いを発信できる場づくり 8回</li> <li>・認知症当事者によるピアサポート事業 10回</li> <li>・認知症の人の家族による講演会の実施 2回</li> </ul> </li> </ul>		
事業評価	「京都認知症総合センター」の運営を通じ、認知症に係る医療・介護連携の枠組みの構築をはじめとする各種施策を推進した。より発展的な施策展開となるよう事業内容を検討する。		



## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	介護予防把握事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	1,622千円
事業内容	<p>閉じこもり等の何らかの支援を要する者を早期に把握し、住民主体の介護予防活動へつなげるため、70歳・72歳以降3歳刻みの高齢者（ただし、介護認定を持つ者等は除く）を対象に、訪問時に介護が必要な状況となるリスクについて判断し、必要に応じて保健指導や相談、関係機関への連携などの支援を行う。</p>		
成果・実績	<p>居宅を訪問し、対象者の状況に合わせて相談、指導などを行ったり、必要に応じて関係機関への支援につないだ。</p> <p>◎訪問実人数            1,590人 ◎訪問延べ人数        2,344人</p>		
事業評価	<p>閉じこもり等により要介護状態になるリスクがある高齢者を適切に把握し、一般介護予防事業につなげることで、生活機能の維持を図った。より効果的に対象者を把握し、支援を推進していくための手法について検討が必要である。</p>		

事務事業名	複合型介護予防教室開催費	所管課	健康生きがい課
		決算額	38,517千円
事業内容	<p>65歳以上の市民に対し、介護予防の三本柱である運動、栄養、口腔及び認知症について複合的に学ぶことで全身的な機能の改善を図る。</p>		
成果・実績	<p>通所により介護予防を目的とした複合型介護予防教室を市内14会場で行った。</p> <p>◎実人数                528人 ◎延べ人数        9,167人</p>		
事業評価	<p>複合型プログラムを実施し、対象者の生活機能の改善を図った。これまで以上に他の事業との連携を進め、より効果的な事業実施の手法等の検討に努める。</p>		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	機能訓練事業費	所管課	健康生きがい課																				
		決算額	39,544千円																				
事業内容	<p>一般介護予防事業による機能訓練事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ パワリハトレーニング教室：心身の機能の維持・向上のため、マシンを利用した軽度な負荷での運動及びストレッチ体操などを行う。</li> <li>◎ スロートレーニング教室：生活機能の維持・改善のため、自重運動及び体操を中心としたトレーニングを行う。</li> <li>◎ セルフパワリハ：医療制限を受けていない自力でトレーニング可能な人を対象に、心身の機能の維持・向上のため、マシンを利用した軽度な負荷での運動等を行う。</li> <li>◎ B型リハビリ教室：疾病等により閉じこもり傾向にある高齢者及び障害のある人などを対象に、閉じこもりを防止し、地域参加を促すとともに、心身機能の維持・改善を図るため、地域の人と交流をしながら、ゲーム及び体操を行う。</li> </ul>																						
成果・実績	<p>65歳以上の市民が、通所により介護予防を目的とした運動器の機能向上プログラムを実施した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">◎ パワリハトレーニング教室参加者数</td> <td style="width: 10%;">(実人数)</td> <td style="width: 10%;">209人</td> <td style="width: 10%;">(延べ人数)</td> <td style="width: 15%;">3,822人</td> </tr> <tr> <td>◎ スロートレーニング教室参加者数</td> <td>(実人数)</td> <td>160人</td> <td>(延べ人数)</td> <td>2,898人</td> </tr> <tr> <td>◎ セルフパワリハ参加者数</td> <td>(実人数)</td> <td>397人</td> <td>(延べ人数)</td> <td>11,854人</td> </tr> <tr> <td>◎ B型リハビリ教室参加者数</td> <td>(実人数)</td> <td>210人</td> <td>(延べ人数)</td> <td>6,271人</td> </tr> </table>			◎ パワリハトレーニング教室参加者数	(実人数)	209人	(延べ人数)	3,822人	◎ スロートレーニング教室参加者数	(実人数)	160人	(延べ人数)	2,898人	◎ セルフパワリハ参加者数	(実人数)	397人	(延べ人数)	11,854人	◎ B型リハビリ教室参加者数	(実人数)	210人	(延べ人数)	6,271人
◎ パワリハトレーニング教室参加者数	(実人数)	209人	(延べ人数)	3,822人																			
◎ スロートレーニング教室参加者数	(実人数)	160人	(延べ人数)	2,898人																			
◎ セルフパワリハ参加者数	(実人数)	397人	(延べ人数)	11,854人																			
◎ B型リハビリ教室参加者数	(実人数)	210人	(延べ人数)	6,271人																			
事業評価	<p>それぞれの段階に応じた心身の機能維持・回復を図るために必要な訓練を実施し、日常生活の自立の促進を図った。プログラム構成の改善及び他事業との連携など、より効果的な事業実施とするための手法の検討に努める。</p>																						

事務事業名	認知症地域支援事業費	所管課	健康生きがい課																				
		決算額	11,030千円																				
事業内容	<p>高齢者が地域で心身ともにいきいきと暮らすことができるように、予防可能な段階である初期認知症高齢者を早期に発見し、認知症の改善と進行、悪化の防止のための教室を行う。</p>																						
成果・実績	<p>認知症予防を目的とした教室及び認知症の正しい理解の普及・啓発（認知症あんしんサポーター養成講座）を行った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">◎ 認知症予防教室参加者数（実人数）</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: right;">118人</td> </tr> <tr> <td>◎ 脳活性化教室参加者数（延べ人数）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">5,868人</td> </tr> <tr> <td>◎ 認知症あんしんサポーター養成講座（延べ人数）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">1,781人</td> </tr> <tr> <td>◎ キャラバン・メイト養成フォローアップ講座（延べ人数）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">50人</td> </tr> </table>			◎ 認知症予防教室参加者数（実人数）				118人	◎ 脳活性化教室参加者数（延べ人数）				5,868人	◎ 認知症あんしんサポーター養成講座（延べ人数）				1,781人	◎ キャラバン・メイト養成フォローアップ講座（延べ人数）				50人
◎ 認知症予防教室参加者数（実人数）				118人																			
◎ 脳活性化教室参加者数（延べ人数）				5,868人																			
◎ 認知症あんしんサポーター養成講座（延べ人数）				1,781人																			
◎ キャラバン・メイト養成フォローアップ講座（延べ人数）				50人																			
事業評価	<p>認知症の改善や進行の防止を図るための教室及び認知症の正しい理解の普及・啓発を行うための講座を開催し、認知症関連施策の推進を図った。他事業との連携を深め、より効果的な事業実施となるよう、引き続き手法の検討を行う。</p>																						

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
<b>中分類</b>	03 長寿社会への対応	
<b>小分類</b>	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	地域包括支援センター運営事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	104,782千円
事業内容	介護、福祉、医療、保健などのサービスを包括的・継続的に提供するために、平成18年度に地域包括支援センターを市内6カ所の日常生活圏域に設置（東宇治南、北宇治圏域は支所も設置）した。要支援者が可能な限り居宅において自立した日常生活を営むことができるように、総合相談、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント、第一号介護予防支援を実施する。また、地域包括支援センター運営協議会を設置する。		
成果・実績	3職種（保健師、社会福祉士及び主任介護支援専門員）の専門職を配置し、圏域内の高齢者の心身の状況に応じた介護予防ケアプランの作成、指定介護予防支援、高齢者及びその家族に対する相談支援、高齢者の権利擁護、包括的・継続的なケア体制の構築などを行った。  ◎新規相談者数（実人数） 3,711人		
事業評価	国の指針に基づき日常生活圏域ごとに専門職を配置し、地域の中で高齢者の生活を支援した。高齢者数が増加している状況において、包括的支援の充実に向け、日常生活圏域の見直しを行い、引き続き地域包括ケアの推進に努める。		

事務事業名	地域包括ケア体制推進事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	262千円
事業内容	地域の高齢者が安心していきいきと暮らせるまちづくりを行うことを目的として「地域包括ケア会議」及び「小地域包括ケア会議」を開催し、地域ネットワークの構築を図る。講義、事例検討を通して地域包括支援センター及びケアマネジャーの資質向上を図る。		
成果・実績	地域ネットワークの構築を図るとともに、地域包括支援センター及びケアマネジャーへ資質向上のための研修を実施した。  ◎延べ人数 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケア会議 83人</li> <li>・小地域包括ケア会議 675人</li> <li>・資質向上研修 83人</li> </ul>		
事業評価	地域包括ケア会議を開催して地域ネットワークの構築を図るとともに、ケアマネジャー等の資質向上研修を実施し地域包括ケアの推進を図った。今後も効果的な会議のあり方を検討し、関係団体等との連携強化に努める。		

## 平成30年度決算成果説明書

<b>総合計画の体系</b>		<b>所管部局</b>
<b>大分類</b>	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
<b>中分類</b>	03 長寿社会への対応	
<b>小分類</b>	02 高齢者福祉サービスの充実	

<b>事務事業名</b>	家族介護者支援事業費	<b>所管課</b>	健康生きがい課
		<b>決算額</b>	4,966千円

<b>事業内容</b>	<p>要介護の高齢者等を介護する家族を支援するため、以下の事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 紙おむつ等給付事業：要介護4・5の在宅高齢者の家族等に紙おむつ等を給付する。 （月額購入費の2分の1相当の額の紙おむつ等を5千円を上限に給付する。本人及び本人を扶養する親族が市民税非課税）</li> <li>◎ 高齢者介護者交流事業：要介護2～5の高齢者を在宅にて介護する家族等の交流事業を行う。</li> <li>◎ 介護知識・技術習得教室：要介護2～5の高齢者を在宅にて介護する家族等を対象に、適切な介護知識・技術の習得や、外部サービスの適切な利用方法の習得等を内容とした教室を開催する。</li> <li>◎ 家族介護慰労事業：要介護4・5の市民税非課税世帯の高齢者で1年間介護サービスを受けずに介護した家族に慰労金を支給する。</li> <li>◎ 家族介護者教室：介護者自身の健康づくりを目指し、健康管理等の知識を指導する。</li> <li>◎ 認知症等高齢者家族安心事業：認知症等により行方不明となるおそれがある高齢者及びその家族に、GPS機能を備えた機器の貸与費用等を助成する。</li> </ul>
-------------	---

<b>成果・実績</b>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">◎紙おむつ等給付事業</td> <td style="text-align: right;">2,106千円</td> </tr> <tr> <td>・ 給付件数</td> <td style="text-align: right;">671件</td> </tr> <tr> <td>◎在宅高齢者介護者交流事業</td> <td style="text-align: right;">2,007千円</td> </tr> <tr> <td>・ 参加者数</td> <td style="text-align: right;">76人</td> </tr> <tr> <td>◎介護知識・技術習得教室</td> <td style="text-align: right;">178千円</td> </tr> <tr> <td>・ 参加者数</td> <td style="text-align: right;">57人</td> </tr> <tr> <td>◎家族介護慰労事業</td> <td style="text-align: right;">0千円</td> </tr> <tr> <td>・ 支給者数</td> <td style="text-align: right;">0人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(対象者がいなかったため、平成30年度は実績なし)</td> </tr> <tr> <td>◎家族介護者教室 ～ケアラズ・カフェ～</td> <td style="text-align: right;">281千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">介護をしている家族を対象に、運動・栄養・口腔についての教室を実施した。</td> </tr> <tr> <td>・ 参加者数</td> <td style="text-align: right;">81人</td> </tr> <tr> <td>◎認知症等高齢者家族安心事業</td> <td style="text-align: right;">394千円</td> </tr> <tr> <td>・ 年度末利用者数</td> <td style="text-align: right;">40人</td> </tr> </table>	◎紙おむつ等給付事業	2,106千円	・ 給付件数	671件	◎在宅高齢者介護者交流事業	2,007千円	・ 参加者数	76人	◎介護知識・技術習得教室	178千円	・ 参加者数	57人	◎家族介護慰労事業	0千円	・ 支給者数	0人	(対象者がいなかったため、平成30年度は実績なし)		◎家族介護者教室 ～ケアラズ・カフェ～	281千円	介護をしている家族を対象に、運動・栄養・口腔についての教室を実施した。		・ 参加者数	81人	◎認知症等高齢者家族安心事業	394千円	・ 年度末利用者数	40人
◎紙おむつ等給付事業	2,106千円																												
・ 給付件数	671件																												
◎在宅高齢者介護者交流事業	2,007千円																												
・ 参加者数	76人																												
◎介護知識・技術習得教室	178千円																												
・ 参加者数	57人																												
◎家族介護慰労事業	0千円																												
・ 支給者数	0人																												
(対象者がいなかったため、平成30年度は実績なし)																													
◎家族介護者教室 ～ケアラズ・カフェ～	281千円																												
介護をしている家族を対象に、運動・栄養・口腔についての教室を実施した。																													
・ 参加者数	81人																												
◎認知症等高齢者家族安心事業	394千円																												
・ 年度末利用者数	40人																												



介護者交流会

<b>事業評価</b>	<p>介護者同士の交流やGPS機器の貸与など、ソフト・ハード両面の支援により、高齢者の介護を行う家族の精神的・経済的負担の軽減を図った。高齢者数の増加に伴う要介護・要支援者数が増えている状況において、在宅生活を支える家族への支援も重要となっており、今後も利用状況の把握及び事業の啓発に努め、効果的な支援を検討する。</p>
-------------	---

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
<b>中分類</b>	03 長寿社会への対応	
<b>小分類</b>	02 高齢者福祉サービスの充実	

<b>事務事業名</b>	高齢者成年後見制度助成費	<b>所管課</b>	健康生きがい課
		<b>決算額</b>	10,220千円
<b>事業内容</b>	判断能力が不十分な認知症等高齢者のうち、身寄りがないなど当事者による成年後見人の申立が期待できない状況にあるものについて、成年後見制度の利用による本人の権利を擁護するため、審判の請求手続きの代行を行う。また、成年後見制度の利用に要する費用について助成を受けなければ利用が困難であるものに対して、後見人等の報酬等を市が助成する。		
<b>成果・実績</b>	<p>判断能力がないまたは乏しいことにより契約等の行為が行えない認知症等高齢者に対して、成年後見人等を選任するための申立の代行、報酬助成などを行った。</p> <p>◎申立件数                      10件 ◎報酬助成件数                41件</p>		
<b>事業評価</b>	後見人制度の利用にあたり報酬等を助成し、判断能力が十分でない高齢者の権利擁護を図った。より利用しやすい制度とするため、対象要件の緩和を図るなど、引き続き高齢者の権利擁護に努める。		

<b>事務事業名</b>	認知症家族介護者支援事業費	<b>所管課</b>	健康生きがい課
		<b>決算額</b>	402千円
<b>事業内容</b>	認知症家族支援プログラム及びOB会を通して認知症の人を介護する家族を支援する。		
<b>成果・実績</b>	<p>介護者家族に対し、認知症の理解を促進し、介護者同士の交流を図った。</p> <p>◎延べ人数 ・家族支援プログラム            54人 ・OB会支援                        114人</p>		
<b>事業評価</b>	認知症介護者等によるピアサポートを通じ、認知症の人を介護する家族を支援した。プログラムの校正や他事業との連携など、より効果的な事業実施となるよう内容の改善に努める。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	宇治市緊急通報装置（シルバーホン）設置事業	所管課	健康生きがい課
		決算額	16,167千円
事業内容	高齢者の自立した生活の継続を支援するため、消防本部等との緊急時の連絡手段として緊急通報装置（シルバーホン）を貸与、設置し、家庭内の事故等に随時対応できる体制を整備する。		
成果・実績	<p>本市に在住するおおむね65歳以上の一人暮らし高齢者を対象に緊急時の連絡手段としてシルバーホンを設置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規設置数                   105台</li> <li>・年度末設置数               994台</li> </ul>		
事業評価	一人暮らし高齢者の住居へのシルバーホンの設置を支援し、高齢者の自立した生活の継続を図った。引き続き、安心して自立した生活を続けられるよう、支援体制の構築に努める。		

事務事業名	在宅医療・介護連携推進事業	所管課	健康生きがい課
		決算額	6,182千円
事業内容	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、包括的かつ継続的な在宅医療・介護を提供するため、地域における医療、介護の関係機関の連携体制を構築する。		
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 地域の医療・介護の資源の把握 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ココカラまるごとブック発刊</li> </ul> </li> <li>(2) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策を検討する会議（計22回）</li> <li>(3) 医療・介護関係者の情報共有の支援</li> <li>(4) 在宅医療・介護連携に関する相談支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅サポート医制度（6回）、地域包括支援センターからの各種困難事例の相談対応、医療介護各種団体への医師派遣事業（1回）</li> <li>在宅療養コーディネーター養成研修（2回）</li> </ul> </li> <li>(5) 医療・介護関係者の研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種対象の研修会（11回）、出張講座の実施（2回）</li> </ul> </li> <li>(6) 地域住民への普及啓発、相談会</li> <li>(7) 在宅医療・介護連携に関する関係市町との連携</li> <li>(8) 医療介護連携センターの立ち上げ</li> </ul>		
事業評価	医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、地域における医療・介護の関係機関との連携体制の構築に努めた。今後も関係機関との連携を図り、地域における支援の手法について引き続き検討する。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
<b>中分類</b>	03 長寿社会への対応	
<b>小分類</b>	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	初期認知症総合相談支援事業費	所管課	健康生きがい課								
		決算額	18,811千円								
事業内容	<p>認知症になっても住み慣れた地域で生活を継続するために、認知症コーディネーターを配置し、認知症の人とその家族への効果的な支援を行う。また、医療機関、介護サービス及び地域の支援機関の連携強化などによる支援体制の構築を図る。</p>										
成果・実績	<p>認知症の人とその家族に訪問を実施し、早期発見、早期支援を行った。また、認知症対応型カフェを市内6圏域で37回開催し、認知症の人に社会参加ができる場、居場所、生きがいづくり、ピアサポートの場を提供し、加えて、認知症の人とその家族、地域住民に、認知症に関する正しい知識の普及啓発を行った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%;">◎お元気チェックリスト該当者訪問対象者数（延べ人数）</td> <td style="text-align: right;">495人</td> </tr> <tr> <td>◎認知症対応型カフェ参加者数（延べ人数）</td> <td style="text-align: right;">725人</td> </tr> <tr> <td>◎認知症初期集中支援チーム対象事例数</td> <td style="text-align: right;">36事例</td> </tr> <tr> <td>◎認知症フォーラム（参加者数）</td> <td style="text-align: right;">250人</td> </tr> </table>			◎お元気チェックリスト該当者訪問対象者数（延べ人数）	495人	◎認知症対応型カフェ参加者数（延べ人数）	725人	◎認知症初期集中支援チーム対象事例数	36事例	◎認知症フォーラム（参加者数）	250人
◎お元気チェックリスト該当者訪問対象者数（延べ人数）	495人										
◎認知症対応型カフェ参加者数（延べ人数）	725人										
◎認知症初期集中支援チーム対象事例数	36事例										
◎認知症フォーラム（参加者数）	250人										
事業評価	<p>初期認知症の人とその家族に早期の支援を行い、認知症になっても住み慣れた地域で住み続けられるような体制の構築を図った。地域住民に対する正しい知識の普及啓発にも積極的に取り組み、地域全体で支援できるよう引き続き連携強化等に努める。</p>										



## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	保険給付費	所管課	介護保険課
		決算額	13,119,457千円
事業内容	要介護・要支援認定者が介護サービス・介護予防サービス等を受けた時、その費用の一部を負担する。		
成果・実績	(千円)		
		平成30年度	平成29年度
	介護サービス等諸費	12,853,647	12,358,208
	居宅介護サービス	5,170,570	4,941,335
	地域密着型介護サービス	1,836,223	1,686,423
	施設介護サービス	4,287,697	4,250,162
	特定入所者介護サービス	372,799	369,084
	その他	1,186,358	1,111,204
	介護予防サービス等諸費	251,974	362,342
	介護予防サービス	164,030	267,166
	地域密着型介護予防サービス	1,126	363
	特定入所者介護予防サービス	508	408
	その他	86,310	94,405
	その他諸費	13,836	13,419
審査支払手数料	13,836	13,419	
事業評価	国制度に基づき適正に給付した。今後も高齢者数の増加に伴い、認定者数及びサービス利用者数が増加する見込みであることから、持続可能な事業運営のため、適正な執行に努めるとともに、ニーズを的確に把握し、事業計画に反映する必要がある。		

事務事業名	介護相談員派遣事業費	所管課	介護保険課
		決算額	1,439千円
事業内容	申し出のあったサービス事業者に相談員の派遣を行うことにより、利用者の疑問及び不満、不安の解消を図るとともに、相談等を通してサービスの現状を把握し、派遣先事業者の介護サービスの質的な向上を図る。また、苦情に至る事態を未然に防止すること及び利用者・家族の日常的な不満・疑問に対応して改善を図る事前的な対応を行う。		
成果・実績	介護相談員を通して利用者の疑問及び不安を事業者側へ伝え、解消・改善につなげた。また、事業所ごとのサービスの現状を把握した。		
	派遣事業所種別	派遣事業所数 (力所)	派遣人数 (人)
	特別養護老人ホーム	8	19
	介護老人保健施設	3	7
	グループホーム	15	15
地域密着型特別養護老人ホーム	1	2	訪問回数 (回)
			208
			69
			176
			24
事業評価	相談員を派遣し、施設利用者の疑問及び不安を解消するとともに、サービスの質の向上を図った。相談員は利用者と施設をつなぐ役割を担っているため、今後も相談員の資質の向上に努める。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康長寿部

事務事業名	福祉人材研修事業費	所管課	介護保険課
		決算額	800千円
事業内容	介護保険制度創設後、要介護・要支援認定者数及び介護サービス利用者数は年々増加しており、介護サービスの質の向上・確保が課題となっている。ケアマネジャー及び介護サービス事業所職員を対象にサービスの質の向上・確保を目的とした研修を行い、介護サービス事業者が利用者の自立支援につながる質の高いサービスを提供できる環境を整備する。		
成果・実績	(一財) 宇治市福祉サービス公社に委託し、ケアマネジャー及び介護サービス事業所職員を対象に研修を行った。		
	研修名	参加者数(人)	対象者
	宇治市の行政施策とインフォーマルサービス・ケアマネジメント業務において押さえておきたいポイントを学ぼう!	38	ケアマネジャー
	改定の重点課題でケアマネジャーに求められるもの ～ケアプランの見直しの視点～	54	ケアマネジャー
	認知症を学ぶ 【パート1】「認知症医療、現状とこれから」 【パート2】「認知症、その人らしさを支えるケアとは」	【パート1】 31 【パート2】 39	介護サービス事業所職員
	介護者支援から始まる在宅介護 ～様変わりしてきた家族事情～	39	介護サービス事業所職員
	精神疾患の理解とそのケア ～共に生きる～	41	介護サービス事業所職員
	看取りを学ぶ ～「生ききる」により添う～	46	介護サービス事業所職員
	～これだけは知っておこう～ 介護現場での医療知識	29	介護サービス事業所職員
	利用者と介護職のための介護技術（移動介助と食事介助）	15	介護サービス事業所職員
	介護保険サービスと障害福祉サービスとの連携 ～法改定と宇治市の現状～	42	ケアマネジャー・相談支援専門員
事業評価	ケアマネジャー及び介護サービス事業所職員等に対して研修を実施し、介護サービス事業者が提供するサービスの向上・確保を図った。今後も介護サービス事業者の質をより高めるための支援・指導の手法について、引き続き検討する。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康長寿部

事務事業名	介護保険料（歳入）	所管課	介護保険課	
		決算額	3,251,462千円	
事業内容	平成30年度から令和2年度までの第1号被保険者の保険料は、第7期介護保険事業計画期間の介護保険サービス見込み量等をもとに算出し、15の段階の設定としている。			
成果・実績	◎第1号被保険者数	53,497人	（平成30年度末現在）	
	◎保険料収納率	現年度分	99.30%	
		滞納繰越分	10.18%	
		合計	97.49%	
	<b>【平成30年度の保険料段階別年間保険料額】</b>			
		保険料段階	年間保険料額(円)	
		第1段階	24,960	
		第2段階	37,430	※
		第3段階	43,670	※
		第4段階	49,910	
		第5段階	62,380	（基準額）
		第6段階	68,620	
		第7段階	81,100	
		第8段階	102,930	
		第9段階	121,650	
	第10段階	131,000		
	第11段階	140,360		
	第12段階	149,720		
	第13段階	159,070		
	第14段階	168,430		
	第15段階	184,030		
	※保険料段階が第2段階または第3段階の者のうち、特に低所得である者については申請により保険料の減額を行っている。			
事業評価	第7期介護保険事業計画期間における保険給付費を見通し、保険料収入を確保する原則に基づき適切な事業運営を行った。今後もケースに応じた納付指導などにより収納率の向上を図り、安定的な事業運営に努める。			

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	02 健やかな成長・発達への支援の充実	

事務事業名	子育て支援医療費支給費	所管課	年金医療課																											
		決算額	533,603千円																											
事業内容	乳幼児の健康保持増進と子育て支援を図ることを目的に、平成5年10月1日から乳幼児医療助成事業を実施している。子育て家庭の経済的負担を軽減するため、保険診療における自己負担分から一部負担金を控除した額を助成しており、申請に基づいて乳幼児、小学生及び中学生の保護者に京都子育て支援医療費受給者証を交付し、現物給付方式または償還給付方式で助成を行う。																													
成果・実績	<p>子育て支援の観点から子育て家庭の経済的負担を軽減するため、保険診療における自己負担分のうち一部負担金を除いて助成を行った。</p> <p>◎受給者数           22,696人 ◎扶助費            517,046千円</p> <p style="text-align: center;">現物給付（1医療機関 月200円負担）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>0歳</th> <th>1歳</th> <th>2歳</th> <th>3歳</th> <th>4歳</th> <th>5歳</th> <th>小学校卒業まで</th> <th>中学校卒業まで</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">入院</td> <td colspan="8" style="text-align: center;">市独自</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">外来</td> <td colspan="8" style="text-align: center;">市独自</td> </tr> </tbody> </table>				0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小学校卒業まで	中学校卒業まで	入院	市独自								外来	市独自							
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小学校卒業まで	中学校卒業まで																						
入院	市独自																													
外来	市独自																													
事業評価	保険診療における自己負担分のうち一部負担金を除いて助成を行い、対象者の健康保持と子育て家庭の経済的負担を図った。少子化対策の一環として、子育てに要する経済的負担の軽減については、引き続き国等に要望を行う。																													

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	07 年金・保険制度の運営	
小分類	01 年金・各種医療制度の運営	

事務事業名	老人医療費支給費	所管課	年金医療課
		決算額	156,727千円
事業内容	安心して医療を受けられるように、65歳から69歳までの医療保険加入者で一定の条件に該当する者に対して、保険診療の自己負担分のうち、高齢者の医療の確保に関する法律に規定する一部負担金相当額（自己負担限度額の区分が、一般と市民税非課税世帯は2割負担、現役並み所得者は3割負担）を除いた額を助成する。		
成果・実績	<p>対象となる医療費について助成を行った。</p> <p>◎受給者数           3,703人 ◎扶助費            151,145千円</p>		
事業評価	京都府制度に基づき適正に執行し、対象となる高齢者の経済的負担の軽減を図った。国・京都府の動向を注視し、的確な支給事務の遂行に努める。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	07 年金・保険制度の運営	
小分類	01 年金・各種医療制度の運営	

事務事業名	健康診査費	所管課	年金医療課
		決算額	79,499千円
事業内容	疾病の早期発見・治療及び医療費の抑制を図るため、健診及び歯科健診を実施する。健診事業は後期高齢者医療制度において努力目標として明記されているもので、保険者である京都府後期高齢者医療広域連合と連携して行う。		
成果・実績	6月1日～10月31日に（一社）宇治久世医師会及び宇治久世歯科医師会に委託して実施した。		
	◎健康診査 ・受診者数 7,983人 ・健診委託料 79,097千円	◎歯科健診 ・受診者数 16人 ・健診委託料 56千円	
事業評価	後期高齢者を対象に健康診査及び歯科健診を実施し、被保険者の健康の保持増進を図った。今後も高齢者人口の増加による医療費の増加が見込まれるため、疾病の早期発見・治療につなぐための制度周知等に努める。		

事務事業名	後期高齢者医療保険料（歳入）	所管課	年金医療課																					
		決算額	2,106,917千円																					
事業内容	平成20年度から施行された後期高齢者医療制度の保険料を徴収する。2年ごとに保険料の見直しが行われ、平成30・31年度保険料については、均等割額が47,890円に、所得割率が9.39%に改定された。																							
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">◎被保険者数</td> <td style="width: 30%;">25,334人</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>◎保険料収納率</td> <td>現年度分</td> <td>99.61%</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>滞納繰越分</td> <td>17.40%</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>98.24%</td> <td></td> </tr> </table> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     保険料                      （限度額62万円）                 </td> <td style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">=</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     均等割額                      （被保険者一人あたり）                      47,890円                 </td> <td style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">+</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     所得割額                      （総所得金額等－                      基礎控除額（33万円））                      ×9.39%                 </td> </tr> </table> ◎保険料軽減 世帯（被保険者全員と世帯主）の所得に応じて、保険料の均等割額が軽減される。制度加入の前日まで会社の健康保険や協会けんぽ、共済組合の被扶養者である場合は、保険料の均等割額が軽減される。			◎被保険者数	25,334人			◎保険料収納率	現年度分	99.61%			滞納繰越分	17.40%			合計	98.24%		保険料 （限度額62万円）	=	均等割額 （被保険者一人あたり） 47,890円	+	所得割額 （総所得金額等－ 基礎控除額（33万円）） ×9.39%
◎被保険者数	25,334人																							
◎保険料収納率	現年度分	99.61%																						
	滞納繰越分	17.40%																						
	合計	98.24%																						
保険料 （限度額62万円）	=	均等割額 （被保険者一人あたり） 47,890円	+	所得割額 （総所得金額等－ 基礎控除額（33万円）） ×9.39%																				
事業評価	京都府後期高齢者医療広域連合と協力して後期高齢者医療制度の適切な運営に努めた。今後も安定した事業運営のため、制度周知や収納事務の適正化に努める必要がある。																							

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
<b>中分類</b>	07 年金・保険制度の運営	
<b>小分類</b>	01 年金・各種医療制度の運営	

事務事業名	人間ドック受診補助金	所管課	年金医療課
		決算額	10,991千円
事業内容	後期高齢者医療制度被保険者を対象に、生活習慣病の早期発見・治療を図るために半日人間ドックに係る健診料の7割を後期高齢者医療事業特別会計から補助する。		
成果・実績	◎受診者数 374人 ◎人間ドック健診料補助金 10,913千円		
事業評価	半日人間ドックに対する受診補助を実施し、被保険者の健康保持を図った。利用状況等の把握に努める中で、健康長寿のための効果的な健診のあり方について研究する必要がある。		

事務事業名	障害基礎年金裁定請求等診断書料助成金	所管課	年金医療課
		決算額	9千円
事業内容	「国民年金法」に規定する障害基礎年金（障害厚生年金・障害共済年金と併せて請求するものは除く）の裁定請求等の際に要する診断書料の全部または一部を助成することにより、障害者の経済的負担を軽減し、福祉の増進を図る。		
成果・実績	◎助成件数 3件 ◎助成額 9千円		
事業評価	障害基礎年金の裁定請求等に要する診断書料の助成を行い、障害者の経済的負担の軽減を図った。本事業は平成29年度から新規の請求に係る診断書料の助成を終了しており、2年間の経過措置期間を過ぎたことから、平成30年度で終了する。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	07 年金・保険制度の運営	
小分類	01 年金・各種医療制度の運営	

事務事業名	福祉医療費支給費	所管課	年金医療課										
		決算額	453,437千円										
事業内容	一定の障害のある重度心身障害者並びにひとり親家庭児及びその親等に対し、健康の保持と福祉の向上を図るため、疾病に係る医療保険各法による医療費のうち本人負担分を支給し、経済的負担の軽減を図る。												
成果・実績	<p>対象者へ助成を行い、経済的負担の軽減を図った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">◎ひとり親家庭・重度障害者</td> <td style="width: 50%;">◎療育手帳Bのみ</td> </tr> <tr> <td>・重度障害者 1,747人</td> <td>・療育手帳Bのみ 180人</td> </tr> <tr> <td>・ひとり親家庭児 2,405人</td> <td>・扶助費 10,608千円</td> </tr> <tr> <td>・ひとり親家庭児の親 1,594人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・扶助費 436,748千円</td> <td></td> </tr> </table>			◎ひとり親家庭・重度障害者	◎療育手帳Bのみ	・重度障害者 1,747人	・療育手帳Bのみ 180人	・ひとり親家庭児 2,405人	・扶助費 10,608千円	・ひとり親家庭児の親 1,594人		・扶助費 436,748千円	
◎ひとり親家庭・重度障害者	◎療育手帳Bのみ												
・重度障害者 1,747人	・療育手帳Bのみ 180人												
・ひとり親家庭児 2,405人	・扶助費 10,608千円												
・ひとり親家庭児の親 1,594人													
・扶助費 436,748千円													
事業評価	対象者の健康の保持と経済的負担の軽減を図るため、医療費のうち本人負担分の支給を行った。今後も引き続き適正な支給事務の遂行に努めるとともに、京都府の動向を注視しながら制度対象の拡大などについて要望等を行う必要がある。												

事務事業名	重度心身障害老人健康管理費	所管課	年金医療課						
		決算額	155,312千円						
事業内容	後期高齢者医療制度の被保険者である重度心身障害老人等に対し、一部負担金に相当する額を健康管理費として給付する。								
成果・実績	<p>対象者に健康管理に要する費用を給付し、健康の保持と障害者福祉の向上を図った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">◎重度障害者</td> <td style="width: 50%;">◎療育手帳Bのみ</td> </tr> <tr> <td>・受給者数 1,637人</td> <td>・受給者数 4人</td> </tr> <tr> <td>・扶助費 153,741千円</td> <td>・扶助費 219千円</td> </tr> </table>			◎重度障害者	◎療育手帳Bのみ	・受給者数 1,637人	・受給者数 4人	・扶助費 153,741千円	・扶助費 219千円
◎重度障害者	◎療育手帳Bのみ								
・受給者数 1,637人	・受給者数 4人								
・扶助費 153,741千円	・扶助費 219千円								
事業評価	対象者の健康の保持と経済的負担の軽減を図るため、一部負担金相当額の支給を行った。今後も引き続き適正な支給事務の遂行に努めるとともに、京都府の動向を注視しながら制度対象の拡大などについて要望等を行う必要がある。								

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系	
<b>大分類</b>	03 健康でいきいきと暮らせるまち
<b>中分類</b>	07 年金・保険制度の運営
<b>小分類</b>	02 国民健康保険の運営

所管部局
健康長寿部

<b>事務事業名</b>	特定健康診査等事業費	<b>所管課</b>	国民健康保険課		
		<b>決算額</b>	103,742千円		
<b>事業内容</b>	生活習慣病の予防による医療費削減を目的として、40歳以上75歳未満の被保険者を対象に、メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査・特定保健指導を実施し、メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少を図る。				
<b>成果・実績</b>	特定健康診査は、6月1日～10月31日に（一社）宇治久世医師会に委託して実施した。				
	◎特定健康診査委託の支払件数と支払額				
	年度	26	27	28	29
件数	9,596	10,450	9,919	9,680	9,560
支払額(千円)	86,715	102,974	98,258	95,766	95,067
<b>事業評価</b>	「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、メタボリックシンドロームに着目した項目での健診を実施し、該当者・予備群の減少に努めた。令和元年度から外部委託によるコールセンターを設置して個別通知と合わせて一体的な受診勧奨を実施し、受診率の向上を目指す。				

<b>事務事業名</b>	人間ドック受診補助金	<b>所管課</b>	国民健康保険課			
		<b>決算額</b>	61,583千円			
<b>事業内容</b>	35歳以上75歳未満の被保険者を対象に、疾病の早期発見・治療により、健康管理に対する自覚を深めて医療費の適正化を図ることを目的として、半日人間ドック・脳ドックの健診料の7割を国民健康保険事業特別会計から補助する。					
<b>成果・実績</b>	半日人間ドック・脳ドックに対する受診補助事業を行った。					
	◎ドック受診者数と決算額					
	年度	26	27	28	29	30
	人間ドック(人)	1,365	1,403	1,435	1,603	1,575
脳ドック(人)	650	671	672	755	740	
決算額(千円)	54,157	55,790	56,758	63,112	61,583	
<b>事業評価</b>	半日人間ドック・脳ドックに対する受診補助を実施し、受診者の健康保持と経済的負担の軽減を図った。今後も受診ニーズの把握に努め、引き続き実施する。					

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	07 年金・保険制度の運営	
小分類	02 国民健康保険の運営	

<b>事務事業名</b>	国民健康保険料（歳入）	<b>所管課</b>	国民健康保険課																												
		<b>決算額</b>	3,338,253千円																												
<b>事業内容</b>	本市の国民健康保険料については、制度改革に伴い、京都府が示す標準保険料率に基づき設定することを基本としつつ、宇治市国民健康保険運営協議会への諮問に対する答申をふまえて設定する。																														
<b>成果・実績</b>	<p>◎加入世帯数 24,695世帯（一般24,642世帯、退職53世帯）</p> <p>◎被保険者数 39,131人（一般39,071人、退職60人） （平成30年度末現在）</p> <p>◎保険料収納率</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>現年度分</td> <td style="text-align: right;">94.28%</td> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">75.27%</td> </tr> <tr> <td>滞納繰越分</td> <td style="text-align: right;">9.95%</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>◎平成30年度 国民健康保険料率</p> <table border="1" style="margin-left: 40px; width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">医療給付費分</th> <th style="text-align: center;">後期高齢者支援金分</th> <th style="text-align: center;">介護納付金分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>所得割(%)</td> <td style="text-align: center;">7.56</td> <td style="text-align: center;">2.75</td> <td style="text-align: center;">2.67</td> </tr> <tr> <td>均等割(円)</td> <td style="text-align: center;">25,400</td> <td style="text-align: center;">9,100</td> <td style="text-align: center;">10,900</td> </tr> <tr> <td>平等割(円)</td> <td style="text-align: center;">17,500</td> <td style="text-align: center;">6,300</td> <td style="text-align: center;">5,500</td> </tr> <tr> <td>賦課限度額(円)</td> <td style="text-align: center;">580,000</td> <td style="text-align: center;">190,000</td> <td style="text-align: center;">160,000</td> </tr> </tbody> </table>			現年度分	94.28%	合計	75.27%	滞納繰越分	9.95%				医療給付費分	後期高齢者支援金分	介護納付金分	所得割(%)	7.56	2.75	2.67	均等割(円)	25,400	9,100	10,900	平等割(円)	17,500	6,300	5,500	賦課限度額(円)	580,000	190,000	160,000
現年度分	94.28%	合計	75.27%																												
滞納繰越分	9.95%																														
	医療給付費分	後期高齢者支援金分	介護納付金分																												
所得割(%)	7.56	2.75	2.67																												
均等割(円)	25,400	9,100	10,900																												
平等割(円)	17,500	6,300	5,500																												
賦課限度額(円)	580,000	190,000	160,000																												
<b>事業評価</b>	国民健康保険事業特別会計においては、単年度において収支均衡を図るものであり、当該年度の保険給付費等を見通して保険料収入を確保するという原則に基づき、京都府と連携しながら適切な事業運営を行った。																														

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
<b>中分類</b>	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
<b>小分類</b>	02 道路の整備	

事務事業名	道路台帳整備費	所管課	建設総務課
		決算額	14,318千円
事業内容	道路法第28条及び同法施行規則第4条の2に沿って、道路の変化した状況を図面と調書からなる道路台帳に的確に反映させ、効果的な道路行政を推進する。		
成果・実績	道路台帳を調製・保管することにより、道路管理事務の円滑な遂行を図るとともに道路台帳を閲覧に供した。 平成29年度中の道路改良工事・新規認定等によって変化した道路の状況及び占用物件の変更についての経年補正を行った。  ◎道路台帳経年補正業務委託料 14,245千円		
事業評価	道路台帳を調製・保管及び閲覧に供することにより、道路管理事務の円滑な遂行と市民の利便性の向上を図ることができた。道路管理情報のより多目的な活用に向けた課題について検討する必要がある。		

事務事業名	地籍調査事業費	所管課	建設総務課				
		決算額	16,625千円				
事業内容	土地の地目・面積・所有者など、土地の実態を正確に把握することを目的とし、地権者立会いのもと、官民境界および民境を定める「一筆地調査」を行う。これにより災害復旧の迅速化・土地の有効活用の促進・課税の適正化などの効用が期待できる。						
成果・実績	平尾台の一部について、地籍調査を実施した。 ・平尾台二丁目 (0.05平方km) ・平尾台三丁目 (0.04平方km)  ◎地籍調査にかかる委託料 <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">繰越分</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">9,342千円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">現年度</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">3,866千円</td> </tr> </table>			繰越分	9,342千円	現年度	3,866千円
繰越分	9,342千円						
現年度	3,866千円						
事業評価	一筆地調査の実施により、土地の実態を正確に把握し、地籍図、地籍簿を作成することができた。今後も災害復旧の迅速化・土地の有効活用の促進等に資するため、より多くの地点で調査を継続していく必要がある。						



# 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	02 道路の整備	

<b>事務事業名</b>	一般道路改良事業費	<b>所管課</b>	道路建設課
		<b>決算額</b>	20,892千円
<b>事業内容</b>	市内生活道路等の整備を図り、安全で安心な道路網を確保する。		
<b>成果・実績</b>	<p>地元町内会等からの要望を受け、小倉安田線ほか5路線について道路改良工事や境界確定等を実施した。</p> <p style="text-align: center;">小倉安田線(側溝新設工事)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>着工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>完成後</p> </div> </div>		
<b>事業評価</b>	市民の要望等を受け、道路改良工事を実施したことにより、安全で安心な道路網を確保できた。要望等が多くあることから、今後も事業箇所を精査し、道路整備を実施する。		

<b>事務事業名</b>	辺地整備事業費	<b>所管課</b>	道路建設課
		<b>決算額</b>	48,975千円
<b>事業内容</b>	「辺地に係る公共的施設の総合整備計画」に基づき、笠取地区、炭山地区、二尾・池尾地区における道路で、幅員狭隘で通行が危険な箇所の道路改良を実施し、山間地における市民の生活環境の改善を図る。		
<b>成果・実績</b>	<p>志津川池ノ尾線(宮前橋)の道路改良工事が完成したほか、平出中畑線ほか3路線の道路改良に向けた用地測量業務等を実施した。</p> <p style="text-align: center;">志津川池ノ尾線(宮前橋)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>着工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>完成後</p> </div> </div>		
<b>事業評価</b>	山間部における「辺地に係る公共的施設の総合整備計画」に基づき、道路の改良工事を完成させたほか、次年度以降の事業用地取得に向けた用地測量等を実施したことにより、幅員狭隘で通行が危険な箇所の道路改良に向けた取組を進めることができた。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	02 道路の整備	

<b>事務事業名</b>	菟道志津川線道路改良事業費	<b>所管課</b>	道路建設課
		<b>決算額</b>	118,405千円
<b>事業内容</b>	JR奈良線の高速化・複線化第二期事業に併せて、大鳳寺踏切の拡幅改良を行うとともに歩道拡幅整備を行い、歩行者の安全を確保する。また、門前工区では、狭隘箇所の交通安全対策として道路拡幅整備及び交差点改良を実施する。		
<b>成果・実績</b>	谷下り工区では、JR奈良線の高速化・複線化第二期事業との調整を行うとともに、道路の拡幅改良に必要な用地を取得。一部歩道の拡幅を実施した。また、門前工区では3件の用地売買契約を締結した。		
			
	菟道志津川線（谷下り工区現況）	菟道志津川線（門前工区現況）	
<b>事業評価</b>	JR奈良線の高速化・複線化第二期事業と調整を行い、用地の取得、一部歩道の拡幅工事を実施したことにより、取組を進めることができた。今後もJR奈良線の高速化・複線化第二期事業と連携し、取組を進める。		

<b>事務事業名</b>	JR新田駅前広場整備事業費	<b>所管課</b>	道路建設課
		<b>決算額</b>	75,300千円
<b>事業内容</b>	JR奈良線の高速化・複線化第二期事業に伴う新田駅東口改札の整備に併せて、駅前広場及びアクセス道路となる市道広野町176号線の歩道拡幅整備を実施する。		
<b>成果・実績</b>	駅前広場及び市道広野町176号線の道路拡幅用地の取得が完了し、平成30年5月には駅前広場の整備が完成した。また、市道広野町176号線の道路拡幅工事に着手した。		
	市道広野町176号線		
			
	着工前	完成後	
<b>事業評価</b>	駅前広場及び市道広野町176号線の道路拡幅の用地取得を行うとともに、駅前広場の整備が完了した。鉄道事業者との調整等を図りながら引き続き実施する。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局	
<b>大分類</b>	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部	
<b>中分類</b>	02 歴史と景観が調和したまちづくり		
<b>小分類</b>	01 歴史と調和したまちづくりと景観の形成		
<b>事務事業名</b>	宇治橋周辺地区道路整備事業費	<b>所管課</b>	道路建設課
		<b>決算額</b>	30,129千円
<b>事業内容</b>	宇治来訪者が歴史に触れながら安心して散策でき、回遊性の向上につながるよう、宇治市歴史的風致維持向上計画に基づき、快適な歩行空間の確保を行う。		
<b>成果・実績</b>	<p>市道宇治233号線において景観に配慮した照明施設の設置や舗装改良工事が完成した。また、市道宇治228号線では無電柱化の設計に着手した。</p> <p style="text-align: center;">宇治233号線</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>着工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>完成後</p> </div> </div>		
<b>事業評価</b>	歴史的風致維持向上計画に基づき、歴史的な街並みが広がるエリアにおいて道路の改良工事を行う事により、景観への配慮及び回遊性の向上を図った。引き続き来訪者の快適な歩行空間の確保に向けた整備に取り組む。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	01 環境に配慮した安全・安心のまち	建設部
<b>中分類</b>	01 環境保全対策の推進	
<b>小分類</b>	01 地球環境対策の推進	

<b>事務事業名</b>	街灯LED化事業費	<b>所管課</b>	維持課
		<b>決算額</b>	46,395千円
<b>事業内容</b>	宇治市内に存する防犯灯をLED灯に器具交換することで、省電力化並びに温室効果ガス及び維持管理費・電気料金等の軽減を図る。		
<b>成果・実績</b>	<p>宇治市内に存する防犯灯（蛍光灯）約3,700灯について、LED灯への器具交換を実施した。平成27年度から事業を開始し、市内の防犯灯の約90%について、LED灯への交換が完了した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>施工後</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>施工後（点灯状況）</p> </div> </div>		
<b>事業評価</b>	市内防犯灯のLED化を実施したことにより、維持管理費の低減、節電及び温室効果ガス排出量を削減することができた。今後も引き続き実施する。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
<b>中分類</b>	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
<b>小分類</b>	02 道路の整備	

事務事業名	道路インフラ長寿命化事業費	所管課	維持課
		決算額	124,116千円
<b>事業内容</b>	道路（舗装、小規模付属物）、橋梁、トンネル等の道路施設について長寿命化を図るため、計画的な点検や修繕等を実施する。		
<b>成果・実績</b>	道路（舗装、小規模付属物）、橋梁、トンネル等の道路施設の点検を行い、その結果に基づいて、長寿命化計画を策定した。 また、国土交通省が実施している宇治川河床掘削工事に合わせて関係機関と連携し、朝霧橋の改修工事を実施した。		
<b>事業評価</b>	道路の定期的な点検や老朽化対策の実施により事故の未然防止を図るため、長寿命化計画を策定し、点検や修繕等を実施した。引き続き道路インフラの長寿命化に向けて計画的に取り組む。		

事務事業名	私道改良事業費	所管課	維持課
		決算額	10,967千円
<b>事業内容</b>	私道に係る舗装新設・補修工事、排水設備の改良補修工事を実施する自治会等に対して、その対象工事費の80%を補助する。（平成21年度より横断側溝は90%）		
<b>成果・実績</b>	<p>◎実施数            6件 ◎補助金額        10,967千円</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>着工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>完成後</p> </div> </div>		
<b>事業評価</b>	自治会等に対して工事費を補助したことにより、私道の安全な通行確保を図ることができた。市民の身近な道路整備に対応している事業であり、要望に応えつつ、適正な運営に努める必要がある。		

# 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	02 道路の整備	

<b>事務事業名</b>	道路等維持修繕関連事業費	<b>所管課</b>	維持課
		<b>決算額</b>	566,027千円

<b>事業内容</b>	道路を常に安全な状態に維持するため、市民要望等に基づき道路の修繕並びに清掃、側溝改修、舗装補修、橋梁及び街灯の維持管理などを行い、安全安心なまちづくりを推進するほか、草刈り、街路樹の剪定・補植などを実施する。また、市民要望に即応するため、緊急を要する維持修繕については直営により機動修理班が対応する。
-------------	--

<b>成果・実績</b>	<p>地元要望による側溝改修(2,319m)及び舗装補修(6,490㎡)工事を実施するとともに、道路区画線の敷設及び道路側溝などの清掃のほか、街灯の新設、街路樹の剪定・補植などの道路全般に係る維持管理を実施した。</p> <p>緊急を要する維持修繕については、2班体制の機動修理班によって対処した。</p> <p>本年度の機動修理班による対処件数は、道路側溝修繕247件、道路保全303件、交通安全施設の補修等167件、防災関係100件、溶接関係65件で、全体では1,407件であった。このうち特に緊急対応が必要な出動回数は34件であり、いずれも応急処置等を行い、事故・災害の未然防止を行った。</p>
--------------	---

- ◎道路維持修繕事業費                      505,300千円
- ◎街灯設置保全事業費                      60,727千円



機動修理班による作業状況



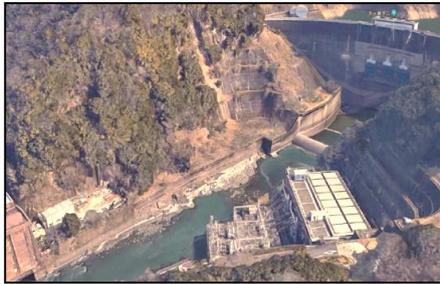
大久保町32号線（歩道改修工事）

<b>事業評価</b>	道路の修繕並びに清掃、側溝改修、舗装補修、橋梁及び街灯の維持管理などを実施するとともに、即時、緊急対応を行ったことにより、着実に道路等の環境整備及び事故の未然防止、安全な通行の確保を図ることができた。一方、町内会等からの側溝改修等の要望は年々増加しており、安全で快適な道路管理を今後も引き続き実施する。
-------------	---

# 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系	
<b>大分類</b>	02 ゆたかな市民生活ができるまち
<b>中分類</b>	04 商工業・観光の振興
<b>小分類</b>	04 観光の振興

所管部局
建設部

<b>事務事業名</b>	かわまちづくり計画策定費	<b>所管課</b>	雨水対策課
		<b>決算額</b>	4,320千円
<b>事業内容</b>	宇治市観光振興計画後期アクションプランに基づき、市の魅力向上に資する新たな観光コンテンツの開発、強化に向け、天ヶ瀬ダムを観光基盤として活用する施設整備を、国の「かわまちづくり支援制度」を活用した国土交通省との連携事業として実施していくものである。		
<b>成果・実績</b>	<p>天ヶ瀬ダムを含めた周遊性を高める観光を推進していくための「かわまちづくり計画」の策定を行い、平成31年3月に「宇治市天ヶ瀬ダムかわまちづくり計画」が支援制度に登録された。</p> <p>◎かわまちづくり計画策定業務委託 <span style="float: right;">4,320千円</span></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>現況</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>整備後（イメージ図）</p> </div> </div>		
<b>事業評価</b>	天ヶ瀬ダムを含めた周遊観光を推進していくため、「宇治市天ヶ瀬ダムかわまちづくり計画」の策定を行った。引き続き、ダムを活用した宇治川沿川の観光振興策について検討する必要がある。		

# 平成30年度決算成果説明書

<b>総合計画の体系</b>		<b>所管部局</b>
<b>大分類</b>	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
<b>中分類</b>	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
<b>小分類</b>	03 河川・排水路の整備	

<b>事務事業名</b>	排水路改良事業費	<b>所管課</b>	雨水対策課
		<b>決算額</b>	106,170千円

<b>事業内容</b>	都市化の進行に伴う保水機能の低下及び近年多発している局地的豪雨による著しい雨水流出量の増加に対応し、水害防除と安全快適な都市基盤の整備を図るため、排水路の改良工事を実施する。
-------------	---

<b>成果・実績</b>	排水路の流下能力の向上を図るため、老朽化施設（排水路）の改良工事や調査、測量設計業務を行った。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎宇治7号排水路改良工事 <span style="float: right;">18,559千円</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事延長 L= 61.5m <span style="margin-left: 20px;">管更生工（φ1100mm）</span></li> </ul> </li> <li>◎乙方三番割線排水路改良工事 <span style="float: right;">10,042千円</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事延長 L= 97.9m <span style="margin-left: 20px;">排水構造物工（U300mm）</span></li> </ul> </li> <li>◎榎島0号排水路改良工事 <span style="float: right;">12,726千円</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事延長 L=114.0m <span style="margin-left: 20px;">布製型枠工</span></li> </ul> </li> <li>◎宇治7号排水路（その2）改良工事 <span style="float: right;">31,625千円</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事延長 L= 70.3m <span style="margin-left: 20px;">管更生工（φ1100mm）</span></li> </ul> </li> <li>◎榎島3号系統排水路ほか改良工事 <span style="float: right;">5,935千円</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事延長 L= 22.6m <span style="margin-left: 20px;">横断暗渠設置工（□500mm）</span></li> </ul> </li> <li>◎小倉2号排水路改良工事 <span style="float: right;">15,211千円</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事延長 L= 63.0m <span style="margin-left: 20px;">ブロック積護岸工</span></li> </ul> </li> <li>◎他工事 <span style="margin-left: 100px;">3件</span> <span style="float: right;">2,055千円</span></li> <li>◎小倉8号排水路詳細設計業務委託 <span style="float: right;">5,043千円</span></li> <li>◎他委託 <span style="margin-left: 100px;">2件</span> <span style="float: right;">4,711千円</span></li> </ul>	
	小倉2号排水路	
		
	着工前	完成後

<b>事業評価</b>	排水路の流下能力の向上及び老朽箇所の補強改良工事を実施したことにより、各所で発生している浸水被害の軽減に向けた安全快適な都市基盤の整備を図ることができた。「宇治市公共下水道（洛南処理区）雨水排除計画」と整合を図り、計画的に実施する。
-------------	--

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
<b>中分類</b>	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
<b>小分類</b>	03 河川・排水路の整備	

事務事業名	河川改修事業費	所管課	雨水対策課
		決算額	5,036千円
<b>事業内容</b>	都市化の進行に伴う雨水流出量の増加と護岸等の老朽化に対応した水害防除と安全快適な都市基盤の整備を図るため、河川の機能増強等の改修整備を実施する。特に市街地において緊急な対策を要する河川については重点整備を行う。		
<b>成果・実績</b>	<p>河川の機能増強を図り、浸水被害を軽減するため、河川の改修工事を実施した。</p> <p>◎戦川(その3)改修工事 <span style="float: right;">5,036千円</span></p> <p style="margin-left: 40px;">・工事延長 L= 77.6m <span style="margin-left: 100px;">擁壁護岸工</span></p> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">戦川(その3)改修工事</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>着工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>完成後</p> </div> </div>		
<b>事業評価</b>	河川の機能増強等を実施したことにより、雨水流出量の増大と護岸等の老朽化に対応した水害防除と安全快適な都市基盤の整備を図ることができた。		

事務事業名	大島・針ノ木排水機場管理費	所管課	雨水対策課
		決算額	16,897千円
<b>事業内容</b>	国及び京都府との受託契約に基づき、国土交通省所管の排水機場の排水操作・保守点検業務を実施し、堂ノ川及び岡本川流域の内水排除と水害防除を図る。		
<b>成果・実績</b>	<p>排水機場の操作管理及び保守点検を行った。</p> <p>◎大島排水機場操作保守業務 <span style="float: right;">9,024千円</span></p> <p>◎針ノ木排水機場操作保守業務 <span style="float: right;">7,854千円</span></p>		
<b>事業評価</b>	適正に排水機場の操作保守業務を実施したことにより、流域の水害防除に努めた。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系	
<b>大分類</b>	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
<b>中分類</b>	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
<b>小分類</b>	03 河川・排水路の整備

所管部局
建設部

事務事業名	河川維持管理費	所管課	雨水対策課																																				
		決算額	11,259千円																																				
<b>事業内容</b>	河川施設等の機能の維持・向上に努め、流域の水害防除と沿川の環境整備を図る。																																						
<b>成果・実績</b>	<p>調整池や河川護岸の修繕工事などを行った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="width: 5%;">◎宇治塔川地区排水路フラップゲート設置工事</td> <td style="width: 45%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: right;">1,761千円</td> <td style="width: 35%;"></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・工事箇所 N= 2カ所</td> <td style="padding-left: 100px;">集水吐け口工</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎寺山台調整池維持修繕工事</td> <td></td> <td style="text-align: right;">3,980千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・工事延長 L= 85.9m</td> <td style="padding-left: 100px;">法面コンクリート張工</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎弥陀次郎川維持修繕工事</td> <td></td> <td style="text-align: right;">1,593千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・工事延長 L= 11.0m</td> <td style="padding-left: 100px;">かごマット復旧工</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎中の庄川系統構造物撤去工事</td> <td></td> <td style="text-align: right;">2,545千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・工事箇所 N= 1カ所</td> <td style="padding-left: 100px;">構造物撤去工</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎他工事 2件</td> <td></td> <td style="text-align: right;">1,380千円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			◎宇治塔川地区排水路フラップゲート設置工事		1,761千円		・工事箇所 N= 2カ所	集水吐け口工			◎寺山台調整池維持修繕工事		3,980千円		・工事延長 L= 85.9m	法面コンクリート張工			◎弥陀次郎川維持修繕工事		1,593千円		・工事延長 L= 11.0m	かごマット復旧工			◎中の庄川系統構造物撤去工事		2,545千円		・工事箇所 N= 1カ所	構造物撤去工			◎他工事 2件		1,380千円	
◎宇治塔川地区排水路フラップゲート設置工事		1,761千円																																					
・工事箇所 N= 2カ所	集水吐け口工																																						
◎寺山台調整池維持修繕工事		3,980千円																																					
・工事延長 L= 85.9m	法面コンクリート張工																																						
◎弥陀次郎川維持修繕工事		1,593千円																																					
・工事延長 L= 11.0m	かごマット復旧工																																						
◎中の庄川系統構造物撤去工事		2,545千円																																					
・工事箇所 N= 1カ所	構造物撤去工																																						
◎他工事 2件		1,380千円																																					
<b>事業評価</b>	河川施設等の適正な維持管理を実施したことにより、排水機能の向上を図ることができた。																																						

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応
小分類	01 安全・安心なまちづくり

所管部局
建設部

事務事業名	空き家等対策計画策定費	所管課	住宅課
		決算額	1,296千円
事業内容	本市における空き家等に関する施策を総合的かつ計画的に推進することにより、公共の福祉の増進と地域の振興に寄与することを目的として、「宇治市空き家等対策計画」を策定する。		
成果・実績	<p>宇治市空き家等対策計画策定委員会を設置し、委員会において議論を行った。また、市民意識調査を下記の内容で実施し、計画を策定した。</p> <p>宇治市空き家等対策計画 概要                      計画期間：平成31年度～令和5年度                      主要事業：◎管理不全な空き家等への対応                      （所有者等への注意喚起の実施、特定空家等への対応）                      ◎管理不全な空き家等の発生抑止                      （空き家等アドバイザー制度、見守りサービスの実施等）                      ◎流通・利活用の促進                      （空き家バンク、空き家再生・利活用コンペ、各種助成制度の拡充等）</p>		
事業評価	宇治市空き家等対策計画策定委員会を開催し、市民意識調査を実施することで、空き家等の所有者等が適正な維持管理をしやすくするための施策や空き家等の流通・利活用に関する施策を盛り込んだ計画を策定することができた。計画に基づき、空き家の発生抑止、有効活用につながる事業の実施に努める必要がある。		

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	01 良好な市街地の形成

所管部局
建設部

事務事業名	ウトロ地区住環境改善事業費	所管課	住宅課他
		決算額	412,970千円
事業内容	ウトロ地区の住環境を改善するため、平成26年度に策定したウトロ地区小規模住宅地区改良事業計画に基づき、国・府・市の三者の連携のもとウトロ地区小規模住宅地区改良事業を推進する。		
成果・実績	ウトロ地区小規模住宅地区改良事業計画に基づき、各事業を実施した。		
	事業名	担当課	事業費（千円）
	地区内道路用地測量業務等	道路建設課	2,163
	地区内道路用地費	道路建設課	131,313
	雨水貯留施設（西宇治中）整備工事等	雨水対策課	224,880
	伊勢田8号排水路用地費	雨水対策課	11,346
	既存家屋除却工事等	住宅課	41,789
事業評価	「ウトロ地区小規模住宅地区改良事業計画」に基づき事業を実施することにより、ウトロ地区における住環境を改善する取組を行うことができた。今後も引き続き実施する。		



## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
<b>中分類</b>	01 みどりとうるおいのある環境整備	
<b>小分類</b>	01 みどりの保全・緑化の推進	

事務事業名	名木百選保全費	所管課	公園緑地課
		決算額	322千円
事業内容	「宇治市名木百選保全要綱」に基づき調査・診断を実施し、保全のために処置が必要な場合には補助金を交付する。		
成果・実績	<p>貴重な名木を保全するため、東部・西部、山間部の3つのエリアに分け、毎年1エリアずつ順番に調査している。30年度は東部エリアの調査をした。 毎年申請に基づき処置が必要な名木に対し、適切な保全策を講じている。</p> <p>◎名木調査委託料                      20千円 ◎選定名木数                                86件</p>		
事業評価	選定名木数の維持に向けた保全を図りつつ、さらなる緑化啓発に向けて、市民により親しまれる名木を活用した取組を検討する必要がある。		

事務事業名	まちかどふれあい花だん推進事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	3,014千円
事業内容	市民が日常生活の関わりの中で、自らの意思と手法により身近な地域の環境美化に努め、ゆとりとうるおいのある生活空間を創造するため、公園の一部及び道路敷などの公共空地をボランティア団体等に提供し、花及び木を植えて花だん化する。		
成果・実績	<p>町内会、喜老会及びまちの美化・緑化活動をしているボランティア団体を対象に、花壇管理に必要な花苗・肥料等の支給を行った。</p> <p>◎花壇箇所数                      54カ所</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">まちかどふれあい花だん</p>		
事業評価	公共空地をふれあい花だんとして維持管理してもらうことにより、緑化意識の高揚を図るとともに、地域活動の支援を図ることができた。継続して事業に取り組むため、より多くの団体等が参画できる仕組みづくりに努める必要がある。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	01 みどりとうるおいのある環境整備	
小分類	01 みどりの保全・緑化の推進	

<b>事務事業名</b>	緑化啓発費	<b>所管課</b>	公園緑地課
		<b>決算額</b>	141千円
<b>事業内容</b>	市民の「みどり」を守り育てる意識の高揚を図るため、春の「みどりの月間」の「緑のウォークラリー」を中心に啓発事業を展開する。		
<b>成果・実績</b>	<p>各種イベントの実施により多くの参加者に楽しみながら緑の大切さを伝えることができた。</p> <p>◎緑のウォークラリー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日 4月29日</li> <li>・開催場所 植物公園、太陽が丘</li> <li>・参加者数 2,395人</li> </ul> <div style="text-align: center;">  <p>緑のウォークラリー (ふれあいコンサートの様子)</p> </div>		
<b>事業評価</b>	緑化啓発イベントを実施したことにより、都市における緑化の必要性を市民に認識してもらうことができた。今後も事業効果を検証しながら、イベント内容等の工夫に努める必要がある。		

<b>事務事業名</b>	みどりのボランティア推進事業費	<b>所管課</b>	公園緑地課
		<b>決算額</b>	2,248千円
<b>事業内容</b>	本市の緑の拠点である植物公園で市民が園芸の知識及び技術などを学びながら、魅力あふれる植物公園づくりを協働で行うとともに、そこで得た知識・技術を活かして地域の公共施設・公共空地の緑化・美化を進め、みどりのボランティアリーダーの育成を図る。		
<b>成果・実績</b>	<p>「緑のボランティア養成講座」修了生が学んだ知識及び技術を活かして、植物公園をはじめ、西宇治公園、黄檗公園、市役所北玄関で花壇管理を行ったほか、植物公園で苗作り、花壇管理、バラ園管理、ハーブ園管理、イベント協力などの活動を行った。</p> <p>◎ボランティア登録数 65人(平成30年度末時点)</p> <div style="text-align: center;">  <p>活動の様子</p> </div>		
<b>事業評価</b>	都市の緑化及び美化を進めるための緑化リーダーとなるボランティアの養成とその活動を支援することにより、緑化・美化の推進を図ることができた。今後もボランティア活動の幅を広げる手法等を検討する必要がある。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
<b>中分類</b>	01 みどりとうるおいのある環境整備	
<b>小分類</b>	02 公園・緑地の有効活用	

事務事業名	公園バリアフリー整備事業費	所管課	公園緑地課				
		決算額	22,566千円				
事業内容	安全で安心して公園を利用できるように公園施設のバリアフリー化基準等に基づく公園施設のバリアフリー化及び遊具の更新を行う。						
成果・実績	<p>安全で安心して利用できる公園とするため、遊戯施設の更新を行った。</p> <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">遊戯施設更新公園数</td> <td>12公園（遊田第1児童公園他）</td> </tr> <tr> <td>遊戯施設更新数</td> <td>21基</td> </tr> </table>			遊戯施設更新公園数	12公園（遊田第1児童公園他）	遊戯施設更新数	21基
遊戯施設更新公園数	12公園（遊田第1児童公園他）						
遊戯施設更新数	21基						
事業評価	遊戯施設の更新を行い、安全で安心して公園利用ができるように努めることができた。国の補助の動向に注視し、市の財政状況等を考慮しながら計画的に整備する必要がある。						

事務事業名	公園維持管理費	所管課	公園緑地課
		決算額	146,360千円
事業内容	公園の運営管理等、公園としての機能を維持し、適正な利用を増進する。		
成果・実績	<p>公園の除草・樹木剪定等の業務委託及び公園施設の修繕・維持改良等の工事を行った。</p> <p>また、地元自治会・町内会の公園管理に対する報償費及び公園に係る光熱水費などを支出した。</p>		
事業評価	清掃及び剪定などについて地元自治会及び外部への委託により、適正な管理に努め、公園利用を増進することができた。今後は、公園施設の管理・利用状況等を把握する中で、計画的な修繕・更新を図る必要がある。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
<b>中分類</b>	01 みどりとうるおいのある環境整備	
<b>小分類</b>	02 公園・緑地の有効活用	

事務事業名	公園施設管理委託費	所管課	公園緑地課
		決算額	299,786千円
事業内容	有料都市公園施設の管理運営及び施設の小修繕などを（公財）宇治市公園公社を指定管理者として行い、利用者の利便性向上を図る。		
成果・実績	<p>各施設の運営にあたっては、維持管理及び施設貸出業務を適切に行うとともに、利用者へのサービス向上と利用者の一層の拡大、増加、併せて業務の見直し、経費の削減に努めた。</p> <p>◎指定管理料 166,747千円                      ◎人件費補助 118,339千円                      ◎体育館トレーニング室運営事業費 14,700千円</p>		
事業評価	指定管理者によって、適切に管理運営できた。利用者の利便性向上のため、今後も効果的・効率的な管理運営に努める一方で、植物公園については現状の分析を行い、今後のあり方について検討する必要がある。		

事務事業名	源氏ゆめほたる事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	3,650千円
事業内容	植物公園内において、蛍が永続的に棲息・繁殖可能な環境整備を行うことにより、毎年、植物公園入園者に蛍観賞の場を提供し、あわせて関連イベントを実施する。都市生活の中で身近に蛍に触れ合えることにより、市民生活に憩いと安らぎを与え、植物公園の集客力向上につなげる。		
成果・実績	<p>平成18年度に蛍の棲息地として整備した植物公園の「秋のゾーン」を中心に「蛍ナイトー開園」を実施した。</p> <p>◎開催期間 14日間(5月26日～6月10日)                      ◎夜間入園者数 9,575人</p>		
事業評価	市民等に蛍観賞の場を提供したことにより、植物公園の集客力の向上に一定つながっているが、植物公園全体の入園者数は伸び悩んでいるため、植物公園のあり方検討と併せてさらなる集客力向上を図る必要がある。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	01 みどりとうるおいのある環境整備	
小分類	02 公園・緑地の有効活用	

事務事業名	黄檗公園再整備事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	57,782千円
事業内容	黄檗公園は、宇治市地域防災計画において防災拠点として位置付けられており、災害時における現地対策本部及び避難場所などの機能を兼ね備えた都市公園として施設の再整備を行う。		
成果・実績	避難所として位置付けている体育館において、災害発生時にもトイレが利用できるような汚水貯留槽の設置を行い、防災機能の向上を図った。		
事業評価	黄檗公園再整備事業を実施したことにより、防災拠点としての機能強化を図ることができた。市の財政状況等を考慮しながら、防災機能の向上に向けて適正な整備を行う必要がある。		

事務事業名	植物公園あり方検討事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	223千円
事業内容	宇治市植物公園は、開園以来、多くの入園者に親しまれる施設であるものの、今般、経営改善や施設の老朽化などの課題があることから、外部委員からなる検討委員会を設置し、今後の植物公園のあり方の検討を行う。		
成果・実績	市民公募委員2名を含む計8名からなる検討委員会を設置し、3回の検討委員会の実施のほか、植物公園の現地視察を行った。 また、委員からの意見聴取を行うなどし、市内初となるサウンディング型市場調査を実施した。		
事業評価	外部委員との意見交換及びサウンディング調査の結果を精査しつつ、今後のより有効な運営手法について検討し、スケジュール管理を行う中で方向性について決定していく必要がある。		

# 平成30年度決算成果説明書

<b>総合計画の体系</b>		<b>所管部局</b>
<b>大分類</b>	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
<b>中分類</b>	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
<b>小分類</b>	01 良好な市街地の形成	

<b>事務事業名</b>	まちづくり活動支援事業費	<b>所管課</b>	都市計画課
		<b>決算額</b>	672千円
<b>事業内容</b>	宇治市まちづくり・景観条例に基づく市民主体のまちづくりを推進するため、まちづくり活動へのさまざまな支援を行い、地区まちづくり協議会の設立及び地区まちづくり計画の作成を進め、まちづくりの実現を目指す。		
<b>成果・実績</b>	<p>◎地区まちづくり協議会パネル展</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催期間 10月1日～10月5日</li> <li>・目的 協議会の活動内容について紹介</li> </ul> <div style="text-align: right;">  <p>「地区まちづくり協議会パネル展」</p> </div> <p>◎うじ井戸端会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日 7月19日、10月4日、平成31年2月4日</li> <li>・目的 協議会及びまちづくりマイスター（まちづくり塾修了生）の情報及び意見の交換、交流</li> </ul> <div style="text-align: right;">  <p>「うじ井戸端会議」</p> </div> <p>◎宇治市まちづくり審議会 2回開催          宇治市まちづくり審議会部会（JR部会） 1回開催          宇治市まちづくり審議会景観部会 1回開催</p> <p>◎認定した地区まちづくり協議会に対して行う支援          専門家派遣件数 1件</p>		
<b>事業評価</b>	うじ井戸端会議などまちづくりの情報の共有、意見交換により、担い手のスキルアップに努められた。自治会区域を活動範囲とする大きなまちづくり協議会は一定の進展が見られるものの、課題解決型ではなく、まちの維持・発展型の取り組みは地域理解が得にくく、協議会活動の広がりに向けた継続的な支援が必要。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部他
中分類	02 歴史と景観が調和したまちづくり	
小分類	01 歴史と調和したまちづくりと景観の形成	

<b>事務事業名</b>	(仮)お茶と宇治のまち歴史公園史跡ゾーン整備事業費	<b>所管課</b>	歴史まちづくり推進課
		<b>決算額</b>	110,544千円
<b>事業内容</b>	平成21年7月に国史跡指定を受けた宇治川太閤堤跡の良好な保存、未来への継承を行うため、歴史公園の整備を行う。		
<b>成果・実績</b>	<p>太閤堤築堤期を再現するAゾーンでは、園路・フェンス・街灯・植栽等の整備や、遺構再現パネル部での石積み工・杭設置工等に着手した。一方、太閤堤が砂に埋もれ茶園として利用された江戸後期の様子を再現するBゾーンでは、造成・排水設備・石出し等の整備に着手した。また、太閤堤発掘調査現場での現地見学会では、約100名の参加を得た。</p> <div style="text-align: right;">  <p>Aゾーン遺構再現整備の様子</p> </div>		
<b>事業評価</b>	史跡整備に向け事業進捗を図るとともに、遺構再現部の園路や植栽等の整備に着手した。また発掘調査と併せて現地見学会を行う事により、市民等に史跡の歴史的価値・必要性等を普及することができた。引き続き宇治川太閤堤後の良好な保存のため、計画的に取り組む実施する。		

<b>事務事業名</b>	(仮)お茶と宇治のまち歴史公園交流ゾーン整備事業費	<b>所管課</b>	歴史まちづくり推進課他																				
		<b>決算額</b>	50,926千円																				
<b>事業内容</b>	平成21年7月に策定した「宇治茶と歴史・文化の香るまちづくり構想」の実現に向け、「史跡の保存・活用」「宇治の歴史・文化・観光に関する情報発信」「宇治茶に関する魅力発信」を目的として、歴史公園の交流ゾーンの整備を行う。																						
<b>成果・実績</b>	<p>歴史公園交流ゾーンの整備については、PFI方式を事業手法として選定し、本事業の実施を目的として設立された「株式会社宇治まちづくり創生ネットワーク」との間で事業契約を締結し、設計・維持管理業務に着手した。また、国土交通省所管の社会資本整備総合交付金に係る都市再生整備計画の交付金については、390,400千円の交付が決定され、主に設計・建設業務に充当する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="3" style="text-align: right;">(千円)</th> </tr> <tr> <th style="width: 50%;">事業名</th> <th style="width: 25%;">担当課</th> <th style="width: 25%;">事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宇治1号排水路詳細設計業務</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">歴史まちづくり推進課</td> <td style="text-align: right;">9,966</td> </tr> <tr> <td>宇治12号線道路拡幅事業に係る京阪宇治駅駅舎影響検討業務</td> <td style="text-align: right;">3,650</td> </tr> <tr> <td>乙方遺跡発掘調査に伴う土砂除去等作業業務</td> <td style="text-align: right;">2,293</td> </tr> <tr> <td>宇治川太閤堤跡歴史公園整備運営事業民間事業者募集選定アドバイザー業務</td> <td style="text-align: right;">7,625</td> </tr> <tr> <td>宇治12号線ほか測量・詳細設計業務</td> <td style="text-align: right;">9,180</td> </tr> <tr> <td>宇治12号線（宇治1号排水路）改良工事</td> <td style="text-align: center;">雨水対策課</td> <td style="text-align: right;">16,840</td> </tr> </tbody> </table>			(千円)			事業名	担当課	事業費	宇治1号排水路詳細設計業務	歴史まちづくり推進課	9,966	宇治12号線道路拡幅事業に係る京阪宇治駅駅舎影響検討業務	3,650	乙方遺跡発掘調査に伴う土砂除去等作業業務	2,293	宇治川太閤堤跡歴史公園整備運営事業民間事業者募集選定アドバイザー業務	7,625	宇治12号線ほか測量・詳細設計業務	9,180	宇治12号線（宇治1号排水路）改良工事	雨水対策課	16,840
(千円)																							
事業名	担当課	事業費																					
宇治1号排水路詳細設計業務	歴史まちづくり推進課	9,966																					
宇治12号線道路拡幅事業に係る京阪宇治駅駅舎影響検討業務		3,650																					
乙方遺跡発掘調査に伴う土砂除去等作業業務		2,293																					
宇治川太閤堤跡歴史公園整備運営事業民間事業者募集選定アドバイザー業務		7,625																					
宇治12号線ほか測量・詳細設計業務		9,180																					
宇治12号線（宇治1号排水路）改良工事	雨水対策課	16,840																					
<b>事業評価</b>	交流ゾーンの整備に向け、民間事業者に設計・建設、維持管理・運営を一括で委ねるPFI方式を採用し、事業契約を締結した。設計・維持管理業務に着手し、令和3年度の開園に向けて計画的に取り組んでいく。																						

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	02 歴史と景観が調和したまちづくり	
小分類	01 歴史と調和したまちづくりと景観の形成	

<b>事務事業名</b>	文化的景観保護推進事業費	<b>所管課</b>	歴史まちづくり推進課
		<b>決算額</b>	19,288千円
<b>事業内容</b>	平成21年2月に「宇治の文化的景観」が都市部の景観としては全国初の重要文化的景観に選定されたことから、その保全と活用を図るため、整備計画を策定するとともに、重要構成要素の修理・修景事業を推進し、白川地区・黄檗地区への重要文化的景観区域の拡大を目指す。		
<b>成果・実績</b>	<p>重要文化的景観の追加選定を目指して取り組むとともに、景観の保全を図るため委員会を1回開催した。修理事業としては岩井勘造商店茶工場の耐震設計・修理工事の設計を行った。全国文化的景観地区連絡協議会の顧問市として、長崎県平戸市で開催された全国大会を支援した。また平成30年9月の台風21号被害に係る災害復旧工事として、中村藤吉本店ほか5件の工事に補助を行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>中村藤吉本店越屋根の被害状況</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>越屋根の災害復旧状況</p> </div> </div>		
<b>事業評価</b>	重要構成要素の修理・修景業務を実施したことにより、市民の文化的景観への理解度を高めることができた。引き続き地元市民の協力を得る中で、整備計画の策定を進め、歴史的な資産と一体となった魅力あふれる宇治のまちづくりに努める必要がある。		

<b>事務事業名</b>	歴史的風致維持向上計画推進事業費	<b>所管課</b>	歴史まちづくり推進課
		<b>決算額</b>	124千円
<b>事業内容</b>	平成21年7月に策定した「宇治茶と歴史・文化の香るまちづくり構想」の実現とともに平成24年3月に策定した「宇治市歴史的風致維持向上計画」により、（仮称）お茶と宇治のまち歴史公園の整備等、様々な取組を総合的に実施する。		
<b>成果・実績</b>	<p>平成24年3月に国土交通大臣、文部科学大臣、農林水産大臣の3大臣認定を受けた法定計画の進行管理として、外部委員により構成された歴史的風致維持向上協議会を開催し、計画に記載された取り組みについて毎年度行う「進捗評価」や、歴史まちづくりに関する取り組みを推進するため、関係部署で構成する歴史まちづくり推進調整会議を実施し、情報共有を図った。また、今年度は計画に記載された維持向上すべき歴史的風致、方針の達成状況、他計画との連携や部署間を通じて生じた波及効果についての中間評価の検討を行った。</p> <p>歴史的風致維持向上計画の既存事業は現在27事業であり、概ね計画通り進捗している。</p>		
<b>事業評価</b>	法定協議会の開催により、計画事業の進捗管理とあわせて、方針の達成状況等の中間評価の検討を行った。引き続き効果検証を行う中で、さらなる歴史的風致の維持向上を図る必要がある。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	02 歴史と景観が調和したまちづくり	
小分類	01 歴史と調和したまちづくりと景観の形成	

事務事業名	違反広告物追放推進事業費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	32千円
事業内容	市民と協働して良好な景観を形成していくために、市民参加による違反広告物の除却を行うとともに、関係機関と協働して違反広告物の一斉撤去を年1回実施する。		
成果・実績	違反広告物追放推進団体員として、1団体2人を登録し、違反広告物の除却を行う。 また、年1回関係機関とともに違反広告物の一斉撤去を行っており、これらの取組により違反広告物の通報など市民の意識向上が図られている。 ◎違反広告物撤去枚数 393枚		
事業評価	市民と協働して違反広告物の除却を推進したことにより、良好なまちなみ形成と景観への意識向上を図ることができた。今後も、登録団体数の増加を図るとともに、登録団体と連携し、地域の目による抑止力の向上及び景観意識の向上に努める必要がある。		

事務事業名	都市景観形成対策費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	2,608千円
事業内容	良好な景観の形成に著しく寄与する行為や阻害要因の除去に対して景観形成助成を行った。また、京都府、近隣市町村との意見交換や景観アドバイザーの助言などを受け、良好な景観の形成を推進していく。		
成果・実績	景観形成助成事業として、景観計画重点区域内の建築物（2件）、屋外広告物（1件）に対して、景観形成助成を行った。 本市の景観に寄与するだけでなく、地域の住民の景観に対する意識も高まった。 また、景観アドバイザー会議を3回開催し、専門家の助言を受け良好な景観形成の推進を行った。		
			
	改修前	改修後	
事業評価	景観計画重点区域における助成を実施したことにより、良好な景観の形成を図ることができた。引き続き、地域住民の景観に対する意識を高め、住民が主体的に良好な景観の形成に取り組む手法を検討する必要がある。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
<b>中分類</b>	02 歴史と景観が調和したまちづくり	
<b>小分類</b>	01 歴史と調和したまちづくりと景観の形成	

<b>事務事業名</b>	風致地区内建築行為等許可事務費	<b>所管課</b>	歴史まちづくり推進課
		<b>決算額</b>	84千円
<b>事業内容</b>	平成27年4月より京都府から権限移譲を受け、風致地区内の建築行為等の許可事務を行うことで、風致地区内の風致の維持を行う。		
<b>成果・実績</b>	風致地区内の建築行為等の許可事務を行うにあたり、「許可基準の解説及び運用」を作成し、公表することで、円滑な許可事務を行った。  ◎許可事務取扱件数 94件		
<b>事業評価</b>	許可基準の運用書を作成及び公表することにより、円滑な許可事務を行い、風致の維持を図ることができた。引き続き、「宇治市景観計画」に基づき効果的な運用の検討を行う必要がある。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	02 歴史と景観が調和したまちづくり	
小分類	02 文化財保護と伝統文化の継承	

<b>事務事業名</b>	文化財指定推進費	<b>所管課</b>	歴史まちづくり推進課
		<b>決算額</b>	6,138千円
<b>事業内容</b>	市内各所に所在する文化財調査を行い、本市にとって歴史上、芸術上価値の高いものを市指定文化財に指定し、伝えられてきた貴重な文化財の保護と活用を図る。併せて国・京都府指定及び未指定文化財の修理等に補助を行い、文化財保護を推進する。		
<b>成果・実績</b>	<p>萬福寺の重要文化財聯（れん）の修理事業・法堂ほか4棟保存修理強化対策事業はじめ、宇治市指定無形民俗文化財の大幣神事など所有者修理・維持等の18件に補助を行った。</p> <p>また、平成30年9月の台風第21号等による災害復旧として興聖寺災害復旧工事等12件に補助を行った。</p>		
			
	補助を行った大幣神事		
<b>事業評価</b>	文化財の修理等へ補助を実施したことにより、文化財の保全に努めることができた。引き続き優先順位等を見極めて文化財保護の推進を図るとともに、未指定を含めた文化財の修理等に補助を行う中で、保存・活用に努める必要がある。		

<b>事務事業名</b>	埋蔵文化財発掘調査費（受託・国庫補助）	<b>所管課</b>	歴史まちづくり推進課
		<b>決算額</b>	9,530千円
<b>事業内容</b>	文化財保護法に基づいて、埋蔵文化財包蔵地内での開発事業と重要な遺跡保存の調和を図るため、発掘調査を実施する。また、発掘成果を基に史跡指定等の保存処置の検討を行うほか、市民へ成果を公開する。		
<b>成果・実績</b>	国庫補助事業としては二子山古墳出土鉄製品の保存処理と宇治市内古墳のレーザー計測を実施し、史跡指定等の保存措置に必要なデータの収集及び文化財の保全を行った。また、開発に伴う埋蔵文化財の保護のため受託事業として広野遺跡、宇治市街遺跡の緊急発掘調査2件の発掘調査監理を実施した。		
<b>事業評価</b>	市内に遺存する重要な遺跡について発掘調査及び調査記録の作成を行うとともに、広く発掘成果を公開することにより、文化財保護の啓発を図ることができた。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局																				
<b>大分類</b>	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部																				
<b>中分類</b>	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備																					
<b>小分類</b>	01 良好な市街地の形成																					
<b>事務事業名</b>	開発指導事務費	<b>所管課</b>	開発指導課																			
		<b>決算額</b>	102千円																			
<b>事業内容</b>	無秩序な開発事業を防止し、安全で良好な都市環境の形成と円滑な都市機能の発現を図るため、宅地開発事業及び特定用途建築行為を行う事業者に対し、本市の行財政に重要な影響を及ぼす公共・公益施設等の整備について適正な指導を行う。																					
<b>成果・実績</b>	<p>本市における開発事業について、「宇治市良好な居住環境の整備及び景観の形成を図るためのまちづくりに関する条例」等関係諸法令に基づき指導した。</p> <p>◎開発指導事務費 102千円</p> <p>平成30年度における宅地開発等協力寄付金の納入については下表のとおりである。</p> <p>◎宅地開発等協力寄付金 (歳入)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 80%;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>件数</th> <th>金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">宅地開発事業</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: right;">24,998</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">特定用途 建築行為</td> <td style="text-align: center;">集合住宅</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: right;">15,165</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">集合住宅以外</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: right;">925</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">15</td> <td style="text-align: right;">41,088</td> </tr> </tbody> </table>					件数	金額(千円)	宅地開発事業		4	24,998	特定用途 建築行為	集合住宅	8	15,165	集合住宅以外	3	925	合計		15	41,088
		件数	金額(千円)																			
宅地開発事業		4	24,998																			
特定用途 建築行為	集合住宅	8	15,165																			
	集合住宅以外	3	925																			
合計		15	41,088																			
<b>事業評価</b>	開発事業について条例に基づき指導を実施したことにより、良好な居住環境の整備を図ることができた。今後も引き続き事業者に対して指導を行うとともに、本市のまちづくりへの理解と協力を求め、良好で安全な土地利用に努める。																					

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	01 環境に配慮した安全・安心のまち	都市整備部
<b>中分類</b>	02 安全・安心なまちづくりへの対応	
<b>小分類</b>	01 安全・安心なまちづくり	

<b>事務事業名</b>	耐震診断・耐震改修推進事業費	<b>所管課</b>	建築指導課
		<b>決算額</b>	40,698千円
<b>事業内容</b>	<p>「建築物の耐震改修の促進に関する法律」第6条により、平成28年度に「宇治市建築物耐震改修促進計画」を改定し、市有建築物を含めた既設建築物の耐震化を促進する。民間の既設建築物について、耐震化を図るため、耐震診断・耐震改修の助成制度を実施している。</p>		
<b>成果・実績</b>	<p>12月2日に南小倉小学校で行われた防災訓練ほか、各地域の防災訓練に参加し「耐震診断相談コーナー」の設置及び自治会の防災出前講座でのPR等の啓発活動を行い、耐震診断・耐震改修希望者に対し、助成事業を実施した。</p> <p>◎木造住宅耐震診断           119棟 ◎木造住宅耐震改修           54棟     (本格改修25棟、簡易改修29棟)</p> <div style="text-align: center;">  <p>宇治市防災訓練（南小倉小学校）</p> </div>		
<b>事業評価</b>	<p>耐震診断・耐震改修の助成制度を実施したことにより、既設建築物の耐震化の促進を図ることができた。今後も補助対象の拡大等、より有効な取組となるよう検討し、建築物の耐震化を図る必要がある。</p>		

# 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	01 良好な市街地の形成

所管部局
都市整備部

事務事業名	建築指導事務費	所管課	建築指導課																				
		決算額	794千円																				
事業内容	<p>建築主は、建築工事に着手する前に建築基準法による確認申請書を提出し、建築主事または民間指定確認検査機関にて確認を受けなければならない。本市は建築基準法を所管する特定行政庁として、安全・安心な建築物の供給、法的確な履行に取り組んでいる。</p>																						
成果・実績	<p>◎建築確認等申請件数（計画通知を含む/計画変更含まず）</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>建築物</th> <th>昇降機等</th> <th>工作物</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本市</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>民間確認検査機関</td> <td>579</td> <td>21</td> <td>7</td> <td>607</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>584</td> <td>21</td> <td>7</td> <td>612</td> </tr> </tbody> </table> <p>建築主から建築基準法に基づく申請を受け、建築確認処分を行った。 また、安全で安心な、環境にやさしい建築物が供給されるように以下の各事業に取り組んだ。</p> <p>◎違反建築物対策（行政指導件数 29件） 違反建築物防止のため、建築関係者への啓発及び現場パトロールなどを実施した。また、違反建築物に対する是正指導等を行った。</p> <p>◎長期優良住宅の認定（認定件数 121件） 長期優良住宅の普及の促進に関する法律に基づき認定を行った。</p> <p>◎建設リサイクル法に基づく業務（届出・通知件数 493件） 建築物の分別解体及び再資源化等の適正かつ円滑な実施を確保するため、届出の受理を行い、併せて制度定着のため広報及び現場パトロールを実施した。</p> <p>◎建築物省エネルギー法に基づく業務（届出件数 19件） 地球温暖化の防止及び省エネルギーの実効性を向上させるため、一定規模以上の建築物について義務付けられている省エネルギー措置の届出の受理を行った。</p> <p>◎京都府地球温暖化対策条例に基づく業務（届出件数 4件） 地球環境問題への関心が高まる中、建築分野においても地球温暖化防止等への配慮が求められているため、一定規模以上の建築物に対して義務付けられている計画書等の届出の受理を行った。</p>				建築物	昇降機等	工作物	計	本市	5	0	0	5	民間確認検査機関	579	21	7	607	合計	584	21	7	612
	建築物	昇降機等	工作物	計																			
本市	5	0	0	5																			
民間確認検査機関	579	21	7	607																			
合計	584	21	7	612																			
事業評価	<p>パトロール等の啓発活動を実施したことにより、建築確認・検査制度の適正な執行及び適正な建築物の供給を担保することができた。今後も効果的な啓発内容を検討しながら、適正な建築物の供給に努める必要がある。</p>																						

## 平成30年度決算成果説明書

<b>総合計画の体系</b>		<b>所管部局</b>
<b>大分類</b>	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
<b>中分類</b>	03 快適な都市交通とバリアフリーのまちづくり	
<b>小分類</b>	01 交通安全とバリアフリーの推進	

<b>事務事業名</b>	交通安全対策事務費	<b>所管課</b>	交通政策課
		<b>決算額</b>	520千円
<b>事業内容</b>	交通安全対策の推進を図り、市民生活の利便性、快適性の向上を図る。		
<b>成果・実績</b>	<p>保育所、幼稚園、小・中・高等学校において、警察の協力のもと、それぞれの学習段階に応じた交通安全教室を開催し、交通ルール・マナーの普及を図った。あわせて、宇治市交通安全対策協議会等の関係機関・団体とも連携し、交通安全運動期間における街頭啓発活動を始めとする取組により、市民の交通安全の意識向上を図った。</p> <p>また、地域からの交通安全要望を踏まえ、必要な交通規制及び安全対策を実施するため、警察及び関係機関との緊密な連携を図り、市民の交通安全確保に努めた。</p> <p>◎交通安全教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催数                    89回</li> <li>・受講者数                延べ約8,000人</li> </ul>		
<b>事業評価</b>	交通安全教室を開催することにより、市民の交通安全への意識向上を図ることができた。今後も引き続き、関係機関とより一層の連携を図る中で、多様な取組手法により交通安全対策に努める必要がある。		

<b>事務事業名</b>	自転車等駐車場管理費	<b>所管課</b>	交通政策課																												
		<b>決算額</b>	151,491千円																												
<b>事業内容</b>	自転車等駐車場の適切な管理運営により、交通結節点における市民の利便性の向上及び自転車等の放置防止、歩行者及び通行車両などの安全確保を図るため、市内の14駅中11駅周辺に17カ所の有料自転車等駐車場を設置し、通勤・通学等で利用される自転車等を収容する。																														
<b>成果・実績</b>	<p>◎自転車等駐車場利用台数 (台)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">年度</th> <th>27</th> <th>28</th> <th>29</th> <th>30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">自転車</td> <td>一時利用</td> <td>89,652</td> <td>90,234</td> <td>104,968</td> <td>102,821</td> </tr> <tr> <td>定期利用</td> <td>13,079</td> <td>12,421</td> <td>12,547</td> <td>11,180</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原動機付自転車等</td> <td>一時利用</td> <td>38,594</td> <td>38,449</td> <td>39,361</td> <td>36,174</td> </tr> <tr> <td>定期利用</td> <td>3,226</td> <td>3,208</td> <td>3,230</td> <td>2,691</td> </tr> </tbody> </table>			年度		27	28	29	30	自転車	一時利用	89,652	90,234	104,968	102,821	定期利用	13,079	12,421	12,547	11,180	原動機付自転車等	一時利用	38,594	38,449	39,361	36,174	定期利用	3,226	3,208	3,230	2,691
年度		27	28	29	30																										
自転車	一時利用	89,652	90,234	104,968	102,821																										
	定期利用	13,079	12,421	12,547	11,180																										
原動機付自転車等	一時利用	38,594	38,449	39,361	36,174																										
	定期利用	3,226	3,208	3,230	2,691																										
<b>事業評価</b>	施設の適切な管理運営により歩行者及び通行車両などの安全確保を図ることができた。施設の老朽化等の問題があるため、利用者ニーズを踏まえながら、自転車等駐車場の利便性の向上や施設規模の適正化を図る必要がある。																														

## 平成30年度決算成果説明書

<b>総合計画の体系</b>		<b>所管部局</b>
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	03 快適な都市交通とバリアフリーのまちづくり	
小分類	01 交通安全とバリアフリーの推進	

<b>事務事業名</b>	自転車放置防止対策費	<b>所管課</b>	交通政策課																				
		<b>決算額</b>	3,689千円																				
<b>事業内容</b>	駅周辺において良好な環境を保つため、駅周辺の自転車放置禁止区域内に放置されている自転車を定期的に撤去し、景観の維持を図るとともに、歩行者及び通行車両などの安全確保を図る。																						
<b>成果・実績</b>	<p>自転車撤去台数は減少傾向にある。撤去自転車299台に対し138台は所有者に引き取られ、その他は福祉施設に無償譲渡及び有価物として売却を行った。</p> <p>◎放置自転車撤去台数等 (台)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>27</th> <th>28</th> <th>29</th> <th>30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>撤去台数</td> <td>517</td> <td>530</td> <td>419</td> <td>299</td> </tr> <tr> <td>返還台数</td> <td>228</td> <td>243</td> <td>204</td> <td>138</td> </tr> <tr> <td>売却処理台数</td> <td>244</td> <td>183</td> <td>170</td> <td>102</td> </tr> </tbody> </table>			年度	27	28	29	30	撤去台数	517	530	419	299	返還台数	228	243	204	138	売却処理台数	244	183	170	102
年度	27	28	29	30																			
撤去台数	517	530	419	299																			
返還台数	228	243	204	138																			
売却処理台数	244	183	170	102																			
<b>事業評価</b>	自転車放置対策に係る啓発及び放置自転車の撤去などを実施したことにより、歩行者及び通行車両などの安全確保を図ることができた。これまでの取組により自転車放置禁止区域での放置自転車の数は確実に減少しており、引き続き事業の効率化を図りつつ、放置防止対策に努める必要がある。																						

<b>事務事業名</b>	市営駐車場管理費	<b>所管課</b>	交通政策課															
		<b>決算額</b>	5,207千円															
<b>事業内容</b>	JR宇治駅前及び近鉄大久保駅前における迷惑駐車をなくし、安全で快適な駅前交通環境を維持するため、自動車駐車場を設置し、管理・運営を行う。																	
<b>成果・実績</b>	<p>駐車場は乗降客の多い駅前に立地し、終日営業するなど利便性が高いことから、多くの市民等が利用した。</p> <p>◎自動車駐車場利用台数 (台)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>27</th> <th>28</th> <th>29</th> <th>30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JR宇治駅前</td> <td>19,994</td> <td>20,937</td> <td>22,795</td> <td>23,979</td> </tr> <tr> <td>近鉄大久保駅前</td> <td>100,144</td> <td>103,978</td> <td>114,095</td> <td>123,641</td> </tr> </tbody> </table>			年度	27	28	29	30	JR宇治駅前	19,994	20,937	22,795	23,979	近鉄大久保駅前	100,144	103,978	114,095	123,641
年度	27	28	29	30														
JR宇治駅前	19,994	20,937	22,795	23,979														
近鉄大久保駅前	100,144	103,978	114,095	123,641														
<b>事業評価</b>	指定管理者によって、適切に管理運営できた。迷惑駐車をなくし、安全で快適な駅前交通環境を維持するため、今後も適切な施設管理・運営に努める必要がある。																	

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	03 快適な都市交通とバリアフリーのまちづくり	
小分類	01 交通安全とバリアフリーの推進	

事務事業名	交通バリアフリー推進事業費	所管課	交通政策課
		決算額	80,106千円
事業内容	平成17年に策定した「宇治市交通バリアフリー全体構想」に基づき、市内のバリアフリー化に取り組んできたが、平成18年の法改正及び平成23年に国の基本方針が見直されたことを受け、全体構想を見直すとともに、改訂した全体構想に基づき、基本構想を策定するなど、さらに市内のバリアフリー化を推進する。		
成果・実績	平成26年度に宇治市交通バリアフリー検討委員会を設置し、宇治市交通バリアフリー全体構想を改訂する中で、「木幡」「黄檗」「伊勢田」の3地区を新たに重点整備地区に位置付けた。 平成29年度は改訂された全体構想に基づき、伊勢田駅周辺地区交通バリアフリー基本構想を策定した。 平成30年度については、策定した基本構想をもとにJR木幡駅のバリアフリー工事を行うとともに、近鉄伊勢田駅のバリアフリー工事に向けて協議を行った。		
事業評価	バリアフリー化事業に取り組むことにより、高齢者・障害者等の移動の円滑化に努めることができた。引き続き、市の財政状況等を考慮しながら、駅周辺のバリアフリー対策を進める必要がある。		

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	03 快適な都市交通とバリアフリーのまちづくり	
小分類	02 公共交通機関の整備促進	

事務事業名	JR奈良線複線化事業補助金	所管課	交通政策課
		決算額	425,444千円
事業内容	JR奈良線の高速化・複線化第二期事業について、京都府・本市を含む沿線市町・JR西日本で締結した「基本協定書」「実施等に関する協定書」及び「実施等に関する変更協定書」に基づき、補助金をJR西日本に支出し事業の推進を図る。		
成果・実績	平成25年度に締結した基本協定書に基づき、JR奈良線の高速化・複線化に向け、環境影響評価法に基づく、評価書の確定・公告手続きが平成27年度に完了した。 平成28年度、平成29年度と順次本體工事に着手した市内各工区について、令和5年春の開業を目標に工事を進めている。		
事業評価	今後も引き続き、京都府、沿線市町及び事業者と調整しながら、協定書等に基づく事業進捗に努める必要がある。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	03 快適な都市交通とバリアフリーのまちづくり	
小分類	02 公共交通機関の整備促進	

事務事業名	地域公共交通活性化事業費	所管課	交通政策課	
		決算額	5,453千円	
事業内容	バス路線の再編等により公共交通の利用が困難となった明星町・西小倉・槇島の3地域において公共交通を確保するため、地域住民と協働で「宇治市のりあい交通事業」に取り組む。また、全市的な利用促進に取り組み、公共交通の活性化を図る。			
成果・実績	平成25年度に明星町・西小倉・槇島の3地域を対象とした宇治市のりあい交通事業を創設した。			
		明星町	西小倉	槇島
	平成26年度	試験運行	地域に沿った運行形態の模索	地域に沿った運行計画の検討
	平成27年度	本格運行 開始	アンケート調査 サポート会員の募集	地域に沿った運行計画の検討
	平成28年度	本格運行 継続	西小倉のりあいタクシー運営委員会設立、 交通事業者公募	地域に沿った運行計画の検討
	平成29年度	本格運行 継続	試験運行	地域に沿った運行計画の検討
	平成30年度	本格運行 継続	本格運行開始	地域に沿った運行計画の検討
	利用促進の取組として、おでかけマップの配布等を行うことで、公共交通の一つとしてバスの理解を深めることができた。			
	交通学習	おでかけマップ		
平成26年度	—	配布枚数	延べ 3,440枚	
平成27年度	三室戸小学校（2年） バス乗り方学習	配布枚数	延べ 5,600枚	
平成28年度	三室戸小学校（2年） バス乗り方学習	配布枚数	延べ 7,000枚	
平成29年度	—	配布枚数	延べ 7,500枚	
平成30年度	—	配布枚数	延べ 8,900枚	
事業評価	「宇治市のりあい交通事業」及び「利用促進事業」に取り組むことにより、公共交通の確保に努めることができた。今後も地域住民と協働して移動手段確保に努めるとともに、課題となっている山間地における交通空白地の対応についても検討する必要がある。			

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

<b>事務事業名</b>	緊急安全対策事業費	<b>所管課</b>	教育総務課・学校教育課
		<b>決算額</b>	38,711千円
<b>事業内容</b>	幼稚園、小・中学校に、地域・保護者の協力を得て学校運営支援員（スクールサポーター）を配置し、園児、児童・生徒の安全確保を図る。		
<b>成果・実績</b>	<p>◎地域緊急安全対策事業費（教育総務課） 37,756千円 35校・園のモニターカメラ監視、校内巡視、門扉状況監視</p> <p>◎幼稚園緊急安全対策事業費（学校教育課） 689千円 私立幼稚園における運営支援員の配置に対して補助を行った。</p> <p>◎私立幼稚園等安全対策支援事業（学校教育課） 266千円 子どもの安全確保を図るため、ブロック塀の撤去などに要する経費を助成した。</p>		
<b>事業評価</b>	幼稚園、小・中学校で各種安全対策を講じるとともに、私立幼稚園の安全対策に対して適切に補助を行い、園児、児童・生徒の安全の確保に努めた。適切な安全対策体制の構築に向けた検討や他の地域安全活動との連携を図り、園児、児童・生徒が安心して学べる環境づくりに努める。		

<b>事務事業名</b>	事務事業点検評価事業費	<b>所管課</b>	教育総務課
		<b>決算額</b>	120千円
<b>事業内容</b>	「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会は、その権限に関する事務・事業の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに市民へ公表する。		
<b>成果・実績</b>	<p>教育委員会の基本方針に沿って効果的な教育行政が実施できたか、学識者とともに、宇治市教育振興基本計画（平成26～33年度）の施策体系に沿った点検・評価を行い、合わせて各施策の指標値・目標値と実績値を報告書の中で示すことにより、市民への説明責任を果たした。</p> <p style="text-align: center;">学識経験者等謝礼 120千円</p>		
<b>事業評価</b>	「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、事務事業の点検・評価を実施し、効果的に教育行政を進めた。今後も学識者の意見を踏まえ、より分かりやすい報告となるよう目標値・指標値の内容や様式について改善を行う中で、引き続き事務事業の質の向上に努める。		

## 平成30年度決算成果説明書

<b>総合計画の体系</b>		<b>所管部局</b>
<b>大分類</b>	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
<b>中分類</b>	01 学校教育の充実	
<b>小分類</b>	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

<b>事務事業名</b>	幼稚園、小・中学校保健管理費	<b>所管課</b>	学校管理課																								
		<b>決算額</b>	122,337千円																								
<b>事業内容</b>	学校保健及び学校安全に関し、法令に定める健康診断を実施し、環境衛生の確保に努めるとともに、学校管理下における事故災害に対する必要な給付を行い、園児、児童・生徒の心身の健全な育成を図る。																										
<b>成果・実績</b>	園児、児童・生徒の健康診断及び各種検診・検査を実施した。  <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 5%;">◎小学校保健管理費</td> <td style="width: 45%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: right;">75,863千円</td> <td style="width: 35%;"></td> </tr> <tr> <td>◎中学校保健管理費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">34,204千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎幼稚園保健管理費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">4,663千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎小学校心臓検診充実費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">5,142千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎中学校心臓検診充実費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">2,443千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎結核予防対策費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">22千円</td> <td></td> </tr> </table>			◎小学校保健管理費		75,863千円		◎中学校保健管理費		34,204千円		◎幼稚園保健管理費		4,663千円		◎小学校心臓検診充実費		5,142千円		◎中学校心臓検診充実費		2,443千円		◎結核予防対策費		22千円	
◎小学校保健管理費		75,863千円																									
◎中学校保健管理費		34,204千円																									
◎幼稚園保健管理費		4,663千円																									
◎小学校心臓検診充実費		5,142千円																									
◎中学校心臓検診充実費		2,443千円																									
◎結核予防対策費		22千円																									
<b>事業評価</b>	法令に定める健康診断及び各種検診・検査を実施し、園児、児童・生徒の心身の健全な育成を図った。今後も引き続き実施する。																										

<b>事務事業名</b>	へき地校通学対策費	<b>所管課</b>	学校管理課・学校教育課												
		<b>決算額</b>	17,272千円												
<b>事業内容</b>	へき地における特殊な教育条件を考慮し、教育水準の維持・向上を図り、児童・生徒の通学の負担を軽減するために、笠取地区内及び笠取地区と市街地を結ぶ通学用輸送車を運行する。														
<b>成果・実績</b>	笠取地区スクールバス3台及び給食配送車の運行・維持管理を行った。（笠取小学校特認校児童の送迎を含む）  <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 5%;">特認入学パンフレット印刷費</td> <td style="width: 45%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: right;">69千円</td> <td style="width: 35%;"></td> </tr> <tr> <td>笠取地区通学バス等維持管理費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">536千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>笠取地区通学バス等運行委託料</td> <td></td> <td style="text-align: right;">16,667千円</td> <td></td> </tr> </table>			特認入学パンフレット印刷費		69千円		笠取地区通学バス等維持管理費		536千円		笠取地区通学バス等運行委託料		16,667千円	
特認入学パンフレット印刷費		69千円													
笠取地区通学バス等維持管理費		536千円													
笠取地区通学バス等運行委託料		16,667千円													
<b>事業評価</b>	スクールバス及び給食配送車を運行し、へき地における教育水準の維持・向上を図った。山間部の通学と特認校制度の運用に必要なとなっているが、車両の有効活用のため、利用状況等を把握し、その他の活用方法についても検討する。														



## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	フッ化物洗口事業費	所管課	学校管理課												
		決算額	1,539千円												
事業内容	児童の健全な発育のために、乳歯から永久歯へ生え変わる時期に小学校でフッ化物洗口を実施し、虫歯を予防する。														
成果・実績	<p>児童の健全な発育のために、全校・全学年児童の希望者を対象に、虫歯予防効果の高いフッ化物洗口を実施した。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">事業実施児童数</td> <td style="width: 30%;">8,962人</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>事業実施率</td> <td>約90.2%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>平均実施回数</td> <td>26.4回</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 			事業実施児童数	8,962人			事業実施率	約90.2%			平均実施回数	26.4回		
事業実施児童数	8,962人														
事業実施率	約90.2%														
平均実施回数	26.4回														
事業評価	乳児から永久歯に生え変わる時期に、フッ素化合物による洗口を実施することで、児童の健全な発育を図るとともに、児童の健康に対する自己管理を推進した。京都府の動向を注視しつつ、効果的な実施手法について検討する。														

事務事業名	給食・調理環境充実費（管理運営分）	所管課	学校管理課												
		決算額	234,864千円												
事業内容	小学校給食運営の中で、本市調理職員が行っていた調理業務のみを学校単位で段階的に民間の給食専門会社に委託し、これまでの給食内容を変えることなく、運営経費の効率化を図り、それによって確保された財源で多様な子どもたちのニーズを踏まえた学校給食等の条件整備を行う。														
成果・実績	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">調理業務委託料</td> <td style="width: 30%;">14校委託</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: right;">204,627千円</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員（学校栄養士）配置</td> <td>10校</td> <td></td> <td style="text-align: right;">27,635千円</td> </tr> <tr> <td>PEN食器等購入費</td> <td>PEN食器等の購入費用</td> <td></td> <td style="text-align: right;">2,602千円</td> </tr> </table>			調理業務委託料	14校委託		204,627千円	非常勤職員（学校栄養士）配置	10校		27,635千円	PEN食器等購入費	PEN食器等の購入費用		2,602千円
調理業務委託料	14校委託		204,627千円												
非常勤職員（学校栄養士）配置	10校		27,635千円												
PEN食器等購入費	PEN食器等の購入費用		2,602千円												
事業評価	調理委託によって給食運営の効率化を図るとともに、PEN食器をはじめとする学校給食環境の整備を行い、成長期にある児童の健全な育成を推進した。今後も円滑な業務遂行に努める。														

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	中学校昼食提供事業費	所管課	学校管理課																								
		決算額	5,914千円																								
事業内容	中学校での昼食は生徒が弁当を持参することを基本としているが、家庭の事情等で持参できない場合に補完するため昼食の提供を行う。																										
成果・実績	<p style="text-align: center;">利用実績</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">学校名</th> <th style="width: 25%;">平均利用率</th> <th style="width: 25%;">学校名</th> <th style="width: 25%;">平均利用率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南宇治中学校</td> <td style="text-align: center;">3.6%</td> <td>西宇治中学校</td> <td style="text-align: center;">0.0%</td> </tr> <tr> <td>西小倉中学校</td> <td style="text-align: center;">0.4%</td> <td>広野中学校</td> <td style="text-align: center;">0.2%</td> </tr> <tr> <td>宇治中学校</td> <td style="text-align: center;">0.1%</td> <td>東宇治中学校</td> <td style="text-align: center;">0.1%</td> </tr> <tr> <td>北宇治中学校</td> <td style="text-align: center;">0.0%</td> <td>木幡中学校</td> <td style="text-align: center;">0.3%</td> </tr> <tr> <td>榎島中学校</td> <td style="text-align: center;">0.7%</td> <td>黄檗中学校</td> <td style="text-align: center;">0.8%</td> </tr> </tbody> </table>			学校名	平均利用率	学校名	平均利用率	南宇治中学校	3.6%	西宇治中学校	0.0%	西小倉中学校	0.4%	広野中学校	0.2%	宇治中学校	0.1%	東宇治中学校	0.1%	北宇治中学校	0.0%	木幡中学校	0.3%	榎島中学校	0.7%	黄檗中学校	0.8%
学校名	平均利用率	学校名	平均利用率																								
南宇治中学校	3.6%	西宇治中学校	0.0%																								
西小倉中学校	0.4%	広野中学校	0.2%																								
宇治中学校	0.1%	東宇治中学校	0.1%																								
北宇治中学校	0.0%	木幡中学校	0.3%																								
榎島中学校	0.7%	黄檗中学校	0.8%																								
事業評価	弁当を持参できない生徒に栄養面を考慮した昼食を提供し、生徒の健全な発育を促進した。より効率的な事業実施となるよう、事業全体の見直しを図る必要がある。																										

事務事業名	中学校給食基本構想策定費	所管課	学校管理課
		決算額	224千円
事業内容	中学校給食の実施に向け、実施方法の調査・検討などを行う。		
成果・実績	<p>○中学校給食検討委員会の開催</p> <p>本市中学校における完全給食の実施に向けて必要な調査を実施し、給食の実施方式や運営上の諸課題等について検討するため、宇治市中学校給食検討委員会を設置し、平成31年度にかけて議論を行う。平成30年度6回開催。</p> <p style="margin-left: 20px;">視察旅費等                 :   37千円 委員等報償費             :   187千円</p>		
事業評価	実地調査等を実施しながら、中学校における完全給食の実施に向け議論を行った。今後の中学校給食の実施に向け、効果的で効率的な手法の検討及び基本構想の策定を行う。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

<b>事務事業名</b>	幼稚園府内産木材遊具等整備事業費	<b>所管課</b>	学校管理課
		<b>決算額</b>	1,932千円
<b>事業内容</b>	京都府内の森林資源の循環活用を図るための府交付金を活用して、市内の幼稚園に府内産木材を活用した遊具等を整備する。		
<b>成果・実績</b>	◎整備した遊具等 大久保幼稚園：大型積み木、パーテーション、玩具流し台、玩具冷蔵庫 神明幼稚園：大型積み木、パーテーション、玩具流し台、玩具冷蔵庫 東宇治幼稚園：大型積み木、中型積み木、パーテーション、玩具冷蔵庫 木幡幼稚園：大型積み木、玩具流し台、玩具冷蔵庫		
<b>事業評価</b>	豊かな森を育てる府民税交付金を活用し、市内の公立幼稚園4園に府内産木材を活用した遊具等を整備した。		

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	02 学校教育環境の充実	

<b>事務事業名</b>	幼稚園、小・中学校維持整備事業	<b>所管課</b>	学校管理課																														
		<b>決算額</b>	1,203,082千円																														
<b>事業内容</b>	学校教育環境の充実と安全性の確保のため、幼稚園、小・中学校の施設・設備について、老朽化対応修繕、緊急修繕、及び法令等に適合させる修繕を行う。また、老朽化や損耗が著しい施設・設備について、計画的に改修を実施するとともに、トイレ改修及び体育館非構造部材の耐震改修など大規模改造事業を実施する。																																
<b>成果・実績</b>	良好な教育環境の確保と施設の維持・保全を図るために対応を行った。 <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">事業名</th> <th style="width: 50%;">主な内容</th> <th style="width: 25%;">事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幼稚園維持修繕費</td> <td>各幼稚園施設の小修理他</td> <td style="text-align: right;">1,446千円</td> </tr> <tr> <td>幼稚園施設整備費</td> <td>各幼稚園施設の環境整備他</td> <td style="text-align: right;">6,113千円</td> </tr> <tr> <td>幼稚園大規模改造事業費</td> <td>神明幼稚園下水接続工事に係る設計業務委託</td> <td style="text-align: right;">1,668千円</td> </tr> <tr> <td>小学校維持修繕費</td> <td>各小学校施設の小修理他</td> <td style="text-align: right;">42,716千円</td> </tr> <tr> <td>小学校施設整備費</td> <td>各小学校施設の環境整備他</td> <td style="text-align: right;">130,753千円</td> </tr> <tr> <td>小学校大規模改造事業費</td> <td>菟道第二・神明小学校便所改修工事 西大久保小学校体育館非構造部材耐震改修工事他</td> <td style="text-align: right;">630,259千円</td> </tr> <tr> <td>中学校維持修繕費</td> <td>各中学校施設の小修理他</td> <td style="text-align: right;">19,779千円</td> </tr> <tr> <td>中学校施設整備費</td> <td>各中学校施設の環境整備他</td> <td style="text-align: right;">51,719千円</td> </tr> <tr> <td>中学校大規模改造事業費</td> <td>榎島中学校便所改修工事 南宇治中学校体育館非構造部材耐震改修工事他</td> <td style="text-align: right;">318,629千円</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	主な内容	事業費	幼稚園維持修繕費	各幼稚園施設の小修理他	1,446千円	幼稚園施設整備費	各幼稚園施設の環境整備他	6,113千円	幼稚園大規模改造事業費	神明幼稚園下水接続工事に係る設計業務委託	1,668千円	小学校維持修繕費	各小学校施設の小修理他	42,716千円	小学校施設整備費	各小学校施設の環境整備他	130,753千円	小学校大規模改造事業費	菟道第二・神明小学校便所改修工事 西大久保小学校体育館非構造部材耐震改修工事他	630,259千円	中学校維持修繕費	各中学校施設の小修理他	19,779千円	中学校施設整備費	各中学校施設の環境整備他	51,719千円	中学校大規模改造事業費	榎島中学校便所改修工事 南宇治中学校体育館非構造部材耐震改修工事他	318,629千円
事業名	主な内容	事業費																															
幼稚園維持修繕費	各幼稚園施設の小修理他	1,446千円																															
幼稚園施設整備費	各幼稚園施設の環境整備他	6,113千円																															
幼稚園大規模改造事業費	神明幼稚園下水接続工事に係る設計業務委託	1,668千円																															
小学校維持修繕費	各小学校施設の小修理他	42,716千円																															
小学校施設整備費	各小学校施設の環境整備他	130,753千円																															
小学校大規模改造事業費	菟道第二・神明小学校便所改修工事 西大久保小学校体育館非構造部材耐震改修工事他	630,259千円																															
中学校維持修繕費	各中学校施設の小修理他	19,779千円																															
中学校施設整備費	各中学校施設の環境整備他	51,719千円																															
中学校大規模改造事業費	榎島中学校便所改修工事 南宇治中学校体育館非構造部材耐震改修工事他	318,629千円																															
<b>事業評価</b>	教育施設の老朽化等に対応し、計画的に改修工事等を実施した。今後も計画的に施設の維持・保全に努め、園児、児童・生徒が安全で安心して授業に臨むことができるよう、教育環境の整備を図る。																																

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系			所管部局											
<b>大分類</b>	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち		教育部											
<b>中分類</b>	01 学校教育の充実													
<b>小分類</b>	03 総合的に進める教育の充実													
<b>事務事業名</b>	学校施設地域開放費	<b>所管課</b>	生涯学習課											
		<b>決算額</b>	2,027千円											
<b>事業内容</b>	西宇治中学校の地域開放型教室の特質を活かし、特別教室の積極的な開放を行うことで、子どもが仲間と楽しく学び、様々な活動を行う場を提供する。また、各種教育情報を提供し、地域住民に学習機会の場を設け、地域の活性化を図る。													
<b>成果・実績</b>	<p>◎利用状況</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>視聴覚室</td> <td>音楽室</td> <td>美術室</td> <td>調理室</td> <td>図書室</td> </tr> <tr> <td>74件</td> <td>194件</td> <td>96件</td> <td>2件</td> <td>390人</td> </tr> </table> <p>◎西宇治オープンフェスタ 地域開放型教室の利用団体が、コーラス、楽器演奏、バンド演奏など、日頃の活動の成果を発表した。</p>				視聴覚室	音楽室	美術室	調理室	図書室	74件	194件	96件	2件	390人
視聴覚室	音楽室	美術室	調理室	図書室										
74件	194件	96件	2件	390人										
<b>事業評価</b>	地域住民のニーズに応じて特別教室を開放し、地域の生涯学習活動の場を提供した。一方で利用者数は減少傾向にあるため、運営委員との連携を図る中で、より効果的な事業実施ができるよう検討する。													

総合計画の体系			所管部局	
<b>大分類</b>	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち		教育部	
<b>中分類</b>	02 生涯学習の充実			
<b>小分類</b>	01 生涯学習の推進			
<b>事務事業名</b>	子どもの居場所づくり支援事業費	<b>所管課</b>	生涯学習課	
		<b>決算額</b>	178千円	
<b>事業内容</b>	土曜日午前公民館の一室を開放し、公民館サークル及び地域ボランティアによる遊び及び自然・文化体験またはスポーツなどの学習指導を行う。子どもに生活体験・社会体験・自然体験の機会を提供し、健やかな成長を促す。			
<b>成果・実績</b>	遊び及び自然・文化体験またはスポーツなどの学習指導により、子どもたちが学校及び家庭では経験できない種々の体験をし、優しさ・たくましさを育む活動及び場所を提供・支援した。4公民館で開催回数は51回、延べ848人が参加した。			
<b>事業評価</b>	公民館サークル及び地域住民の協力のもと、遊びや自然体験などの活動を実施し、子どもの健やかな成長を促すことができた。各公民館の活動事業との体系的な整理を図り、本事業は平成30年度で終了する。			

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部	
中分類	02 生涯学習の充実		
小分類	01 生涯学習の推進		

<b>事務事業名</b>	障害者教室開催費	<b>所管課</b>	生涯学習課																													
		<b>決算額</b>	107千円																													
<b>事業内容</b>	「宇治市障害者福祉基本計画」の趣旨を踏まえ、障害者の自立と社会参加を促進するため、学習機会の提供と仲間づくりを目的として、障害者関係団体及びボランティアと連携しながら、障害の種別に応じた障害者教室を開催する。																															
<b>成果・実績</b>	障害の種別に応じた教室及び講座を開催し、延べ264人の参加があった。																															
	◎各障害者教室開催状況 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">内容</th> <th style="width: 15%;">対象者</th> <th style="width: 10%;">人数</th> <th style="width: 25%;">内容</th> <th style="width: 15%;">対象者</th> <th style="width: 10%;">人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>やまぶき学級（2回）</td> <td>心身障害者</td> <td style="text-align: center;">127</td> <td>社会見学</td> <td>視覚障害者</td> <td style="text-align: center;">24</td> </tr> <tr> <td>講座</td> <td>視覚障害者</td> <td style="text-align: center;">38</td> <td>社会見学</td> <td>聴覚障害者</td> <td style="text-align: center;">15</td> </tr> <tr> <td>講座</td> <td>聴覚障害者</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td>社会見学</td> <td>肢体障害者</td> <td style="text-align: center;">14</td> </tr> <tr> <td>講座</td> <td>難聴障害者</td> <td style="text-align: center;">17</td> <td>社会見学</td> <td>難聴障害者</td> <td style="text-align: center;">20</td> </tr> </tbody> </table>			内容	対象者	人数	内容	対象者	人数	やまぶき学級（2回）	心身障害者	127	社会見学	視覚障害者	24	講座	視覚障害者	38	社会見学	聴覚障害者	15	講座	聴覚障害者	9	社会見学	肢体障害者	14	講座	難聴障害者	17	社会見学	難聴障害者
内容	対象者	人数	内容	対象者	人数																											
やまぶき学級（2回）	心身障害者	127	社会見学	視覚障害者	24																											
講座	視覚障害者	38	社会見学	聴覚障害者	15																											
講座	聴覚障害者	9	社会見学	肢体障害者	14																											
講座	難聴障害者	17	社会見学	難聴障害者	20																											
<b>事業評価</b>	障害者団体・ボランティアと連携して教室を開催し、障害の種別に応じた学習機会の提供・仲間づくりに取り組み、障害者の自立と社会参加を促進した。今後も講座・教室ごとに協議を重ね、内容を精査して事業の改善に努める。																															

# 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	公民館活動費	所管課	生涯学習課																																																			
		決算額	2,656千円																																																			
事業内容	<p>公民館を拠点として活動する市民が、より住みよい地域づくりの担い手として活動するため、市民がいつでも気軽に利用できる公民館を目指し、地域住民の学習意欲及び社会の変化に対応する各種講座及び教室の開設、文化活動事業など、学習機会を提供する。</p>																																																					
成果・実績	<p>高齢者の生きがいがづくり・健康づくりを目的に鳳凰大学及び各公民館高齢者教室を開催し、子ども対象事業として茶道教室等を行った。また、市民が公民館で学習を通してつながりを作り、地域で活躍するスキルを身に付けてもらうように、各館の特色を活かして事業に取り組んだ。</p>																																																					
	<p>◎中央公民館活動費 1,488千円</p>																																																					
	<p>◎宇治公民館活動費 160千円</p>																																																					
	<p>◎木幡公民館活動費 295千円</p>																																																					
	<p>◎小倉公民館活動費 425千円</p>																																																					
	<p>◎広野公民館活動費 288千円</p>																																																					
	<p>◎高齢者を対象とした学級・講座等</p>																																																					
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">公民館名</th> <th style="width: 50%;">事業名</th> <th style="width: 10%;">講座数</th> <th style="width: 20%;">参加延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">中央</td> <td style="text-align: center;">宇治鳳凰大学（4コース）</td> <td style="text-align: center;">各10</td> <td style="text-align: center;">4,431</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">宇治鳳凰大学 大学祭</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">700</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">宇治</td> <td style="text-align: center;">宇治鳳凰学級</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">939</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">木幡</td> <td style="text-align: center;">木幡許乃国教室</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">1,069</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">小倉</td> <td style="text-align: center;">小倉蓮の実教室</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">982</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">広野</td> <td style="text-align: center;">広野久里古教室</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">931</td> </tr> </tbody> </table>			公民館名	事業名	講座数	参加延べ人数	中央	宇治鳳凰大学（4コース）	各10	4,431	宇治鳳凰大学 大学祭	1	700	宇治	宇治鳳凰学級	8	939	木幡	木幡許乃国教室	8	1,069	小倉	小倉蓮の実教室	8	982	広野	広野久里古教室	8	931																								
	公民館名	事業名	講座数	参加延べ人数																																																		
	中央	宇治鳳凰大学（4コース）	各10	4,431																																																		
宇治鳳凰大学 大学祭		1	700																																																			
宇治	宇治鳳凰学級	8	939																																																			
木幡	木幡許乃国教室	8	1,069																																																			
小倉	小倉蓮の実教室	8	982																																																			
広野	広野久里古教室	8	931																																																			
<p>◎公民館まつり等</p>																																																						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">公民館名</th> <th style="width: 50%;">事業名</th> <th style="width: 10%;">回数</th> <th style="width: 20%;">参加延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">中央</td> <td style="text-align: center;">公民館まつり（2日間）</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1,500</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">人形劇フェスティバル</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">150</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">サイドテーブルをつくりませんか</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">51</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">宇治</td> <td style="text-align: center;">宇治の形・学びの広場</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">44</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">木幡</td> <td style="text-align: center;">公民館まつり（3日間）</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">700</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">親と子のちょっとおしゃれな木幡倶楽部</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">103</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">小倉</td> <td style="text-align: center;">公民館まつり（2日間）</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">789</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">茶香服大会</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">39</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">盆おどり大会・講習会</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">312</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">お茶を使ったスイーツづくり</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">27</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">広野</td> <td style="text-align: center;">公民館まつり（2日間）</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1,500</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">歌のひろばへ</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">61</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">地域生涯学習支援事業</td> <td style="text-align: center;">ひろの探検隊</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">65</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">「私の思い出」マップを作ろう</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">17</td> </tr> </tbody> </table>			公民館名	事業名	回数	参加延べ人数	中央	公民館まつり（2日間）	1	1,500	人形劇フェスティバル	1	150	サイドテーブルをつくりませんか	3	51	宇治	宇治の形・学びの広場	1	44	木幡	公民館まつり（3日間）	1	700	親と子のちょっとおしゃれな木幡倶楽部	4	103	小倉	公民館まつり（2日間）	1	789	茶香服大会	1	39	盆おどり大会・講習会	3	312	お茶を使ったスイーツづくり	2	27	広野	公民館まつり（2日間）	1	1,500	歌のひろばへ	1	61	地域生涯学習支援事業	ひろの探検隊	3	65	「私の思い出」マップを作ろう	1	17
公民館名	事業名	回数	参加延べ人数																																																			
中央	公民館まつり（2日間）	1	1,500																																																			
	人形劇フェスティバル	1	150																																																			
	サイドテーブルをつくりませんか	3	51																																																			
宇治	宇治の形・学びの広場	1	44																																																			
木幡	公民館まつり（3日間）	1	700																																																			
	親と子のちょっとおしゃれな木幡倶楽部	4	103																																																			
小倉	公民館まつり（2日間）	1	789																																																			
	茶香服大会	1	39																																																			
	盆おどり大会・講習会	3	312																																																			
	お茶を使ったスイーツづくり	2	27																																																			
広野	公民館まつり（2日間）	1	1,500																																																			
	歌のひろばへ	1	61																																																			
	地域生涯学習支援事業	ひろの探検隊	3	65																																																		
		「私の思い出」マップを作ろう	1	17																																																		
事業評価	<p>公民館を拠点として多くの市民が参加・活動できる事業を実施することにより、地域での交流を通じた生きがいがづくり、地域づくりを進めた。今後も地域貢献に取り組む人材の育成を図るため、事業実施の手法及び公民館の今後のあり方について検討を進める。</p>																																																					

## 平成30年度決算成果説明書

<b>総合計画の体系</b>		<b>所管部局</b>
<b>大分類</b>	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
<b>中分類</b>	02 生涯学習の充実	
<b>小分類</b>	01 生涯学習の推進	

<b>事務事業名</b>	総合野外活動センター管理運営費	<b>所管課</b>	生涯学習課																								
		<b>決算額</b>	139,076千円																								
<b>事業内容</b>	「自然とのふれあい、自然のなかでの交流」をテーマに、（公財）宇治市野外活動センターを指定管理者として、総合野外活動センター「アクトパル宇治」の施設管理・運営を行う。センターの各施設を活用した野外活動、宿泊研修、スポーツ活動などを行う。																										
<b>成果・実績</b>	<p>野外活動に関する事業を通じて、青少年の豊かな感性を育むとともに、市民のふれあいの場を提供する等、生涯学習の推進を図った。平成11年度から平成30年度までの延べ利用者数は約175万人となった。</p> <p>◎利用者数 (人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>26</th> <th>27</th> <th>28</th> <th>29</th> <th>30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宿泊</td> <td>37,489</td> <td>40,759</td> <td>38,460</td> <td>35,133</td> <td>32,600</td> </tr> <tr> <td>日帰り</td> <td>58,359</td> <td>69,254</td> <td>72,732</td> <td>66,390</td> <td>65,743</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>95,848</td> <td>110,013</td> <td>111,192</td> <td>101,523</td> <td>98,343</td> </tr> </tbody> </table>			年度	26	27	28	29	30	宿泊	37,489	40,759	38,460	35,133	32,600	日帰り	58,359	69,254	72,732	66,390	65,743	合計	95,848	110,013	111,192	101,523	98,343
年度	26	27	28	29	30																						
宿泊	37,489	40,759	38,460	35,133	32,600																						
日帰り	58,359	69,254	72,732	66,390	65,743																						
合計	95,848	110,013	111,192	101,523	98,343																						
<b>事業評価</b>	指定管理者により適切に管理運営を図った。野外活動を通じた生涯学習を促進するため、今後も効果的・効率的な施設の管理運営に努めるとともに、利用者ニーズを的確に把握し、より多くの市民に利用されるような企画を検討する。																										

<b>事務事業名</b>	総合野外活動センター再整備事業費	<b>所管課</b>	生涯学習課
		<b>決算額</b>	52,412千円
<b>事業内容</b>	来場者が安全・安心に施設利用できるように、大規模修繕を計画的に実施する。		
<b>成果・実績</b>	<p>◎改修設計 1,528千円 ボイラー等の改修設計を行った。</p> <p>◎改修工事 50,884千円 宿泊棟の冷暖房機器の改修工事を行った。</p>		
			
<b>事業評価</b>	宿泊棟の冷暖房機器改修を行い、利用者が快適に宿泊棟を利用できるよう改善した。今後も利用者の安全と利便性の確保を図り、計画的な改修を実施する。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	02 スポーツ・レクリエーションの普及	

事務事業名	スポーツ振興基金活用事業費	所管課	生涯学習課
		決算額	3,096千円
事業内容	市民の健康・体力の増進、競技力の向上、地域コミュニティの形成、競技人口の拡大を図るため、スポーツ振興基金を活用した諸事業を実施する。		
成果・実績	<p>基金を活用し、市民レベルのスポーツ交流の促進、競技力の向上、競技人口の拡大を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎府民総体選手派遣費 <span style="float: right;">955千円</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加団体数 23団体</li> </ul> </li> <li>◎世界大会等参加者激励金 <span style="float: right;">1,082千円</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交付件数 170件 交付人数 347人</li> </ul> </li> <li>◎生涯スポーツ育成事業 <span style="float: right;">300千円</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（一財）宇治市体育協会に委託 参加団体数 13団体</li> </ul> </li> <li>◎ジュニア技術講習会 <span style="float: right;">150千円</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇治市中学校体育連盟に委託 参加者数 326人</li> </ul> </li> <li>◎第26回宇部市・宇治市スポーツ交流大会 <span style="float: right;">500千円</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者数 107人</li> </ul> </li> <li>◎ボウリング振興事業補助金 <span style="float: right;">109千円</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者数 42人</li> </ul> </li> </ul>		
事業評価	基金を活用して各種事業を実施し、市民スポーツの水準向上とスポーツ人口の拡大を図った。基金の有効活用に努め、最大の効果を挙げられるよう事業内容を精査し、今後とも取り組む。		

事務事業名	各種大会事業補助金	所管課	生涯学習課
		決算額	4,515千円
事業内容	地域に根ざした市民スポーツの推進と競技力の向上を目的に、各種大会等の体育団体の事業を助成し、自主活動の促進と団体育成を図る。		
成果・実績	<p>大会等に助成を行い、自主活動の促進及び団体育成に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎市長杯等各種競技大会補助金 <span style="float: right;">975千円</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者数 11,835人</li> </ul> </li> <li>◎障害者スポーツ大会補助金 <span style="float: right;">340千円</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者数 606人</li> </ul> </li> <li>◎地域体育振興事業補助金 <span style="float: right;">1,500千円</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加盟数 34,652世帯</li> </ul> </li> <li>◎スポーツ少年団育成事業補助金 <span style="float: right;">1,100千円</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体数 58団体</li> </ul> </li> <li>◎宇治川マラソン大会事業補助金 <span style="float: right;">600千円</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者数 2,063人</li> </ul> </li> </ul>		
事業評価	各種団体が主催する大会を支援し、本市の競技レベルの向上及び市民スポーツの推進を図った。市民ニーズを把握し、今後も本市のスポーツ推進に寄与するため支援に努める。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	学校図書館費	所管課	学校教育課								
		決算額	38,885千円								
事業内容	児童・生徒の基礎学力の定着・向上のため、小・中学校の学校図書館図書を充実させるとともに、学校司書の配置と学校図書館ボランティアの活用により図書館教育の充実を図る。また、学校図書館ボランティアの養成のため、希望する保護者・市民が必要な知識・技術を修得する講座を開催する。										
成果・実績	◎図書館教育充実事業費 <span style="float: right;">22,328千円</span> 拠点校7校及び代表校1校に学校司書を配置し、各学校を巡回して児童・生徒の学習活動及び読書活動の充実を図った。										
	◎図書館ボランティア養成事業費 <span style="float: right;">41千円</span> ・ボランティア養成講座等開催数 <span style="float: right;">2回</span> ・ボランティア登録者数 <span style="float: right;">410人</span>										
	◎学校図書館図書充実費 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 20%;">小学校</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">8,817千円</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>中学校</td> <td style="text-align: right;">7,699千円</td> <td></td> </tr> </table>				小学校	8,817千円			中学校	7,699千円	
	小学校	8,817千円									
	中学校	7,699千円									
事業評価	図書の購入・配架、学校司書による支援及び図書館ボランティアの活動を促進し、児童・生徒の学習活動及び読書活動の充実を図った。令和元年度より、学校司書の体制を強化し、児童・生徒の基礎学力の定着・向上のための取組をより一層推進する。										

事務事業名	教育だより発行費	所管課	学校教育課
		決算額	499千円
事業内容	市内幼稚園、小・中学校、市内高等学校、特別支援学校、保育所などの保護者及び市民に対して、本市の教育施策及び特色ある教育活動等時宜を得た教育行政情報の提供を行うため、「宇治市の教育だより」を発行する。		
成果・実績	第79・80・81号を発行し、本市小中一貫教育の取組、幼稚園児及び小・中学生の活躍の様子、各幼稚園・小学校・中学校の特色ある取組、子育て応援コラムなど、本市の教育行政並びに幼稚園・学校教育などに係る情報を記載した。		
	◎教育だより発行回数 <span style="float: right;">3回</span> ◎教育だより発行部数 <span style="float: right;">19,500部 (1回につき)</span>		
事業評価	教育だよりを発行し、保護者等に対し小中一貫教育の取組、園児・児童・生徒の活動の様子など、教育行政情報の周知を行った。今後も掲載情報の充実などに努める。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
<b>中分類</b>	01 学校教育の充実	
<b>小分類</b>	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

<b>事務事業名</b>	英語指導助手設置費	<b>所管課</b>	学校教育課												
		<b>決算額</b>	45,460千円												
<b>事業内容</b>	児童・生徒の国際理解教育とコミュニケーション能力の向上を図るため、英語指導助手（AET）を、幼稚園、小・中学校に派遣する。 また、教職員研修で活用するとともに、生涯学習の一環として市民への学習機会での活用を図る。														
<b>成果・実績</b>	JETプログラムで招致した10人を、英語指導助手として市立小・中学校へ派遣した。また、市立幼稚園にも定期的に派遣した。														
	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">◎英語指導助手</td> <td style="width: 30%;">10人</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td>◎小学校派遣日数</td> <td>988日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎中学校派遣日数</td> <td>741日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎幼稚園派遣日数</td> <td>52日</td> <td></td> </tr> </table>			◎英語指導助手	10人		◎小学校派遣日数	988日		◎中学校派遣日数	741日		◎幼稚園派遣日数	52日	
◎英語指導助手	10人														
◎小学校派遣日数	988日														
◎中学校派遣日数	741日														
◎幼稚園派遣日数	52日														
<b>事業評価</b>	英語指導助手を市立幼稚園、小・中学校に派遣し、園児、児童・生徒の国際理解を深め、コミュニケーション能力の向上を図った。小学校高学年での英語の教科化を踏まえ、より効果的な活用方法について引き続き検討する。														

<b>事務事業名</b>	いきいき学級支援員設置費	<b>所管課</b>	学校教育課									
		<b>決算額</b>	19,226千円									
<b>事業内容</b>	通常の学級での発達障害を含む障害のある児童・生徒の学習面及び生活面での課題の改善を図るため、各小・中学校に支援員を配置して支援体制を整備することにより、特別支援教育の充実を図る。											
<b>成果・実績</b>	児童・生徒の個別の指導計画に基づいて、支援員が授業の指導補助及び個別指導などを行った。											
	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">◎いきいき学級支援員配置校</td> <td style="width: 30%;">小学校 15校 中学校 9校</td> <td style="width: 40%;">(京都府特別支援教育充実事業対象校 小学校7校・中学校1校を除く)</td> </tr> <tr> <td>◎いきいき学級支援員配置校における通常学級で特別支援が必要な児童・生徒の割合</td> <td></td> <td style="text-align: right;">10.2%</td> </tr> <tr> <td>◎個別の指導計画の作成数</td> <td></td> <td style="text-align: right;">790人 (75.7%)</td> </tr> </table>			◎いきいき学級支援員配置校	小学校 15校 中学校 9校	(京都府特別支援教育充実事業対象校 小学校7校・中学校1校を除く)	◎いきいき学級支援員配置校における通常学級で特別支援が必要な児童・生徒の割合		10.2%	◎個別の指導計画の作成数		790人 (75.7%)
◎いきいき学級支援員配置校	小学校 15校 中学校 9校	(京都府特別支援教育充実事業対象校 小学校7校・中学校1校を除く)										
◎いきいき学級支援員配置校における通常学級で特別支援が必要な児童・生徒の割合		10.2%										
◎個別の指導計画の作成数		790人 (75.7%)										
<b>事業評価</b>	支援員の配置により特別支援教育体制を整備し、学習・生活の両面において課題の改善を図った。発達障害への対応について学校の役割は大きく、より効果的な支援体制を引き続き検討する。											

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	小中一貫教育推進費	所管課	学校教育課
		決算額	49,611千円
事業内容	<p>義務教育9年間の学びの連続性を意識した系統的、継続的な指導を行い、子どもたちの学習意欲を高め、確かな学力を身に付けさせることをねらいとした小中一貫教育を推進する。</p>		
成果・実績	<p>宇治黄檗学園に加えて西小倉中ブロック、南宇治中ブロック、広野中ブロックに「ラーニングコーディネーター」を、他の6ブロックには「チーフコーディネーター」を配置し、さらに全中学校ブロックで教科連携教員を配置して、系統的・継続的指導を進めた。</p> <p>また、小中一貫教育を推進するにあたり「宇治市小中一貫教育推進協議会」による取組状況の進行管理並びに各中学校ブロックでの広報・啓発を行った。</p> <p>◎小中一貫教育取組推進教員の配置 <span style="float: right;">49,033千円</span>                      小中一貫教育非常勤講師として、ラーニングコーディネーター及びチーフコーディネーターの後補充教員を全中学校ブロックに配置するとともに、府費小中連携教員配置校5校を除く中学校ブロックに教科連携教員を配置することで、系統的・継続的指導を進めた。</p> <p>◎宇治市小中一貫教育推進協議会 <span style="float: right;">164千円</span>                      学識経験者、保護者、地域関係団体、教職員により構成し、本市小中一貫教育の取組についての進行管理を行った。</p>		
事業評価	<p>各ブロックの小中一貫教育推進体制の整備を推進し、義務教育機関の系統性・継続性を考慮した指導を行った。これまでの一貫教育の手法や取組実績を活かした学力向上の取組を引き続き進める。</p>		

事務事業名	基礎学力課題支援費	所管課	学校教育課
		決算額	7,147千円
事業内容	<p>児童・生徒の基礎学力の定着・向上及び希望進路の実現を図るため、非常勤講師の配置及び補習授業・学習相談の実施、教材・参考図書の配付などを行う。</p>		
成果・実績	<p>小学校では、全校児童を対象に少人数指導及び個別指導、補習授業などを実施した。中学校では、全校生徒を対象にした授業支援とともに、希望者を対象とした補習授業及びテスト前の学習相談会などを実施した。</p> <p>指導方法及び指導機会の方策について全小・中学校へ啓発するとともに、児童・生徒の学力の充実、希望進路実現に向けて、教材・参考図書の配付等を行った。</p>		
事業評価	<p>基礎学力の課題支援のため、児童・生徒にきめ細かな指導を行い、学習意欲の向上と学力の充実を図るとともに、家庭と連携した取組を進めた。今後も学習相談及び授業改善などを進め、指導方法の工夫改善に向けた手法を検討する。</p>		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	「宇治学」推進事業費	所管課	学校教育課
		決算額	10,048千円
事業内容	本市小中一貫教育の特色ある教育活動として「総合的な学習の時間」を「宇治学」と称し、全ての小中学校で実施している。この「宇治学」の指導充実を図るため、小学校3年生から中学校3年生までの「宇治学」副読本を作成し、全校に配付する。また小学校での体験学習としての宇治茶学習への支援を実施する。		
成果・実績	<p>小学校5年生、中学校2・3年生(8・9年生)で宇治の特色及び課題などをテーマに、「探究的な学習」「協働的な学習」の学び方が出来るように副読本及び指導の手引きを作成及び配付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校5年生・・・「ふるさと宇治」をすべての人にやさしいまちに</li> <li>・中学校2年生・・・「ふるさと宇治」と生きる～これからの自分の生き方を考える～</li> <li>・中学校3年生・・・「ふるさと宇治」の未来～私たちができること～</li> <li>・市立小学校22校の全てで3年生を対象とした抹茶体験授業を実施</li> </ul>		
事業評価	「宇治学」(総合的な学習の時間)副読本及び指導の手引きを3学年で作成し、小学校3年生以上の全学年での指導に向けた環境整備を図った。今後は「宇治学」の授業がより充実したものとなるよう教員等の研修を強化し、児童・生徒の探求的学習の推進に努める。		

事務事業名	教育研究費	所管課	学校教育課																		
		決算額	611千円																		
事業内容	本市の学校教育において必要となる教育諸課題の解決と一層の教育内容の充実・振興に対応するため、教育研究員による実践研究を実施し、その成果を小中学校に還元する。																				
成果・実績	<p>5部会で教育研究を行い、その成果を公開授業及び研究冊子、教職員研修講座などにより報告した。また、平成30年度は府の委託事業として北宇治中学校が「学力向上システム開発校」に指定され、研究発表を行った。</p> <p>◎教育研究員部会と研究内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">設置部会</th> <th style="width: 15%;">部員数</th> <th style="width: 60%;">主な研究内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学力充実研究部</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td>小・中学校の学力充実・向上に関する研究</td> </tr> <tr> <td>宇治学研究部</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td>「宇治学」副読本活用に係る研究</td> </tr> <tr> <td>外国語活動研究部</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td>小中一貫教育に資する外国語活動の在り方の研究</td> </tr> <tr> <td>道徳教育研究部</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td>道徳的価値の内面的自覚を促す指導方法の研究</td> </tr> <tr> <td>情報教育研究部</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td>教科指導における効果的なICT活用に係る研究</td> </tr> </tbody> </table>			設置部会	部員数	主な研究内容	学力充実研究部	6	小・中学校の学力充実・向上に関する研究	宇治学研究部	4	「宇治学」副読本活用に係る研究	外国語活動研究部	6	小中一貫教育に資する外国語活動の在り方の研究	道徳教育研究部	6	道徳的価値の内面的自覚を促す指導方法の研究	情報教育研究部	5	教科指導における効果的なICT活用に係る研究
設置部会	部員数	主な研究内容																			
学力充実研究部	6	小・中学校の学力充実・向上に関する研究																			
宇治学研究部	4	「宇治学」副読本活用に係る研究																			
外国語活動研究部	6	小中一貫教育に資する外国語活動の在り方の研究																			
道徳教育研究部	6	道徳的価値の内面的自覚を促す指導方法の研究																			
情報教育研究部	5	教科指導における効果的なICT活用に係る研究																			
事業評価	教育研究員が日常の教育実践に基づき実践研究し、本市の学校教育における課題解決を図った。今後も成果を小中学校での活動にフィードバックし、教育力の向上につなげられるよう着実に取り組む。																				

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	講座等開催費	所管課	学校教育課																								
		決算額	321千円																								
事業内容	学校教育に係る体系的な教職員研修と校内研修の実施を促し、教職員の資質向上と学校教育の充実・発展を図る。																										
成果・実績	<p>◎一般研修</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">開催数</td> <td style="width: 20%;">20回</td> <td style="width: 20%;">受講者数</td> <td style="width: 20%;">665人</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">道徳教育公開授業講座、中堅教職員研修講座、人権教育研修講座など</td> </tr> </table> <p>◎専門研修</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">開催数</td> <td style="width: 20%;">3回</td> <td style="width: 20%;">受講者数</td> <td style="width: 20%;">64人</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">小学校外国語活動研修講座、中学校英語教育研修講座、小学校外国語活動公開授業講座</td> </tr> </table> <p>◎情報教育研修</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">開催数</td> <td style="width: 20%;">1回</td> <td style="width: 20%;">受講者数</td> <td style="width: 20%;">34人</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">情報教育研修講座</td> </tr> </table>			開催数	20回	受講者数	665人	道徳教育公開授業講座、中堅教職員研修講座、人権教育研修講座など				開催数	3回	受講者数	64人	小学校外国語活動研修講座、中学校英語教育研修講座、小学校外国語活動公開授業講座				開催数	1回	受講者数	34人	情報教育研修講座			
開催数	20回	受講者数	665人																								
道徳教育公開授業講座、中堅教職員研修講座、人権教育研修講座など																											
開催数	3回	受講者数	64人																								
小学校外国語活動研修講座、中学校英語教育研修講座、小学校外国語活動公開授業講座																											
開催数	1回	受講者数	34人																								
情報教育研修講座																											
事業評価	多くの教職員が研修に参加し、指導力の向上を図った。今後も重点とする目標の達成に向け、時代の求めに応じた様々な取組実施を検討する。																										

事務事業名	スクール・サイエンス・サポート事業費	所管課	学校教育課										
		決算額	548千円										
事業内容	京都大学宇治キャンパスとの連携協力により、児童・生徒の「知りたい」、「学びたい」という学力向上の第一歩となる科学に対する興味・関心を高める事業として、京都大学宇治キャンパスによる出前授業・公開授業、中学校部活動への支援、施設利用・見学などの取組を進める。												
成果・実績	<p>◎宇治市小学生理科教室（京都大学宇治キャンパス）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">・市立小学校5・6年生</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">93名</td> </tr> </table> <p>◎京都大学施設訪問（防災研究所・境界層風洞実験室）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">・防災研究所</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">北槇島小学校5年生 47名</td> </tr> </table> <p>◎京都大学出前講座</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">・南宇治中学校</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">南宇治中学校1年生 75名</td> </tr> </table> <p>◎宇治市中学生理科教室（エネルギー理工学研究所）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">・市立中学校理科部員</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">20名</td> </tr> </table> <p>◎理科教育研修会（京都大学宇治キャンパス）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">・市立小中学校教員</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">25名</td> </tr> </table>			・市立小学校5・6年生	93名	・防災研究所	北槇島小学校5年生 47名	・南宇治中学校	南宇治中学校1年生 75名	・市立中学校理科部員	20名	・市立小中学校教員	25名
・市立小学校5・6年生	93名												
・防災研究所	北槇島小学校5年生 47名												
・南宇治中学校	南宇治中学校1年生 75名												
・市立中学校理科部員	20名												
・市立小中学校教員	25名												
事業評価	京都大学宇治キャンパスとの連携により、児童生徒の興味・関心、学びへの意欲を高める取組を実施した。今後も引き続き同キャンパスとの連携を図り、児童生徒の学習意欲の向上や教員の教育活動の支援につながる取組を検討する。												



## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	小・中学校特別支援教育費	所管課	学校教育課																
		決算額	8,157千円																
事業内容	特別な支援を必要とする児童・生徒の就学を保障するため、特別支援学級等の運営を行う。また、特別支援学級在級児童・生徒の保護者の経済的負担軽減を図り、義務教育を保障するため、就学奨励費の支給事業を行う。																		
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">◎小学校特別支援教育費</td> <td style="text-align: right;">3,534千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">うち扶助費</td> <td style="text-align: right;">3,213千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">うち備品等</td> <td style="text-align: right;">321千円</td> </tr> <tr> <td>◎中学校特別支援教育費</td> <td style="text-align: right;">1,733千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">うち扶助費</td> <td style="text-align: right;">1,522千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">うち備品等</td> <td style="text-align: right;">211千円</td> </tr> </table> <p>小学校21校41学級、中学校10校22学級の特別支援学級を設置し、児童・生徒の発達促進と学力充実に努めるとともに、就学奨励費を支給した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">◎小学校特別支援学級開設費</td> <td style="text-align: right;">1,968千円</td> </tr> <tr> <td>◎中学校特別支援学級開設費</td> <td style="text-align: right;">922千円</td> </tr> </table>			◎小学校特別支援教育費	3,534千円	うち扶助費	3,213千円	うち備品等	321千円	◎中学校特別支援教育費	1,733千円	うち扶助費	1,522千円	うち備品等	211千円	◎小学校特別支援学級開設費	1,968千円	◎中学校特別支援学級開設費	922千円
◎小学校特別支援教育費	3,534千円																		
うち扶助費	3,213千円																		
うち備品等	321千円																		
◎中学校特別支援教育費	1,733千円																		
うち扶助費	1,522千円																		
うち備品等	211千円																		
◎小学校特別支援学級開設費	1,968千円																		
◎中学校特別支援学級開設費	922千円																		
事業評価	就学奨励費の支給及び物品の購入などを実施し、特別な支援を必要とする児童・生徒の教育機会の確保を図った。引き続き、事業実施に努める。																		

事務事業名	小・中学校「総合的な学習の時間」推進費	所管課	学校教育課														
		決算額	10,695千円														
事業内容	画一的な授業ではなく、地域及び子どもの実態に応じて各学校が創意工夫し、特色ある教育活動を展開する。国際理解、環境、情報、福祉、健康など従来の教科等の枠を超えた横断的、総合的な学習をより円滑に実施する。																
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">◎小学校「総合的な学習の時間」推進費</td> <td style="text-align: right;">5,580千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">主な学習内容</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">・国際（異文化）理解</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">・キャリア教育</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎中学校「総合的な学習の時間」推進費</td> <td style="text-align: right;">5,115千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">主な学習内容</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">・国際（異文化）理解</td> <td></td> </tr> </table>			◎小学校「総合的な学習の時間」推進費	5,580千円	主な学習内容		・国際（異文化）理解		・キャリア教育		◎中学校「総合的な学習の時間」推進費	5,115千円	主な学習内容		・国際（異文化）理解	
◎小学校「総合的な学習の時間」推進費	5,580千円																
主な学習内容																	
・国際（異文化）理解																	
・キャリア教育																	
◎中学校「総合的な学習の時間」推進費	5,115千円																
主な学習内容																	
・国際（異文化）理解																	
事業評価	社会人講師等によって従来の授業とは異なる総合的な学習を実施し、幅広い教育振興を図った。今後は「宇治学」副読本を活用する中で、体験的な学習機会の提供に向けた実施手法について検討する。																

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

<b>事務事業名</b>	小学校コンピュータ教育充実事業費	<b>所管課</b>	学校教育課
		<b>決算額</b>	60,654千円
<b>事業内容</b>	市立小学校のコンピュータ教室におけるICT環境を整備し、活用を図ることにより、授業内容の充実や学習意欲の向上等を目指す。		
<b>成果・実績</b>	市立小学校22校におけるコンピュータ教室の指導用端末、児童用端末の利用環境の確保と、教育用無線端末機器の更新および無線LAN環境の整備を行った。		
	◎小学校コンピュータシステム周辺機器一式貸借	49,766千円	
	◎小学校無線LAN機器及び教育用無線端末貸借	10,888千円	
<b>事業評価</b>	各校においてICT教育を推進し、場所を限定しない学習環境を整備し、授業内容の充実や学習意欲の向上に努めた。合わせて小学校におけるプログラミング教育の必修化を見据え、ICTを活用した手法の検討により一層取り組む。		

<b>事務事業名</b>	私立幼稚園就園助成費補助金	<b>所管課</b>	学校教育課																				
		<b>決算額</b>	247,985千円																				
<b>事業内容</b>	宇治市内に居住し、私立幼稚園に就園する園児の保護者に対し、国庫補助基準額による所得基準に応じて助成を行うことにより、保護者の経済的負担軽減と幼稚園教育の振興を図る。また、多子世帯支援事業として、府補助制度を活用し、保育料に係る多子計算の年齢制限を小学校3年生までから満18歳未満までに拡大し、第3子以降の保育料無償化を行う。																						
<b>成果・実績</b>	◎私立幼稚園就園助成費補助金 240,197千円 (うち、市単独事業分 5,646千円)																						
	◎多子世帯支援事業費 7,779千円																						
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">助成者数 (人)</th> </tr> <tr> <th>就園助成費補助金</th> <th>多子世帯支援事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>満3歳児</td> <td>146</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>3歳児</td> <td>509</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>4歳児</td> <td>538</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>5歳児</td> <td>534</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,727</td> <td>94</td> </tr> </tbody> </table>			区分	助成者数 (人)		就園助成費補助金	多子世帯支援事業費	満3歳児	146	3	3歳児	509	19	4歳児	538	35	5歳児	534	37	合計	1,727	94
区分	助成者数 (人)																						
	就園助成費補助金	多子世帯支援事業費																					
満3歳児	146	3																					
3歳児	509	19																					
4歳児	538	35																					
5歳児	534	37																					
合計	1,727	94																					
	※満3歳児は3歳の誕生日を迎えた園児																						
<b>事業評価</b>	国庫補助基準に沿って適正に助成し、保護者の経済的負担を軽減した。国の動向を注視し、今後も適正な助成を行う。																						

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	幼稚園預かり保育事業費	所管課	学校教育課
		決算額	2,061千円
事業内容	市立幼稚園の教育課程に係る教育時間終了後に、在籍園児のうち希望する者を対象に預かり保育を行う。		
成果・実績	<p>市立幼稚園2園（神明幼稚園、木幡幼稚園）において、園の開園日に預かり保育を試行実施した。</p> <p>実施時間：月・火・木・金 14:00～17:00  水 11:45～17:00</p> <p>利用料：1時間200円（上限1,000円/日）</p> <p>利用人数（のべ）：神明幼稚園 369人  木幡幼稚園 554人</p>		
事業評価	市立幼稚園2園で、預かり保育を試行実施した。利用状況等を把握、分析する中で、今後の事業のあり方について検討を行う。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

<b>事務事業名</b>	青少年電話相談活動費	<b>所管課</b>	教育支援課														
		<b>決算額</b>	3,735千円														
<b>事業内容</b>	青少年の人的成長を育むため、市民ボランティア相談員が電話で青少年問題に係る相談を受ける。																
<b>成果・実績</b>	<p>午前9時から午後5時まで3交替制で242日、相談を実施した。相談内容は「教育」のほか「健康」、「家族」、「人生」についての相談があった。</p> <p>◎相談件数推移 (件)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>25</th> <th>26</th> <th>27</th> <th>28</th> <th>29</th> <th>30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>471</td> <td>668</td> <td>519</td> <td>551</td> <td>414</td> <td>611</td> </tr> </tbody> </table>			年度	25	26	27	28	29	30	件数	471	668	519	551	414	611
年度	25	26	27	28	29	30											
件数	471	668	519	551	414	611											
<b>事業評価</b>	青少年及び保護者が相談しやすい環境を整備し、青少年の健全育成を図った。市民ニーズ及び相談状況等を踏まえ、他の制度との連携した今後の事業のあり方について検討する。																

<b>事務事業名</b>	学校支援チーム活動費	<b>所管課</b>	教育支援課
		<b>決算額</b>	9,827千円
<b>事業内容</b>	いじめ及び不登校といった教育課題への取組を推進するため、学校現場のみでは解決困難な問題について、組織的、体系的な支援を行う。		
<b>成果・実績</b>	<p>学校現場のみでは解決が困難であったり、解決にあたり時間を要したりする問題について、専門的な助言及び支援を行い、現場の教職員が幼児、児童・生徒と向き合う時間をより一層確保できるように、社会福祉士、臨床心理士などの専門家を交えた「宇治市学校支援チーム」を設置するとともに、顧問弁護士及びスクールソーシャルワーカーにより、学校支援の取組を進めた。</p> <p>◎支援チーム会議開催数 11回</p>		
<b>事業評価</b>	学校現場の円滑な運営のため、専門家による学校支援チームを設置し、スクールソーシャルワーカーと連携を図り学校現場で起こる困難事例に対し、専門的・組織的な支援を行った。今後も効果的な学校支援に努める。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	03 総合的に進める教育の充実	

事務事業名	少年補導活動費	所管課	教育支援課
		決算額	5,153千円
事業内容	少年補導委員を中心に、街頭補導活動、社会環境浄化活動、市民啓発活動などを実施し、地域での青少年非行の未然防止に努め、青少年の健全育成を図る。		
成果・実績	<p>少年補導委員として114人を委嘱し、毎月の校区補導、特別ブロック補導、県祭りでの全体補導、パネル展、地域懇談会、社会環境調査、浄化活動などを実施した。</p> <p>◎啓発パネル展 2回開催 (7月4日～7月11日、11月1日～11月9日)</p> <p>◎地域懇談会（校区の小・中学校及び育友会・PTAと共催） ・7中学校区で開催 (3中学校区は気象警報発表のため中止)</p>		
事業評価	警察と連携し、地域住民を主体とする見回り活動等を実施し、青少年の非行の未然防止に取り組んだ。各種団体と連携を図り、引き続き活動の維持・活性化に努める。		

事務事業名	中学生の主張大会開催費	所管課	教育支援課
		決算額	797千円
事業内容	宇治市教育委員会・宇治市青少年健全育成協議会・宇治市連合育友会の共催により、中学生、保護者、市民などが参加し、各中学校の代表生徒が主張を発表して互いに学び合う機会とするとともに、市民全般に中学生への理解と認識を深め、青少年の健全育成を推進する。		
成果・実績	<p>中学生が考え、悩み、求めていることを発表することにより、市民の青少年に対する理解と認識を深めるため、「第37回宇治市『中学生の主張』大会」を開催した。</p> <p>◎開催日 11月10日 ◎開催場所 宇治市文化センター大ホール ◎発表者数 中学生11人 ◎参加者数 523人</p> <div style="text-align: right;">  </div>		
事業評価	中学生が学校、家庭、地域生活の中で感じたことを発表することで、同世代の青少年の学び合いと、市民の中学生に対する理解と認識の促進を図った。今後は一般参加者の増加を目指し、事業実施の手法を検討する。		







# 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	03 歴史資料の充実と古典文化の普及	

<b>事務事業名</b>	企画展示費	<b>所管課</b>	源氏物語ミュージアム
		<b>決算額</b>	3,335千円

**事業内容** 話題性のある企画展の開催はミュージアムの広報・宣伝にもつながり、企画展を目的としたリピーターを含む来館者を誘致する。館藏品のみではなく、他館及び関係者から作品・資料を借用し、毎回テーマを決めて魅力ある展示を行う。

**成果・実績**

様々な視点から趣向を凝らし、源氏物語及び平安時代の文化を紹介する展示を行った。リニューアルオープンと開館20周年を記念して、「錦絵」「源氏香」という親しみやすいテーマで特別企画展を開催した。

◎宇治市歴史資料館合同企画 お茶と名所と宇治と  
 ・平成30年2月21日～5月13日  
 歴史資料館と合同で、宇治の伝統産業で日本遺産にも認定された宇治茶の歴史や関連する名所を紹介した。ギャラリートークも実施した。

◎源氏絵鑑帖パネル展  
 ・5月16日～7月16日  
 当館所蔵の伝土佐光則筆「源氏絵鑑帖」は、巻一桐壺から巻五十四夢浮橋までの各巻1場面ずつ描かれている。本作品を大型パネルであらすじとともに紹介した。

◎リニューアルオープン記念特別企画展  
 宇治の名所と旅する光氏  
 ・9月14日～11月18日  
 江戸時代後期、『源氏物語』を翻案した『修紫田舎源氏』が出版され、主人公足利光氏を描いた錦絵も評判となった。宇治をはじめ、各地の名所を訪れた主人公を描いた錦絵を紹介した。

◎開館20周年記念特別企画展  
 源氏香 ―そのデザインと広がり―  
 ・11月21日～平成31年3月24日  
 江戸時代初期、香の世界で「源氏香」という組香が考案され、そのデザインは様々なものにも使用された。「松栄堂 松寿文庫」の協力を得て、「源氏香」のデザインとその広がりを紹介した。関連事業として講演会を開催し、さらに理解を深める機会を提供した。

◎源氏絵 ♥ 小林等展  
 ・平成31年3月27日～6月30日  
 当館所蔵の日本画家・小林等の描く『源氏物語』五十四帖の日本画全作品を紹介した。



**事業評価** 毎回テーマを工夫した話題性のある企画展を開催し、観覧者に満足度の高い展示を提供することができた。今後も他機関等と連携を図り、魅力ある企画展の開催に努めるとともに、積極的な広報を展開し、リピーターを含む来館者数の増加を図る。

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	03 歴史資料の充実と古典文化の普及	

事務事業名	源氏物語ミュージアムリニューアル事業費	所管課	源氏物語ミュージアム
		決算額	139,996千円
事業内容	国内外の多くの来館者が、源氏物語と平安時代の文化に親しめる施設として、施設全体の充実を目指し、開館20周年の平成30年に2回目のリニューアルを実施した。		
成果・実績	<p>9月14日に「観光」と「生涯学習」の拠点としてリニューアルオープンした。</p> <p>また、新作オリジナルアニメ映画「GENJI FANTASY ネコが光源氏に恋をした」が完成し、平成31年4月から公開している。</p>		
事業評価	開館20周年を迎え、「ここでしかできない体験」をコンセプトに新しい展示資料を導入し、施設のリニューアルを行った。平成31年4月から新作アニメを上映、引き続きさらなる来館者の増加を図る。		



事務事業名	源氏物語ミュージアム広報活動費	所管課	源氏物語ミュージアム
		決算額	2,502千円
事業内容	「源氏物語をテーマとしたまちづくり」の中核的役割を担う施設として、初めての来館者の獲得をはじめ、リピーターの増加を目指し、広報宣伝活動を行う。		
成果・実績	9月のリニューアルオープンに合わせWEB広告を掲載する他、主要駅にはポスターやデジタルサイネージ広告を掲載した。また、修学旅行団体向け定番誌に紹介文と広告を掲載した。さらに、年間を通して訪日外国人観光客を対象とした情報誌に広告を掲載する等、年間を通して、計画的に効果的な広報を展開した。		
事業評価	リニューアルオープンの時期に合わせ、多彩な広報活動を計画的に展開した。さらなる国内外からの来館者の増加に向け、効果的な広報に努める。		

# 平成30年度決算成果説明書

<b>総合計画の体系</b>		<b>所管部局</b>
<b>大分類</b>	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
<b>中分類</b>	02 生涯学習の充実	
<b>小分類</b>	03 歴史資料の充実と古典文化の普及	

<b>事務事業名</b>	講座等開催費	<b>所管課</b>	源氏物語ミュージアム
		<b>決算額</b>	571千円
<b>事業内容</b>	源氏物語及び平安時代の文化について、より理解を深めるために、講演会及び講座などを実施する。ミュージアムの展示を観覧し、源氏物語及び平安時代の文化について、興味及び関心を抱いた来館者のニーズに応え、さらに学ぶ機会を提供するとともに、より多くの人にミュージアムの存在を知ってもらうきっかけをつくる。		
<b>成果・実績</b>	<p>連続講座や源氏物語セミナーは、最新の研究を織り交ぜた講義により、深く学べる場と古典に親しむ機会を提供した。また、開館20周年記念事業とし、従来の参加・体験型事業を拡充し、能楽の素謡、仕舞を通して、古典の魅力を紹介した。</p> <p>◎連続講座「光源氏に迫る 一栄華、憂い、そして愛―」（全10回） ・5月～平成31年3月 参加者数 延べ1,100人</p> <p>◎入門講座「六条院の四季」（全8回） ・6月～平成31年3月 参加者数 延べ932人</p> <p>◎源氏物語セミナー「お風呂で源氏物語 一古典をみぢかに感じる方法―」 ・10月13日 参加者数 94人</p> <p>◎開館20周年記念「宇治を謡う源氏を舞う」 ・平成31年1月27日 参加者数 131人</p>		
<b>事業評価</b>	参加・体験できる講座をはじめ多くの学習機会を提供したことで、源氏物語及び平安時代の文化への理解を深めることができた。今後も多様な事業展開により、新たな参加者の獲得に努める。		



# 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	生涯学習センター講座等開催費	所管課	生涯学習センター
		決算額	953千円

事業内容	宇治市教育振興基本計画に基づき、生涯学習センター及び公民館などで、市民のライフステージに対応した講座・事業を実施し、学習の機会を提供する。
------	---

各種講座を実施し、学習機会の確保及び学習情報提供の充実など生涯学習を推進した。

◎社会・時代の変化に対応する講座

事業名	回数	参加人数
環境講座「日本の生態系はどうなるのか」	2	40
インターネットを使用した講座 「ごみゼロレシピでごみ減量！」	1	-
暮らしに役立つ金融経済講座	1	158

◎青少年を対象とする講座・事業

事業名	回数	参加人数
夏休み子ども★わくわくフェア（2日間）	1	2,135
こども漢字講座	2	19

成果・実績



夏休み子ども★わくわく  
フェアでの調理実習



妖怪の文化

◎教養講座

事業名	回数	参加人数
古代史講座「平安京を騒がせた事件」	1	34
日本の建築を学ぶ講座	1	22
妖怪の文化 宇治にまつわる怪異	1	44
NHK公開講演会 特別展覧会「京のかたな－京文化と刀工たち－」	1	166

◎映画鑑賞事業

事業名	回数	参加人数
第21回バリアフリー映画上映会「星めぐりの町」	1	350

# 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	生涯学習センター講座等開催費	所管課	生涯学習センター
		決算額	953千円

成果・実績	◎生涯学習団体等の育成・人材養成と活用		
	事業名	回数	参加人数
	センター協力者・グループ交流会	1	21
	ロビー展 ミニ講習会	6	87
	うじ市民活動サポート事業（4事業）	8	143
	はじめよう！セカンドライフ	4	74
	パッと目をひく！チラシのいろは	3	69
	◎家庭の教育力向上のための講座		
	事業名	回数	参加人数
	おやこっころんど	11	749
中学生の福祉体験事業の受け入れ	1	9	
小学生の親のための講座 「我が子は大丈夫？気になる子どもの体育嫌い」	2	27	
思春期講座「変化する子どもに寄り添う」	2	66	
	はじめよう！セカンドライフ		
	小学生の親のための講座		

事業評価	幅広い世代に向けた多彩な講座等を開催し、市民の生涯学習の充実、地域での市民交流、地域で活動する人材の育成を図った。今後も引き続き市民ニーズを把握し、市民が主体的に生涯学習に取り組む機会が提供できるように努める。
------	---

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局	
<b>大分類</b>	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち		教育部
<b>中分類</b>	02 生涯学習の充実		
<b>小分類</b>	01 生涯学習の推進		

<b>事務事業名</b>	市民まなびの集い（宇治まなびんぐ）	<b>所管課</b>	生涯学習センター
		<b>決算額</b>	252千円
<b>事業内容</b>	<p>「つながれ・ひろがれ・まなびの“わ”」をテーマに、生涯学習に取り組んでいる人々の日常活動の発表と交流、及びこれから何かを始めたい人にきっかけづくりの場を提供するため、「市民まなびの集い（宇治まなびんぐ）」を開催する。</p>		
<b>成果・実績</b>	<p>市民公募による実行委員会形式によって、「宇治まなびんぐ2019」を平成31年2月16日・17日に開催した。例年と同じく、実行委員が準備及び当日の運営を主体的に行った。また、当日ボランティアが出展者補助等を積極的に行った。</p> <p>両日の参加団体・個人（出展数）41、参加者延べ人数は約1,500人を数えた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>パソコン画で遊ぼう</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>宇治山城の昔話の紙芝居</p> </div> </div>		
<b>事業評価</b>	<p>市民主体で生涯学習の発表の場を設置し、学習意欲の向上と市民相互の交流を進めた。参加体験型を中心にさらなる充実を図り、出展者、参加者、実行委員という様々な形で生涯学習の喜びを味わうことができる事業として、今後の充実に努める。</p>		

# 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	図書館資料提供費等	所管課	各図書館		
		決算額	19,994千円		
事業内容	地域の知識・情報の拠点として、図書・雑誌・新聞をはじめ、郷土資料・行政資料など様々な情報を収集し、適切に管理保存するとともに利用者ニーズに応じた的確に提供することにより、利用者の読書活動・生涯学習・調査研究や課題解決を支援する。				
成果・実績	◎中央図書館資料提供費 12,264千円 ◎東宇治図書館資料提供費 3,865千円 ◎西宇治図書館資料提供費 3,865千円				
	◎資料数				
	館名	購入冊数	年度末蔵書数 (冊)	購入雑誌 (誌)	購入新聞 (紙)
	中央図書館	4,950	188,585	76	10
	東宇治図書館	1,946	65,213	48	8
	西宇治図書館	2,217	73,827	46	8
	合計	9,113	327,625	170	26
	◎利用状況				
	館名等	貸出点数	延べ貸出者数	登録者数	市民登録率 (%)
	中央図書館	404,775	93,564	68,344	36.1
東宇治図書館	185,776	44,226			
西宇治図書館	200,040	51,467			
団体貸出	6,314	—			
合計	796,905	189,257			
◎団体貸出					
15団体（地域文庫・家庭文庫、笠取地区、青少年センター）に、4,889冊の貸出を行った。 20団体（幼稚園、小・中学校）に、1,425冊の貸出を行った。					
◎予約配本サービス					
図書館から遠い地域の利用者へのサービス向上を図るため、予約図書を週1回、6カ所の配本所に搬送し、16,851冊の貸出を行った。					
◎資料の活用（リサイクル事業：年1回）					
図書館資料の有効活用を図るため「リサイクル市」を10月14日に開催し、除籍した図書や保存期限の過ぎた雑誌などを市民に提供した。 リサイクルした冊数 7,125冊					



# 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

<b>事務事業名</b>	図書館資料提供費等	<b>所管課</b>	各図書館
		<b>決算額</b>	19,994千円

<b>成果・実績</b>	◎おはなし会（出張おはなし会を含む）				
	館名	回数	参加者数	内容	
	中央図書館	22	501	絵本の読み聞かせ、紙芝居、ペーパーサートなど	
	東宇治図書館	22	421		
	西宇治図書館	13	100		
	◎学校等連携				
	館名	図書館見学 (小学校・幼稚園等)		中学生の 職場体験学習	
		学校等数 (校・園)	参加者数	学校数 (校)	人数
	中央図書館	9	650	5	10
	東宇治図書館	4	379	1	2
	西宇治図書館	4	306	2	4

<b>事業評価</b>	幅広く資料を収集するとともに、豊富な知識・情報の提供を行い、市民の生涯学習を促進することができた。今後も適切に運営しながら、多様なニーズへの対応に努める。
-------------	---



## 平成30年度決算成果説明書

<b>総合計画の体系</b>		<b>所管部局</b>
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	03 歴史資料の充実と古典文化の普及	

<b>事務事業名</b>	展示活動費	<b>所管課</b>	歴史資料館
		<b>決算額</b>	1,724千円
<b>事業内容</b>	本市の歴史に関する多様なテーマについて、調査・研究成果を市民に還元し、後世に伝えるため、特別展、企画展及び関連事業を実施する。開館以来収集してきた資料を中心に、原物資料、写真パネル、映像資料を組み合わせ、市民が親しみやすい展示に努める。		
<b>成果・実績</b>	宇治の歴史及び文化財に関する様々な視点からテーマを設定し、展覧会を開催した。		
	◎特別展		
	展覧会名	会期	入館者数
	幕末明治・京都遊覧－銅版画の世界－	9月29日～11月18日	1,893人
	◎記念講演会「銅版画に描かれた京都－近代への模索－」		
	・講師：小林丈広（同志社大学教授） ・開催月日：10月30日 ・参加者数43人		
◎企画展			
展覧会名	会期	目録配布数	
宇治茶の民具と古文書	5月12日～6月24日	362	
宇治電・天ヶ瀬・巨椋池/戦争遺品展 戦時下のくらし	7月14日～9月9日	594	
ちょっと昔の街と暮らし－再現昭和の茶の間－	12月1日～31年2月3日	592	
名所図会の世界/宇治山と宇治古墳群	31年2月23日～4月21日	718	
入場者推計：11,000人			
<b>事業評価</b>	市民が宇治の歴史や文化を身近に感じられるテーマを選び、特別展及び企画展を実施した。市民が歴史資料に親しむ機会を提供し、宇治の歴史や文化について理解を深めることができるよう、今後も工夫を凝らした展示の実施と広報等による入館者数の増加に努める。		

<b>事務事業名</b>	教育普及活動費	<b>所管課</b>	歴史資料館
		<b>決算額</b>	122千円
<b>事業内容</b>	歴史講座、古文書講習会等を開催し、調査・研究成果を広く公開する。講師は、他の博物館及び大学などからも迎えて市民の歴史研究に資するとともに、博物館活動への理解を深める。		
<b>成果・実績</b>	歴史講座と古文書講習会等を開催し、あわせて延べ333人の参加があった。		
	種別	開催日	テーマ
	歴史講座	8月4日	明治の外国人旅行者たち －憧れの京都そして宇治－
	歴史連続講座	11月15日	銅版画の魅力 －宇治はどのように描かれたか－
		12月6日	史料はかたる!宇治の橋姫
	古文書講習会	31年1月23日 ～31日(4日)	くずし字いろいろ
上記のほか、ギャラリートーク等展覧会関連事業を実施した。			
・事業数：12回 ・参加者数：109人			
<b>事業評価</b>	各講座を開催し、宇治の歴史と文化について市民が理解を深めることができた。今後も多様なテーマの講座を検討し、市民に対する学習機会の提供に努める。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	01 生涯学習の推進	

<b>事務事業名</b>	善法青少年センター活動費	<b>所管課</b>	善法青少年センター
		<b>決算額</b>	2,030千円
<b>事業内容</b>	<p>人権が尊重される豊かな社会の実現に向けて、青少年の教育・文化の向上、健全育成を目的に、学習・文化活動、体育・スポーツ・レクリエーション活動などのセンター事業を行う。</p>		
<b>成果・実績</b>	<p>◎学習・文化活動 書道教室、えいごくらぶ、手作り教室、料理教室、体験合宿、学習会などを実施した。</p> <p style="text-align: center;">・実施回数 282回                      ・参加者数 2,462人</p> <p>◎体育・スポーツ・レクリエーション活動 親子レクリエーション、スポーツクラブ、お楽しみ会、体験シリーズ、おもしろパーティーなどを実施した。</p> <p style="text-align: center;">・実施回数 27回                              ・参加者数 470人</p>		
<b>事業評価</b>	<p>各種活動を通じ、青少年の生きる力を育み、健全育成と地域文化活動及び学習の促進を図った。より多くの子どもの参加を促すため、今後も引き続き事業内容の工夫に努める。</p>		

<b>事務事業名</b>	河原青少年センター活動費	<b>所管課</b>	河原青少年センター
		<b>決算額</b>	1,132千円
<b>事業内容</b>	<p>人権が尊重される豊かな社会の実現に向けて、青少年の教育・文化の向上、健全育成を目的に、学習・文化活動、体育・スポーツ・レクリエーション活動などのセンター事業を行う。</p>		
<b>成果・実績</b>	<p>◎学習・文化活動 えいごであそぼ、工作教室、お茶教室、音楽教室、体験学習、百人一首大会、活動発表会などを実施した。</p> <p style="text-align: center;">・実施回数 102回                              ・参加者数 1,173人</p> <p>◎体育・スポーツ・レクリエーション活動 ダンス教室、アウトドア教室、カメレオン・パニック、チャレンジクリスマスなどを実施した。</p> <p style="text-align: center;">・実施回数 16回                                      ・参加者数 818人</p>		
<b>事業評価</b>	<p>各種活動を通じ、青少年の生きる力を育み、健全育成と地域文化活動及び学習の促進を図った。より多くの子どもの参加を促すため、今後も引き続き事業内容の工夫に努める。</p>		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局	
<b>大分類</b>	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部	
<b>中分類</b>	02 生涯学習の充実		
<b>小分類</b>	01 生涯学習の推進		

<b>事務事業名</b>	大久保青少年センター活動費	<b>所管課</b>	大久保青少年センター
		<b>決算額</b>	1,710千円
<b>事業内容</b>	青少年の「生きる力」を育み、豊かな人間性及び協調性を養うことを目的に、文化・芸術・スポーツなどの活動事業を実施する。また、各種教室・催し物の開催及びこどもクラブでの活動の育成指導を行う。		
<b>成果・実績</b>	子どもたちの参加意識が高くなっており、目的をもったのびのびと主体的に活動する場面が多くなった。また子どもたちは学校、学年、地域を越えて友達関係の輪を広げることができた。		
	◎教室・各種事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数            38回</li> <li>・参加者数            1,957人</li> </ul>		
	◎こどもクラブ <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数            147回</li> <li>・参加者数            2,173人</li> </ul>		
			
	新春三世代交流会（茶道クラブ）の様子		
<b>事業評価</b>	各種活動を通じ、青少年の生きる力を育み、健全育成と地域文化活動及び学習の促進を図った。より多くの子どもの参加を促すため、今後も引き続き事業内容の工夫に努める。		

## 平成30年度決算成果説明書

<b>総合計画の体系</b>		<b>所管部局</b>
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	消防本部
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応	
小分類	02 消防・救急の充実	

<b>事務事業名</b>	消防団活動費	<b>所管課</b>	消防総務課
		<b>決算額</b>	37,897千円
<b>事業内容</b>	消防団の任務は、火災等あらゆる災害から市民の生命、身体及び財産を守ることであり、消防精神を養うため日頃から教養訓練、研修などを逐次実施し、知識技能の向上を図って火災予防を推進し、災害のないまちづくりに努める。		
<b>成果・実績</b>	◎消防団員の報酬                    377人        12,844千円 ◎消防団員退職報償金                10人        4,291千円 ◎出場費用弁償                        延べ5,517人    8,568千円 ◎小型動力ポンプ式の整備                1,730千円 ◎京都府消防協会宇城久支部負担金等    646千円		
<b>事業評価</b>	消防団によるきめ細やかな予防活動・啓発活動を実施し、地域一体となった安全・安心なまちづくりの推進を図ることができた。「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」に基づき、今後も積極的な広報を通じた消防団員の確保等により、消防団活動の活性化を図り、災害のないまちづくりに努める必要がある。		

<b>事務事業名</b>	職員教養研修費	<b>所管課</b>	消防総務課																																												
		<b>決算額</b>	2,486千円																																												
<b>事業内容</b>	全国消防長会のほか、総務省消防大学校、京都府立消防学校が実施する各種の教養資格講習等を受講し、消防職員の知識、技能を向上させる。																																														
<b>成果・実績</b>	◎研修実績（主なもの） <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">研修内容</th> <th style="width: 30%;">場所</th> <th style="width: 15%;">期間（日）</th> <th style="width: 25%;">人数（人）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初任教育</td> <td>京都府立消防学校</td> <td>114</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>専科教育 救助科</td> <td>京都府立消防学校</td> <td>20</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>専科教育 警防科</td> <td>京都府立消防学校</td> <td>10</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>専科教育 特殊災害科</td> <td>京都府立消防学校</td> <td>7</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>専科教育 予防査察科</td> <td>京都府立消防学校</td> <td>10</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>専科教育 危険物科</td> <td>京都府立消防学校</td> <td>5</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>専科教育 火災調査科</td> <td>京都府立消防学校</td> <td>10</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>幹部教育 初級幹部科</td> <td>京都府立消防学校</td> <td>10</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>消防大学校 救助科</td> <td>東京都消防大学校</td> <td>52</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>近畿救急医学研究会</td> <td>京都府・大阪府・兵庫県</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>			研修内容	場所	期間（日）	人数（人）	初任教育	京都府立消防学校	114	1	専科教育 救助科	京都府立消防学校	20	1	専科教育 警防科	京都府立消防学校	10	1	専科教育 特殊災害科	京都府立消防学校	7	1	専科教育 予防査察科	京都府立消防学校	10	1	専科教育 危険物科	京都府立消防学校	5	1	専科教育 火災調査科	京都府立消防学校	10	1	幹部教育 初級幹部科	京都府立消防学校	10	1	消防大学校 救助科	東京都消防大学校	52	1	近畿救急医学研究会	京都府・大阪府・兵庫県	4	4
研修内容	場所	期間（日）	人数（人）																																												
初任教育	京都府立消防学校	114	1																																												
専科教育 救助科	京都府立消防学校	20	1																																												
専科教育 警防科	京都府立消防学校	10	1																																												
専科教育 特殊災害科	京都府立消防学校	7	1																																												
専科教育 予防査察科	京都府立消防学校	10	1																																												
専科教育 危険物科	京都府立消防学校	5	1																																												
専科教育 火災調査科	京都府立消防学校	10	1																																												
幹部教育 初級幹部科	京都府立消防学校	10	1																																												
消防大学校 救助科	東京都消防大学校	52	1																																												
近畿救急医学研究会	京都府・大阪府・兵庫県	4	4																																												
<b>事業評価</b>	国・京都府等が実施する各種教育課程の受講及び各種免許・資格習得により、職員の知識・技能の向上を図ることができた。今後も複雑多様化している災害等に適格に対応するため、計画的な職員の知識・技能のさらなる向上に努める必要がある。																																														

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	01 環境に配慮した安全・安心のまち	消防本部
<b>中分類</b>	02 安全・安心なまちづくりへの対応	
<b>小分類</b>	02 消防・救急の充実	

<b>事務事業名</b>	防火意識啓発費	<b>所管課</b>	予防課
		<b>決算額</b>	570千円
<b>事業内容</b>	<p>市内における火災の発生防止を図るとともに、市民に火災時の対応等について啓発・指導を図り、防火等への関心を高めることによって、安全・安心で住みよい災害に強いまちづくりを推進する。また、防火啓発チラシ等を配布することにより、市及び消防を身近なものとし、より相談しやすく親しみやすい環境づくりを目指す。</p>		
<b>成果・実績</b>	<p>事業所への防火啓発ポスター、消防の仕事について学ぶ小学生への防火読本を作成配布することにより、市民への防火啓発や火災予防意識の高揚を図り、火災の発生防止に努めた。</p> <p>また、市民に訓練の重要性及び初期消火における消火器の有効性を認識してもらうため、町内会等の消火訓練に使用した消火器及び初期消火に使用された消火器に対し、消火薬剤の補填を行うことにより火災予防意識の高揚に努めた。</p>		
<b>事業評価</b>	<p>防火啓発ポスター及び小学生への防火読本の作成配布などを実施することにより、火災予防への意識高揚及び火災発生の防止効果につなげることができた。今後もより効果的な啓発等に努め、引き続き火災予防意識の高揚を図る必要がある。</p>		

<b>事務事業名</b>	消防水利維持管理・拡充事業費	<b>所管課</b>	警防救急課
		<b>決算額</b>	10,487千円
<b>事業内容</b>	<p>消火活動において、消防水利が有効に活用できるように維持管理するとともに必要に応じ修繕を行う。また、市街地における水利不便地に消火栓等を新設し、消防水利の充実を図る。</p>		
<b>成果・実績</b>	<p>火災時に活用する消防水利等の維持管理、新設を行った。</p> <p>◎消火栓維持管理 消火栓維持管理として、市内の13地区において、消火栓24基の維持管理に係る工事を行った。</p> <p>◎消防水利新設 消火栓新設工事実施計画分として、広野町地区・宇治町区にて各1基を設置した。</p> <p>◎防火水槽修繕 防火水槽改修工事として、広野町地区・伊勢田町にて各1基について実施した。</p>		
<b>事業評価</b>	<p>消火栓の補修・改修及び新設をすることにより、消防水利を確保し、火災へ備えることができた。今後も引き続き消防水利等の維持管理・拡充を行い、災害対応力の充実に努める必要がある。</p>		

## 平成30年度決算成果説明書

<b>総合計画の体系</b>		<b>所管部局</b>
<b>大分類</b>	01 環境に配慮した安全・安心のまち	消防本部
<b>中分類</b>	02 安全・安心なまちづくりへの対応	
<b>小分類</b>	02 消防・救急の充実	

<b>事務事業名</b>	消防機械器具整備費	<b>所管課</b>	警防救急課
		<b>決算額</b>	7,430千円
<b>事業内容</b>	老朽化した機械器具等の更新整備に伴い、災害活動時の安全管理対策につながる機械器具等について、軽量化・高機能化等を行う。		
<b>成果・実績</b>	<p>◎消防用ホース更新整備業務 消防用ホースの更新整備85本</p> <p>◎空気呼吸器本体、面体及び空気呼吸器用軽量空気ポンベの更新整備業務 空気呼吸器本体の更新整備6基 面体の更新整備5基 空気呼吸器用軽量空気ポンベ22本</p>		
<b>事業評価</b>	各種装備・機械器具の更新により、被害の軽減及び隊員の安全管理を図ることができた。今後も引き続き必要な数量及び機能を精査する中で、計画的な消防機械器具の更新を行い、消防力の充実に努める必要がある。		

<b>事務事業名</b>	専門職員養成費	<b>所管課</b>	警防救急課																
		<b>決算額</b>	3,350千円																
<b>事業内容</b>	救急救命士制度の創設及び救急隊員の行う応急処置範囲の拡大に伴い、専門教育を受講し、隊員の資質・技能を向上することで救命率の向上を図る。																		
<b>成果・実績</b>	<p>救急救命士の新規養成1人と、拡大処置認定救急救命士として気管挿管認定2人の養成及び心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与ができる救急救命士1名の養成を行い、救急高度化の充実・強化を図った。</p> <p style="text-align: center;">救急救命士新規養成及び処置拡大救急救命士研修実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">研修名</th> <th style="width: 25%;">場 所</th> <th style="width: 25%;">期 間</th> <th style="width: 25%;">人 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急救命士養成教育</td> <td>京都市救急教育訓練センター</td> <td>7カ月</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>気管挿管病院実習</td> <td>市内外医療機関</td> <td>30症例</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>拡大2処置追加講習</td> <td>京都市救急教育訓練センター</td> <td>4日間</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table>			研修名	場 所	期 間	人 数	救急救命士養成教育	京都市救急教育訓練センター	7カ月	1人	気管挿管病院実習	市内外医療機関	30症例	2人	拡大2処置追加講習	京都市救急教育訓練センター	4日間	1人
研修名	場 所	期 間	人 数																
救急救命士養成教育	京都市救急教育訓練センター	7カ月	1人																
気管挿管病院実習	市内外医療機関	30症例	2人																
拡大2処置追加講習	京都市救急教育訓練センター	4日間	1人																
<b>事業評価</b>	救急隊員の資質・技能を向上させることにより、救急高度化の充実・強化を図ることができた。今後も引き続き計画的な救急救命士の養成に努め、救命率の向上を図る必要がある。																		

## 平成30年度決算成果説明書

<b>総合計画の体系</b>		<b>所管部局</b>
<b>大分類</b>	01 環境に配慮した安全・安心のまち	消防本部
<b>中分類</b>	02 安全・安心なまちづくりへの対応	
<b>小分類</b>	02 消防・救急の充実	

<b>事務事業名</b>	AED整備費	<b>所管課</b>	警防救急課
		<b>決算額</b>	3,679千円
<b>事業内容</b>	市内各公共施設にAEDを設置し、心肺停止傷病者に対して即時対応できる体制整備を行い、市民の救命率の向上を図る。設置AEDと同型のAEDトレーナーを活用し、適切な取扱いの習得に努める。		
<b>成果・実績</b>	<p>公共施設のAED86台を更新整備するとともに、設置AEDと同型のAEDトレーナー5台を整備し、市内公共施設管理者に対し取扱い講習を実施、適切な取扱いの習得に努めた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>宇治市役所設置のAED (自動体外式除細動器)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>AEDマーク</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>AEDトレーナー</p> </div> </div>		
<b>事業評価</b>	心肺停止傷病者に対し迅速に除細動が行える体制を整備することにより、救命率の向上を図り、安全・安心のまちづくりに貢献できた。今後も引き続きAEDの取扱いの習得促進など、効果的・効率的な維持管理の検討を行い、救命率の向上を図る。		

<b>事務事業名</b>	通信施設維持管理費	<b>所管課</b>	指揮指令課
		<b>決算額</b>	38,749千円
<b>事業内容</b>	各種災害の受信・指令等、災害事案を管理する高機能指令システムの維持管理及び災害出動隊の通信手段である消防救急デジタル無線設備の維持管理を行う。		
<b>成果・実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 電話通訳センターを介した三者間同時通訳業務委託（新規） 324千円 【実績】平成30年4月1日～平成31年3月31日 救急・12回 火災原因調査・1回 外国人労働者からの通報訓練・1回</li> <li>◎ 消防通信指令システム部材交換 11,186千円 平成24年1月1日から運用する高機能指令システムの16面マルチモニターと各署に設置する42インチ大型表示盤の交換を実施。</li> <li>◎ 消防救急デジタル無線部材交換 1,448千円 基地局無線設備を設置する宇治市役所と消防本部指揮指令課を結ぶL3スイッチの交換及び、UPS（無停電装置）のバッテリー交換を実施。</li> </ul>		
<b>事業評価</b>	電話通訳センターを介した三者間同時通訳を実施することにより、外国人からの通報に対する対応の充実を図ることができた。今後も引き続き安全・安心なまちづくりのため、消防力の充実に努める必要がある。		

# 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	その他
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	01 市民参加機会の充実と情報公開の推進	

<b>事務事業名</b>	議会改革推進事業費	<b>所管課</b>	議会事務局
		<b>決算額</b>	536千円
<b>事業内容</b>	議会を円滑に行うための改革を行う事業として、各委員会活動充実のための研修会及び市民に開かれた議会を目指し、本会議の全会議及び委員会の生中継と録画配信を行った。		
<b>成果・実績</b>	◎委員会研修 <span style="float: right;">62千円</span> 議会運営委員会、常任委員会の委員会活動充実のため研修会を行った。		
	委員会	研修内容	参加人数
	議会運営	大津市議会の議会改革について	24
	文教福祉	子供の貧困と児童虐待について	29
	総務	空き家問題について	22
	◎議会映像インターネット配信経費 <span style="float: right;">474千円</span> 録画映像アクセス数 <span style="float: right;">21,462件</span>		
<b>事業評価</b>	各委員会の活動充実のための研修会を実施し、政策的課題の対策事例等について見識を広めた。また本会議・常任委員会のインターネット配信は、予算・決算特別委員会にも拡大し、議会の情報をより広く市民に発信した。今後も引き続き議会改革に取り組み、開かれた議会を目指し、さらなる議会運営の活性化に努める。		

<b>事務事業名</b>	議会広報活動費	<b>所管課</b>	議会事務局
		<b>決算額</b>	5,804千円
<b>事業内容</b>	議会活動を市民に周知し、議会への関心と理解を深め、住民自治の高揚を図るため、「議会だより」を発行する。また、「市政概要」を発行し、市政全般にわたる制度、市政執行の状況などを掲載して、市政の手引きとして活用する。		
<b>成果・実績</b>	◎議会だより発行経費 <span style="float: right;">5,488千円</span>		
	・発行回数	4回	
	・年間発行部数	325,604部	
	◎市政概要発行経費 <span style="float: right;">270千円</span>		
・発行回数	1回		
・発行部数	230部		
			
<b>事業評価</b>	議会だよりを各戸配布し、全市民へ議会の情報を発信した。今後も市民の議会への関心を高めるため、より分かりやすい情報発信の手法について引き続き検討する。		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
<b>大分類</b>	06 信頼される都市経営のまち	その他
<b>中分類</b>	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
<b>小分類</b>	01 市民参加機会の充実と情報公開の推進	

<b>事務事業名</b>	選挙啓発推進費	<b>所管課</b>	選挙管理委員会事務局
		<b>決算額</b>	20千円
<b>事業内容</b>	選挙が公明かつ適正に行われるように、様々な機会を通じて選挙人の政治意識の向上に努める。		
<b>成果・実績</b>	<p>明るい選挙の推進のため、「市政を見る会」の開催をはじめ、啓発ポスター・標語の募集、新有権者へのバースデーカードの送付などの各種啓発事業を行った。</p> <p>また、出前講座及び模擬投票の実施を通じて、主に若年層に対する啓発を行った。</p>		
<b>事業評価</b>	市民の政治意識及び投票率の向上のため、各種啓発活動に取り組んだ。今後は、特に若年層の投票率改善に向けて、主権者意識の醸成等に資する、より効果的な啓発活動を検討する必要がある。		

<b>事務事業名</b>	京都府知事選挙執行費	<b>所管課</b>	選挙管理委員会事務局																
		<b>決算額</b>	30,098千円																
<b>事業内容</b>	京都府知事選挙を執行する。																		
<b>成果・実績</b>	<p>4月8日に京都府知事選挙を執行した。</p> <p>◎執行状況</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>当日の有権者数</th> <th>投票者数</th> <th>投票率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>73,152 人</td> <td>25,111 人</td> <td>34.33%</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>80,099 人</td> <td>26,335 人</td> <td>32.88%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>153,251 人</td> <td>51,446 人</td> <td>33.57%</td> </tr> </tbody> </table>				当日の有権者数	投票者数	投票率	男	73,152 人	25,111 人	34.33%	女	80,099 人	26,335 人	32.88%	合計	153,251 人	51,446 人	33.57%
	当日の有権者数	投票者数	投票率																
男	73,152 人	25,111 人	34.33%																
女	80,099 人	26,335 人	32.88%																
合計	153,251 人	51,446 人	33.57%																
<b>事業評価</b>	今後も公明かつ適正な選挙事務の執行に努めるとともに投票しやすい環境づくりに努める必要がある。																		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	その他
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進	
小分類	03 行政サービスの充実	

事務事業名	監査委員活動費	所管課	監査委員事務局
		決算額	334千円
事業内容	<p>本市の行政及び財務に関する事務の執行並びに経営に係る事業の管理が地方自治法の本旨に沿ってなされているかを主眼に厳正、公平の態度保持と指導監査を第一義として、違法、不当行為の防止と事務事業の改善に資す。例月現金出納検査、定期監査、随時監査、決算審査などを行う。</p>		
成果・実績	<p>定期監査は、20課1室3署2校を抽出し実施した。                      随時監査は、神明小学校ライフライン改修他建築工事及び機械工事を抽出し実施した。                      例月現金出納検査は、一般会計、特別会計、公営企業会計について毎月実施した。                      決算審査は、一般会計・4特別会計・2公営企業会計及び基金運用状況について実施した。                      住民監査請求による監査についても審査した。                      健全化判断比率等審査は、健全化判断比率・資金不足比率について実施した。                      また、全国都市監査委員会、近畿地区都市監査委員会及び京都府都市監査委員会の構成員として総会、研修会などに参加し、監査等の手法、内容の改善を図り、監査機能の充実、強化に努めた。</p>		
事業評価	<p>全国都市監査委員会総会及び研修会等への参加により、監査機能の向上を図り、事務事業の指導監査を適正に行うことができた。</p>		

事務事業名	公平委員会運営費	所管課	公平委員会事務局
		決算額	264千円
事業内容	<p>地方公務員法の規定に基づき、職員の不利益処分の審査請求及び勤務条件に関する措置の要求に対して審査、判定などを行う。</p>		
成果・実績	<p>宇治市公平委員会議事規則により定例会を4回開催し、職員団体登録事項変更に伴う審査等を行った。また、臨時会を3回開催し、公平委員会規則の一部改正の議決等を行った。                      このほか、全国公平委員会連合会、同近畿支部の構成員として、総会、事務研究会などに参加し、公平委員会業務の推進に努めた。</p>		
事業評価	<p>全国公平委員会連合会総会及び研究会等への参加により、審査機能の向上を図り、適正に審査を行うことができた。</p>		

## 平成30年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	その他
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進	
小分類	03 行政サービスの充実	

<b>事務事業名</b>	固定資産評価審査委員会運営費	<b>所管課</b>	固定資産評価審査委員会事務局
		<b>決算額</b>	287千円
<b>事業内容</b>	地方税法の規定に基づき、固定資産税、都市計画税の課税の基礎となる固定資産課税台帳に登録された事項に関する納税義務者からの審査申出について審査、決定する。		
<b>成果・実績</b>	土地7件の審査申出を受け、委員会を18回開催した。 また、(一財)資産評価システム研究センターが主催する研修会に参加するとともに、先進地を行政視察し、審査委員会業務の推進に努めた。		
<b>事業評価</b>	審査申出について、適正に審査を行うことができた。また、研修会等への参加により固定資産税制度の現状と課題及び審査委員会の運営について見識を深めることができた。		

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	その他
中分類	03 農林漁業・茶業の振興	
小分類	01 農業の振興	

<b>事務事業名</b>	農業委員会運営費	<b>所管課</b>	農業委員会事務局
		<b>決算額</b>	1,199千円
<b>事業内容</b>	農業委員会等に関する法律第6条に規定する所掌事務、農業者年金業務、京都府国有農地等管理処分事業事務及び農業委員会の運営を行う。		
<b>成果・実績</b>	農業委員会等に関する法律に基づき、農業委員会総会を12回開催し、農地法に基づく農地の権利移動及び転用などについての審議を行ったほか、租税特別措置法に基づく相続税納税猶予特例適用に係る証明願の承認及び農地の利用状況確認等を行った。 また、各部会等の活動及び研修会等を通じて、農地行政の適正な執行に努めた。 一方、市長部局（農林茶業課）及び関係機関と連携し、農地利用の最適化の推進を図るとともに、農業経営基盤強化促進法に基づく農地の利用権設定の推進、農業者年金の各種届出等への対応及び加入促進事業に取り組んだ。 さらに、農家への啓発活動として「農委だより・うじ」の発行等を行った。		
<b>事業評価</b>	農業委員会等に関する法律等に基づき、適正に農地行政経費を執行し、農地利用の審議及び農家への啓発などを図ることができた。今後も円滑な委員会運営に努め、農家への啓発や農地利用の最適化の推進を図る必要がある。		

用品調達基金運用状況表

(単位：円)

借 方		科 目	貸 方	
残 高	累 計		累 計	残 高
1,590,406	2,963,659	在 庫 用 品	1,373,253	
4,409,594	6,359,270	預 金	1,949,676	
	1,817,533	未 収 金	1,817,533	
	1,505,350	未 払 金	1,505,350	
		基 金	6,000,000	6,000,000
6,000,000	12,645,812	小 計	12,645,812	6,000,000
		払 出 差 益	444,280	444,280
		受 取 利 息	46	46
		雑 利 益		
		雑 損 失		
444,326	444,326	一般会計繰出金		
444,326	444,326	小 計	444,326	444,326
6,444,326	13,090,138	合 計	13,090,138	6,444,326